科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
国語	現代の国語	通年	必履修	2	70単位時間（50分×70）	1単位時間	東京書籍『新編 現代の国2 東書　現国701	授業者に準ずる	細野 眞平

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現することができる,筆者の気持ちの変化や考え,主張の要旨を捉え，今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し，考えをまとめ，伝えようとする資質,能力が育成されている生徒。

【学習目標】

〈知識・技能〉	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
〈思考・判断・表現〉	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
〈主体的に取り組む態度〉	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業	国語科はとかく文字言語だけを教材としがちである。メディア授業を通じて、音声言語や画像により「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の全般にわたって学習効果を高める。
② 本校スクーリング	筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。生きる原点としての自己への理解を深める。
③ 報告課題（レポート）	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を身につける。

【年間学習計画】

○メディア箇所全て
◎　メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	提出期限	
4月	読むこと	自己を見つめる	こそそめスープ		6	3	筆者独自の考え方を読み取り，人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせることができる。	教科書・映像視聴	○		第1回 5月31日	
4月	読むこと	自己を見つめる	ルリボシカミキリの青		12	3	筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み，自分に当てはめて考えている。	教科書・映像視聴	○			
4月	話すこと・聞くこと	自己を見つめる	気になるニュースについて話そう		18	4	情報を整理し，内容や構成に注意して話すことができる。	教科書・映像視聴	○			
5月	読むこと	他者に出会う	未来をつくる想像力		24	4	情報と想像力の関係を論じた文章を読み，意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかんでいる。	教科書・映像視聴	○	○	第2回 6月30日	
5月	読むこと	他者に出会う	メディアとの付き合い方		31	2	さまざまなメディアの特長を知り，受信者としても送信者としても適切な判断のもと，使い分けることができる。	教科書・映像視聴	○			
5月	読むこと	他者に出会う	水の東西		33	5	「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて，日本文化の特質について理解が深まっている。	教科書・映像視聴	○			
5月	読むこと	他者に出会う	評論の読み方・文章の趣旨をまとめてみよう		39	2	評論の書かれ方を理解し，読み方を知っている。	教科書・映像視聴	○			
6月	読むこと	視野を広げる	スキマが育む都市の緑と生命のつながり		68	3	身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み，提示された新しい視点について理解している。	教科書・映像視聴	◎		第3回 7月31日	
6月	読むこと	視野を広げる	無彩の色		78	3	色について論じた文章を，具体例の役割を押さえながら読み，筆者の価値観と主張をつかんでいる。	教科書・映像視聴	○			
6月	話すこと・聞くこと	視野を広げる	情報を整理しながら話し合おう		87	3	話し合いの進め方を工夫し，考えを深めている。	教科書・映像視聴	○			
7月	読むこと	社会と関わる	鍋洗いの日々		94	3	自分の道を切り開いた筆者の体験談から，仕事に対する思いを読み取ることができる。	教科書・映像視聴	○		第4回 8月31日	
7月	読むこと	社会と関わる	森で染める人		100	4	自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ，働くということについて考えることができる。	教科書・映像視聴	◎			
7月	読むこと	社会と関わる	真夏のひしこ漁	働くとは？	110	4	海での漁の様子を伝える文章を読み，自然の中での労働について理解を深めることができる。	教科書・映像視聴	○			
7月	書くこと	社会と関わる	憧れの職業について調べ，整理してまとめよう		122	5	調べたことを整理して，考えたことを分かりやすくまとめる。	教科書・映像視聴	○			
9月	読むこと	世界とつながる	美しさの発見		142	4	「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み，その展開を論理的に捉え，筆者の価値観を理解している。	教科書・映像視聴	◎		第5回 9月30日	
9月	読むこと	世界とつながる	りんごのほっぺ		150	3	出来事の順序に着目しながら，戦時下の人々の状況と，作品に一貫する筆者の思いを読み取っている。	教科書・映像視聴	○			
9月	書くこと	世界とつながる	読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう		159	5	助言をもとに推敲して，よりよい文章に仕上げる。	教科書・映像視聴	○			
10月	読むこと	未来に目を向ける	不思議な拍手		166	4	人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み，人間への認識を深め待っている。	教科書・映像視聴	◎		第6回・映像視聴報告 10月30日	
10月	読むこと	未来に目を向ける	推論の仕方		176	3	推論の仕方を理解し，日常で使える。	教科書・映像視聴	○			
10月	読むこと	未来に目を向ける	真の自立とは		179	3	「自立」の在り方について考察する文章を読み，自分の考えを持ち，視野を広げることができる。	教科書・映像視聴	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞自分の考え方を広めるために、筆者の気持ちの変化や考え方を意識して学習に取り組みましょう。
☞教科書の本文(「読む」）だけではなく、「話す」「聞く」の部分にも注目して学習し、国語力の向上を目指しましょう。

【映像視聴について】
現代の国語　教科書解説動画
指定された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4kgk

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。
思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて、叙述を基に的確に捉え、趣旨や要点を把握している。
主体的に学習に取り組む態度	・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
国語	言語文化	通年	必履修	2	70単位時間（50分×70）	1単位時間	東京書籍『新編 言語文化』 2 東書　言文701	授業者に準ずる	細野 眞平

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解し,文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、各地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について考えを深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて考えることができる生徒。

【学習目標】

〈知識・技能〉　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

〈思考・判断・表現〉　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

〈主体的に取り組む態度〉　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業　国語科はとかく文字言語だけを教材としがちである。メディア授業を通じて、音声言語や画像により「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の全般にわたって学習効果を高める。

② 本校スクーリング　筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。生きる原点としての自己への理解を深める。

③ 報告課題（レポート）　言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を身につける。

【年間学習計画】

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）		
4月	読む	生きる喜び	さくらさくらさくら		10	2	引用歌や体験談に注意しながら，日本独特の桜に対する感性について理解を深める。	教科書・映像視聴	◎		第1回 5月31日	
4月	読む	生きる喜び	「美しい」ということ		18	2	筆者の経験と分析について理解し，「美しい」ということについて考える。	教科書・映像視聴	◎			
4月	読む	触れ合う心	とんかつ		24	4	会話や行動の描写に着目して，登場人物の心情とその変化を読み取る。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	読む	命をうたう	柳あをめる・雪の深さを		50	3	短歌・俳句独自の特徴と表現効果を理解し，言葉にこめられた情景や心情を読み取る。	教科書・映像視聴	◎		第2回 6月30日	
5月	読む	命をうたう	冬が来た・I was born		58	4	比喩とリフレーンの効果を理解して詩を読み味わい，作者のものの感じ方について考える。散文詩を読み，蜉蝣（かげろう）のイメージに託された生命への思いを深く味わう。	教科書・映像視聴	○			
6月	読む	葛藤する心	羅生門		72	5	極限状態にある登場人物の心情の変化を，場面の展開に即して読み取り，主題を考える。	教科書・映像視聴	◎		第3回 7月31日	
6月	読む	現実の向こう側	夢十夜		94	4	表現に即して小説を丁寧に読み味わい，そこに展開する独自の世界を味わう。	教科書・映像視聴	◎			
7月	読む	古文の世界へ	古文に親しむ・児のそら寝		118	3	歴史的仮名遣いについて理解し，説話のおもしろさを読み取る。	教科書・映像視聴	○		第4回 8月31日	
7月	読む	日々の思い	徒然草		138	3	随筆に表れた作者の考えを，叙述を基に的確に捉える。	教科書・映像視聴	◎			
7月	読む	日々の思い	枕草子		146	3	作品の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を深める。	教科書・映像視聴	◎			
7月	読む	うたの心	折々のうた		154	4	詩歌に表れたものの見方，感じ方，考え方を読み取る。	教科書・映像視聴	○			
8月	書く	うたの心	短歌を作る		167	2	自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを，古典的技法に倣って短歌にし，効果的に書く。	教科書・映像視聴	○		第5回 9月30日	
8月	読む	古人の生き方	伊勢物語		170	4	歌物語に描かれている内容を，叙述を基に的確に捉える。	教科書・映像視聴	◎			
8月	読む	旅の心	奥の細道		190	3	構成に注目しながら，作品にこめられた思いを読み取る。	教科書・映像視聴	◎			
9月	読む	漢文に親しむ	訓読の基本		210	3	漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，格言に親しむ。	教科書・映像視聴	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
9月	読む	漢文に親しむ	故事成語一三編		220	3	故事成語の元になった話を読むことを通して，漢文の読解に慣れ親しむ。	教科書・映像視聴	◎			
9月	読む	漢詩を味わう	絶句と律詩一七首		228	5	漢詩に描かれている情景や心情を読み取り，優れた表現に親しむ。	教科書・映像視聴	○			
10月	書く	漢詩を味わう	訳詩を書く		235	3	元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように，表現を工夫して訳詩を書く。	教科書・映像視聴	○			
10月	読む	論語のことば	論語一八章		238	5	孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り，孔子の思想に興味を持つとともに，ものの見方や考え方を豊かにする。	教科書・映像視聴	◎			
10月	読む	史話を楽しむ	史話一三編		248	5	話の展開や登場人物の言動を読み取り，史話のおもしろさを味わう。	教科書・映像視聴	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書の本文(「読む」）だけではなく、「話す」「聞く」の部分にも注目して学習し、国語力の向上を目指しましょう。

【映像視聴について】
言語文化　教科書解説動画
指定された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4kgb

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。
思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて、叙述を基に的確に捉え、趣旨や要点を把握している。
主体的に学習に取り組む態度	・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
国語	文学国語	通年	必履修	4	140単位時間（50分×140）	2単位時間	東京書籍 『文学国語』 2 東書　分国 701	授業者に準ずる	細野 眞平

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

「思考力，判断力，表現力等」の感性・情緒の側面の力,生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を育成し,我が国の言語文化に対する理解を深め,深く共感したり豊かに想像したりする力を養う。

【学習目標】

〈知識・技能〉	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
〈思考・判断・表現〉	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
〈主体的に取り組む態度〉	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業	言葉そのものを認識したり,説明したりすることを可能にする,学術的な学習の基礎に必要な知識に興味関心を持つ。
② 本校スクーリング	文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点を身に付ける。
③ 報告課題（レポート）	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を身につける。

【年間学習計画】

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	Ⅰ部	随筆	「光の窓」		8～14	4	・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・作品の内容や解釈を踏まえ，人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めている。	教科書・映像視聴	◎		第1回・第2回 5月31日	
4月	Ⅰ部	随筆	「雨月物語」		15～18	5	・文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・進んで『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り，今までの学習を生かして「物語」についての自分の考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
4月	Ⅰ部	小説1	「山月記」		20～33	4	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・粘り強く登場人物の心情を把握し，学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して，その生き方について考え，話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			
4月	Ⅰ部	小説1	「窓」		34～39	4	・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方を踏まえ，解釈の多様性について考察している。 ・粘り強く「短編小説」が象徴するもの理解し，学習課題に沿って自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書こうとしている。	教科書・映像視聴	○			
5月	Ⅰ部	評論1	「言葉を生きる」		44～49	4	・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・粘り強く筆者の考えをその表現から読み取り，学習課題に沿って「生きること」と「言葉」の関係について理解を深めようとしている。	教科書・映像視聴	○			
5 月	Ⅰ部	評論1	「詩と感情生活」		50～55	5	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・進んで詩についての筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って詩の特質について考えを深めようとしている。	教科書・映像視聴	○			
5月	Ⅰ部	小説2	「山椒魚」		58～70	5	・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深めている。	教科書・映像視聴	○	○	第3回・第4回 6月30日	
5月	Ⅰ部	小説2	「沖縄の手記から」		71～92	5	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し，学習課題に沿って，人間の生と死について考え，まとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
5月	Ⅰ部	詩歌	「鋏」「竹」「永訣の朝」		94～103	5	・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・進んで作品に表現された事柄を把握し，学習課題に沿って作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。	教科書・映像視聴	◎	○		
6月	Ⅰ部	詩歌	硝子の駒-短歌抄		104～107	4	・進んで短歌独自の特徴と表現効果を理解し，学習課題に沿って印象に残った歌について，ひかれた理由を考え，まとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
6月	Ⅰ部	小説3	「こころ」		116～148	7	・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について，体系的に理解し使っている。 ・登場人物の関係性と心情を描写から把握し，今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め，自分の考えを話し合おうとしている	教科書・映像視聴	○		第5回・第6回 7月31日	
6月	Ⅰ部	評論2	「文学のふるさと」		150～160	5	・具体例と筆者の主張との関係に注意して本文を読み，学習課題に沿って文学のふるさとについて，筆者の考えを理解し，まとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
7月	Ⅰ部	評論2	「文学の未来」		161～168	4	・文学作品とテクスト，読者の関係について筆者の考えを読み取り，学習課題に沿って文学作品を読む意義についてまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
7月	Ⅱ部	随筆1	「国語から旅立って」		190～198	6	・文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・筆者の多言語体験に基づいた考えを読み取り，学習課題に沿って言葉と自分との関係について考えを深めようとしている。	教科書・映像視聴	◎		第7回・第8回 8月31日	
7月	Ⅱ部	随筆1	「書かれた風景の中へ」		199～204	6	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 粘り強く筆者の読書体験を読み取り，学習課題に沿って二つの随筆を比べ，日本語の特色について考え，話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			
8月	Ⅱ部	小説1	「檸檬」		206～216	6	・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・「私」の言動や心理を表現に即して読み取り，学習課題に沿って「私」の心情の描かれ方について考え，話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	◎			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
8月	II部	小説1	「コンビニの母」		217～222	7	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・登場人物の言動や心理を表現に即して読み取り，学習課題に沿ってさまざまな立場から現代社会における人間関係について考え，話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○	○	第9回・第10回 9月30日	
8月	II部	詩歌	金剛の露-俳句抄		232～235	4	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し，学習課題に沿って想像力を働かせながら句の主題を読み取り，印象に残った句について書こうとしている	教科書・映像視聴	○			
8月	II部	詩歌	「平気」		236～244	4	・韻文とその解釈によって描き出される人物像の違いを捉え，学習課題に沿って筆者の主張について読み取り，自分の考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
8月	II部	詩歌	「小諸なる古城のほとり」		230～231	4	積極的に文語の響きや五七調のリズムに親しみ，学習課題に沿って詩に描かれた情景や作者の心情を読み取ろうとしている。	教科書・映像視聴	○			
8月	II部	随筆2	「空っぽの瓶」		248～254	4	・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・粘り強く人称を巡る筆者の体験や考えを読み取り，学習課題に沿って言葉と存在の関わりについて，考えようとしている。	教科書・映像視聴	○			
9月	II部	随筆2	「クレールという女」		255～264	7	・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・筆者の読書体験を読み取り，学習課題に沿って人間の生き方について，自分の考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
9月	II部	戯曲	「父と暮らせば」		266～289	5	・進んで対話の中から登場人物の状況や心情を読み取り，学習課題に沿って「平和」や「生きること」について自分の考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
9月	II部	小説2	「舞姫」		292～328	10	・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・粘り強く主人公の考え方や行動について，時代背景を踏まえながら読み取り，学習課題に沿って自分の考えをまとめ，話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			
9月	II部	評論	『演技する「私」』		330～334	5	・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めている。 ・粘り強く筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し，考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○		第11回・第12回 映像視聴報告 10月31日	
10月	II部	評論	「映画の可能性のために」		335～344	4	・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・粘り強く「バルザック」と「カミュ」の視点の違いを理解し，学習課題に沿って選んだ作品がどちらの視点であるか考えをまとめ，話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			
10月	II部	小説3	「葉桜と魔笛」		348～359	4	・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・粘り強く物語の展開を把握し，登場人物の心情を読み取り，学習課題に沿ってこの作品における時間の流れの役割について話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			
10月	II部	小説3	「蠅」		362～372	3	・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・粘り強く視点の移動に注意しながら描かれた場面や状況を読み取り，学習課題に沿って作品の主題について複数の観点から考え，話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			

計140単位時間

【学習上の注意】

☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

☞教科書の本文(「読む」）だけではなく、「話す」「聞く」の部分にも注目して学習し、国語力の向上を目指しましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5kbu

【学習評価】

＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	文章や資料を対象化して，その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考える力や，それを踏まえて自分自身の思考を意識的に吟味する力を論理的に表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き,言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

【単位修得認定基準】

①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。

②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。

③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
国語	論理国語	通年	必履修	4	140単位時間（50分×140）	2単位時間	東京書籍 『新編論理国語』 2 東書　論国 701	授業者に準ずる	細野 眞平

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し,我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

〈思考・判断・表現〉　論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

〈主体的に取り組む態度〉　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業　言葉そのものを認識したり,説明したりすることを可能にする,学術的な学習の基礎に必要な知識に興味関心を持つ。

② 本校スクーリング　文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点を身に付ける。

③ 報告課題（レポート）　論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする力を身に付けることで論理的な思考力の育成を図る。

〇メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	Ⅰ部	広がる風景	対話とは何か		8～14	5	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え，学習課題に沿って自分の生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめている。	教科書・映像視聴	○		第1回・第2回 5月31日	
4月	Ⅰ部	広がる風景	世界を作り替えるために		15～22	5	・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。	教科書・映像視聴	◎			
4月	Ⅰ部	考える手がかり	少女たちの「ひろしま」		26～36	5	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	Ⅰ部	考える手がかり	「ふしぎ」ということ		37～43	6	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	教科書・映像視聴	○			
5月	Ⅰ部	人間と知性	学ぶことと人間の知恵		56～65	4	・「読むこと」において，関連する文章や資料を基に，書き手の立場や目的を考えながら，内容の解釈を深めている。 ・積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し，今までの学習を生かして人間の思考や学ぶことの意義について，コンピューターと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理することができる。	教科書・映像視聴	○		第3回・第4回 6月30日	
5 月	Ⅰ部	人間と知性	ラップトップ抱えた「石器人」		66～72	6	・推論の仕方について理解を深め使っている。 ・積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り，今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて，複数の文章を読み比べながら，考えを深めようとしている。	教科書・映像視聴	○			
5 月	Ⅰ部	現実の中で	思考の肺活量		76～82	4	・本文の主張について，「例示」の役割を持っている段落がどこか，指摘することができる。 ・「思考」のために必要な「肺活量」とはどういうものか理解する。 ・粘り強く比喩によって表現された筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。	教科書・映像視聴	○			
6月	Ⅰ部	現実の中で	安心について		83～91	6	・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り，学習課題に沿って筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め，まとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
6 月	Ⅰ部	ものの見方	弱肉強食は自然の摂理か		102～113	8	・この文章における筆者の問題提起とそれに対する主張が書かれている部分を把握し，文章の構成を理解している。 ・「弱い者の肉が強い者の食料となることだけを想定する弱肉強食は，自然の摂理ではない」とあるが，なぜそのようにいえるのか，読み取る。	教科書・映像視聴	○		第5回・第6回 7月31日	
6 月	Ⅰ部	ものの見方	複数の「わたし」		114～121	8	・「私たちは，常に複数の役割を持って生きています。」とは，どのようなことか読み取ることができる。 ・粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り，学習課題に沿って筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し，「わたし」に対する見方を広げようとしている。	教科書・映像視聴	◎			
7 月	Ⅰ部	働くよろこび	はじめに「言葉」がある		124～131	8	・「服というものは『生鮮品』にたとえられる」とは，どのようなことか，読み取る。 ・１筆者は「ある年の秋冬コレクションのテーマ」をどのように決定したのか,「根拠」の接続表現を用いてまとめることができる。 ・粘り強く筆者が述べる「ファッション」と「言葉」の関係を捉え，今までの学習を生かして「働くこと」と「言葉」の関わりについて自分の考えをまとめ，話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			
7 月	Ⅰ部	働くよろこび	楽に働くこと、楽しく働くこと		132～137	6	・本文に述べられている「楽に働くこと」と「楽しく働くこと」の違いに注目することができる。 ・「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考えることができる。	教科書・映像視聴	○			
7 月	Ⅱ部	時代を開く	最初のペンギン		168～175	6	・神ならぬ」や「有限の立場」などの語句，および「神」と「人間」の対立図式を確認し,第一段の内容を整理することができる。 ・生きるために，不確実性のもとで決断し,海の中に真っ先に飛び込む「最初のペンギン」の行動の意味を確認することができる。 ・「不確実な状況下」でどう決断して行動するかということについて考える。	教科書・映像視聴	○	○	第7回・第8回 8月31日	
7月	Ⅱ部	時代を開く	豊かさと生物多様性		176～183	6	・「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考え，まとめることができる。 ・生物多様性を大切にするうえで必要な発想について，具体的に読み取り，まとめることができる。	教科書・映像視聴	◎			
8月	Ⅱ部	新しい視点から	物語の外から		186～193	6	・「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」に意識した質問を考え，まとめることができる。 ・第一段の語り部の男性と，第二段の語り部の女性の行動や様子をまとめ，「語り」について理解することができる。 ・「物語」と「自己」との関係を理解している。	教科書・映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
8月	Ⅱ部	新しい視点から	カフェの開店準備		193～199	4	・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして，自分の日常を見つめ直すことができる。 ・第一・二段に書かれている「喫茶店の開店準備」を巡っての筆者の考えを理解している。	教科書・映像視聴	○	○		
8月	Ⅱ部	科学と人間	鏡としてのアンドロイド		210～218	6	・「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考え，「技術開発」にもたらす「新たな意味」とは何かを読み取ることができる。 ・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで，人間に対する筆者の考えを捉えることができる。	教科書・映像視聴	◎		第9回・第10回 9月30日	
8月	Ⅱ部	科学と人間	ロボットが隣人になるとき		219～227	6	・「この問いは，単純な技術の問題ではない。」とあるが，なぜそういえるのかを読み取ることができる。 ・「近年のAIの発展はこのイメージを崩しつつある。」とは，どのようなことかを読み取り、哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで，人間の意志や自由について理解を深めることができる。	教科書・映像視聴	○			
9月	Ⅱ部	豊かな認識	言葉は「ものの名前」ではない		232～239	8	・「ギリシャ以来の伝統的な言語観」がどのようなものなのかを理解することができる。 ・「羊」や「devilfish『悪魔の魚』」の例をもとに，「ギリシャ以来の伝統的な言語観」の問題点を理解している。 ・言語と認識の関係について，具体例をもとに主張している評論を読み，言葉の働きについて考えることができる。	教科書・映像視聴	○			
9月	Ⅱ部	豊かな認識	科学的「発見」とは		240～248	6	・「事実を観察するということは，それほど単純ではない。」という考えの根拠を，第二段から理解することができる。 ・「要約する力」（Ｐ158～161）を参考にしながら，本文の中心的な「問い」と「主張」をまとめ、本文中の二つの課題を追体験して読み，科学的視点の持ち方とその意義を理解することができる。	教科書・映像視聴	○			
9月	Ⅱ部	知のゆくえ	知識における作者性と構造性		262～270	8	・「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考えることができる。 ・「ネット情報」と「図書館に収蔵されている本」について，筆者の言う「作者性」における違いをまとめることができる。 ・・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み，情報と知識について理解を深めている。	教科書・映像視聴	○		第11回・第12回・映像視聴報告 10月31日	
9月	Ⅱ部	知のゆくえ	もう一つの知性		271～279	5	・「情報化社会」とはどのような社会を言うのか。また，情報化社会で重要なことは何か，意見を述べ合うことができる。 ・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し，現代社会を生きるうえで必要な態度について考えることができる。	教科書・映像視聴	◎			
10月	Ⅱ部	明日をみつめて	ホンモノのおカネの作り方		282～290	4	・貨幣の本質，電子マネーの仕組み，円安・円高など，経済や貨幣に関する話題を適宜取り上げ，互いの知識や考えを発表し合うことができる。 ・預かり手形の仕組みと便利さを確認し，「ホンモノの代わり」がホンモノに代わる過程を理解している。 ・「その時々のホンモノ」「ホンモノの形而上学」などの語句に注意して，筆者の結論の妥当性を確認し,更にその結論を通して，筆者は何を言おうとしているのかを考えることができる。	教科書・映像視聴	○			
10月	Ⅱ部	明日をみつめて	未来のありか		291～301	4	・「未来の事物」「未来の時間」について考えたことを，具体的に挙げることができる。 ・未来の事物の予想や予期や想像が個々の意識の中に生まれ，社会生活の中で共有されていく過程について読み取り，まとめることができる。	教科書・映像視聴	○			

計140単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞教科書の本文(「読む」）だけではなく、「話す」「聞く」の部分にも注目して学習し、国語力の向上を目指しましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5kro

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	文章や資料を対象化して，その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考える力や，それを踏まえて自分自身の思考を意識的に吟味する力を論理的に表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き,言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	地理総合	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	1単位時間	東京書籍『地理総合』 2 東書　地総701	授業者に準ずる	大川 飛鳥

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
諸資料から我が国と世界の系統的な地誌的事象と生活・文化の地域的特色について理解を深め、社会的な見方・考え方を養い、課題を発見・追究・解決していくことで、広い視野やグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【学習目標】

〈知識・技能〉	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組みなどに関する知識。地図や地理情報システムなどを用いて，諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切に調べまとめる技能。
〈思考・判断・表現〉	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，多面的・多角的に考察できる。また地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。
〈主体的に取り組む態度〉	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整する。地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚。

【学習方法】

①メディア授業	視覚，聴覚に訴える教材を利用することで，幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。
② 本校スクーリング	対面授業を実施し，諸資料を用いて，資料の活用方法を学び，また主体的に課題を追究することができる。
③ 報告課題（レポート）	教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民と資質・能力をを学び，地図や地形から情報を読み取る技術を身につけることができる。

【年間学習計画】

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	第１編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会	第 1 章 私 た ちが暮らす世界		1 緯度・経度 【24 時間，地球は眠らない。】	P8	2	世界各地における，太陽高度 や昼夜 の時 間の季節変化と，標準時を確認し，緯度や経度との関 係につ いて 考えます。	教科書	○			
4月				2 地球儀と世界地図 【丸い地球を，平らな紙に正しく描けるだろうか。】	P10	1	地球儀上で方位や距離を計測し，さまざまな世界 地図で の描 かれ方と 比較す るこ とで，世界地図の特徴を考えます。	教科書	○			
4月				3 日本の位置と領域 【小さな島が，大きな意味をもつのはなぜ？】	P12	1	領土問題発生の背景が国益 の衝突 にあ ることをふまえ，問題を平和的 に解決 する ための方 法につ いて 考えます	教科書	○			
4月		第 2 章 地 図 や地 理 情 報 シ ス テムの役割		4　地図の種類【地図を使わない人は，ほとんどいない。】	P22	1	多様な地図が生活を便利に してい るこ とを理解し，地図利用のさまざ まな可 能性 を考えます。	教科書	○			
4月				5 地形図のルール 【地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。】	P24	2	地形図を用いて土地利用，距離，面積など基礎的 事項に つい て読み取ります。	教科書	○		第1回 5月31日	
4月				6 主題図の種類と読み取り【このテーマ，どんな地図で表すべきか。】	P26	1	主題図の読み取りを通じて 地理的 事象 の分布の 特性を 把握 します。	教科書	○			
4月				7 地理情報システムと地図【地 図 の 可 能性は，まだまだ広がる。】	P28	1	地 理 情 報 シ ス テ ム（GIS）が幅広い分野で使わ れてい るこ とについて理解します。GIS と は何 かを 理 解し，私たちの生活への影響を考えます。	教科書	○			
5月		第 3 章 資 料 から 読 み 取 る 現 代世界		8 交通の発達 【地球は，どんどん小さくなっている？】	P40	2	流線図の作成や統計の読み取りを通じて，グロー バルな 結び 付きの変化や，各種交通手段の 特徴に つい て考察します。	教科書	○			
5月				9 情報通信の発達 【世界中が，ネットでつながりはしたけれど。】	P42	1	情報通信技術（ICT）の普及 状況の 推移 や地域的 な傾向 を読 み取ったうえで，情報通信技術 の普及 にと もなう利 点と課 題を 考察します。	教科書	○			
5月				10 国境をこえる人々の移動【仕事に，旅行に。人々は外国をめざす。】	P44	1	主題図や統計資料を読み取り，観光客の国際移動の特徴，観光客数の増 加の社 会的 背景と課題につ いて 考察します。	教科書	○			
6月				11 拡大する貿易【国どうしの貿易は，どう変化しているのか。】	P46	2	統計を用いて，貿易品目・相手国の変化と産業構造・国家間の関係の変化 との関 係に ついて考察します。	教科書	○			
6月				12 つ な が る 世界，多極化する世界【国どうしの結び付きで，世界はどこに向かう？】	P48	2	主題図を用いて，国家群・地域圏の変遷や課題を考察します。グローバル化の具体的な事象を通して，利点と課 題を考 察します。	教科書	○			
6月	第 2 編 国際理解と国際協力	第 1 章 人々の生活文化と多様な地理的環境	1 節 生活文化の多様性と国際理解	13 文化の地域性と多様性【肉じゃがといえば？「牛肉だ！」「豚肉だ！」】	P58	1	地域によって文化が異なる 理由に つい て理解します。文化は持続することもある一方で，変容すること もある こと を理解します。	教科書	○		第2回 6月30日	
6月				14 宗教と人々の暮らし【宗教に根ざした，習慣や文化がある。】	P60	1	写真を用いて，さまざまな宗 教のも つ特 徴を把握します。地図を用いて，世界の宗教分 布につ いて 歴史的背 景を含めて理解します。	教科書	○			
6月			2 節 生活文化と自然環境①地形	15 山地の暮らし【山に住むには，どんな工夫が必要なのか。】	P68	1	写真を用いて，山地に暮らす 人々の 生活 を理解します。図を用いて標高の違いに対 応した人々の工夫を理解します。	教科書	◎			
6月				16 平野の暮らし【流れる川が，地形を変えていく。】	P70	1	写真や地図を用いて，河川の つくる 地形 とその利 用につ いて 理解します。	教科書	◎			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月				17 海岸の暮らし【さまざまな海岸と，そこでの暮らしとは。】	P72	2	写真や模式図を用いて，海岸地形とその利用につ いて理 解し ます。	教科書	◎			
7月			3 節 生活文化と自然環境 ②気候	18 多様な気候とその分布【なぜこれほど違う？暑さ，寒さ，雨の量。】	P78	2	地図を用いて，気温の高い/低い地域や降水量の多い/少ない地域の分布をとらえます。写真を用いて，地域による気 候の多 様性 を理解します。	教科書	◎	○		
7月				19 熱帯の人々の暮らし【強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は？】	P80	2	雨温図の読み取り方を学び，気候区ごとの特徴を理解します。写真を用いて，自然環境とそ れに対 応す る人々の 生活の 様子 を把握します。	教科書	◎	○		
7月				20 乾燥帯の人々の暮らし【雨が少ない！どうやっ て 水 を 得る？】	P82	2	雨温図を読み取り，気候区ご との特 徴を 理解します。写真や模式図を用いて，自然環境とそれに対応す る人々の生活の様子を把握します。	教科書	◎	○		
7月				21 温帯の人々の暮らし【クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。】	P84	2	雨温図を読み取り，気候区ご との特 徴を 理解します。写真を用いて，自然環境とそ れに対応する人々の 生活の 様子 を把握します。	教科書	◎	○		
7月				22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし【長い冬を過ごすための食料や，町の工夫とは。】	P86	1	雨温図を読み取り，気候区ご との特 徴を 理解します。写真を用いて，自然環境とそ れに対応する人々の 生活の 様子を把握します。	教科書	◎	○		
8月			4 節 生活文化と産業	23 食生活と農業の分布【人の食生活は，気候だけで決まるのだろうか。】	P92	2	写真や主題図を用いて，世界の食文化の多様性と 農業の 地域 性について考察します。	教科書	○		第4回 8月31日	
8月				24 工場立地の変化【工場は，どんな理由でどんな場所に建つのか。】	P96	1	写真を用いて，さまざまな工 業の特 徴を 把握します。主題図を用い，国や地域ごと の工業の違いと，その要因を考察します。	教科書	○			
8月				25 商 業 立 地 と人々の生活【売り方も，買い方も，社会とともに変化する。】	P100	1	写真や図を用いて，さまざま な商業 の特 徴を把握します。図を用いて，近年における商 業の変 化とその要因を考察します。	教科書	○			
8月				26 情報産業の発達と生活文化の変化【ものづくりも働き方も，ICTが変えていく。】	P102	1	写真や図を用いて，情報技術 がさま ざま な産業の情報化に寄与してい ること を把 握します。	教科書	○			
8月		第 2 章 さまざまな地球的 課題と国際協力	1 節 地球環境問題	27 地球環境問題(1)【大気と海に，何が起きているのだろう。】	P124	1	主題図を用いて地球環境問 題の現 状につ いて視 覚的に とら えます。統計から地球温暖化の現状を把握し，その背景・要因とそれがもたらす 問題について考察します。	教科書	○			
8月				28 地球環境問題(2)【森林減少と砂漠化，その原因を探る。】	P126	2	熱帯林破壊や砂漠化によっ てもた らさ れた問題をふまえ，問題解決のあり方につ いて追究します。写真を用いて森林減少の現状を理解し，模式図を用いて砂漠化のメカニズムを考察します。	教科書	○			
8月			2 節 資源・エネルギー問題	29 資源・エネルギーの偏在【誰もが，欲しがる。だから，取り合いに。】	P130	1	統計を用いて，エネルギー消 費の南 北格 差の現状 とその背景 について考察します。統計を用いて，原油価格の推移とその背景について国際政治・経済との関わりから考察します。	教科書	○			
8月				30 化石燃料から再生可能エネルギーへ【地球を，「電池切れ」にさせないために。】	P132	1	写真やグラフを用いて，地球社会の持続可能性と いう観 点か ら望ましいエネ ルギ ー政策に ついて考察します。	教科書	○			
9月			3 節 人口問題	31 発展途上国の人口問題【人が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。】	P136	2	統計や主題図を用いて世界 の人口 分布 と人口増 加の特徴を把握し，その背景について考察します。	教科書	○			
9月				32 先進国の人口問題【若者が減り，高齢者が増えるとどうなる？】	P138	1	人口ピラミッドの作成や統 計の読 み取 りを通じて，先進国の抱える人 口問題 とそ れへの対 策につ いて 考察します。	教科書	○			
9月			4 節 食料問題	33 食料需給をめぐる問題【増産しても，まだ足りない。なぜだろう。】	P142	2	主題図や統計を用いて，世界の食料増産・供給の 地域差 を認識し，食料問題の存在を把握します。食の安全に関する問題について，身近な食品を例に考察します。	教科書	○			
9月			5 節 居住・都市問題	34 発展途上国の居住・都市問題【人は，何を求めて都市に向かうのか。】	P146	2	都市問題発生の要因を，都市化の過程との関わり から考 察するとともに，問題解決へ向けて の具体 的な取り組みを把握します。	教科書	○		第5回 9月30日	
9月				35 先進国の居住・都市問題【なぜ，再開発が必要なのか。】	P148	2	写真から都市の景観の変化を読み取り，再開発に よる変 化を 視覚的にとらえます。地図やグラフから再開発の 必要性 を考 察し，持続可能な社会を実現する再開発のあり方を追究します	教科書	○			
9月			6 節 民族問題	36 民族問題・難民問題【くり返す対 立で，国を追われる人々がいる。】	P150	1	難民が発生する地域と難民 を受け 入れ る地域の 地理的 関係を考察します。民族問題の歴史的背景について，具体的な事例を あげて考察します	教科書	○			
9月			7 節 持続可能な社会の実現をめざして	37 地球的課題と国際協力【グローバルな課題を，解きほぐす糸口とは。】	P154	1	地球的課題の解決へ向けて のさまざまな国際的取り組みとその課題を整理します。持続可能な社会の実現へ向けての 世界各地での取り組みの事例について考察します。	教科書	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月	第 3 編 持続可能な地域づくりと私たち	第 1 章 自然環境と防災	1 節 日本の自然環境の特色	38 日本の地形の特色【火山や，流れの速い川。日本は動き続けている。】	P176	2	日本列島の地帯構造とプレ ートの 境目 の主題図を用いて，日本の地形 の特性 につ いて考察します。地形の特性と自然災害との 関係性 につ いて，主題図や衛星画像などを 用いて考察 します。地形の特性と々の生活との関係性について，主題図や衛星画像など を用いて考察します。	教科書	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月				39 日本の気候の特色【四季ある国の，季 節ご と の 天 候は？】	P178	1	日本列島の季節ごとの天候 の変化 の要 因について主題 図の読み取りを通して考察します。主題図や雨温図の読み取りを通して，日本の気候 環境の 多様性について考察します。日本列島の気候の特性と自 然災害 との関係性について，地形学習の成 果をふ まえて考察します。	教科書	○			
10月			2 節 さまざまな自然災害と防災	40 地震災害・津波災害(1)【地震が発生するメカニズムとは。】	P180	1	地震や津波の発生メカニズムについて模式図を用いて考察します。地震や津波によってもたらされる被害の状況について，複数の写真を用いて考察します。	教科書	○			
10月				41 地震災害・津波災害(2)【 くり返す地震を，災害史から学ぶ。】	P182	2	地震災害の軽減へ向けた取 り組み につ いて具体 例をあ げながら考察します。自宅もしくは学校周辺地域 のハザ ードマップを 用いながら 災害時に 取るべ き避 難行動に ついて考察 します。	教科書	○			
10月				42 火山の災害とめぐみ【 火山をよく知り，共存していくために。】	P184	1	火山災害がもたらす人命に 及ぼす 被害 について 具体例 をあげながら考察します。火山災害のメカニズムについて，図や写真を用いて考察します。火山のもたらす恩恵について具体例をあげながら考察します。	教科書	○			
10月				43 気 象 災 害 (1)寒さ・暑さと台風【雪，猛暑，水不足，台風。どんな被害をもたらす？】	P186	1	季節ごとに生じる気象災害 の原因 につ いて考察します。季節ごとに生じる気象災害 がもた らす 被害の状 況や人々の生活に与 える影響について，写真を用いて考察します。	教科書	○			
10月				44 気象災害 (2)大雨と洪水・土砂災害【大雨で，あふれる水。何が起こるのだろう。】	P188	1	大雨がもたらす各種災害と それら のメ カニズムついて，模式図を用 いて考 察し ます。大雨がもたらす各種自然災 害の被 害の 状況について，地形図を用いて考察します。大雨がもたらす各種自然災 害の軽 減に 向けた対応策について，写真やハザー ドマ ップを用 いて考察します。	教科書	○			
10月				45 都市と自然災害【 都市を襲う災害，危険はどこにある？】	P190	1	都市における各種災害の発 生要因 につ いて，写真や地理院地図を用い て多面 的に 考察します。都市における各種災害がも たらす 被害の状況について，写真や地理院 地図を 用いて多面的に考察します。都市における各種災害がも たらす 被害 の軽減に 向けた 対応 策について，ハザードマップや 写真を 用いて考察します	教科書	○			
10月				46 防災・減災と復旧・復興【地域を災害から守るためいま，できることは？】	P192	1	防災・減災へ向けた各地域に おける 取り 組みについて，自助・共助・公助の観点から写真を用 いて考 察します。防災・減災へ向けた公助の取 り組みには 限界があり，自助・共助の観点 から意識を高める必 要性が あることを，さまざまな取り組みを概観す ることで考察します。	教科書	○			
10月		第 2 章 生活圏の調査と地域の展望		47 調査テーマの設定【 学校のまわりの，地理的テーマを探せ！】	P204	2	学校周辺地域における新旧 の地形 図や 統計を用 いて地 域の 変容につ いて考 察し ます。地域調査の一連の流れをふまえながら，学校周辺 地域で生じている複数の課題を見いだし，班ごとに調査テーマを設定します。地域調査の一連の流れをふまえながら，班ごとに 身近な地域の調査計画を立案します。	教科書	○			
10月				48 地域調査 1 （資料調査）【「○○かな？」まずは仮説を立ててスタート。】	P206	2	身近な地域の調査に必要な 資料収 集の 方法につ いて習得します。身近な地域の課題の解決に必要な仮説の設定・検証の方法について，資料調査を通して習得します。	教科書	○			
10月				49 地域調査 2 （野外調査）【どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。】	P208	1	身近な地域における野外調 査の手順について計画作成段階から実施段階までの流れを軸に習得し，野外調査を実施します。身近な地域における野外調査についての複数の方法とその手順について習得します。	教科書	○			
10月				50 まとめと発表【地域のこれからを，皆で考えていくために。】	P210	1	○身近な地域における調査で得た結果を分析する視点について習得します。調査内容の分析結果を的確にまとめる方法について習得し，まとめを行います。身近な地域における調査の成果を校内もしくは 校外で 発表する方法について習得し，クラス内もしくは校内で発表します。	教科書	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞地理総合は、地球表面で行われているすべての活動に関わる重要な科目です。身近な現象から自身に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4scs

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	○地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	○地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ○地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	地理探究	通年	選択	3	105単位時間(50分×105)	2単位時間	東京書籍『地理探究』 2 東書　地探701	授業者に準ずる	大川 飛鳥

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
必履修科目である「地理総合」の学習によって身に付けた資質・能力を前提に，系統地理的な考察，地誌的な考察によって習得した知識や概念を活用して，現代世界に求められるこれからの持続可能な日本の国土像を探究する。

【学習目標】

〈知識・技能〉	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
〈思考・判断・表現〉	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
〈主体的に取り組む態度〉	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

【学習方法】

①メディア授業	視覚，聴覚に訴える教材を利用することで，幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。
② 本校スクーリング	対面授業を実施し，諸資料を用いて，資料の活用方法を学び，また主体的に課題を追究することができる。
③ 報告課題（レポート）	しての資質・能力を学び，地図や地形から情報を読み取る技術を身につけることができる。

【年間学習計画】

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第１節 世界の地形	1　地形をつくる力	12〜13	1	生活環境の基盤となる地形の重要性，地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	◎		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第１節 世界の地形	2　プレートの運動とさまざまな境界	14〜15	1	地図や衛星画像を用いて，世界の大地形の分布の特徴についてプレートテクトニクスとの関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第１節 世界の地形	3　変動帯の地形	16〜17	1	変動帯の特徴とその形成過程をプレート運動との関係からとらえるとともに，人間生活との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第１節 世界の地形	4　安定地域の地形	18〜19	1	安定地域の特徴と人間生活との関係について平野と山地の側面から理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第1回 4月30日	
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第１節 世界の地形	5　河川がつくる地形	22〜23	1	変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴や形成過程，人間生活との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第１節 世界の地形	6　海岸と海にみられる地形	22〜23	1	さまざまな海岸地形，サンゴ礁地形の特徴や形成過程，人間生活との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第１節 世界の地形	7　気候や地質の影響が強い地形	24〜25	1	氷河地形や乾燥地形，カルスト地形の特徴や形成過程，人間生活との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第１節 世界の地形	自然災害Ⅰ 地震と津波	26〜27	1	地図や写真を用いて，地震と津波の発生メカニズムや被害の状況について理解する。	教科書・映像視聴	◎	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第２節 気候と自然環境	1　気候の見方	34〜35	1	模式図や主題図を用いて，気候の形成要素である気温と降水量の世界的な分布の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第２節 気候と自然環境	2　大気大循環と気候	36〜37	1	大気大循環による風の流れの特徴と，それによって形成される降水量分布の特徴から，気候環境形成の要因について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第２節 気候と自然環境	3　海洋と陸水	38〜39	1	海洋と陸水における水の循環が，気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第２節 気候と自然環境	4　世界の植生・土壌	40〜41	1	模式図を用いて，世界規模での各気候帯の分布の特徴，各気候帯と植生・土壌との対応関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第３節 気候と人々の生活	1　ケッペンの気候区分	42〜43	0.5	ケッペンが分類した各気候区の分類基準への理解を前提に，雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて各気候区について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第３節 気候と人々の生活	2　熱帯の特徴と人々の生活	44〜45	0.5	熱帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第３節 気候と人々の生活	3　乾燥帯の特徴と人々の生活	46〜47	0.5	雨温図やハイサーグラフを用いて、熱帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第３節 気候と人々の生活	4　温帯の特徴と人々の生活(1)	48～49	0.5	雨温図やハイサーグラフを用いて，温帯東岸の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第2回 4月30日	
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第３節 気候と人々の生活	5　温帯の特徴と人々の生活(2)	50～51	0.5	雨温図やハイサーグラフを用いて，温帯西岸の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第３節 気候と人々の生活	6　亜寒帯（冷帯）・寒帯の特徴と人々の生活	52～53	0.5	雨温図やハイサーグラフを用いて，亜寒帯（冷帯）・寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第３節 気候と人々の生活	7　高山気候の特徴と人々の生活	54～55	0.5	雨温図やハイサーグラフを用いて，高山気候の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第３節 気候と人々の生活	自然災害Ⅱ 異常気象と気候変化	58～59	0.5	写真やグラフを用いて，異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害の被害状況について理解する。	教科書・映像視聴	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第４節 日本の自然環境と自然災害	1　日本の地形と自然災害	60～61	1	日本の地形の特徴について把握するとともに，写真や模式図を用いて自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第４節 日本の自然環境と自然災害	2　日本の気候と自然災害	62～63	1	日本の気候の特徴について把握するとともに，衛星写真や模式図を用いて気象災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第４節 日本の自然環境と自然災害	3　自然災害と防災・減災の取り組み	64～65	1	防災・減災へ向けた自然災害対応のための取り組みについて把握するとともに，自助，共助，公助の観点からその取り組みの重要性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第５節 世界の環境問題	1　地球規模の環境問題	66～67	1	地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について，スケールの大小や南北問題との関わりを踏まえた上で理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第5節 日本の自然環境と自然災害	2　地球温暖化の背景と影響	68～69	1	地球温暖化の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ，持続可能な社会の在り方について模索する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第5節 日本の自然環境と自然災害	3　オゾンホール，大気汚染の背景と影響	70～71	1	オゾンホールや大気汚染の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ，持続可能な社会の在り方について模索する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第5節 日本の自然環境と自然災害	4　森林破壊の背景と地域性	72～73	1	森林破壊の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ，持続可能な社会の在り方について模索する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第5節 日本の自然環境と自然災害	5　砂漠化・水問題の背景と地域性	74～75	1	砂漠化や水問題の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ，持続可能な社会の在り方について模索する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第１章 自然環境	第5節 気候と人々の生活	6　日本の環境問題	76～77	1	日本の環境問題の歴史的な経緯と現状について把握するとともに，問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について模索する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第１節 産業の発展と社会的分業	1　産業の変遷	80～81	1	産業の変遷過程，それに伴う産業の高度化とその社会的背景について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第１節 産業の発展と社会的分業	2　産業構造と地域構造	82～83	1	産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立地や地域構造の変化の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第２節 農林水産業	1　農業の立地と形態	86～87	1	農業立地の成立要因について自然条件，社会条件，市場条件などとの関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第２節 農林水産業	2　世界のさまざまな農業地域	88～89	1	農業の成立・発展過程とその社会的背景について三つの変革との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第２節 農林水産業	3　グローバル化と農業地域の変容	90～91	1	現代農業の特色についてフードシステムの観点から把握するとともに，グローバル化に伴う農業地域の変容についてアメリカ，アジアを例に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第２節 農林水産業	4　拡大する世界の農産物流通	92～93	1	世界の農産物流通の特徴について小麦，米，畜産物，野菜を例に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第２節 農林水産業	5　世界の林業・水産業	94～95	1	森林資源の分布と役割ならびに林業の現状，水産資源の分布ならびに水産物貿易・保護の現状について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第２節 農林水産業	6　日本の農林水産業	96～97	1	日本の農林水産業の特徴について把握するとともに，変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第3回 5月31日	
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第３節 食料問題	1　食料問題の背景と地域性	98～99	1	食料の供給・生産・流通における食料問題の地域的相違について地球的視野から理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第３節 食料問題	2　食料問題の解決に向けて	100～101	1	食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状と課題，食料不足解消へ向けた国際協力の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第３節 食料問題	3　日本の食料問題	102～103	1	自給率低下，安定供給，安全性という観点から，日本の食料問題ついて多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第４節 エネルギーと鉱産資源	1　世界のエネルギー需要	104～105	1	暮らしを支えるエネルギーの重要性，需要の高まりよって生じる問題点について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第４節 エネルギーと鉱産資源	2　化石燃料	106～107	1	石油，石炭，天然ガスなどの化石燃料の生産・消費と貿易の現状，世界における近年のエネルギー事情の動向について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第４節 エネルギーと鉱産資源	3　電力生産	108～109	1	各種電力生産の特徴と課題への深い理解を基に，効率的な電力供給へ向けた取り組みについて，持続可能性という観点から理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第４節 エネルギーと鉱産資源	4　金属資源	110～111	1	工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について，鉄鉱石と非鉄金属，レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第５節 資源・エネルギー問題	1　化石燃料への依存と国家間の対立	112～113	1	化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題，石油戦略に関わる国際政治の動向について理解します。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第５節 資源・エネルギー問題	2　化石燃料から再生可能エネルギーへ	114～115	1	地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第５節 資源・エネルギー問題	3　日本の資源・エネルギー問題	116～117	1	わが国における資源・エネルギーの高い輸入依存度を脱却し，自給率向上を目指す取り組みや，新たな資源開発の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第６節 工業の立地と工業地域の変容	1　工業の立地と工業地域	118～119	1	工業の立地条件が複数の類型に区分できること，立地条件が時代とともに変化する背景や要因，もたらされる課題について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第６節 工業の立地と工業地域の変容	2　繊維・鉄鋼・石油化学	120～121	1	繊維・鉄鋼・石油化学を事例に，各々の工業における立地の特徴と近年の変化の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第６節 工業の立地と工業地域の変容	3　自動車・エレクトロニクス	122～123	1	自動車とエレクトロニクスを事例に，多国籍企業による工業立地の特徴と国際分業体制について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第６節 工業の立地と工業地域の変容	4　新しい技術と工業	124～125	1	ICTの導入によって工業のスマート化が進行している現状と，それによってもたらされる諸課題について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第６節 工業の立地と工業地域の変容	5　グローバル化と工業地域の再編	126～127	1	グローバル化の進展によって進行している工業地域の再編とそれによってもたらされる諸課題について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第６節 工業の立地と工業地域の変容	6　工業の知識集約化	128～129	1	工業の知識集約化に伴う特定地域における産業の集積とネットワーク形成の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第６節 工業の立地と工業地域の変容	7　日本の工業とその変容	130～131	1	高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷と最近の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第７節 第三次産業	1　サービス経済化の進展と流通産業の発達	136～137	1	サービス経済化の進展を支える流通産業の発達や消費者行動の変化の実態，それによって生じる小売業立地の変化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第７節 第三次産業	2　情報通信業とその集積	138～139	1	情報通信業の急速な発展の背景と国内外における立地の特性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第4回 6月30日	
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第２章 産業と資源	第７節 第三次産業	3　医療・福祉産業の課題	140～141	1	医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実態，保育サービスに焦点を当てた国際比較の現状について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第３章 交通・通信・観光	第１節 交通・通信	1　交通の発達(1)	142～143	0.5	移動手段の発展が時間距離の短縮につながり，グローバル化を促したこと，その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第３章 交通・通信・観光	第１節 交通・通信	2　交通の発達(2)	144～145	0.5	航空を含めた交通の発達がもたらす利点と問題点について多面的に理解した上で，環境負荷を減らすための新たな交通のあり方について検討する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第３章 交通・通信・観光	第１節 交通・通信	3　情報通信技術の発達	146～147	0.5	情報通信技術の発達が高度情報化社会をもたらしたことを前提に，そのような社会が進展することによる利点と問題点について深堀する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第３章 交通・通信・観光	第２節 貿易と経済連携	1　貿易の自由化と経済連携	148～149	0.5	自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第３章 交通・通信・観光	第２節 貿易と経済連携	2　現代貿易の課題	150～151	0.5	現代の貿易が抱える課題について世界レベル，国内レベル各々の視点から多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第３章 交通・通信・観光	第３節 観光	1　観光の発達と地理的展開	152～153	0.5	観光産業発達の背景と動向，その地理的展開の特徴について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第３章 交通・通信・観光	第３節 観光	2　さまざまな観光	154～155	0.5	時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることを踏まえ，日本における観光の変化の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第１節 人口	1　世界の人口分布と人口増加	158～159	1	世界の人口分布の特徴とその背景を踏まえた上で，地球規模での人口増加の変遷とその要因，今後の予測について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第１節 人口	2　人口動態とピラミッド	160～161	1	人口動態の推移について把握するとともに，各国の人口ピラミッドを作成することで，その国の置かれた社会状況について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第１節 人口	3　人口移動の変遷と今日の姿	162～163	0.5	地球規模での人口移動の変遷について把握するとともに，労働者と難民を事例に人口移動の特徴とその社会的背景について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第２節 人口問題	1　発展途上国の人口問題	164～165	1	発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因，もたらされる影響について把握するとともに，問題解決へ向けての国際協力のあり方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第２節 人口問題	2　先進国の人口問題	166～167	1	先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因，もたらされる影響について把握するとともに，それらを克服するための取り組みについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第３節 村落・都市	1　村落の機能と形態	168～169	1	村落の機能と立地要因，形態の特徴や成立条件についての理解をもとに，近年の村落の変化の状況と抱えている課題について認識を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第5回 6月30日	
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第３節 村落・都市	2　都市の機能と都市システム	170～171	1	都市機能の拡充過程を踏まえ，都市システムが形成される背景について，その階層性との関わりから把握するとともに，近年の都市間競争の活発化により，世界都市を目指す動きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第３節 村落・都市	3　都市の内部構造と大都市圏	172～173	1	都市の成長拡大によってその内部構造が複雑化すること，都市圏の広がりが段階的な発展をたどっていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第4節 居住・都市問題	1　発展途上国の居住・都市問題	176～177	1	発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について，ジャカルタを事例に多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第4節 居住・都市問題	2　先進国の居住・都市問題	178～179	1	先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景，より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第４章 人口，村落・都市	第4節 居住・都市問題	3　日本の居住・都市問題	180～181	1	日本の都市が直面している一極集中や都市の縮退などの諸問題，解決への取り組みについて多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第1節 生活文化の地域性	1　文化と環境	186～187	1	文化についての定義を踏まえ，世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第1節 生活文化の地域性	2　世界の食生活	188～189	1	食文化が地域によって異なる要因や，それが変容する過程について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第1節 生活文化の地域性	3　世界の住居・衣服	190～191	1	住居や衣服が地域によって異なる要因や，それが変容する過程について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第2節 民族・言語・宗教	1　世界の民族と言語	192～193	1	民族についての定義を踏まえ，言語や国家との相互関係について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第6回 7月31日	
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第2節 民族・言語・宗教	2　世界の宗教	194～195	1	世界の宗教分布の特徴とその形成過程を踏まえ，宗教を軸にした世界の文化的多様性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第3節 民族問題	1　世界の多様な民族問題	196～197	1	世界各地で生じている民族問題の背景について国家や宗教との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第3節 民族問題	2　紛争と難民	198～199	1	世界各地で生じている民族紛争や難民問題が生じる社会的背景について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第3節 民族問題	3　民族問題をどう乗りこえるか	200～201	1	民族紛争や難民問題の解決へ向けた取り組みと課題について，具体的事例をもとに理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第4節 現代の国家と領土問題	1　国家の領域と国境線	202～203	1	主題図や模式図を用いて、国家の領域や国境の概念について具体例をもとに理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第１編 現代世界の系統地理的考察	第5章 生活文化，民族・宗教	第4節 現代の国家と領土問題	2　領土問題の要因と解決への取り組み	204～205	1	日本を含めた領土問題の発生要因への理解をもとに，その解決策について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第２編 現代世界の地誌的考察	第１章 現代世界の地域区分	第1節 地域区分の意義と方法	1　地域区分の意義	210～211	1	さまざまな指標によって地域を区分することの意義について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第２編 現代世界の地誌的考察	第１章 現代世界の地域区分	第1節 地域区分の意義と方法	2　さまざまな地域区分の方法	212～213	1	さまざまな指標によって地域を区分する方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	第２編 現代世界の地誌的考察	第１章 現代世界の地域区分	第1節 地域区分の意義と方法	3　地域の考察方法	214～215	1	これから学習する世界の諸地域について，地域的特色をとらえるために適切な地誌的方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第１節 東アジア一項目ごとに整理して考察する一	1　中国の改革開放と急速に進む工業化	216～217	1	改革・開放政策に伴い急速に進む中国の工業化とそれによる影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第１節 東アジア一項目ごとに整理して考察する一	2　中国の農業・農村の近代化と都市化	218～219	1	改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向，都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について具体的事例をもとに理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第１節 東アジア一項目ごとに整理して考察する一	3　環境問題などの課題	220～221	1	中国国内の多様な民族構成，経済成長に伴い変化する人々の生活，深刻化する環境問題や経済格差の現状とその取り組みについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第１節 東アジア一項目ごとに整理して考察する一	4　経済成長により広がる中国の影響力	222～223	1	国際社会における中国の影響力について産業面や資源獲得競争，外交政策の面から理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第１節 東アジア一項目ごとに整理して考察する一	5　韓国の経済成長と地域構造	224～225	1	経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化，それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題，解決へ向けての取り組みについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第１節 東アジア一項目ごとに整理して考察する一	6　韓国の都市・農村の変化と生活文化	226～227	1	工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相，国内の生活文化の特徴と変化の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第２節 東南アジア一項目ごとに整理して考察する一	1　東南アジアの多様な文化	228～229	0.5	東南アジアの文化の多様性や共通性について言語，宗教を切り口に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第２節 東南アジア一項目ごとに整理して考察する一	2　東南アジアの地域性と農業	230～231	0.5	東南アジアの地域性の特徴とそれを土台に成立した商業的農業の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第２節 東南アジア一項目ごとに整理して考察する一	3　ASEANの政治と経済発展	232～233	0.5	ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向についてタイとマレーシアを事例に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第7回 8月31日	
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第２節 東南アジア一項目ごとに整理して考察する一	4　国家間の格差などの課題	234～235	0.5	東南アジアの経済発展による先端産業の振興の一方で，国家間，民族間，都市・農村間での格差が深刻化していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第３節 南アジア一経済成長に着目する一	1　グローバル化と南アジアの経済発展	236～237	0.5	南アジアにおける経済自由化や産業開発，工業化の進展についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第３節 南アジア―経済成長に着目する―	2　大都市の形成と格差の問題	238～239	0.5	経済成長や都市化に伴うインド社会の変化についてメリットとデメリットに区分しながら理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第３節 南アジア―経済成長に着目する―	3　インドの人口増加と農村の変化	240～241	0.5	インドにおける人口急増，農業の発展，農村社会の変化の背景について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第３節 南アジア―経済成長に着目する―	4　南アジア世界の多様性と統一性	242～243	0.5	南アジア世界の多様性と共通性について文化を指標に把握するとともに，地域間協力の現況について具体的事例をもとに理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第４節 西アジアと中央アジア―二つの地域を比較する―	1　交易の歴史と人々の生活	244～245	0.5	シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジアの歴史的経緯を踏まえるとともに，両地域における人々の生活の特徴について農業を軸に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第４節 西アジアと中央アジア―二つの地域を比較する―	2　乾燥地に適応した生活文化と宗教	246～247	0.5	西アジアと中央アジアの共通点と相違点について，生活文化と宗教を指標に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第４節 西アジアと中央アジア―二つの地域を比較する―	3　資源開発にみられる二つの地域の違い	248～249	0.5	西アジアと中央アジアの共通点と相違点について，資源開発と産業を指標に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第５節 北アフリカとサハラ以南アフリカ―二つの地域を比較する―	1　多様な文化の成り立ち	250～251	0.5	北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史，生業と文化を指標に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第５節 北アフリカとサハラ以南アフリカ―二つの地域を比較する―	2　モノカルチャー経済克服の課題	252～253	0.5	北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について，経済，産業を指標に理解します。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第５節 北アフリカとサハラ以南アフリカ―二つの地域を比較する―	3　アフリカの発展と新たな課題	254～255	0.5	北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第６節 ヨーロッパ―地域統合に着目する―	1　ヨーロッパ統合の流れ	256～257	0.5	ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに，統合へ向けての歴史的変遷について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第６節 ヨーロッパ―地域統合に着目する―	2　ヨーロッパの農業とその変容	258～259	0.5	ヨーロッパにおける農業の多様性と現状を踏まえ，EUの共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しの動きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第8回 9月30日	
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第６節 ヨーロッパ―地域統合に着目する―	3　ヨーロッパの産業とその変容	260～261	0.5	ヨーロッパにおける産業の変容について工業の多極化，サービス経済化を指標に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第６節 ヨーロッパ―地域統合に着目する―	4　EUの拡大と地域格差	262～263	0.5	EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされる課題，対外関係とそれに関わる課題について深堀する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第６節 ヨーロッパ―地域統合に着目する―	5　揺らぐ「一つのヨーロッパ」	264～265	0.5	イギリスのEU離脱を切り口に，EUが抱えている諸課題、その克服へ向けた国家間の協力関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第７節 ロシア―項目ごとに整理して考察する―	1　多様な民族と宗教	266～267	0.5	ロシア国内の多様な民族，宗教について把握するとともに，国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土問題について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第７節 ロシア―項目ごとに整理して考察する―	2　ポスト社会主義時代の暮らし	268～269	0.5	ロシアでの市場経済への移行に伴う経済，社会，人々の暮らしにおける変化の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第７節 ロシア―項目ごとに整理して考察する―	3　周辺国との産業・資源をめぐる関係の変化	270～271	0.5	ロシアの農業，鉱工業地域の分布の特徴について把握するとともに，近年の産業地域の変化とそれに伴い生じている地域格差の問題について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第８節 アングロアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	1　アングロアメリカの農業	272～273	0.5	アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第８節 アングロアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	2　多民族社会がかかえる問題	274～275	0.5	アングロアメリカの特色である多民族・多文化社会の形成過程について歴史的背景を踏まえて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第８節 アングロアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	3　世界最大のアングロアメリカ経済	276～277	0.5	アングロアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について，先端技術，金融，鉱産資源の側面から理解するとともに，課題について認識を深めます。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第８節 アングロアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	4　先端産業の発展と鉱工業地域の変化	278～279	0.5	アングロアメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第８節 アングロアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	5　情報社会に移行する大都市圏	280～281	0.5	アングロアメリカにおける情報社会と就業構造の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の様相について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第9回・映像視聴報告 10月31日	
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第９節 ラテンアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	1　ラテンアメリカの成り立ち	282～283	0.5	ラテンアメリカの文化の形成の経緯について歴史的背景を踏まえながら理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第９節 ラテンアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	2　ラテンアメリカの産業の発展と経済成長	284～285	0.5	ラテンアメリカの産業の発達の変遷について農業，工業の両面から把握するとともに，グローバル化と地域統合が進む現在の状況について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第９節 ラテンアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	3　森林破壊などの問題	286～287	0.5	ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題について把握するとともに，同地域の移民社会としての特徴についても多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第10節 オセアニア―項目ごとに整理して考察する―	1　多文化共生の課題	288～289	0.5	オーストラリアとニュージーランドの多文化社会の形成過程について，先住民族，ヨーロッパ移民，アジア系移民との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第10節 オセアニア―項目ごとに整理して考察する―	2　オセアニアの資源と産業	290～291	0.5	オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第10節 オセアニア―項目ごとに整理して考察する―	3　オセアニアと他地域との結び付き	292～293	0.5	オーストラリア，ニュージーランドと環太平洋地域との経済的な結びつきについて貿易と観光に着目しながら理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第２編 現代世界の地誌的考察	第２章 現代世界の諸地域	第10節 オセアニア―項目ごとに整理して考察する―	南極・北極	294～295	0.5	北極と南極それぞれの地理的特徴について把握するとともに，近年の動向について国際社会との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第３編 現代世界と日本の国土像	第1章 持続可能な国土像の探究	第１節 日本の地理的諸課題を読み解く	1　日本の地域構造	298～299	0.5	日本の地域構造の歴史的変遷について把握するとともに，現代の地域構造の特徴によって生じている地理的諸課題について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第３編 現代世界と日本の国土像	第1章 持続可能な国土像の探究	第１節 日本の地理的諸課題を読み解く	2　日本の国土政策	300～301	0.5	日本の国土政策の歴史的変遷について把握するとともに，今後の国土づくりのあり方について，国内における地理的諸課題の現状を踏まえて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第３編 現代世界と日本の国土像	第1章 持続可能な国土像の探究	第２節 持続可能な国土像の探究	1　課題と仮説の設定	302～303	0.5	「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら，日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成へ向けた一連の探究プロセスを踏まえるとともに，課題と仮説の設定方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月	第３編 現代世界と日本の国土像	第1章 持続可能な国土像の探究	第２節 持続可能な国土像の探究	2　仮説の検証と考察，さらなる探究へ	312～313	0.5	「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら，日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成へ向けた一連の探究プロセスを踏まえるとともに，仮説の検証と考察方法，結果をまとめる方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

計105単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞地理探究は、地球表面で行われているすべての活動に関わる重要な科目です。身近な現象から自身に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5sct

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して，地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性，傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで，現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。 ○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して，世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで，現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。
思考・判断・表現	○地理的事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，世界諸地域や日本において見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○地理的な課題への多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚を持つとともに，社会へ参画することへの意識が高まっている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：9回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	歴史総合	通年	必履修	2	70単位時間（50分×70）	1単位時間	東京書籍『新選　歴史総合』 2 東書　歴総 701	授業者に準ずる	大川 飛鳥

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

時間認識と空間認識をバランスよく総合する人材育成を目指し，社会で求められる資質・能力を全ての生徒に育む。また、「地理総合」と相互補完的な役割を果たすとともに，「世界史探究」「日本史探究」へと接続する土台としての役割を果たす。

【学習目標】

〈知識・技能〉	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
〈思考・判断・表現〉	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
〈主体的に取り組む態度〉	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【学習方法】

①メディア授業	視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、近現代の歴史の変化を多面的・多角的に考察し、表現できる。
② 本校スクーリング	対面授業で諸資料を活用することで、諸資料の活用方法や歴史に関する様々な情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身に付ける。
③ 報告課題（レポート）	基本的な近現代の歴史の変化に関わる知識を包括的に得て、近現代の歴史を考察、構想する学習を通じて広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に関わる姿勢を身に付ける。

【年間学習計画】

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月		第1章 歴史の扉	1節 歴史と私たち		8～11	0.5	諸資料を活用し，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が，日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		第１章 歴史の扉	2節 歴史の特質と資料		12～15	0.5	日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物，文書，図像などの資料を活用し，資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		第2章 近代化と私たち	1節 近代化への問い		22～27	1	交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などに関する資料を活用し，近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し，問いを表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	1 18世紀の東アジア	28～29	1	18世紀の東アジア諸国がどのような関係を築いていったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	2 結びつくアジア諸地域	32～33	1	18世紀のアジア諸地域はどのように結び付いていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	3 18世紀のヨーロッパとアジア	36～37	1	18世紀のヨーロッパとアジアとの交易にはどのような変化が見られたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第1回 5月31日	
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	4 産業革命のはじまり	42～43	1	産業革命が社会にどのような変化をもたらしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	5 世界市場の形成	44～45	1	産業革命を経て、世界各地の経済がどのように変化したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	6 東アジア国際関係の変化と日本の開国	46～47	2	19世紀の東アジアが、西欧諸国とどのような関わりを持ったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	7 世界経済の変化と日本の産業革命	48～49	2	イギリスで始まった産業革命が、どのように世界に広まったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	1 市民革命と近代社会	52～53	1	市民革命はどのような社会の仕組みを生み出したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	2 自由主義とナショナリズム	54～55	1	19世紀の欧米諸国では、どのような国家形態が模索されたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	3 アジアの諸国家とその変容	56～57	1	19世紀のアジア諸地域では、どのような背景のもとにどのような政治的変化が生じたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	4 明治維新と東アジアの国際関係	58～59	2	明治維新は、どのような国際環境の中で起き、日本社会をどのように変えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	5 立憲制の広まり	62～63	1	19世紀後半の立憲制国家は、それぞれどのような特徴を持っていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第2回 6月30日	
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	6 帝国主義と植民地	64～65	1	帝国主義とは何かを理解する。また、帝国主義国の植民地獲得競争がどのように繰り広げられたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	7 日清戦争と華夷秩序の解体	68～69	2	日清戦争が東アジアの国際秩序にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	8 帝国主義諸国の競合と国際関係	70～71	2	帝国主義国家同士がどのような関係を築いたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	9 植民地支配と植民地の近代	72～73	1	植民地の人々がどのような支配を受けていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	10 20世紀はじめの世界	74～75	1	20世紀初期、帝国主義に対して世界各地の人々はどのような態度を示したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第2章 近代化と私たち	4節 近代化と現代的な諸課題		78～83	1	自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点を基に主題を設定し，事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現することを通して，現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	1節 国際秩序の変化や大衆化への問い		86～91	1	国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	1 大衆社会の時代	92～93	1	大衆社会とは何かを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	2 第一次世界大戦の展開	94～95	1	第一次世界大戦はどのように展開したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	3 国際協調体制の形成	96～97	1	第一次世界大戦後の国際協調体制について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	4 ソヴィエト連邦の成立と社会主義	98～99	1	ソヴィエト連邦の成立と、社会主義運動の拡大について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	5 アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会	100～101	1	アメリカ合衆国の台頭と大衆文化の広がりについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第3回 7月31日	
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	6 アジアの経済成長と移動する人々	102～103	1	アジアの経済成長とそれぞれの地域の結び付きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	7 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容	106～107	2	反植民地主義の高揚と国際秩序の変容について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	8 民主主義の拡大と社会変革の動き	108～109	1	世界における民主主義の進展と、日本での展開について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社	9 マスメディアの発達と日常生活	110～111	1	マスメディアの発達と人々の日常生活の変化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	1 世界恐慌	112～113	1	世界恐慌が発生した原因とそれに対する各国の対応について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	2 アジア・アフリカと大衆社会	116～117	1	動揺しつつある国際協調体制下での、アジア・アフリカ諸国の人々の対応について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	3 国際協調体制の崩壊	118＝119	1	第一次世界大戦後の国際協調体制の崩壊について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	4 日中戦争と深刻化する世界の危機	120～121	2	日中戦争やファシズムの膨張による世界の危機について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第4回	

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	5 第二次世界大戦の勃発	122＝123	2	第二次世界大戦の勃発とその拡大、および日中戦争との結び付きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		8月31日	
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	6 第二次世界大戦における連合国と戦争構想	124～125	2	第二次世界大戦の終結と戦後の国際秩序の形成について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	7 アジア太平洋戦争と日本の敗戦	126～127	1	アジア太平洋戦争の展開と日本の敗戦について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	8 連合国の占領政策と冷戦	128～129	1	連合国の占領政策と冷戦の始まりについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	9 再編されるアジアと冷戦	132～133	1	冷戦下に再編されたアジア諸地域の動きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		136～141	1	自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点を基に主題を設定し，事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現することを通して，現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第4章 グローバル化と私たち	1節 グローバル化への問い		144～149	1	冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	1 冷戦の拡大と第三勢力	150～151	1	冷戦の拡大と第三勢力の台頭について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	2 キューバ危機と核兵器の管理	152～153	1	冷戦下の核開発競争と宇宙開発競争、および核兵器管理への方針転換について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	3 脱植民地化の進展と地域紛争	154～155	2	アジア・アフリカにおける脱植民地化の動きと、それらの地域で起こった地域紛争について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第5回 9月30日	
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	4 計画経済と開発	158～159	1	自由主義国、社会主義国、開発途上国の経済政策について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	5 冷戦下の日本とアジア	160～161	2	冷戦下の日本の国内政治とアジア外交について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	6 日本と欧米先進国の経済成長	162～163	1	欧米先進国と日本の経済成長とそれに伴う社会の変容について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	7 地域連携の拡大	166～167	1	ヨーロッパやアジアにおける地域連携の動きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	8 ベトナム戦争と冷戦構造の変容	168～169	1	ベトナム戦争と冷戦構造の変容について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	1 問い直される時代	170～171	1	先進諸国において、近代的な価値観を問い直す動きが現れ、価値観の変容が生じたことについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	2 石油危機と経済の自由化	174～175	2	石油危機と経済の自由化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	3 アジアの経済発展と日本	176～177	1	東アジア・東南アジア諸国・地域の経済発展について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	4 冷戦の終結と世界	178～179	1	冷戦の終結と東アジアの分断状況について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	5 拡散する地域紛争	180～181	1	冷戦終結後に世界各地で起きた地域紛争や、それらに対する国際社会の動きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	6 民主化の進展	184～185	1	世界各国で進んだ民主化の動きと、日本の政権交代について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	7 グローバル化と地域統合	186～187	1	冷戦終結後に進んだグローバル化と地域統合について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	8 岐路に立つ世界と日本	188～189	1	グローバル化や地域統合、民主主義が抱えた問題点について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		第4章 グローバル化と私たち	4節 現代的な諸課題の形成と展望	歴史探求の方法	196～197	1	科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会に向けて、現代的な諸課題の展望を探求する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計　　70　　単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞歴史総合は現代的な諸課題の形成に関わる重要な科目です。自身の生活に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4sr

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○近現代の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 ○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	日本史探究	通年	選択履修	3単位	105単位時間(50分×105)	2単位時間	東京書籍『日本史探究』 2 東書 日探 701	授業者に準ずる	大川 飛鳥

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

日本の歴史的展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から，日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。日本の歴史的展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に，課題を主体的に追究しようとする態度を養う。統合的・発展的に考察する力，物事の特徴や事象の変化を簡潔・明瞭に表現する力を養う。日本の歴史的展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や，考察したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする態度を養う。 基礎・基本を身に付けて，日常生活や社会の事象を捉え，処理し，問題を解決することができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉	日本の歴史的展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から，日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
〈思考・判断・表現〉	日本の歴史的展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に，課題を主体的に追究しようとする態度を養う。統合的・発展的に考察する力，物事の特徴や事象の変化を簡潔・明瞭に表現する力を養う。
〈主体的に取り組む態度〉	日本の歴史的展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や，考察したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業	メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに，視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで，より理解を深める。
② 本校スクーリング	対面授業を実施し，歴史的な視座を日常生活や社会事象に活用するために，対話によって思考を深め，広げることで問題解決する力を養う。
③ 報告課題（レポート）	教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，歴史的な事象の本質を把握・整理し，それらを歴史的視座(歴史的事象を解釈するにあたっての視点やものの見方・考え方)を用いて解決策を提案する力，問題解決するために自分が考えた道筋を他者に明確に表現できる力を養う。

○メディア箇所

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第1章 先史社会の生活と文化		旧石器時代の日本	p8~9	1	旧石器時代の日本について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業，報告課題	○			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第1章 先史社会の生活と文化		縄文文化	p10~13	1	縄文文化が生まれた背景や文化の特色について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業	○			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第1章 先史社会の生活と文化		弥生文化と小国家の形成	p14~17	1	弥生文化の特色と小国家の形成について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業，報告課題	○			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第2章 歴史資料と先史・古代の展望		先史・古代の歴史を組み立てる資料の特質	p18~19	1	先史・古代の歴史を組み立てる資料から年代の特定方法に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第2章 歴史資料と先史・古代の展望		東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史	p20～21	1	東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史に関する資料から日本と東アジアとの関係に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第2章 歴史資料と先史・古代の展望		木簡が語る律令国家の実態	p22～23	1	木簡を基に，資料から律令国家の実態に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第3章 古代社会の形成と展開	1節　律令国家の形成と古代文化の展開	大和王権と古墳文化	p24～29	1	「大和王権は，人々をどのように支配していったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第3章 古代社会の形成と展開	1節　律令国家の形成と古代文化の展開	飛鳥の朝廷と文化	p30～33	1	「東アジア情勢の変化のなかで，倭国はどのような国際関係を築こうとしたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	◎	○		
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第3章 古代社会の形成と展開	1節　律令国家の形成と古代文化の展開	律令国家の形成と白鳳文化	p34～40	1	「律令国家とはどのような国家だったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第3章 古代社会の形成と展開	1節　律令国家の形成と古代文化の展開	平城京と天平文化	p41～49	2	奈良時代にはどのような政治がおこなわれたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
4月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第3章 古代社会の形成と展開	2節 摂関政治と貴族文化	平安遷都と唐風文化	p50～54	2	「平安時代の初期には，どのような政治改革がおこなわれたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	◎		第1回・第2回 4月30日	
5月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第3章 古代社会の形成と展開	2節 摂関政治と貴族文化	貴族社会と摂関政治	p55～59	2	「藤原北家はどのようにして権力を握ったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
5月	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第3章 古代社会の形成と展開	2節 摂関政治と貴族文化	国風文化	p60～64	1	「国風文化の特徴は何か」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
5月	第2編 中世の日本と世界	第1章 中世社会の成立		朝廷政治の変容	p66～69	2	院政の特色や荘園公領制の成立について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業，報告課題	○			
5月	第2編 中世の日本と世界	第1章 中世社会の成立		武士の政治進出	p70～73	2	武士の社会進出と平氏政権の誕生，日宋貿易と院政期の文化の特色について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業，報告課題	○			
5月	第2編 中世の日本と世界	第2章 歴史資料と中世の展望		武家権力による日本社会の変容	p74～75	1	武家権力による日本社会の変容に関する資料から中世の権力構造に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月	第2編 中世の日本と世界	第2章 歴史資料と中世の展望		厳しい自然環境での人々の生存戦略	p76～77	1	厳しい自然環境での人々の生存戦略に関する資料から中世の人々の暮らしに関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○			
5月	第2編 中世の日本と世界	第2章 歴史資料と中世の展望		中世日本の国際交流	p78～79	1	中世日本の国際交流に関する資料から中世の国際交流の特徴に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○			
5月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	1節　武家政権の成立と朝廷	鎌倉幕府の誕生	p80～85	2	「鎌倉幕府はどのような過程を経て成立したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
5月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	1節　武家政権の成立と朝廷	執権による政治	p86～89	2	「承久の乱によって幕府と朝廷の関係はどうなったのか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業	○			
5月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	1節　武家政権の成立と朝廷	モンゴル襲来と社会の変貌	p90～93	2	「モンゴル襲来に対して鎌倉幕府はどう対処したのか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
5月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	1節　武家政権の成立と朝廷	鎌倉の仏教と文化	p94～97	1	「新たな社会の成立により，どのような宗教や文化が生まれたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2節　武家支配の広がりと国際交流	南北朝の動乱と室町幕府の成立	p98～101	2	「室町幕府はどのようにして政治体制をととのえていったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2節　武家支配の広がりと国際交流	倭寇と東アジア国際交流	p102～105	1	「倭寇の活動は，東アジア地域にどのような影響をあたえたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○		第3回 5月31日	
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2節　武家支配の広がりと国際交流	室町時代の社会と経済活動	p106～109	1	「室町時代に村落や都市はどのように変化したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2節　武家支配の広がりと国際交流	自立する戦国大名	p110～115	2	「戦国時代はどのようにして始まったのか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2節　武家支配の広がりと国際交流	室町文化	p116～121	2	「室町時代のそれぞれの時期にどのような文化が生まれたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月	第3編 近世の日本と世界	第1章近世社会の形成		地球的世界の形成と日本	p124～127	1	15～16世紀の日本と海外との関係について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
6月	第3編 近世の日本と世界	第1章近世社会の形成		織豊政権による全国統一	p128～131	2	織豊政権による諸政策の目的や意義について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月	第3編 近世の日本と世界	第1章近世社会の形成		桃山文化	p132～133	1	桃山文化の特色について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業	○			
6月	第3編 近世の日本と世界	第2章　歴史資料と近世の展望		参勤交代と幕藩体制	p134～135	2	参勤交代と幕藩体制に関する資料から近世の支配のしくみに関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○			
6月	第3編 近世の日本と世界	第2章　歴史資料と近世の展望		百姓たちの生活世界	p136～137	2	百姓たちの生活世界に関する資料から近世を生きた人々の生活に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○		第4回・第5回 6月30日	
6月	第3編 近世の日本と世界	第2章　歴史資料と近世の展望		江戸時代の対外関係	p138～139	2	江戸時代の対外関係に関する資料から近世の外交の特色に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○			
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1節幕藩体制の確立	江戸幕府と大名・朝廷	p140～144	2	「江戸幕府の将軍は，どのように権力を確立したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1節幕藩体制の確立	近世の身分と人々の暮らし	p145～149	1	「江戸時代の身分はどのように分かれていたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業	○			
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1節幕藩体制の確立	アジアのなかの幕藩体制	p150～155	2	「アジアの諸地域と向き合うなかで江戸幕府はどのような対外政策を進めていったのだろうか」などの課題について複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1節幕藩体制の確立	武断政治から文治政治へ	p156～157	1	「17世紀後半，江戸幕府の政治はどのように変化したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1節幕藩体制の確立	幕藩体制下の社会の発展	p158～165	2	「江戸時代の前半，どのような産業が発達し，どのような文化が生まれたのか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	2節近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	享保の改革と経済の発展	p166～169	1	「18世紀にはどのような社会の変化がみられたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○		第6回 7月31日	
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	2節近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	近世社会の成熟と危機の始まり	p170～174	2	「18世紀後半，人々の生活はどのように変化したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	2節近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	幕藩体制の立て直し	p175～179	2	「化政文化にはどのような特徴があるのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	2節近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	幕藩体制の動揺	p180～186	2	「幕藩体制の動揺と考えられる事例にはどのようなものがあるだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第1章近代社会の幕開け		開国と開港	p188～191	2	列強の東アジア進出や日本の開国と開港，それらが国内に及ぼした影響などについて，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
7月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第1章近代社会の幕開け		幕府の崩壊と明治維新	p192～197	2	江戸幕府が崩壊する要因や，明治新政府による諸政策の意図などについて，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。	教科書，映像授業，報告課題	○			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第2章歴史資料と近現代の展望		資本主義の発展と生活	p198～199	2	資本主義の発展と生活に関する資料から日本経済と人々の生活の変化に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第2章歴史資料と近現代の展望		国民国家と政治参加	p200～201	2	国民国家と政治参加に関する資料から政治と国民の関係に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第2章歴史資料と近現代の展望		世界のなかの近現代日本	p202～203	1	世界のなかの近現代日本に関する資料から日本の外交政策や貿易に関わる情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。	教科書，映像授業	○		第7回 8月31日	
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	1節近代的制度の導入と新しい国際関係	制度改革と殖産興業政策	p204～206	1	「明治初期の改革にはどのようなものがあるだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	1節近代的制度の導入と新しい国際関係	文明開化と教育制度の整備	p207～209	1	「欧米の文化や思想は，どのように人々のあいだに広がっていったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	1節近代的制度の導入と新しい国際関係	東アジア世界のなかの明治政府	p210～213	1	「明治初期の日本はどのような関係を諸外国と結んだのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	1節近代的制度の導入と新しい国際関係	政府専制への批判	p214～217	1	「政府の政治や政策への反対がおこった理由にはどのようなものがあげられるだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	2節国民国家と資本主義の成立	立憲政治の成立	p218～221	1	「大日本帝国憲法はどのような内容だったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	2節国民国家と資本主義の成立	対外関係の変容と日清戦争	p222～225	2	「大日本帝国憲法が制定されたころの日本の対外関係はどのようなものだったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
8月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	2節国民国家と資本主義の成立	産業革命と資本主義の定着	p226～229	1	「それぞれの産業はどのように発展したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	2節国民国家と資本主義の成立	教育制度の整備と新しい文化	p230～233	1	「明治期にどのような文化が生まれたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	2節国民国家と資本主義の成立	日露戦争と帝国日本	p234～237	1	「日露戦争の前後に，日本はどのような対外政策を展開したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○		第8回 9月30日	
9月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	2節国民国家と資本主義の成立	日露戦争後の社会と政治	p238～239	1	「日露戦争後，国内ではどのような動きがおこったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	3節両大戦間期の日本	都市化・重工業化と生活の変化	p240～245	1	「大正期の産業や文化にはどのようなものがあったか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○	○		
9月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	3節両大戦間期の日本	政党政治とデモクラシー	p246～249	2	「『護憲』という言葉は何をあらわしていたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業	○			
9月	第4編 近現代の地域・日本と世界	第3章 近現代社会の展開	3節両大戦間期の日本	国際社会のなかの日本	p250～253	2	「第一次世界大戦中と戦後に日本はどのような国際関係を築いたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
9月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	4節第二次世界大戦と 日本	昭和恐慌と立憲政治の 動揺	p254～257	1	「この時期の経済政策にはどのような背景があり，どのような結果をもたらしたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○		第9回・映像視聴報告 10月31日	
9月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	4節第二次世界大戦と 日本	中国侵略と戦時体制への 移行	p258～261	2	「日中戦争はどのように始まり，どのように展開したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	4節第二次世界大戦と 日本	戦時体制の強化と第二次 世界大戦の展開	p262～269	2	「第二次世界大戦はどのように始まり，どのように終わったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	5節占領と改革	占領と日本国憲法の成立	p270～275	2	「戦後，政治や経済，社会などの各分野でどのような改革が進められたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	5節占領と改革	冷戦の開始と経済復興	p276～279	1	「第二次世界大戦後，国際情勢はどのように変化したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	6節国際社会への復帰 と高度経済成長	国際社会への復帰と対米 協調	p280～285	1	「サンフランシスコ平和条約は何を解決し，何を解決しなかったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	6節国際社会への復帰 と高度経済成長	高度経済成長	p286～291	1	「日本の高度経済成長をささえた条件は何だろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	7節アジア情勢の変化 と経済大国日本	1970年代の国際社会と日 本	p292～293	1	「世界情勢の変化に対し，日本の政府はどのように対応したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	7節アジア情勢の変化 と経済大国日本	安定成長への転換	p294～299	1	「高度経済成長はどのようにしておわり，バブル経済にいたったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	8節新しい国際秩序と 日本の課題	激変する世界と日本	p300～303	1	「冷戦が終結し，世界はどのように変化したのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	8節新しい国際秩序と 日本の課題	21世紀の日本	p304～307	1	「現代日本がかかえている課題とは何だろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第4章 現代の日本の 課題の探究		社会や集団と個人 世界のなかの日本 伝統や文化の継承と創造	p308～313	1	「社会や集団と個人」・「世界のなかの日本」・「伝統や文化の継承と創造」をテーマに，歴史的経緯をふまえて，現代の日本の課題を理解している。	教科書，映像授業	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第4章 現代の日本の 課題の探究		地震と日本人	p316～317	1	「地震と日本人」をテーマに，歴史的経緯をふまえて，現代の日本の課題を理解している。	教科書，映像授業	○			
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第4章 現代の日本の 課題の探究		感染症の歴史 歴史のなかの男性と女性	p318～321	1	「感染症の歴史」・「歴史のなかの男性と女性」をテーマに，歴史的経緯をふまえて，現代の日本の課題を理解している。	教科書，映像授業，報告課題	○			
					計	105	単位時間					

【学習上の注意】
☞歴史的な事象に目を向け，現代の諸問題を解決する方法を考える際の参考にしましょう。
☞歴史を学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り，理解を深めましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5snt

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	日本史における基本的な知識を既習の知識と関連付け，より深く理解するとともに，日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる知識が身についている。
思考・判断・表現	歴史的な事象を論理的に捉え，現実の課題解決に役立て，解決の過程や結果を振り返って総合的・発展的に考え，歴史的事象の特徴や変化を簡潔・明瞭に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	歴史を学ぶ楽しさを実感し、粘り強く考え、歴史的視座(歴史的事象を解釈するにあたっての視点やものの見方・考え方)を日常生活や社会事象に活用し，歴史的な事象の過程を振り返って考察を深めたり評価している。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）　　：９回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点　　：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	世界史探究	通年	選択	3	105時間（50分×105）	2単位時間	東京書籍 『世界史探究』 2 東書　世探 701	授業者に準ずる	大川 飛鳥

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【学習目標】

〈知識・技能〉　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

〈思考・判断・表現〉　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

〈主体的に取り組む態度〉　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【学習方法】

①メディア授業　視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、世界の歴史の変化を多面的・多角的に考察し、表現できる。
② 本校スクーリング　対面授業で諸資料を活用することで、諸資料の活用方法や世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身につける。
③ 報告課題（レポート）　基本的な世界の各地域の変化に関わる知識を包括的に得て、歴史を考察、構想する学習を通じて広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に関わる姿勢を身につける。

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月		序章 世界史へのまなざし	1　茶と世界史		8～10	3	・「茶」を基に，日常生活が世界の歴史とつながっていることを，諸資料から読み取り，理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇		第1回 5月31日	
4月			2　地球と人類の誕生		11～14	1	・地球の誕生や人類の出現，原人から新人への人類の歴史などについて，諸資料から読み取り，理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
4月	第1編　諸地域の歴史的特質				15～21	2	・王権と身分・階級，生活と生業，宗教，文化・思想などに関する諸資料を活用し，情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
4月		第一章 古代文明の出現	1　農業と気候		22～25	0.5	・農耕と牧畜のはじまりにより人類の生活様式が大きくかわったことや，地球上のさまざまな自然環境に応じて文明が誕生したことについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			2　古代オリエントとエーゲ海地域		26～30	1.5	・メソポタミア文明，エジプト文明，エーゲ文明がそれぞれの自然環境とどのように関係しておこったのか，それらの文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			3　南アジアの古代文明		31～32	0.5	・インダス文明が南アジアの自然環境とどのように関係しておこったのか，インダス文明やアーリヤ人の来住がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			4　東アジアにめばえた文明		33～34	0.5	・黄河文明が東アジアの自然環境とどのように関係しておこったのか，黄河文明や殷・周がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第二章 西アジアと地中海周辺	1　古代オリエントの統一		35～39	1	・アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			2　古代ギリシアとヘレニズム世界		40～43	1	・アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがあるのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			3　ローマ帝国と地中海世界		44～49	2	・ローマがなぜ共和政から帝政に移行したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			4　古代末期の社会と地中海世界の解体		50～53	1	・ローマ帝国の政治，社会，宗教の変化やキリスト教の広まりが，その後のヨーロッパや西アジアにどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			5　地中海世界とアジア		54～57	1	・ローマ帝国と西アジアが，南アジアや東アジアとどのようにつながっていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			6　イスラーム世界の成立		58～60	1	・イスラームとはどのような特徴をもった宗教なのか，どのように広まったのかについて，ほかの宗教と比較するなどして理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇	〇		
5月			7　中世初期の東西ヨーロッパ		61～64	1	・東西ヨーロッパはそれぞれどのような変容をとげたのか，どのように影響を及ぼしあい，どのような相違点と共通点をもっていたのかについて，理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
5月		第三章 南アジア	1　南アジアにおける国家形成		65～68	1	・南アジアの諸宗教の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
5月			2　インド世界の形成		69～72	1	・南アジアの国家や社会の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇		第2回	

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月		第四章 東南アジア	1　海の道の形成と東南アジア		73～75	1	・東南アジア地域において，国家がどのように形成されたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		5月31日	
5月			2　東南アジア諸国家の再編成		76～77	1	・島嶼部と大陸部の国家や文化がそれぞれどのような特徴をもっているのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第五章 東アジアと中央ユーラシア	1 古代帝国の誕生		78～84	2	・秦漢帝国や匈奴帝国はどのようにして生まれ，どのような性格をもっていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月			2　中国の分裂と多様化		85～88	1	・中国と周辺地域の交流はどのようにして広がったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月			3　隋唐帝国と東アジア		89～95	1	・隋唐帝国はどのようにして諸地域を統合したのか，また，日本や東アジアの国々は隋唐の文化をどのように受容したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月			4　草原地帯とトルコ化イスラーム化		96～99	1	・トルコ系の民族がユーラシア大陸の広範囲に広がっていく過程について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第六章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ	1　アフリカ		100～101	1	・ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について，自然環境との関わりに注目しながら理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2　オセアニア		102	1	・人類が広大な太平洋に広がっていく過程を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3　古アメリカ		103～104	1	・南北アメリカ大陸の文明の独自性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	第2編 諸地域の交流と再編	第七章 イスラーム世界の拡大と繁栄	1　イスラーム世界の発展		105～117	1	・カリフと地方政権の関係に注目して，イスラーム世界が複数の国家に分裂していく過程を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2　イスラーム文明		118～121	1	・「商業」と「学問」をキーワードに，イスラーム文明の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第八章 中世ヨーロッパ	1　中世ヨーロッパ社会の展開		122～127	2	・西ヨーロッパの封建社会はどのような背景で成立し，東ヨーロッパの民族・国家・宗教はどのように結びついたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第3回 6月30日	
6月			2　中世ヨーロッパ社会の成熟		128～134	2	・11世紀以降，西ヨーロッパの農業，商業，都市はどのように変容したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3　中世ヨーロッパの文化		135～136	1	・中世西ヨーロッパの文化は他地域の文化やキリスト教からどのような影響を受けたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			4　中世ヨーロッパ社会の再編		137～140	1	・中世後期の西ヨーロッパでは，社会的・政治的にどのような変動がおこったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			5　ルネサンス		141～144	1	・ルネサンスはどのような社会的背景をもち，どのような影響を後世に与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第九章 中華世界の変容とモンゴル帝国	1　唐の崩壊後の東アジア		145～150	1	・10世紀の東アジア諸国の大変動はどのようにしておこったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2　宋代の新展開		151～153	1	・唐宋変革とよばれる中国社会の大変革はどのようにしておこったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3　モンゴル帝国		154～156	1	・モンゴル帝国はどのようにして大帝国へと発展したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			4　元の成立		157～159	1	・モンゴルの支配は，中国や朝鮮，日本の社会や文化にどのような変化をもたらしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第十章 インド洋海域世界の発展と東南アジア	1　イスラームのインドとインド洋海域への浸透		160～163	1	・イスラームはインド社会にどのように広がり，どのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
6月			2 海と陸の結合 ―― 東南アジア世界の発展		164～166	1	・東南アジアにおいて国家が発展する過程が，島嶼部と大陸部で異な要因について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第4回 6月30日	
6月		第十一章 大交易時代と世界の一体化	1　アジア交易圏の再編と活況		167～169	0.5	・アジアの交易世界は，なぜマラッカを中心に再編されることになったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2　ポルトガルのアジア進出		170～171	0.5	・ポルトガルがアジアに進出した理由と，そのことがアジアの交易世界にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3　明と日本・朝鮮の動向		172～178	2	・明の国内重視の国家体制と活発な交易がいかに両立したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			4　一体化に向かう世界		179～180	1	・スペインがアメリカやアジアに進出した理由と，そのことが世界の交易のあり方をどのようにかえたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			5　大交易時代の世界		181～185	2	・大交易時代に，なぜオランダが最も有力な交易勢力の一つになったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第十二章 ユーラシア諸帝国の繁栄	1　中央アジアと西アジアの繁栄		186～191	1	・ティムール朝，サファヴィー朝，オスマン帝国の相違点と共通点について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第5回 7月31日	
7月			2　インドの大国 ―― ムガル帝国		192～194	1	・ムガル帝国の繁栄は，世界の諸地域の動きとどのように関連していたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3　清と東アジア		195～201	2	・清はなぜ多様な文化や宗教を有する人々を，長期にわたり統治することができたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第十三章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	1　主権国家群の形成と宗教改革		202～208	1	・近世の主権国家はどのような特徴をもっていのか，また国家の形成と宗教にはどのようなかかわりがあったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			2　オランダの繁栄と英仏の国家形成		209～213	2	・オランダの繁栄と英仏の国家建設の関係，三十年戦争がヨーロッパとドイツに与えた影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3　商業覇権と植民地建設		214～217	1	・ヨーロッパ諸国の貿易と植民地建設は，ヨーロッパ，アフリカ，アメリカ大陸にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			4　啓蒙専制国家の発展		218～220	2	・英仏に追いつこうとした新興国ではどのような改革が行われたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			5　近世ヨーロッパの社会と文化		221～224	1	・自然科学，哲学，芸術などの分野でどのような新しい思想が生まれたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	第3編 一体化していく世界 「一体化していく世界への問い」	第十四章 国民国家と近代社会の形成	1　産業革命と工業化		225～234	3	・18世紀半ばから19世紀半ばにかけて，欧米で産業革命や，国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか，また，このような変革は，現代までどのような影響を与えているのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			2　アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立		235～238	1.5	・北アメリカの政治変革によって，どのような権利が獲得され，権利が認められなかったのはどのような人々だったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3　フランス革命とウィーン体制		239～243	1.5	・フランス革命の展開と他国への影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			4　自由主義の台頭と新しい革命の波		244～249	1	・1848年にヨーロッパ諸国でおこった出来事の背景と，それによって明らかになった課題はどのようなものだったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			5　19世紀後半のヨーロッパ諸国		250～255	2	・ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権競争がどのような結果をもたらしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			6　南北アメリカの発展		256～258	1	・南北戦争前後の時代のアメリカ各国の社会はどのような課題をかかえていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回 7月31日	
7月		第十五章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	1　産業資本主義の世界への波及と欧米社会		259～262	1	・「世界の工場」とよばれたイギリスの急速な工業化が，世界の結びつき方をどのようにかえたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月			2　西アジアの危機と改革のはじまり		263～265	1	・西アジア・北アフリカにおいて，ヨーロッパ諸国との関係の変化はどのような影響をもたらしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3　南アジア・東南アジアの植民地化		266～269	1	・南アジアと東南アジアの各地で植民地支配が拡大した理由と，そのことが各地の社会にどのような影響を及ぼしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			4　清における開発の限界と二つのアヘン戦争		270～271	1	・なぜイギリスは清と争ったのか，また，アヘン戦争でのイギリスの勝利は何を意味したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第十六章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	1　列強の覇権争い		272～278	2	・なぜ19世紀後半にヨーロッパ列強がアフリカ内陸部を分割して支配するようになったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			2　西アジア・中央アジアの変革		279～282	1	・列強に対して軍事的・経済的に劣勢に立たされた西アジアの諸国で生じた変革とその背景について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			3　南アジア・東南アジアの民族運動		283～286	1	・南アジアと東南アジアの民族運動のそれぞれの特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			4　清の体制転換と近代国家建設の模索		287～297	1	・経済成長の鈍化や外国の侵略などに，清がどのように対応したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第7回 8月31日	
8月		第十七章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	1　第一次世界大戦		298～302	1	・開戦時点で短期戦が予想された大戦は，なぜ，どのように長期化したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			2　ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編		303～307	1	・大戦前と大戦後を比べて，国際秩序のあり方はどのようにかわったのか，また，それはなぜなのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			3　大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ		308～311	1	・戦間期アメリカに出現した大衆社会とはどのようなものであり，それはほかの諸国や政治のあり方にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			4　アジア・アフリカでの国家形成の動き		312～317	2	・第一次世界大戦の結果は，アジア各地の独立運動や民族形成にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第十八章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	1　世界恐慌と政治経済の変容		318～321	1	・世界恐慌は，諸地域の経済体制，そして政治体制にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			2　国際協調体制の動揺		322～325	1	・世界恐慌が与えた政治，経済の変化は国際協調体制にどのような打撃を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			3　第二次世界大戦の開戦と展開		326～331	2	・ヨーロッパではじまった戦争が，どのようにアジア・太平洋での戦争と連動し，「第二次世界大戦」となったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			4　戦後秩序構想と冷戦の形成		332～336	2	・大戦後半に国際秩序の再建はどのように構想され，それがどのように戦後米ソの対立を軸とする冷戦へと展開していったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第8回 9月30日	
9月		第十九章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	1　アジア・太平洋戦争と日本の敗戦		337～339	1	・第二次世界大戦終結への過程で，連合国はどのような戦後構想をいだき，それをどのように実現しようとしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			2　帝国の解体と分断国家の形成		340～342	1	・日本の敗戦後，「帝国」はいかに解体され，日本の植民地や占領地域はどのような状況に置かれたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			3　アジア諸国の独立と脱植民地化		343～345	1	・第二次世界大戦終結後，植民地支配はどのように再開され，また独立した国はどのような課題に直面したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			4　朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」		346～348	1	・朝鮮戦争は東アジアにおける冷戦の形成とどのようにかかわり，どのような特徴を残したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	第4編 グローバル化と地球的課題	第二十章 冷戦の世界化と国際制度	1　冷戦と政治・経済秩序		349～354	1	・冷戦下の世界では，政治，経済，安全保障の秩序はどのように構想されたのか，また，どのような均衡がみられたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			2　アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力		355～359	2	・独立国となったアジア・アフリカ諸国はどのような課題に直面し，また，これらの国家の出現は国際社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月			3　平和共存と社会主義圏の多極化		360～362	1	・冷戦下，東西のバランスはどのように推移し，また，多極化はどのように進展したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第9回・映像視聴報告 10月31日	
10月		第二十一章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	1　アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容		363～367	1	・1970年代にアメリカの覇権に動揺が生じた原因は何だろうか，また，それは米ソ関係や世界にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			2　冷戦の変容と世界の諸地域		368～371	1	・アジア，アフリカ，ラテンアメリカの各国や社会が，1970年代の冷戦の変容に対してどのような選択をして対応したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			3　冷戦の終結とその後の世界		372～374	1	・冷戦は米ソ間やヨーロッパではどのように終結したのだろうか，また，ほかの各地域での冷戦は終結したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			4　アメリカ合衆国の復調とグローバル化		375～377	1	・冷戦終結後，世界秩序はどのような方向に向かったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		第二十二章 21世紀の地球的課題と人類社会	1　グローバル化にともなう世界の変容		378～379	0.5	・グローバル化にともなって生じた課題にはどのようなものがあり，そうした課題はなぜ生みだされたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			2　地球的諸課題		380～382	0.5	・なぜグローバル化の進展にともなって解決がいっそう困難になった地球的諸課題があるのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			3　新たな秩序変容		383～385	1	・グローバル化の進展によって生じた秩序の変容にはどのようなものがあるかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計105単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞世界史探究はグローバル化している現代において教養として重要な科目です。世界の国々がどのような歴史をたどってきたのか、各国の特色をつかみながら学習に取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5sst

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。
思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
公民	公共	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	1単位時間	東京書籍『公共』 2 東書　701	授業者に準ずる	文田 岳士

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

人間と社会の在り方について見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【学習目標】

〈知識・技能〉	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。
〈思考・判断・表現〉	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います 。
〈主体的に取り組む態度〉	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権をになう公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めます。

【学習方法】

①メディア授業	視覚，聴覚に訴える教材を利用することで，幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。
② 本校スクーリング	対面授業を実施し，諸資料を用いて，資料の活用方法を学び，また主体的に課題を追究することができる。
③ 報告課題（レポート）	教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民と資質・能力をを学び，地図や地形から情報を読み取る技術を身につけることができる。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	第１部「公共」のとびら	第１章 公共的な空間をつくる私たち―社会のなかの自己	(1)現代社会に生きる青年		P10～13	2	青年期の特徴や発達課題としてのｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの確立の理解を手がかりに，青年期に生きる自己形成の課題について理解することができる。	教科書、映像授業	○		第1回 5月31日	
4月	第１部「公共」のとびら	第１章 公共的な空間をつくる私たち―社会のなかの自己	(2)社会的な関係の中で生きる人間	アプローチ 現代の世界と宗教	P14～20	2	人間存在を，個人としての尊厳，社会的存在，伝統と文化と人間の三つの側面から，カント，J.S.ミル，アーレント，ハーバーマス，和辻哲郎，丸山真男の考え方を手がかりに理解することができる。	教科書、映像授業	○			
4月	第１部「公共」のとびら	第2章公共的な空間における人間としての在り方ー共に生きるための倫理	１功利主義と幸福の原理		P22～23	2	行為選択の理由付けについて，目的論と義務論の考え方があること。また、目的論に関して，帰結主義による功利主義と徳倫理学の主な考え方を理解することができる。	教科書、映像授業	○			
4月	第１部「公共」のとびら	第2章公共的な空間における人間としての在り方ー共に生きるための倫理	２義務論と公正の原理	活用　生命倫理について考える 活用　環境倫理について考える	P24～29	2	義務論について，カントの道徳法則や自律の意味、社会的不平等の是正について，ロールズの公正としての正義の考え方を理解することができる。また、功利主義と義務論の考え方を手がかりに，環境とエンハンスメントについて考察し議論をする中で、理解することができる。	教科書、映像授業	○			
4月	第１部「公共」のとびら	第3章公共的な空間における基本的原理－私たちの民主的な社会	１公共的な空間における協働とは	アプローチ 「囚人のジレンマ」の自発的克服	P36～38	2	社会における利害の調整のしくみとしての市場の働きと国家の役割，及びそれぞれの課題について理解することができる。	教科書、映像授業	○	○		
5月	第１部「公共」のとびら	第3章公共的な空間における基本的原理－私たちの民主的な社会	2民主主義とは		P40～41	2	社会における意見や利害の調整，意思決定における民主主義の意義，それらの課題について理解することができる。	教科書、映像授業	○			
5月	第１部「公共」のとびら	第3章公共的な空間における基本的原理－私たちの民主的な社会	３立憲主義とは		P42～43	2	法の支配や近代立憲主義の意義について，歴史的背景もふまえながら理解し、立憲主義と民主主義の緊張関係の意味について理解することができる。	教科書、映像授業	○	○		
5月	第１部「公共」のとびら	第3章公共的な空間における基本的原理－私たちの民主的な社会	４人権保障の意義と展開	ゼミナール日本国憲法の基本原理①②	P44～51	2	公共的な空間における基本的原理の一つである，人間の尊厳と平等について，その意義，歴史的展開，現代の動向について理解することができる。	教科書、映像授業	○	○		
5月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第1章民主政治と私たち	テーマ1民主政治と政治参加	①私たちの民主政治 ②地方自治のしくみと役割	P58～63	2	政治の働き，民主主義の具体的な姿について理解するとともに，現在の民主主義の課題について考察し、地方自治の原則としくみ，地方財政のしくみと課題，住民参加の形態と意義について理解することができる。	教科書、映像授業	◎			
6月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第1章民主政治と私たち	テーマ1民主政治と政治参加	③国会のしくみと役割	P68～69	2	三権分立と国会の地位，国会の役割と権限，国会の構成と運営について，実際の政治事象とも関連させながら理解し、政治のしくみと制度を前提として展開される実際の政治の運営の現状と課題について考察することができる。	教科書、映像授業	◎		第2回 6月30日	
6月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第1章民主政治と私たち	テーマ1民主政治と政治参加	④内閣のしくみと役割 ゼミナール　世界の政治体制	P70～73	2	内閣と国会との関係，内閣の役割と行政組織，行政国家化と行政改革について，実際の政治事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	◎			
6月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第1章民主政治と私たち	テーマ1民主政治と政治参加	⑤政治参加と選挙 ⑥政党と利益集団	P74～77	2	政治参加のさまざまな方法，民主政治と選挙制度，日本の選挙制度と課題について，実際の事象とも関連させながら理解することができる。また、民主政治における政党や利益集団の役割，政治資金にかかわる課題について考察することができる。	教科書、映像授業	◎			
6 月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第1章民主政治と私たち	テーマ1民主政治と政治参加	⑦メディアと世論 模擬選挙をやってみよう	P78～83	2	民主主義における世論の意義，メディアの世論への影響，インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて理解することができる。また、実際に模擬選挙を行うことで選挙についての諸課題を考察することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第2章法の働きと私たち	テーマ1法や規範の意義と役割	①法と社会規範の役割 ②法の成立と適用	P86～89	2	法の性格や役割，法の分類，法の成立の歴史や対象などによって区分されることについて考察し、法案の作成と提出，民事裁判と刑事裁判，裁判における法の適用，法の解釈の意味などについて理解することができる。	教科書、映像授業	○		第3回 7月31日	
7月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第2章法の働きと私たち	テーマ2市民生活と私法	①市民生活と法	P94～95	2	市民生活における私法の役割について，民法の概要，私法の３原則，過失責任の原則，契約自由の原則や契約の種類，契約自由の原則の修正，消費者契約の特性と消費者法制，消費者市民社会の形成などの点から理解することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第2章法の働きと私たち	テーマ2市民生活と私法	②多様な契約 ③消費者の権利と責任	P96～99	2	契約自由の原則，契約の種類，契約自由の原則の修正などについて理解することができる。消費者契約や消費者法制が，消費者の権利とその尊重，自立支援をめざしていることについて具体的な例について考察することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第2章法の働きと私たち	テーマ3国民の司法参加	①司法の仕組みと役割	P104～105	2	司法権とその独立，裁判制度のしくみ，違憲審査権について理解することができる。また、司法権の独立，三審制，違憲審査権の意義について考察することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第2章法の働きと私たち	テーマ3国民の司法参加	②刑事司法と司法参加の意味	P106～107	2	刑事司法のしくみや原則，刑事司法の課題，裁判員制度や検察審査会制度について理解することができる。	教科書、映像授業	○			
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ1現代の経済と市場	①私たちと経済	P114～115	2	経済活動の意義，経済主体と経済循環，グローバル化のなかの経済活動の動きについて，実際の経済事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			
8 月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ1現代の経済と市場	②市場経済の仕組み ゼミナール　価格決定のメカニズム	P118～120	2	市場経済における価格の働き，市場の失敗と政府の役割について，実際の経済事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ1現代の経済と市場	③国民所得と経済成長	P122～123	2	景気変動や物価の変動，インフレーションなどが人々の生活にどのような影響を及ぼすか考察することができる。	教科書、映像授業	○		第4回 8月31日	
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ2市場経済における金融の働き	①金融の仕組みと働き	P128～129	2	金融と金融システムが日々の生活と密接にかかわっていることに気付くき、貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融について理解することができる。	教科書、映像授業	○			
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ2市場経済における金融の働き	②中央銀行の役割と金融環境の変化	P130～131	2	中央銀行の役割，中央銀行の行う金融政策，金融の自由化と金融商品の多様化について，実際の経済事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ3財政の役割と持続可能な社会保障制度	①財政の働き	P136～137	2	財政の三つの機能，財政政策，財政のしくみや租税法律主義などについて，実際の事象とも関連させながら理解することができる。また、財政と財政政策を通じて，経済政策や福祉政策その他の政策が行われていることを理解することができる。	教科書	○			
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ3財政の役割と持続可能な社会保障制度	②財政の課題	P138～139	2	財政問題については，資料を読み取りながら問題解決の方向性について考察することができる。	教科書、映像授業	○			
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ3財政の役割と持続可能な社会保障制度	③社会保障の考え方 ④社会保障の課題とこれから	P140～143	2	社会保障制度の意義について，多面的・多角的に考察し、少子高齢化の進展のなかで，今後の社会保障制度をどのように展望するか諸外国の例も参考に考えることができる。	教科書、映像授業	○			
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第4章私たちの職業生活	テーマ1働くことの意義と職業生活	①働くということ ②多様な職業選択	P148～151	2	働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割などについて，実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解することができる。また、職業選択の機会の多様化とこれからのキャリア形成の課題について考察することができる。	教科書、映像授業	○		第5回 9月30日	
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第4章私たちの職業生活	テーマ2労働者の権利と雇用・労働問題	①労働者の権利 ②現代の雇用・労働問題	P154～157	2	資本主義社会における労働契約の特性，労働者の権利と労働三法の内容，労働条件改善に向けた課題，労働問題について実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解することができる。	教科書、映像授業	○			
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ１国際社会のルールとしくみ	①国際社会の成り立ち ゼミナール　日本の領域と領土をめぐる問題	P160～163	2	国際社会の成立とその特色，国際法の意義と役割，国際社会の主体の変化などについて，実際の国際的な事象と関連させながら理解することができる。また、日本の領域と領土問題に対して自分の意見をまとめることができる。	教科書、映像授業	○			
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ１国際社会のルールとしくみ	②国際連合の役割	P164～165	1	集団安全保障としての国際連盟，国際連合の成立とそのしくみ，国際連合における安全保障，国際連合のさまざまな役割と課題について，実際の国際的な事象と関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ2国際社会と平和主義	①日本の平和主義と冷戦	P168～169	1	平和主義と日本国憲法第９条，自衛隊と日米安全保障条約，戦後日本の防衛政策について，実際の事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ2国際社会と平和主義	②冷戦後の世界と日本	P172～173	1	冷戦後の世界の動き，冷戦終結後の日本の安全保障政策，自衛隊と海外派遣などについて，実際の事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ3国際平和への課題	①現代の紛争とその影響	P176～177	1	現代の紛争とその要因，紛争の解決に向けた取り組み，難民問題について考察することができる。	教科書、映像授業	○			
10月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ3国際平和への課題	②平和な国際社会に向けて	P178～179	2	平和憲法をもつ日本として，国際平和に向けてどのような姿勢で何をなすべきか，多面的・多角的に考察し議論することができる。	教科書、映像授業	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ４グローバル化する国際経済	①貿易の仕組み	P184～185	2	自由貿易と保護貿易，自由貿易の推進に向けた体制，国際収支統計の意味について，実際の経済的事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			
10月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ４グローバル化する国際経済	②国際金融の仕組みと動向	P186～187	2	為替相場の変動が貿易取引や金融の動きにも影響を及ぼすことを理解することができる。	教科書、映像授業	○			
10月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ４グローバル化する国際経済	③グローバル化と今日の国際経済 ④国際経済の諸課題	P190～193	2	国際経済の秩序や動きは，経済だけでなく政治的な要因も含めて，さまざまな関係のなかで展開していることを理解し、その中の様々な諸課題について考察することができる。	教科書、映像授業	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞日々の生活を結び付けて自分事化して授業を受けましょう
☞ペア学習やグループ学習を多く取り入れるので、積極的にコミュニケーションをとっていきましょう

【映像視聴について】
公共 教科書解説動画
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4kok

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができている。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	▶よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ▶知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで， 自らの学習を深めようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
公民	倫理	通年	選択	2	70単位時間（50分×70）	1単位時間	東京書籍『倫理』 2 東書　倫理 701	授業者に準ずる	文田 岳士

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる能力を育成する。

【学習目標】

〈知識・技能〉　現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。

〈思考・判断・表現〉　現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。

〈主体的に取り組む態度〉　よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権をになう公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めます。

【学習方法】
①メディア授業　視覚，聴覚に訴える教材を利用することで，幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。
② 本校スクーリング　対面授業を実施し，諸資料を用いて，資料の活用方法を学び，また主体的に課題を追究することができる。
③ 報告課題（レポート）　視覚，聴覚に訴える教材を利用することで，幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容 編	章	節	項	教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S） メディア①（映像視聴学習）	面接指導（S） 本校スクーリング（面接指導）	報告課題（R） 該当回・問題番	備考
4月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第1章　人間の心のあり方	1節 人間とは何か	1　人間の特質 2　青年期の課題	10～12	1	「倫理」の学習の導入として，さまざまな人間の定義を整理して，人間の特質について多面的・多角的に考察するとともに，「考えること」の意義について，パスカルの原典資料の読解やグループでの話し合いを通じて考察を深めます。	教科書・映像視聴	〇	〇	第1回 5月31日	
4月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第1章　人間の心のあり方	2節 人間の心の働き	1　認知 2　感情と個性 3　発達	13~19	1	認知活動と知覚，学習の法則，記憶のプロセス，推論と問題解決や、感情の生起，感情と動機づけ，パーソナリティ，類型論と特性論について青年期までの発達と青年期以降の発達について，心理学の基本的な用語や考え方を理解して，自分の過去や将来にあてはめて考察し，他者との関係を通じて人間の心がどのように発達するか，話し合ったり意見を発表したりします。	教科書・映像視聴	〇			
4月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第1章　人間の心のあり方	思考と対話	「心」をめぐって	22～23	1	自分自身の性格について理解し，人間の心の働きについて自分自身の性格の形成と関連づけて考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	◎			
4月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	1節　哲学すること	1　人間と哲学	26～27	1	さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って，「哲学」の意味や，「哲学すること」の意義について理解し，自己の在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方の考察に関連付けて思索します	教科書・映像視聴	◎			
4月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	2節　ギリシャの思想	1　哲学の誕生と自然哲学	28～30	1	ギリシャにおける哲学の誕生について，その歴史的背景をふまえて考察します。また、真理や存在などに着目して，自然哲学の思想にみられる自然と人間との関わりや，世界を捉える知の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	2節　ギリシャの思想	2 ソクラテスとソフィスト	31～33	1	徳，真理，正義，義務，幸福などに着目して，ソフィストの活動や思想の特徴，ソクラテスの生涯や思想について多面的・多角的に考察することを通じて，自己の在り方生き方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	2節　ギリシャの思想	3　プラトン	34～36	1	真理，存在，善，正義，愛，美，徳，義務などに着目して，プラトンのイデア論や哲人政治などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて，自己の在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	2節　ギリシャの思想	4　アリストテレス	37～39	1	自然，真理，存在，幸福，徳，善，正義，義務，愛などに着目して，アリストテレスの自然観，倫理思想，社会観，政治論などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて，自己の在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	2節　ギリシャの思想	5　ヘレニズム・ローマ時代の思想	40～41	1	真理，存在，幸福，などに着目して，エピクロス派とストア派，懐疑派と新プラトン主義の思想について多面的・多角的に考察することを通じて，自己の在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	3節 宗教と社会	1　集団的な現象としての宗教	43~44	1	幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，人生における宗教の意義や，宗教が人間や社会に与えた影響について，先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりにして多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	4節　キリスト教	1　『旧約聖書』の倫理	45~46	1	幸福，正義，義務，真理，存在などに着目して，キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	4節　キリスト教	2　イエスの教え	47~49	1	福，愛，善，正義，義務，真理などに着目して，イエスの説いた神の特徴や愛の教えについて，ギリシャ思想における愛の思想と比較したりしながら多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	4節　キリスト教	3　キリスト教の展開	50～53	1	幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，キリスト教の成立と発展についての歴史的理解に基づいて，パウロの思想や教父哲学，スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索し	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	5節　イスラーム	1　ムハンマドとイスラームの教え	54~55	1	イスラームの誕生について，ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて考察します。また、幸福，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	5節　イスラーム	2　イスラームの展開	56~57	1	イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について，歴史的背景をふまえて考察します。また、幸福，善，正義，義務などに着目して，現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア①（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	該当回・問題番	
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	6節　仏教	1　古代インドの思想	58~59	1	幸福，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，仏教の成立に影響を与えたバラモン教の特徴，ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎		第2回 6月30日	
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	6節　仏教	2　ブッダの思想	60~62	1	幸福，愛，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，ブッダの説いた苦の認識や縁起の法，慈悲の実践について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	6節　仏教	3　仏教の展開	63~64	1	部派仏教や大乗仏教の成立，仏教の伝播について，歴史的背景をふまえて考察します。また、幸福，愛，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，部派仏教の特徴や，大乗仏教の特徴・諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	7節　中国の思想	1　孔子と儒家の思想	67~69	1	諸子百家の代表的な思想について，歴史的背景をふまえて考察します。また、幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理などに着目して，孔子の思想に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	7節　中国の思想	2　儒教の展開	70～72	1	幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，孟子や荀子，韓非子，朱子学と陽明学の思想について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	7節　中国の思想	3　老荘思想	73~74	1	幸福，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，老子や荘子の思想や，道家の思想の特徴について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	8節　芸術	1　美の発見と芸術の創造・鑑賞	75~76	1	幸福，愛，徳，真理，存在などに着目して，美を求める心や，それが人生を豊かにするものであること，芸術とは何か，芸術作品と鑑賞者の関係について，芸術家の考え方や生き方，作品を手がかりにして多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	8節　芸術	2　芸術と社会	77～78	1	幸福，愛，徳，真理，存在などに着目して，芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて，多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	思考と対話	「幸福」をめぐって	78～79	1	，幸福な人生のあり方について多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	◎			
6月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	思考と対話	「愛」をめぐって	80～81	1	愛とは何かについて多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	◎			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	1節　近代と人間尊重の精神	1　人間主体の時代	84～90	1	幸福，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革，近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○		第3回 7月31日	
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	2節　近代思想の展開	1　新しい学問の方法	91～93	1	幸福，真理，存在などに着目して，現代の価値観に影響を与えたベーコンとデカルトの思想について，両者の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	2節　近代思想の展開	2　経験論と合理論の対話	94～95	1	真理，存在などに着目して，経験論と合理論の代表的な思想について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	2節　近代思想の展開	3　社会契約説	96～99	1	幸福，善，自由，正義，義務などに着目して，現代の価値観に影響を与えた社会契約説や自然法思想，啓蒙主義に関する代表的な思想について，ホッブズ，ロック，ルソーの思想の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	3節　人格の尊厳と人倫の思想	1　カント―人格の尊厳	100～103	1	幸福，愛，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，カントの批判哲学，認識論，道徳思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	3節　人格の尊厳と人倫の思想	2　ヘーゲル―人倫の思想	104～106	1	幸福，愛，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，ヘーゲルの弁証法，歴史観，自由と人倫の思想，社会や国家の考え方について，カントの自由や道徳に関する考え方と比較したりしながら多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索しま	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	4節　社会変革の思想	1　功利主義と幸福	107～109	1	幸福，善，自由，正義，義務などに着目して，アダム・スミス，ベンサム，J.S.ミルの倫理思想について，現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	4節　社会変革の思想	2　社会主義思想	110～112	1	幸福，善，自由，正義，義務，存在などに着目して，現代の価値観に影響を与えた社会主義思想について，現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	4節　社会変革の思想	3　社会の進歩と実証的思想	113～115	1	幸福，善，正義，真理，存在などに着目して，現代の価値観に影響を与えた実証主義や進化論の考え方，プラグマティズムの思想について，現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	5節　理性への疑念	1　世界をとらえる知のあり方の変容	116～120	1	幸福，愛，自由，義務，真理，存在などに着目して，キルケゴール，ニーチェ，フロイトの思想を手がかりに，近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア①（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	該当回・問題番	
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	６節　人間観・言語観の問いなおし	1　存在への問い	121～124	1	幸福，愛，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，ハイデッガー，ヤスパース，サルトルの思想や，現象学，実存主義の考え方を手がかりに，従来の人間観や世界観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索しま	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	６節　人間観・言語観の問いなおし	2　新たな知の枠組み	125～128	1	幸福，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，ソシュール，レヴィ=ストロース，フーコーの思想を手がかりに，従来の人間観や世界観，言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	６節　人間観・言語観の問いなおし	3　現代思想の展開	129～130	1	幸福，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，ドゥルーズ，デリダ，ポストモダンの思想を手がかりに，従来の人間観や世界観，言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	７節　他者・自然とのかかわり	1　他者と言語	132～135	1	幸福，愛，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，他者とのかかわりや言語活動について，レヴィナス，ベンヤミン，アーレント，フランクフルト学派，ウィトゲンシュタインの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	７節　他者・自然とのかかわり	2　民主社会の成熟のために	136～137	1	幸福，愛，善，自由，正義，義務などに着目して，民主社会の成熟や公共性の問題について，ロールズやセン，リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	７節　他者・自然とのかかわり	3　社会参加と奉仕	138	1	幸福，愛，善，自由，正義，義務などに着目して，マザー・テレサの活動やこれまで学習した社会参加の思想を手がかりに人間の相互依存性やボランティアの意義について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方について，自らの問題として思索します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	７節　他者・自然とのかかわり	4　自然と人間とのかかわり	139	1	幸福，愛，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，ゲーテ，シュヴァイツァー，ベルクソン，その他の人物や宗教の自然観を手がかりに，人間が自然をどのようにとらえ，どのように自然とかかわるべきか，多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方	教科書・映像視聴	○		第4回 8月31日	
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	思考と対話	「自由」をめぐって	142～143	1	「自由に生きること」について多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	思考と対話	「正義」をめぐって	144～145	1	「なぜ，正しく生きるべきなのか」について多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	思考と対話	「真理」をめぐって	146～147	1	「世界の始まり」や「真理」について多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	１節　日本人の精神風土	1　日本人の自然観	150～152	1	日本人の伝統的な自然観の特質について，「おのずから」の働きや，『古事記』・和辻哲郎の著作などの記述に着目しながら，自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	１節　日本人の精神風土	2　日本人の宗教観	153～154	1	日本人の伝統的な宗教観の特質について，八百万神や「神々の共存」，「重層的文化」などの考え方に着目しながら，自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	１節　日本人の精神風土	3　日本人の倫理観	155～156	1	日本人の伝統的な倫理観の特質について，清き明き心，正直，誠，いさぎよさ，やさしさなどの考え方に着目しながら，自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	２節　仏教と日本人の思想形成	1　仏教の受容	157～160	1	日本の古代史に関する基本的な理解にもとづき，日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか，また，仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか，仏教の伝来と奈良仏教，平安仏教の展開，神仏習合の考え方を手がかりとして，古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	２節　仏教と日本人の思想形成	2　仏教の日本的展開	161～165	1	日本の中世史に関する基本的な理解にもとづき，日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか，また，仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか，浄土信仰，禅，『法華経』信仰を手がかりとして，古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	２節　仏教と日本人の思想形成	3　仏教と日本文化	166～168	1	日本の伝統文化に関する基本的な理解にもとづき，日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか，また，仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか，無常観や美意識に着目して，さまざまな古典作品や芸道・文化，評論などを手がかりとして，古来の自然や神に対する信仰との共	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	３節　儒教と日本人の思想形成	1　儒教の受容	169～171	1	日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき，日本で独自に展開した儒教思想の特徴や，日本人の思想形成に儒教が与えた影響について，現実秩序の倫理や礼秩序の思想を手がかりとして，中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人間として	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	３節　儒教と日本人の思想形成	2　儒教の日本的展開	172～175	1	日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき，日本で独自に展開した儒教思想の特徴や，日本人の思想形成に儒教が与えた影響について，日本の陽明学や古学，古文辞学の思想を手がかりとして，中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	４節　国学の思想	1　国学の形成と展開	175～176	1	日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき，国学が見出した人間像や，国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について，代表的な国学者の思想を手がかりとして，儒教や仏教の思想傾向と比較しながら，自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	５節　庶民の思想	1　庶民の思想の広がり	177～179	1	日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき，町人や農民などの庶民が考えた諸思想について，代表的な思想家の考え方を手がかりとして，現代の国際社会に生きる自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○		第5回 9月30日	

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア①（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	該当回・問題番	
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	５節　庶民の思想	2　幕末の思想	180～18１	1	日本の近世史，幕末史に関する基本的な理解にもとづき，近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について，西洋文化との接触過程や日本の精神的基盤，代表的な思想家の考え方を手がかりとして，現代の国際社会に生きる自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	６節　西洋思想と日本人の近代化	1　近代化と啓蒙思想	183～185	1	日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき，日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想に着目して，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	６節　西洋思想と日本人の近代化	2　キリスト教の受容	186～187	1	日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき，キリスト教を主体的に受容し広めた近代の人物の思想や在り方に着目して，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	６節　西洋思想と日本人の近代化	3　社会思想の展開	188～189	1	日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき，日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた近代の人物の思想や在り方に着目して，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索し	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	６節　西洋思想と日本人の近代化	4　近代的な自己の追求	190～193	1	日本の近代史や文学史に関する基本的な理解にもとづき，近代的な自己の在り方について思索した近代の文学者などの思想や在り方に着目して，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思	教科書・映像視聴	○			
9月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	６節　西洋思想と日本人の近代化	5　近代日本の創造的な思想	194～197	1	日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき，西洋思想を主体的に摂取しつつ東洋や日本の伝統的思想と対話させて独創的な新しい思想を形成した近代の人物の思想に着目して，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会	教科書・映像視聴	○			
10月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	７節　国際社会に生きる日本人の自覚	1　戦後思想の動向	199～201	1	第二次世界大戦後の日本の社会状況に関する基本的な理解にもとづき，第4章で学んだ伝統的な日本人の心情や考え方をふり返ったり，日本の戦後思想の動向を手がかりにしたりしながら，現代において自覚的に受けつぐべきものや，今後問いなおすべき課題について，多面的・多角的に考察することを通じて，人間と	教科書・映像視聴	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	７節　国際社会に生きる日本人の自覚	2　グローバル化と日本人	202～203	1	世界の中で現在の日本が置かれているさまざまな状況をふまえて，これまでの学習をふり返りながら，高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって，改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点について，多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り	教科書・映像視聴	○			
10月	第１編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第４章　国際社会に生きる日本人としての自覚	思考と対話	「日本人の心情」をめぐって	204～205	1	日本人の心情をめぐって，別れ際の心の構えや別れ言葉に着目して，「おのずから」や「死」について多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　現代の諸課題と倫理		１節 生命		208～212	1	生命科学や医療技術の発達を踏まえ，生命の誕生，老いや病，生と死の問題などを通して，「生きることの意義」について思索できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　現代の諸課題と倫理		２節　自然		213～217	1	人間の生命が自然の生態系の中で，植物や他の動物との相互依存関係において維持されており，調和的な共存関係が大切であることについて思索できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　現代の諸課題と倫理		３節　科学技術		218～222	1	近年の飛躍的な情報技術の進展を踏まえ，AIをはじめとした先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について思索できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　現代の諸課題と倫理		４節　福祉		223～226	1	多様性を前提として，協働，ケア，共生の視点から，だれにとっても住みやすい社会について思索できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　現代の諸課題と倫理		５節　文化と宗教		227～230	1	文化や宗教が過去を継承する人類の知的遺産であることを踏まえ，それらを尊重し，異なる文化や宗教をもつ人々を理解し，共生に向けて思索できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　現代の諸課題と倫理		６節　戦争と平和		231～235	1	人類全体の福祉の向上という視点から，平和な世界の実現について，考察，構想できるようにします。	教科書・映像視聴	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞倫理は人間としての在り方生き方に関わる重要な科目です。自身の生活に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5l

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を身に着けている。
主体的に学習に取り組む態度	間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
公民	政治経済	通年	選択	2	70単位時間（50分×70）	1単位時間	東京書籍『政治経済』 2 東書　倫理 701	授業者に準ずる	文田 岳士

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

政治・経済に関する概念や理論などを活用し、社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための資質・能力を養うことができる。また、諸資料から、社会のあり方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けることができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉　民主主義の本質を思索するとともに、諸資料から現代における政治、経済、国際関係などに対する基礎知識を養いまとめる力を育成する。
〈思考・判断・表現〉　現代における政治・経済での制度や法律等を広い視野を持って深く考え、良識のある公民として公正な判断力を養い、自己表現できる力を身につける。
〈主体的に取り組む態度〉　民主主義における政治・経済に関する諸課題を主体的に考察し、日々変わりゆく現代で学び続けることができる。

【学習方法】

①メディア授業　視覚，聴覚に訴える教材を利用することで，幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。
② 本校スクーリング　対面授業を実施し，諸資料を用いて，資料の活用方法を学び，また主体的に課題を追究することができる。
③ 報告課題（レポート）　視覚，聴覚に訴える教材を利用することで，幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。

〇メディア箇所全て
◎　メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切日	
4月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	１節　民主政治の基本原理	1　民主政治の成立	6~9	1	○政治の役割や，社会契約説における政府と国民との関係性について理解します。 ○民主政治にとって権力分立がなぜ重要か考察します。	教科書・映像視聴	◎		第1回 5月31日	
4月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	１節　民主政治の基本原理	2　法と民主政治	10~13	1	法の意義や，「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解します。	教科書・映像視聴	◎			
4月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	１節　民主政治の基本原理	18歳からの社会参加 ①　18歳になるとできること	14	1	○成年年齢が変更された背景について理解します。 ○成年を迎えたらどのような点に留意する必要があるか考察します。	教科書・映像視聴	◎			
4月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	１節　民主政治の基本原理	3　基本的人権の確立	15~17	1	○基本的人権が確立した過程と人権保障の歴史的展開について理解します。 ○人権の国際化のなかで，日本の人権保障はどうあるべきか考察します。	教科書・映像視聴	◎			
4月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	１節　民主政治の基本原理	4　現代の民主政治	18~20	1	○ファシズムが生み出された背景や，多数決原理にもとづく民主政治の課題について理解します。 ○よりよい民主政治のあり方について考察します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	１節　民主政治の基本原理	5　世界のおもな政治体制	21~25	1	○議院内閣制と大統領制の違いや，旧社会主義圏や旧植民地諸国における政治体制について理解します。 ○民主政治の諸原理が各国の政治体制にどのように反映されているか考察します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	２節　日本国憲法の基本原理	1 日本国憲法の制定と基本原理	26~30	1	○大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解します。 ○憲法改正に関する議論について考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	２節　日本国憲法の基本原理	2　基本的人権の保障	31~41	2	○基本的人権と自分の生活との関係，「新しい人権」の確立が求められている背景について理解します。 ○「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	２節　日本国憲法の基本原理	3　平和主義	42~47	1	○憲法第9条をめぐる意見の対立や，日本の安全保障体制の変化について理解します。 ○平和主義の下，今後の日本の安全保障はどうあるべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	３節　日本の政治機構	1　国会と立法	48~51	1	○国会の権限や組織，運営について理解します。 ○日本の国会にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	３節　日本の政治機構	2　内閣と行政	52~55	1	○内閣の権限や内閣と国会の関係について理解します。 ○日本の行政にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	３節　日本の政治機構	3　裁判所と司法	56~61	1	○司法権の独立の必要性や裁判のしくみ，裁判員制度について理解します。 ○日本の司法にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	３節　日本の政治機構	4　地方自治	62~65	1	○憲法における地方自治の規定や，地方自治における住民の権利について理解します。 ○日本の地方自治にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	４節　現代政治の特質と課題	1　戦後政治と政党	66~69	1	○議会制民主主義において政党が必要な理由や，戦後日本の政党政治の変遷について理解します。 ○現代の日本の政党政治にはどのような課題があるか考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	４節　現代政治の特質と課題	2　選挙と政治意識	70~73	1	○日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解します。 ○日本の選挙における低投票率を改善するにはどうすればよいか考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	４節　現代政治の特質と課題	3　世論と政治参加	74~77	1	○世論の形成過程，世論の政治への反映のしかた，NPOやインターネットが政治に与える影響について理解します。 ○日本の政治における争点や政治的意見を踏まえ，自分が賛同する政治的立場について考察します。	教科書・映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切日	
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第１章　現代日本の政治	4節　現代政治の特質と課題	18歳からの社会参加②　選挙権の行使に向けて	78~79	1	○選挙権年齢引き下げの背景や選挙権を行使する意味について理解します。 ○選挙権の行使に向けて，政党や候補者の主張をどのように検討すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○		第2回 6月30日	
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	1節　現代の資本主義経済	1　経済活動の意義	82~83	1	○希少性やトレードオフなど経済活動の基本原理について理解します。 ○経済体制にはどのようなものがあるか考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	1節　現代の資本主義経済	2　資本主義経済の発展と変容	84~89	2	○資本主義経済と社会主義経済の成立と発展について理解します。 ○今日の資本主義経済にはどのような課題があるか考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	2節　現代経済のしくみ	1　経済主体と経済の循環	90~91	1	○家計および企業の経済活動や，各経済主体の相互関係について理解します。 ○なぜ経済は循環するのか考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	2節　現代経済のしくみ	2　生産のしくみと企業	92~95	1	○企業の活動や，株式会社の特徴について理解します。 ○現代の企業に求められているものは何か考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	2節　現代経済のしくみ	3　市場経済の機能と限界	96~100	1	○市場における価格の役割や，独占禁止法による規制の必要性について理解します。 ○市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	2節　現代経済のしくみ	4　国民所得と経済成長	101~104	1	○経済活動の規模や変化をとらえる指標や，景気変動のしくみについて理解します。 ○インフレーションやデフレーションが国民生活にどのような影響を与えるか考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	2節　現代経済のしくみ	5　金融のしくみと機能	105~111	1	○金融の役割や，金融政策の手段について理解します。 ○なぜ金融の自由化が進められ，それは日本経済にどのような影響を与えたか考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	2節　現代経済のしくみ	18歳からの社会参加③　ライフプランと金融	112~113	1	○自分のライフプランを立て，それをもとにどの時期にどの程度の資金が必要か理解します。 ○金融商品を購入する際にリスクとリターンのどちらを重視すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	2節　現代経済のしくみ	6　財政のしくみと機能	114~118	1	○財政の役割や，公平な税制のあり方について理解します。 ○日本の財政の課題を抱える課題や，持続可能な財政および租税のあり方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	3節　日本経済の発展と現状	1　戦後日本経済の発展	119~123	1	○戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解します。 ○バブル経済が発生した理由と終わりを迎えた理由について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	3節　日本経済の発展と現状	2　日本経済の現状	124~128	2	○バブル経済崩壊後の日本経済の状況や，2000年代以降に試みられた経済政策が日本社会に与えた影響について理解します。 ○日本経済が抱える課題を解決するにはどうすればよいか考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	1　公害と環境保全	128~130	1	○公害問題が発生する理由や，公害を防止する方法について理解します。 ○持続可能な社会の形成のために自分たちにできることは何か考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	2　農業・食料問題	131~133	1	○戦後日本の農業政策の展開や，林業や漁業が抱える課題について理解します。 ○これからの日本の農業と食料はどうあるべきか考察します。	教科書・映像視聴	○		第3回 7月31日	
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	3　中小企業の現状と課題	134~135	1	○日本経済における中小企業の地位や，日本の中小企業が抱える課題について理解します。 ○日本経済の活性化のためにどのような中小企業政策が必要か考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	4　情報化の進展と社会の変化	136~137	1	○情報化の進展が社会にもたらしているイノベーションや，「第四次産業革命」が社会生活にもたらす変化について理解します。 ○デジタル社会においてどのようなことに注意すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	5　消費者問題	138~139	1	○消費者問題が発生する理由や，消費者保護のために行われている施策について理解します。 ○消費社会において，自分たち消費者にはどのような知識や行動が求められるか考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	18歳からの社会参加④　消費者市民社会の実現に向けて	140~141	1	○契約を結ぶ際に気をつけるべきことや，消費者トラブルにあった際の対応について理解します。 ○持続可能な社会の形成のために消費生活でできることは何か考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	6　雇用と労働問題	142~147	1	○労働問題が発生する理由や，憲法や労働三法が保障する労働者の権利について理解します。 ○雇用・労働問題を取り巻く状況と，これからの日本の雇用のあり方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	18歳からの社会参加⑤　働き方について考える	148~149	1	○自分に合った働き方を実現するためにはどのようなことに考慮すべきか理解します。 ○社会全体の労働条件を向上させるにはどうすればよいか考察します。	教科書・映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切日	
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第２章　現代日本の経済	4節　福祉社会と日本経済の課題	7　社会保障と福祉	160~155	1	○社会保障制度の発展と変化や，日本の社会保障制度の特徴と課題について理解します。 ○少子高齢社会においてどのような福祉社会を築いていけばよいか考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第３章　現代日本の諸課題		1　少子高齢社会における社会保障	158~159	1	○日本の子育て支援の現状について理解します。 ○少子高齢社会における子育て支援はどうあるべきか考察し，表現します	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第３章　現代日本の諸課題		2　地域社会の活性化	160~161	1	○地域社会の現状について理解します。 ○地域社会の独自性を活かしながら活性化を図るにはどうすべきか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第３章　現代日本の諸課題		3　多様な働き方・生き方の実現	162~163	1	○労働におけるジェンダー平等の現状について理解します。 ○性別にかかわらず働きやすい労働環境はどうすれば実現できるか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第３章　現代日本の諸課題		4　中小企業の意義と課題	164~165	1	○日本の中小企業の強みと課題について理解します。 ○中小企業の強みを活かすにはどうすればよいか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○		第4回 8月31日	
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第３章　現代日本の諸課題		5　日本の財政の健全化	166~167	1	○日本の財政の現状について理解します。 ○日本はどのような「福祉国家」をめざすべきか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第３章　現代日本の諸課題		6　持続可能な食料・農業の実現	168~169	1	○日本の農業の動向について理解します。 ○農業を魅力ある産業にするにはどうすればよいか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第１編　現代日本の政治と経済	第３章　現代日本の諸課題		7　防災と安全・安心な社会の実現	170~171	1	○日本が直面する災害とその対策の現状について理解します。 ○自分が暮らす地域の防災・減災対策はどうあるべきか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	1節　国際政治のしくみ	1　国際政治の特質	174~175	1	○主権国家と国際社会の形成過程や，国際社会の特徴について理解します。 ○現代の国際社会には主権国家以外にどのような主体があるか考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	1節　国際政治のしくみ	2　国際社会と国際法	176~177	1	○国際社会の秩序維持の要因や，国内法と比較した国際法の特徴について理解します。 ○国際司法機関がどのような役割を果たしているか考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	1節　国際政治のしくみ	3　国際連合の役割と課題	178~181	1	○集団安全保障のしくみが必要とされた背景や，平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解します。 ○国際連合が抱える課題について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	2節　複雑化する国際政治と日本	1　戦後国際関係の展開と日本	182~185	1	○第二次世界大戦後の国際関係や，冷戦体制の変化について理解します。 ○日本はどのようにして国際社会に復帰し，どのような立場で行動してきたか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	2節　複雑化する国際政治と日本	2　冷戦後の国際関係と日本	186~189	1	○冷戦終結後の国際関係の変化や，現在の国際社会が抱える課題について理解します。 ○日本は国際平和や安全保障のためにどのように行動していくべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	2節　複雑化する国際政治と日本	3　地域主義の動き	190~192	1	○世界で地域主義が進んでいる理由や，EUの成立過程および特徴について理解します。 ○地域主義の動きに日本はどのように関わっているか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	2節　複雑化する国際政治と日本	4　軍縮の動向と課題	193~195	1	○核抑止体制の問題点や，軍縮をめぐる現在の動向について理解します。 ○日本は唯一の核兵器被爆国として，軍縮に向けてどのように取り組むべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	2節　複雑化する国際政治と日本	5　紛争・難民・テロリズム	196~199	1	○近年，国境を越えたテロリズムが多発している理由について理解します。 ○地域紛争を予防し解決するためにはどうすればよいか，また日本は難民問題に対してどのように向き合うべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	2節　複雑化する国際政治と日本	6　国際社会における日本の役割	200~203	1	○日本の外交や安全保障が直面している課題や，今日の国際社会において日本に求められている役割について理解します。 ○日本の国際協力や開発援助はどうあるべきか考察します。	教科書・映像視聴	○		第5回 9月30日	
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第２章　現代の国際経済	1節　国民経済と国際経済	1　貿易と国際収支	206~210	1	○貿易の意義や，国際収支の各項目に反映される経済取り引きについて理解します。 ○為替レートがどのような要因によって変動するか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第２章　現代の国際経済	1節　国民経済と国際経済	2　戦後国際経済体制の展開	211~216	1	○現代の国際通貨体制の変遷や，近年経済政策の分野で各国の政策協調が必要になっている理由について理解します。 ○地域経済統合やFTA・EPAが自由貿易の進展にどのような影響を与えるか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第２章　現代の国際経済	1節　国民経済と国際経済	3　発展途上国の経済	217~219	1	○南北問題の解消に向けた国際社会の取り組みや，新興経済諸国の現状について理解します。 ○中国の台頭によって世界経済にはどのような変化が起こっているか考察します。	教科書・映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切日	
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第２章　現代の国際経済	２節　世界経済の現状と課題	１　グローバル化する世界経済	220~222	1	○経済のグローバル化の進展や，近年の国際金融の変化について理解します。 ○現在の世界経済はどのような課題を抱えているか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第２章　現代の国際経済	２節　世界経済の現状と課題	２　地球環境問題	223~225	1	○地球環境問題や，地球環境問題への対応をめぐる国際社会の利害対立について理解します。 ○脱炭素社会の構築に向けて各国政府や自分にはどのような取り組みができるか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第２章　現代の国際経済	２節　世界経済の現状と課題	３　資源・エネルギー問題	226~229	1	○資源・エネルギーに関する課題や，原子力発電に関する日本および各国の政策について理解します。 ○日本のこれからのエネルギー供給はどうあるべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第２章　現代の国際経済	２節　世界経済の現状と課題	４　人口・貧困・感染症	230~235	1	○21世紀の世界人口の変動予想や，貧困の発生要因について理解します。 ○持続可能な社会の形成に向けて国際社会はどのように取り組むべきか考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第２編　グローバル化する国際社会	第３章　国際社会の諸課題		１　グローバル化にともなう社会変容	238~239	1	○日本の多文化共生をめぐる状況について理解します。 ○多文化共生社会を実現するにはどうすればよいか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　グローバル化する国際社会	第３章　国際社会の諸課題		２　地球環境と資源・エネルギー問題	240~241	1	○地球温暖化とその対策の現状について理解します。 ○地球温暖化を食い止めるにはどうすればよいか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　グローバル化する国際社会	第３章　国際社会の諸課題		３　国際的な経済格差の是正	242~243	1	○貧困と開発援助の現状について理解します。 ○貧困削減のためにはどのような開発援助が有効か考察し，表現する。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　グローバル化する国際社会	第３章　国際社会の諸課題		４　イノベーションの促進と成長市場	244~245	1	○医療のイノベーションの現状について理解します。 ○医療のイノベーションを促すにはどうすればよいか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　グローバル化する国際社会	第３章　国際社会の諸課題		５　民族問題と紛争の解決	246~247	1	○パレスチナ問題の経緯と現状について理解します。 ○パレスチナ問題を解決するために何が必要か考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○			
10月	第２編　グローバル化する国際社会	第３章　国際社会の諸課題		６　持続可能な社会の実現	248~249	2	○SDGsの達成に向けた取り組みの現状について理解します。 ○SDGsの達成に向けて自分たちに何ができるか考察し，表現します。	教科書・映像視聴	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞倫理は人間としての在り方生き方に関わる重要な科目です。自身の生活に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5ksk

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身についている。
思考・判断・表現	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力が身についている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めることができる。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学Ⅰ	通年	必履修	3単位	105単位時間(50分×105)	2単位時間	東京書籍『新数学Ⅰ』 2 東書 数Ⅰ 704	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
数学の基礎・基本を身に付けて，日常生活や社会の事象を数理的に捉え，数理的に処理し，問題を解決することができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉	数学における基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付け，より深く理解するとともに，日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる技能を身につける。
〈思考・判断・表現〉	様々な事象を数理的に捉え，数学的な推論によって問題を解決し，解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力，物事の特徴や事象の変化を抽象し簡潔・明瞭に表現する力を養う。
〈主体的に取り組む態度〉	数学の学ぶ楽しさを実感し粘り強く考え、数学を日常生活や社会事象に活用しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業	メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに，数量や図形，データの分析などを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し，理解を深める。
② 本校スクーリング	対面授業を実施し，数学を日常生活や社会事象に活用するために，ペア学習・グループ学習を取り入れ，対話によって思考を深め，広げることで問題解決する力を養う。
③ 報告課題（レポート）	教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し，それらを数学の概念を用いて定式化する力，問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養う。

【年間学習計画】

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月		数の計算			p4~30	5	これから数学の学習を進めるときに必要な基礎知識の理解を確認する。	教科書，映像授業	〇			
4月		第1章 数と式	1節 文字と式	1 文字を使った式	p32,33	1	数の代わりに文字を使って数量や数量の間の関係を表し，文字を使って表すよさや，表し方の約束などについて理解する。	教科書，映像授業，報告課題	〇		第1回　第2回 4月30日	
4月		第1章 数と式	1節 文字と式	2 多項式と単項式	p34,35	2	単項式，単項式の次数，係数，多項式，項，定数項，同類項，多項式の次数，n次式など，式についての用語の意味を理解し，多項式を整理する中で，式について見方を豊かにする。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
4月		第1章 数と式	1節 文字と式	3 多項式の計算(1)	p36,37	2	多項式と数のかけ算，多項式の加法・減法の仕組みを理解し，それらの計算をすることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
4月		第1章 数と式	1節 文字と式	3 多項式の計算(2)	p38,39	2	指数法則，単項式の乗法について理解し，さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
4月		第1章 数と式	1節 文字と式	5 乗法公式	p40,41	2	式を展開するときに利用する公式を学び，それを利用して式を展開することができるようになる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
4月		第1章 数と式	1節 文字と式	6 因数分解(1)	p42,43	2	分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し，因数分解の公式を利用することができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
4月		第1章 数と式	1節 文字と式	7 因数分解(2)	p44,45	2	x^2の係数が1以上多項式の因数分解ができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		第1章 数と式	1節 文字と式	8 展開，因数分解のくふうと利用	p46,47	2	式の一部をひとかたまりと見て公式を利用して展開したり因数分解したりする方法について理解する。	教科書，映像授業	〇			
5月		第1章 数と式	2節 実数	1 平方根	p48,49	1	2乗にしてaになる数，根号を使った平方根の表し方について理解する。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		第1章 数と式	2節 実数	2 根号を含む式の計算	p50~53	2	根号を含む式の計算の方法や，分母に根号を含まない数である有理化の方法について理解する。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		第1章 数と式	2節 実数	3 数の分類	p54,55	1	自然数，整数，有理数，無理数の意味を理解して，それを区分できる。さらに，実数について理解するとともに，数を拡張することに興味をもつ。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		第1章 数と式	2節 実数	4 分数と小数	p56,57	1	有限小数，循環小数について理解し，有限小数になる分数を判断できる。また，循環小数を記号を用いて表すことができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		第1章 数と式	3節 方程式と不等式	1 1次方程式	p58,59	1	１次方程式について理解し，１次方程式を解くことができる。また，１次方程式を利用して身近な問題を解決することができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎	〇		
5月		第1章 数と式	3節 方程式と不等式	2 不等式	p60,61	2	不等号の意味を理解し，数量の大小関係を不等式で表すことができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
5月		第1章 数と式	3節 方程式と不等式	3 不等式の性質	p62,63	2	不等式を調べることによって，不等式の性質を用いて解くことができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
5月		第1章 数と式	3節 方程式と不等式	4 不等式の解	p64,65	2	不等式の解の意味を理解し，不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。	教科書，映像授業	◎		第３回 5月31日	
5月		第1章 数と式	3節 方程式と不等式	5 不等式の解き方	p66,67	2	不等式の性質を用いて不等式を変形し，解くことができる。また，１次不等式を利用して，文章題を解くことができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
5月		第1章 数と式	3節 方程式と不等式	6 ２次方程式とその解き方	p68,69	2	２次方程式を平方根の考えや因数分解を利用して解く方法を理解する。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
6月		第1章 数と式	3節 方程式と不等式	7 ２次方程式の解の公式	p70,71	2	２次方程式を解の公式を使って解く方法を学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
6月		第1章 数と式	3節 方程式と不等式	課題学習		1	身近な問題を解決することに，不等式を活用することができる。	教科書，映像授業	〇			
6月		第2章 ２次関数	1節 ２次関数とそのグラフ	1 関数	p74,75	1	変化する２つの数量の関係を表す方法として関数について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	〇			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
6月		第2章 ２次関数	1節 ２次関数とそのグラフ	２ １次関数とそのグラフ	p76,77	1	１次関数のグラフをかいて，変化のようすを捉え，特徴を理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○		第4回　第5回 6月30日	
6月		第2章 ２次関数	1節 ２次関数とそのグラフ	３ ２次関数とそのグラフ	p78~81	2	２次式で表される関数について，その関数のグラフの特徴や，グラフの書き方について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月		第2章 ２次関数	1節 ２次関数とそのグラフ	4 グラフの平行移動	p82~85	2	$y=ax^2$ のグラフをx軸方向やy軸方向に平行したグラフについて学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月		第2章 ２次関数	1節 ２次関数とそのグラフ	5 $y=ax2+bx+c$のグラフ	p86~91	3	$y=ax^2$のグラフと $y=ax^2+bx+c$のグラフを比較し，関係性について考察する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月		第2章 ２次関数	2節 ２次関数の値の変化	１２次関数の最大値・最小値	p92~95	3	２次関数の最大値や最小値をグラフを利用して調べ，どんなときに最大値や最小値をもつか考察する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
6月		第2章 ２次関数	2節 ２次関数の値の変化	２ ２次関数のグラフの２次方程式	p96,97	2	２次関数のグラフと２次方程式の関係について考察する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		第2章 ２次関数	2節 ２次関数の値の変化	３ ２次関数のグラフと２次不等式	p98,99	2	２次関数のグラフと関連させて，左辺が２次式となる不等式について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		第2章 ２次関数	2節 ２次関数の値の変化	4 いろいろな２次不等式	p100,101	2	２次関数のグラフとx軸の共有点が1つの場合や共有点をもたない場合の2次不等式の解について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		第2章 ２次関数	2節 ２次関数の値の変化	課題学習		1	身近な問題を関数の問題として捉え，２次関数の最大値・最小値を活用して解決することができる。	教科書，映像授業	○			
7月		第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	1 三角形	p104,105	1	相似な三角形，三角形の定理について学習し，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○	○	第6回 7月31日	
7月		第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	2 タンジェント	p106,107	2	相似な直角三角形の直角をはさむ２辺の比について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	3 サインとコサイン	p108,109	2	相似な直角三角形の斜辺をふくむ２辺の比について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	4 三角比の利用	p110~113	3	tanAやsinA，cosAを利用して，いろいろな長さや高さを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	5 三角比の相互関係	p114,115	2	三角比の相互関係について理解し，１つの三角比から他の２つの三角比の値を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	6 90°－Aの三角比	p116	2	サインとコサインの間に成り立つ関係を調べ，90°－Aの三角比を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		第3章 三角比	2節 三角比の応用	1 三角形の面積	p117	2	２辺の長さとその間の角のサインの値から，△ABCの面積を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○		第7回 8月31日	
9月		第3章 三角比	2節 三角比の応用	2 正弦定理	p118,119	2	三角形の３つの角のサインの値と，３つの辺の長さの間に成り立つ関係について考察し，正弦定理について理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		第3章 三角比	2節 三角比の応用	3 余弦定理	p120,121	2	三角形の１つの角と，３辺の長さの間に成り立つ関係について考察し，余弦定理について理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		第3章 三角比	2節 三角比の応用	4 鈍角の三角比	p122,123	2	三角比を鈍角まで広げ，図から三角比の値を求めることができ，三角比の相互関係が成り立つことを理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		第3章 三角比	2節 三角比の応用	5 三角比の相互関係	p124,125	2	θが鈍角の場合でも，三角比の相互関係が成り立つことを利用して，1つの三角比の値から他の２つの三角比の値を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		第3章 三角比	2節 三角比の応用	6 鋭角の三角比の利用	p126,127	2	三角形が鈍角の場合でも，三角形の面積の公式，正弦定理，余弦定理を利用して，面積や辺の長さを求めることができる。	教科書，映像授業	○			
9月		第3章 三角比	2節 三角比の応用	課題学習		1	三角比を利用して，条例の基準をみたす傾斜路のこう配について考察することができる。	教科書，映像授業	○			
9月		第4章 データの分析	1節 データの分析	1 データにもとづいた問題解決の進め方	p130,131	1	日常生活や社会事象にあるデータを用いて，問題を解決するときの方法について学び，理解する。	教科書，映像授業	○			
9月		第4章 データの分析	1節 データの分析	2 データの特徴の調べ方	p132~135	2	身近なデータを扱い，目的やデータに応じたデータの分析の方法について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○		第8回 ９月31日	
10月		第4章 データの分析	1節 データの分析	3 代表値	p136,137	2	データ全体の特徴を表す数値の求め方や選び方を学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月		第4章 データの分析	1節 データの分析	4 四分位数と箱ひげ図	p138,139	2	中央値をもとにして，データの散らばりぐあいを数値や図で表す方法について学び，数値や図から読み取れること考察する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月		第4章 データの分析	1節 データの分析	5 分散と標準偏差	p140,141	2	平均値をもとにして，データの散らばりぐあいを数値で表すことで読み取れることを考察する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月		第4章 データの分析	1節 データの分析	6 相関関係	p142,143	1	２つのデータの間の関係を図で表す方法について学び，図から読み取れることを考察する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月		第4章 データの分析	1節 データの分析	7 相関係数	p144,145	2	散布図の書き方に影響されず，客観的な判断ができるよう，相関関係を数値で表すことを考察する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月		第4章 データの分析	1節 データの分析	8 データにもとづく考え方	p146,147	2	不確実なことがらの起こりやすさに着目し，主張の妥当性をデータにもとづいて判断し，考察する。	教科書，映像授業	○			
10月		第4章 データの分析	1節 データの分析	課題学習		1	得点，失点，勝点について，それぞれの相関関係を調べ，上位の成績を得るために有効な闘い方を考察することができる。	教科書，映像授業	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月		第5章 集合と論証	1節 集合と論証	1 集合	p150~153	2	日常生活で使われる「集合」と数学での「集合」の違いについて具体例をあげて学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	◎		第9回　映像視聴報告 10月31日	
10月		第5章 集合と論証	1節 集合と論証	2 命題と集合	p154~157	3	あることがらが，正しいか正しくないかを具体例をあげながら調べ，方法と用語について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
10月		第5章 集合と論証	1節 集合と論証	3 集合と証明	p158~160	2	命題が真であることを間接的に証明する方法について学び，理解する。	教科書，映像授業，報告課題	◎			

計105単位時間

【学習上の注意】
☞日常生活や社会の事象に目を向け，数学的に解決する方法を考えましょう。
☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り，理解を深めましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4msx

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付け，より深く理解するとともに，日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる技能が身についている。
思考・判断・表現	様々な事象を数理的に捉え，数学的な推論によって問題を解決し，解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考え，物事の特徴や事象の変化を抽象し簡潔・明瞭に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	数学の学ぶ楽しさを実感し粘り強く考え、数学を日常生活や社会事象に活用し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善している。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：９回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学Ⅱ	通年	選択科目	4単位	140単位時間(50分×140)	2 単位時間	東京書籍『新数学Ⅱ』 東書　数Ⅱ 717・718	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】

〈知識・技能〉
・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。

〈思考・判断・表現〉
・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付けている。
・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察する力を身に付けている。
・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。また、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合敵・発展的に考察したりする力を身に付けている。

〈主体的に取り組む態度〉
・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断したりしている。
・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価改善したりしようとしている。

【学習方法】

①メディア授業　メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに，数量や図形，データの分析などを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し，理解を深める。

② 本校スクーリング　対面授業を実施し，数学を日常生活や社会事象に活用するために，ペア学習・グループ学習を取り入れ，対話によって思考を深め，広げることで問題解決する力を養う。

③ 報告課題（レポート）　教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し，それらを数学の概念を用いて定式化する力，問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養う。

【年間学習計画】

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月		1章　方程式・式と証明	1節　式の計算	1　3次乗法公式と因数分解	p4,5	2	3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらを用いて計算することができる。	教科書、映像授業、放送視聴、報告課題	〇			
4月		1章　方程式・式と証明	1節　式の計算	2　二項定理	p6,7	2	パスカルの三角形について考察し、二項定理を利用して式を展開することができる。	教科書、映像授業、放送視聴、報告課題	〇			
4月		1章　方程式・式と証明	1節　式の計算	3　分数式とかけ算とわり算	p8,9	2	分数式とその約分、わり算、かけ算について理解し、その計算ができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
4月		1章　方程式・式と証明	1節　式の計算	4　分数式とたし算とひき算	p10,11	2	分数式とその通分、たし算、ひき算について理解し、その計算ができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇		第1回　第2回 4月30日 映像視聴報告 10月31日	
4月		1章　方程式・式と証明	2節　2次方程式	1　複素数	p12,13	2	虚数単位を理解するとともに、数を実数から複素数に広げることに興味をもち、従来解けなかった2次方程式にも解があることを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎	〇		
4月		1章　方程式・式と証明	2節　2次方程式	2　複素数の計算	p14,15	2	複素数の演算や共役な複素数について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎	〇		
4月		1章　方程式・式と証明	2節　2次方程式	3　2次方程式の解	p16,17	2	すべの2次方程式を解くことができる。また、2次方程式の判別式について理解し、解を判別することができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	〇		
4月		1章　方程式・式と証明	2節　2次方程式	4　解と係数の関係	p18,19	2	2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ、2次方程式への理解を深める。	教科書、映像授業、報告課題	◎	〇		
4月		1章　方程式・式と証明	3節　高次方程式	1　多項式のわり算	p20,21	2	多項式のわり算について理解し、商と余りの関係を表すことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
4月		1章　方程式・式と証明	3節　高次方程式	2　因数定理	p22,23	2	剰余の定理と因数定理について理解し、多項式のわり算や因数分解に関してそれらを利用することができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
4月		1章　方程式・式と証明	3節　高次方程式	3　高次方程式	p24~27	3	高次方程式について、理解し、因数分解、因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。また、身近な問題を解決することに高次方程式を活用することができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
5月		1章　方程式・式と証明	4節　式と証明	1　等式の証明	p28,29	3	左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
5月		1章　方程式・式と証明	4節　式と証明	2　不等式の証明	p30,31	2	左辺と右辺の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う、また、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係について理解し、それを用いて不等式を証明することができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇		第3回　第4回 5月31日	
5月		1章　方程式・式と証明	4節　式と証明	課題学習	p134	2	身近な問題を解決することに、高次方程式を活用することができる。	教科書	〇			
5月		2章　図形と方程式	1節　座標と直線の方程式	1　直線上の点の座標	p34~37	4	数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、線分の内分・外分の意味を理解し、数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
5月		2章　図形と方程式	1節　座標と直線の方程式	2　平面上の点の座標	p38~43	4	座標平面について理解する。座標平面上で、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。また、三角形の重心の座標を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
5月		2章　図形と方程式	1節　座標と直線の方程式	3　直線の方程式	p44~47	3	直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、2点与えられたときの直線の方程式を求めることができる。	教科書、報告課題	〇			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月		2章　図形と方程式	1節　座標と直線の方程式	4　2直線の関係	p48~51	3	2直線の交点の座標が方程式を連立して求めることを理解する。また、平行・垂直な2直線の方程式間に成り立つ関係について理解し、それらを用いて直線の方程式を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
5月		2章　図形と方程式	2節　円の方程式	1　円の方程式	p52~54	3	与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から中心の座標と半径を求めたりすることができる。	教科書、報告課題	◎			
6月		2章　図形と方程式	2節　円の方程式	2　円と直線	p55,56	2	円の直線の共有点の座標を求めることができる。また、円の直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号と対応していることを理解する。	教科書、報告課題	○			
6月		2章　図形と方程式	3節　軌跡と領域	1　軌跡	p57	2	軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡を求めることができる。	教科書、報告課題	◎			
6月		2章　図形と方程式	3節　軌跡と領域	2　不等式の表す領域	p58~61	3	不等式が表す領域を図示したり、領域を不等式に表したりすることができる。	教科書、報告課題	○			
6月		2章　図形と方程式	3節　軌跡と領域	3　連立不等式の表す領域	p62,63	2	連立不等式が表す領域を図示することができる。	教科書	○			
6月		2章　図形と方程式	3節　軌跡と領域	課題学習	p135	2	身近な問題を解決することに、不等式の表す領域を活用することができる。	教科書	○		第5回　第6回 6月30日	
6月		3章　三角関数	1節　三角関数	1　一般角	p66,67	2	角の概念を一般角まで拡張することについて理解する。	教科書、報告課題	○			
6月		3章　三角関数	1節　三角関数	2　三角関数	p68,69	2	三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。	教科書、報告課題	○	○		
6月		3章　三角関数	1節　三角関数	3　三角関数の相互関係	p70,71	3	一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立ちことを理解する。	教科書、報告課題	○	○		
6月		3章　三角関数	1節　三角関数	4　三角関数のグラフ	p72~75	4	三角関数のグラフの特徴を理解し、そのグラフをかくことができる。	教科書、報告課題	○			
7月		3章　三角関数	1節　三角関数	5　三角関数の性質	p76,77	3	三角関数の性質を用いて三角関数の値を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
7月		3章　三角関数	2節　加法定理	1　加法定理	p78,79	3	三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
7月		3章　三角関数	2節　加法定理	2　加法定理の応用	p80,81	3	加法定理の簡単な応用として2倍角の公式を導き利用できる。また、加法定理の逆として三角関数の合成を理解する。	教科書、報告課題	○			
7月		3章　三角関数	2節　加法定理	3　弧度法	p82,83	2	弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さと面積を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
7月		3章　三角関数	2節　加法定理	課題学習	p136	2	身近な問題を解決することに、三角関数を活用することができる。	教科書	○			
7月		4章　指数関数と対数関数	1節　指数関数	1　整数の指数	p86,87	2	指数の範囲を整数全体に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。	教科書、報告課題	○		第7回　第8回 7月31日	
7月		4章　指数関数と対数関数	1節　指数関数	2　累乗婚	p88,89	2	累乗根の意味を理解し、簡単な計算をすることができる。	教科書、報告課題	○			
7月		4章　指数関数と対数関数	1節　指数関数	3　分数の指数	p90,91	3	指数の範囲を分数に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。	教科書、報告課題	○			
9月		4章　指数関数と対数関数	1節　指数関数	4　指数関数とそのグラフ	p92,93	3	指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかいたり、大小比較することができる。	教科書、報告課題	○			
9月		4章　指数関数と対数関数	1節　指数関数	5　指数関数の利用	p94,95	3	身近な問題を解決することに、指数関数を活用する。	教科書、報告課題	○			
9月		4章　指数関数と対数関数	2節　対数関数	1　対数	p96,97	2	対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
9月		4章　指数関数と対数関数	2節　対数関数	2　対数の性質	p98,99	3	対数の性質を理解し、それを用いて対数の計算をすることができる。	教科書、報告課題	○			
9月		4章　指数関数と対数関数	2節　対数関数	3　対数関数とそのグラフ	p100,101	3	対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。	教科書、報告課題	○		第9回　第10回 8月31日	
9月		4章　指数関数と対数関数	2節　対数関数	4　常用対数	p102,103	3	常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを用いて整数の累乗の桁数を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
9月		4章　指数関数と対数関数	2節　対数関数	課題学習	p137	2	身近な問題を解決することに、対数関数を活用することができる。	教科書	○			
9月		5章　微分と積分	1節　微分係数と導関数	1　平均変化率	p106,107	2	関数の平均変化率が曲線上の2点を通る直線の傾きに等しいことを理解し、平均変化率を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
9月		5章　微分と積分	1節　微分係数と導関数	2　微分係数	p108,109	2	極限値や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。	教科書、報告課題	○			
9月		5章　微分と積分	1節　微分係数と導関数	3　導関数	p110,111	2	導関数の意味を理解する。	教科書、報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月		5章　微分と積分	1節　微分係数と導関数	4　導関数の計算	p112,113	3	簡単な導関数の計算ができる。また、導関数を利用して、微分係数を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
10月		5章　微分と積分	1節　微分係数と導関数	5　接線	p114,115	3	曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。また、与えられた曲線の方程式から曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
10月		5章　微分と積分	2節　導関数の応用	1　関数の増加・減少	p116~118	3	導関数の符号を利用して、関数の増減を調べることができる。	教科書、報告課題	○		第11回　第12回 9月30日	
10月		5章　微分と積分	2節　導関数の応用	2　関数の極大・極小	p119~121	3	関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかいたりすることができる。	教科書、報告課題	○			
10月		5章　微分と積分	2節　導関数の応用	3　関数の最大・最小	p122,123	3	ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。	教科書、報告課題	○			
10月		5章　微分と積分	3節　積分	1　不定積分	p124~127	3	不定積分の意味を理解し、公式を用いて不定積分を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
10月		5章　微分と積分	3節　積分	2　定積分	p128,129	3	定積分の意味を理解し、公式を用いて定積分を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
10月		5章　微分と積分	3節　積分	3　面積	p130~132	3	定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。	教科書、報告課題	○			
10月		5章　微分と積分	3節　積分	課題学習	p138	2	身近な問題を解決することに、微分を活用することができる。	教科書	○			

計140単位時間

【学習上の注意】
☞日常生活や社会の事象に目を向け，数学的に解決する方法を考えましょう。
☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り，理解を深めましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5msy

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付いている。
思考・判断・表現	・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付いている。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察する力を身に付いている。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断したりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価改善したりしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学Ⅲ	通年	選択科目	3単位	105単位時間(50分×105)	2 単位時間	東京書籍『新数学Ⅲ』 東書　数Ⅲ 702	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】

〈知識・技能〉
・極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。

〈思考・判断・表現〉
・数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力を身に付けている。
・いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察する力を身に付けている。
・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。また、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。

〈主体的に取り組む態度〉
・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断したりしている。
・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価改善したりしようとしている。

【学習方法】

①メディア授業　メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに，関数と極限，微分などを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し，理解を深める。

② 本校スクーリング　対面授業を実施し，数学を日常生活や社会事象に活用するために，ペア学習・グループ学習を取り入れ，対話によって思考を深め，広げることで問題解決する力を養う。

③ 報告課題（レポート）　教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し，それらを数学の概念を用いて定式化する力，問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養う。

【年間学習計画】

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月		1章　関数と極限	1節　関数	1 分数関数とそのグラフ	p10~13	3	分数式で表された関数のグラフと、その特徴について理解する。分数関数のグラフを描くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎		第1回　第2回 4月３０日	
4月		1章　関数と極限	1節　関数	2　無理関数とそのグラフ	p14~18	3	根号の中に文字を含む式で表された関数をグラフで描くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
4月		1章　関数と極限	1節　関数	3　逆関数と合成関数	p19~22	3	逆関数について理解することができる。 逆関数のグラフの性質について理解することができる。合成関数似ついて理解し合成関数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
4 月		1章　関数と極限	2節　数列の極限	1　数列の極限	p24~30	4	無限数列の極限値を求めることができる。はさみうちの原理を用いて三角関数の極限値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	〇		
4月		1章　関数と極限	2節　数列の極限	2　無限等比数列	p31~35	3	無限等比数列について収束・発散について理解することができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	〇		
5月		1章　関数と極限	2節　数列の極限	3　無限級数	p36~43	4	様々な無限等比級数について収束・発散や和の性質などを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	〇	〇		
5月		1章　関数と極限	3節　関数の極限	1　いろいろな関数と極限	p45~57	4	関数の極限について、右側からの極限と左側からの極限について理解することができる。指数、対数、三角関数などについて極限を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇	〇	第3回 5月31日	
5月		1章　関数と極限	3節　関数の極限	2　関数の連続性	p58~62	4	関数の連続について学ぶことができ、連続な関数の性質についても理解することができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇	〇		
5月		1章　関数と極限	3節　関数の極限	課題学習	p66,67	2	三角形の中点を次々と作っていったときどこの点に到達するか理解することができる。また、四面体の類題について解くことができる。	教科書	〇			
5月		2章　微分	1節　微分法	1　導関数	p70~73	3	微分可能について数学的に理解することができる。導関数の公式を理解することができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇	〇		
6 月		2章　微分	1節　微分法	2　積・商の微分法	p74~76	3	積・商の導関数について導くことができる。指数が負の数の関数について導関数を導くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇	〇		
6 月		2章　微分	1節　微分法	3　合成関数の微分法	p77~80	3	合成関数の微分について数学的に理解することができる。逆関数の微分を行うことができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇	〇		
6 月		2章　微分	2節　いろいろな関数の導関数	1　三角関数の導関数	p82,83	3	三角関数の公式を覚えることができる。三角関数の微分を数学的に理解することができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
6 月		2章　微分	2節　いろいろな関数の導関数	2　対数関数・指数関数の導関数	p84~88	3	対数関数の導関数を導くことができる。指数関数の微分を行うことができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇		第4回　第５回 6月30日	
6 月		2章　微分	2節　いろいろな関数の導関数	3　高次導関数	p89,90	2	高次導関数について数学的に理解することができる。第n次導関数を導くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
6 月		2章　微分	2節　いろいろな関数の導関数	課題学習	p94,95	2	３個以上の関数の積として表される関数の微分について理解し導くことができる。	教科書、映像授業	〇			
7月		3章　微分の応用	1節　関数の増減	1　接線の方程式	p98~107	4	曲線や楕円、サイクロイドの接戦を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
7月		3章　微分の応用	1節　関数の増減	2　関数の増減	p108~113	3	平均値の定理について理解することができる。いろいろな関数の極値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
7月		3章　微分の応用	1節　関数の増減	3　第２次導関数とグラフ	p114~119	3	第２次導関数を用いてグラフを描くことができる。第２次導関数を用いて極値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月		3章　微分の応用	2節　微分のいろいろな応用	1　最大・最小	p121,122	2	三角関数の最大値、最小値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第6回 7月31日	
7月		3章　微分の応用	2節　微分のいろいろな応用	2　方程式・不等式への応用	p123~125	3	微分法をもちいて不等式の証明や方程式の実数解の個数を求めることができる。平均値の定理を応用して不等式の証明をすることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
7月		3章　微分の応用	2節　微分のいろいろな応用	3　速度・加速度	p126~130	3	微分法を応用して、速度や加速度の問題を解くことができる。等速円運動の速度や加速度を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		3章　微分の応用	2節　微分のいろいろな応用	4　近似式	p131,132	2	微分法を用いて近似値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		3章　微分の応用	2節　微分のいろいろな応用	課題学習	p136,137	2	円錐の体積が最大になるにはどのような円錐になればよいか理解することができる。	教科書	○			
9月		4章　積分とその応用	1節　不定積分	1　不定積分	p140~144	3	三角関数や指数関数の不定積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第7回 8月31日	
9月		4章　積分とその応用	1節　不定積分	2　置換積分法	p145~148	3	置換積分について理解することができる。置換積分を用いて三角関数の不定積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		4章　積分とその応用	1節　不定積分	3　部分積分法	p149,150	2	部分積分について理解することができる。関数の積で表された関数の不定積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		4章　積分とその応用	1節　不定積分	4　いろいろな関数の不定積分	p151~153	3	いろいろな関数の不定積分を求めることができる。積を和や差に直す公式を用いて積分をすることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		4章　積分とその応用	2節　定積分	1　定積分	p155~157	3	定積分の性質について数学的に理解することができる。絶対値のついた関数の定積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第8回 9月30日	
10月		4章　積分とその応用	2節　定積分	2　定積分の置換積分法と部分積分法	p158~164	4	定積分の置換積分法について理解することができる。偶関数、奇関数の積分や定積分の部分積分を用いた問題を解くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　積分とその応用	2節　定積分	3　定積分で表された関数	p165~167	2	定積分で表された関数を微分することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　積分とその応用	2節　定積分	4　定積分と区分求積法	p168~172	3	区分求積法について数学的に理解することができる。定積分の考え方を用いて不等式の証明をすることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　積分とその応用	3節　面積・体積・長さ	1　面積	p175~179	3	様々な曲線や楕円の面積を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第9回　映像視聴報告 10月31日	
10月		4章　積分とその応用	3節　面積・体積・長さ	2　体積	p180~185	3	空間図形の体積を積分を用いて求めることができる。回転体の体積を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　積分とその応用	3節　面積・体積・長さ	3　曲線の長さと道のり	p186~190	3	積分を用いて曲線の長さを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　積分とその応用	3節　面積・体積・長さ	課題学習	p192,193	2	身近な問題として大さじ２分の１の量を数学を用いて解決することができる。	教科書、映像授業	○			

計105単位時間

【学習上の注意】
☞日常生活や社会の事象に目を向け，数学的に解決する方法を考えましょう。
☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り，理解を深めましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r6msz

評価観点	評価基準
知識・技能	・極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりすることができる。 ・関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：9回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学A	通年	選択	2単位	70単位時間(50分×70)	1単位時間	東京書籍『新数学A』 東書 数A 704・705	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
数学の基礎・基本を身につけ、現実の世界に落とし込み活用し問題解決できる

【学習目標】

〈知識・技能〉
・図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
・数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

〈思考・判断・表現〉
・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力を身につけている。
・不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身につけている。
・数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身につけている。

〈主体的に取り組む態度〉
・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。
・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。
・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

【学習方法】

①メディア授業　メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに，数量や図形，データの分析などを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し，理解を深める。

② 本校スクーリング　対面授業を実施し，数学を日常生活や社会事象に活用するために，ペア学習・グループ学習を取り入れ，対話によって思考を深め，広げることで問題解決する力を養う。

③ 報告課題（レポート）　教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し，それらを数学の概念を用いて定式化する力，問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養う。

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	1　集合	p4,5	1	部分集合，全体集合，補集合，共通部分，和集合などの集合の表し方，用語，記号を，図を用いて理解し，記号を使って表すことができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎	〇	第1回 5月31日	
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	2　集合の要素の個数	p6,7	1	補集合，和集合について，集合の要素の個数を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	3　個数の数え方	p8,9	1	具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。	教科書，映像授業	〇			
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	4　和の法則と積の法則	p10,11	2	和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し，場合の数を効率よく求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	5　順列	p12,13	1	樹形図を利用して順列の意味を理解し，その総数を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇	〇		
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	6　順列の利用	p14,15	2	順列の考え方をいろいろな場面に利用して，条件のついた順列の総数を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎			
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	7　いろいろな順列	p16,17	1	重複順列，円順列の意味を理解し，その総数を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	8　組合せ	p18,19	1	組合せの意味や性質を理解し，その総数を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	◎	〇		
4月		1章　場合の数と確率	1節　場合の数	9　組合せの利用	p20,21	2	組合せの考え方をいろいろな場面に利用して，組合せの総数を求めることができる。	教科書，映像授業	〇			
5月		1章　場合の数と確率	2節　確率	1　事象と確率	p22,23	2	試行と事象，事象の確率について学び，確率の意味を知り，基本的な確率を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇	〇		
5月		1章　場合の数と確率	2節　確率	2　確率の計算	p24,25	1	場合の数をもとに，確率を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇	〇	第2回 6月30日	
5月		1章　場合の数と確率	2節　確率	3　排反事象の確率	p26,27	2	確率の加法定理を理解し，排反事象の確率を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		1章　場合の数と確率	2節　確率	4　余事象の確率	p28,29	1	余事象の確率を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		1章　場合の数と確率	2節　確率	5　独立な試行の確率	p30,31	2	独立な試行の意味を理解し，簡単な独立な試行の確率を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇		第3回 7月31日	
5月		1章　場合の数と確率	2節　確率	6　反復試行の確率	p32,33	1	反復試行について理解し，簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		1章　場合の数と確率	2節　確率	7　条件つき確率	p34,35	2	条件つき確率の意味を理解する。また，確率の乗法定理を理解し，活用できる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
5月		1章　場合の数と確率	2節　確率	8　期待値	p36,37	1	期待値を求めることができる。また，期待値を意思決定に活用することができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
6月		2章　図形の性質	1節　平面図形の基礎	1　直線と角	p40,41	1	平行線と角の関係を理解し，これらを利用して角の大きさを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇		第4回 8月31日	
6月		2章　図形の性質	1節　平面図形の基礎	2　多角形の角	p42,43	1	多角形の内角，外角の性質を理解し，これらを利用して角の大きさを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
6月		2章　図形の性質	1節　平面図形の基礎	3　三角形の合同と相似	p44,45	2	三角形の合同条件，相似条件を理解し，これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
6月		2章　図形の性質	1節　平面図形の基礎	4　基本の作図	p46,47	1	垂直二等分線，垂線，角の二等分線の作図方法を理解し，その作図ができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
6月		2章　図形の性質	1節　平面図形の基礎	5　作図の利用	p48,49	1	図形の性質を利用した平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し，目的に合った図形を作図することができる。	教科書，映像授業	〇			
6月		2章　図形の性質	2節　三角形の性質	1　三角形と比	p50,51	1	三角形と比の性質や中点連結定理を理解し，それを用いて線分の長さを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
6月		2章　図形の性質	2節　三角形の性質	2　三角形の重心	p52,53	1	三角形の重心の性質を利用して，線分の長さや角の大きさを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			
6月		2章　図形の性質	2節　三角形の性質	3　三角形の外心・内心	p54,55	2	三角形の外心，内心の性質を利用して，線分の長さや角の大きさを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	〇			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
6月		2章　図形の性質	2節　三角形の性質	4　角の二等分線と線分の比	p56,57	1	三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し，それらを用いて線分の長さを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		2章　図形の性質	3節　円の性質	1　円の接線	p58,59	1	円の接線の性質，接線の長さについて理解し，それらを利用して，接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		2章　図形の性質	3節　円の性質	2　円周角の定理	p60,61	1	円周角の定理を理解し，それを利用して角の大きさを求めることができる。また，円周角の定理の逆を理解し，4点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		2章　図形の性質	3節　円の性質	3　円に内接する四角形	p62,63	2	円に内接する四角形の性質を理解し，それを利用して角の大きさを求めることができる。また，四角形が円に内接する条件を利用して，四角形が円に内接するかどうか判断する	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		2章　図形の性質	3節　円の性質	4　接線と弦のつくる角	p64,65	1	接線と弦のつくる角の定理を理解し，それを利用して，角の大きさを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○		第5回 9月30日	
7月		2章　図形の性質	3節　円の性質	5　方べきの定理	p66,67,68	2	円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し，方べきの定理が成り立つことを理解し，長さを求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		2章　図形の性質	3節　円の性質	6　2つの円	p69	1	2つの円の位置関係を考察できる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		2章　図形の性質	4節　空間図形	1　直線や平面の位置関係	p70,71,72,73	2	2直線，2平面，直線と平面の位置関係を理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
7月		2章　図形の性質	4節　空間図形	2　多面体	p74,75	2	多面体，正多面体を理解し，オイラーの多面体定理に触れ，空間図形に対する見方を豊かにする。	教科書，映像授業	○			
9月		3章　数学と人間の活動	1節　数や位置を表す	1　数を表す	p78,79	1	古代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		3章　数学と人間の活動	1節　数や位置を表す	2　数の表し方のしくみ	p80,81	1	10進法，2進法の数の表し方のしくみを調べ，法則を見つけることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		3章　数学と人間の活動	1節　数や位置を表す	3　2進法	p82,83	1	2進法と10進法の変換を行うことや2進法と10進法を対比してみることで，記数法に対する理解を深めることができる。また，2進法で表された数の計算ができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		3章　数学と人間の活動	1節　数や位置を表す	4　位置を表す	p84,85	1	平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する。また，その考えを空間内の座標へ拡張し，空間内の点の位置を表すことができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		3章　数学と人間の活動	2節　数のつくり方を調べる	1　約数と倍数	p86,87	1	約数，倍数，素数，素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し，約数，倍数を求めたり，素因数分解したりすることができる。	教科書，映像授業	○			
9月		3章　数学と人間の活動	2節　数のつくり方を調べる	2　最大公約数と最小公倍数	p88,89	2	素因数分解を利用して最大公約数，最小公倍数を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○		第6回　映像視聴報告 10月31日	
9月		3章　数学と人間の活動	2節　数のつくり方を調べる	3　ユークリッドの互除法	p90,91	2	ユークリッドの互除法を理解し，これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		3章　数学と人間の活動	3節　はかる	1　測る	p92,93,94	2	長さや面積の単位を調べることできる。また，タレスのピラミッドの高さの測量を通して，図形の性質や三角比を用いた測量の方法について考察することできる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
9月		3章　数学と人間の活動	3節　はかる	2　量る	p95	2	体積や重さの単位を調べることできる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月		3章　数学と人間の活動	3節　はかる	3　計る	p96,97	2	古代の人々の時計や，暦（うるう年）について理解する。また，うるう年を決めた理由を考えることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月		3章　数学と人間の活動	4節　数学で遊ぶ	1　数で遊ぼう（魔方陣）	p98,99	2	魔方陣のしくみや解き方を筋道立てて考えることができる。また，魔方陣をつくることができる。	教科書，映像授業，報告課題	○			
10月		3章　数学と人間の活動	4節　数学で遊ぶ	2　図形で遊ぼう	p100,101	2	これまでに学んだことを用いて図形の不思議を解明する。また，新しいパズルをつくることができる。	教科書，映像授業	○			
10月		3章　数学と人間の活動	4節　数学で遊ぶ	3　規則性で遊ぼう	p102,103	1	ハノイの塔の問題を解くことで，規則性を考えることのよさを知ることができる。	教科書，映像授業	○			
10月		3章　数学と人間の活動	4節　数学で遊ぶ	4　論理で遊ぼう（帽子の色あて）	p104,105	1	帽子の色あてパズルを解くことで，論理的に考えることのよさを知ることができる。	教科書，映像授業	○			
10月		3章　数学と人間の活動	4節　数学で遊ぶ	5　和算で遊ぼう（塵劫記）	p106,107,108	2	「塵劫記」の問題を通して，数学と文化の人間との関わりについての認識を深めることができる。	教科書，映像授業	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞日常生活や社会の事象に目を向け，数学的に解決する方法を考えましょう。
☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り，理解を深めましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4msa

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力を身につけている。 ・不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身につけている。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学B	通年	選択科目	2単位	70単位時間(50分×70)	1単位時間	東京書籍『数学B』 東書　数B 702	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

【学習目標】

〈知識・技能〉
・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。

〈思考・判断・表現〉
・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。
・確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。
・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。

〈主体的に取り組む態度〉
・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。
・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

【学習方法】

①メディア授業　メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに，数列や統計的な推測についてなどを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し，理解を深める。

② 本校スクーリング　対面授業を実施し，数学を日常生活や社会事象に活用するために，ペア学習・グループ学習を取り入れ，対話によって思考を深め，広げることで問題解決する力を養う。

③ 報告課題（レポート）　教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し，それらを数学の概念を用いて定式化する力，問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養う。

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月		1章　数列	1節　数列	1　数列	p10，11	2	数列という概念について理解し、初項から末項までを求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎		
4月		1章　数列	1節　数列	2　等差数列	p12~15	3	等差数列の一般項の公式を理解し一般項から各項の値を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎		
4月		1章　数列	1節　数列	3　等差数列の和	p16~19	3	等差数列の和の公式を理解し和を求めるだけでなく和の条件から第何項までの和であるか求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎		
5月		1章　数列	1節　数列	3　等比数列	p20～22	3	等比数列の一般項の公式を理解し一般項から各項の値を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎	第1回 5月31日	
5 月		1章　数列	1節　数列	3　等比数列の和	p23~25	3	等比数列の和の公式を理解し和を求めるだけでなく和の条件から第何項までの和であるか求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎		
5 月		1章　数列	2節　いろいろな数列	1　数列の和と記号Σ	p27~32	4	Σの記号の意味や公式、性質を理解しΣの計算をすることができる。数列からΣの式を導くことができ、計算をすることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			
6 月		1章　数列	2節　いろいろな数列	2　いろいろな数列	p33~39	4	階差数列や群数列など複雑な数列について一般項や和の総数を求めることができる。和の式から一般項を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			
6 月		1章　数列	3節　漸化式と数学的帰納法	1　漸化式	p42~46	4	漸化式の意味を理解し与えられた条件から一般項を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○		第2回 6月30日	
6 辻		1章　数列	3節　漸化式と数学的帰納法	2　数学的帰納法	p47~51	4	数学的帰納法の考え方を理解し、等式や不等式の証明問題を解くことができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			
7 月		1章　数列	2節　いろいろな数列	課題学習	p56,57	2	階差を利用した数列の和を考えることで途中の項を消すことで和を求めることができる数列についてどのような特徴があるか理解する。	教科書	○			
7 月		2章　統計的な推測	1節　標本調査	1　母集団と標本	p60,61	2	集団の一部分の特徴から集団全体の特徴を推測することができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			
7 月		2章　統計的な推測	2節　確率分布	1　確率分布	p62~68	4	数学Aで学んだ確率について発展させることができ、確率分布を求めることができる。分散や標準偏差を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			
7 月		2章　統計的な推測	2節　確率分布	2　確率変数の平均と分散の性質	p69~71	3	確率変数の平均や分散の性質を数学的に理解することができる。確率変数aX+bの平均、分散、標準偏差について求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○		第3回 7月31日	
7 月		2章　統計的な推測	2節　確率分布	3　確率変数の和と積	p72~76	3	２つの確率変数の和について理解し、独立な確率変数についても和や積の分散を求めることができる。	教科書、映像視聴	○			
9 月		2章　統計的な推測	2節　確率分布	4　二項分布	p77~80	3	確率変数が二項分布に従うときの条件下で確率を求めることができる。二項分布の平均と分散を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			
9 月		2章　統計的な推測	3節　正規分布	1 正規分布	p82~89	4	正規分布についての定義を理解し正規分布の平均と標準偏差を求めることができる。二項分布の正規分布による近似値を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○		第4回 8月31日	
9 月		2章　統計的な推測	4節　統計的な推測	1　母平均の推定	p92~102	4	母集団分布の平均や分散を求めることができる。母平均に対する信頼区間を用いた問題について理解できる。	教科書、映像視聴、報告課題	○		第5回 9月30日	
9 月		2章　統計的な推測	4節　統計的な推測	2　仮説検定	p103~106	3	母集団分布の平均や分散を求めることができる。母平均に対する信頼区間を用いた問題について理解できる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			
9 月		3章　数学と社会生活	1節　数学的モデル化	1　数学的モデルを用いた予測	p114~119	3	数学的モデルについて理解することができる。数学的モデル化過程について理解し身の回りの事柄において数学的モデルを用いた予測をすることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			
１０月		3章　数学と社会生活	2節　関数モデル	1　関数モデルを用いた予測	p120~125	2	関数モデルについて理解することができる。関数モデルを用いての予測した結果についての意味を理解することができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			

１０月		3章　数学と社会生活	3節　確率モデル	1　確率モデルを用いた予測	p126~129	2	確率を用いた数学的モデルについて理解することができる。身の回りの事柄において数学的モデルを用いることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○		第6回　映像視聴報告 10月31日	
１０月		3章　数学と社会生活	4節　幾何モデル	1　幾何モデルを用いた予測	p131~135	2	事象を平面図形か空間図形を用いて表現することができる	教科書、映像視聴、報告課題	○			
１０月		3章　数学と社会生活	5節　フェルミ推定	1　フェルミ推定による推定	p137~140	3	フェルミ推定について理解することができる。フェルミ推定を用いて概数を推定することができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			

計70単位時間

【学習上の注意】

☞日常生活や社会の事象に目を向け，数学的に解決する方法を考えましょう。
☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り，理解を深めましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5ms

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。 ・確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学C	通年	選択科目	2単位	70単位時間(50分×70)	1単位時間	東京書籍『数学CStandard』 東書　数C 702	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
日常生活や社会の事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理をしたりする力を身に付ける。また、問題に対して粘り強く、柔軟に考え問題解決を振り返って考察を深めることができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
〈思考・判断・表現〉	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を総合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
〈主体的に取り組む態度〉	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【学習方法】

①メディア授業	メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに，数量や図形，データの分析などを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し，理解を深める。
② 本校スクーリング	対面授業を実施し，数学を日常生活や社会事象に活用するために，ペア学習・グループ学習を取り入れ，対話によって思考を深め，広げることで問題解決する力を養う。
③ 報告課題（レポート）	教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し，それらを数学の概念を用いて定式化する力，問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養う。

【年間学習計画】

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月		1章　ベクトル	章導入	Intoroduction	p8,9	1	船はぶつかる？ぶつからない？の考察を通して，ベクトルについて興味・関心を高める。	教科書、映像授業	〇			
4月		1章　ベクトル	1節　平面上のベクトル	1　平面上のベクトル	p10~16	2	平面上のベクトルを図示する活動などを通して，ベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，ベクトルの平行及び単位ベクトルについて理解する。また，実数の演算法則と関連付けてベクトルの演算法則が成り立つことを考察することができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
4月		1章　ベクトル	1節　平面上のベクトル	2　ベクトルの分解	p17,18	1	具体的な図形における考察を通して，ベクトルの分解とその一意性について理解する。	教科書、映像授業	〇		第1回 5月31日	
4月		1章　ベクトル	1節　平面上のベクトル	3　ベクトルの成分	p19~24	2	平面上のベクトルが2つの実数の組で成分表示されることを平面上の点の座標と関連付けて理解する。また，成分表示を利用してベクトルの大きさを求めることや，条件を満たす単位ベクトルを成分表示することができる。さらに，ベクトルの演算や平行・分解などについての理解を深める。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
4月		1章　ベクトル	1節　平面上のベクトル	4　ベクトルの内積	p25~31	2	2つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて，ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し，それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさなどを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
4月		1章　ベクトル	1節　平面上のベクトル	Training	p33	1	ベクトルの和や差についての理解を確認する。また、平面上のベクトルが2つの実数の組で表された時のなす角の求め方を確認する。	教科書、映像授業	〇			
4月		1章　ベクトル	2節　ベクトルの応用	1　位置ベクトル	p34~39	2	平面上の点の位置ベクトルについて理解し，ベクトルの演算や成分表示，内積の基本的な性質などを用いて，平面図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
4月		1章　ベクトル	2節　ベクトルの応用	2　ベクトル方程式	p40~46	2	ベクトルの演算や内積の基本的な性質及び位置ベクトルの考え方を用いて，平面上の直線や円をベクトル方程式で表現する方法について考察したり，与えられた条件を満たす点がえがく図形について考察したりすることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
4月		1章　ベクトル	2節　ベクトルの応用	Training		1	ベクトルの内分点や外分点、重心をベクトル方程式の表し方で確認する。また、あるベクトルに垂直な直線や平面上の円を表すベクトル方程式について確認する。	教科書、映像授業	〇			
5月		1章　ベクトル	3節　空間におけるベクトル	1　空間のベクトル	p48~50	1	空間におけるベクトルの定義や平行条件，ベクトルの分解とその一意性について，平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	〇		第2回 6月30日	
5月		1章　ベクトル	3節　空間におけるベクトル	2　空間座標と空間のベクトル	p51~55	2	空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し，それらを用いて空間におけるベクトルを成分表示することができる。また，空間のベクトルでも平面のベクトルと同様に演算法則が成り立つことを理解し，	教科書、映像授業、報告課題	〇			
5月		1章　ベクトル	3節　空間におけるベクトル	3　空間のベクトルの内積	p56~58	2	平面上のベクトルの内積の考えを空間に拡張して空間のベクトルの内積について理解する。また，そのことを利用して空間のベクトルのなす角や大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	〇			
5月		1章　ベクトル	3節　空間におけるベクトル	4　位置ベクトルと空間の図形	p59~66	2	平面における位置ベクトルの考えを拡張して空間における位置ベクトルについて理解する。また，それを用いて空間図形の性質について多面的に考察したり，空間における図形のベクトル方程式を求めたり	教科書、映像授業、報告課題	〇			
5月		1章　ベクトル	3節　空間におけるベクトル	Training	p67	1	平面上のベクトルだけでなく、空間におけるベクトルの成分表示について確認する。	教科書、映像授業	〇			
5月		1章　ベクトル	3節　空間におけるベクトル	Level　Up	p68,69	1	平面上のベクトルと空間におけるベクトルの基本から応用まで復習をする。	教科書、映像授業	〇			
5月		1章　ベクトル	章末	Investigation	p70,71	1	“ケプラーと正多面体”の問題について，本章で学んだことを活用して解決に取り組み，問題解決力を高める。	教科書、映像授業	〇			
5月		2章　平面上の曲線	章導入	Intoroduction	p72,73	1	境界線は？の考察を通して，平面上の曲線について興味・関心を高める。	教科書、映像授業	〇			
6月		2章　平面上の曲線	1節　2次曲線	1　放物線、楕円、双曲線	p74~87	3	放物線，楕円，双曲線の定義とその方程式について，条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察し，それらの曲線の基本的な性質について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎	〇		
6月		2章　平面上の曲線	1節　2次曲線	2　2次曲線と平行移動	p88~90	1	2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について，条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察することができる。また，平行移動したときの2次曲線の方程式の変化について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎		第3回 7月31日	
6月		2章　平面上の曲線	1節　2次曲線	3　2次曲線と直線	p91~93	1	2次曲線と直線の共有点について，2次方程式の実数解の考え方を用いて考察することができる。また，2次方程式の判別式を用いて，2次曲線と直線の共有点の個数を求めたり，2次曲線の接線の方程式を求	教科書、映像授業、報告課題	◎			
6月		2章　平面上の曲線	1節　2次曲線	4　2次曲線と離心率	p94,95	1	放物線，楕円，双曲線を，離心率の考え方を用いることで相互に関連付けて捉えて考察することができる。	教科書、映像授業	◎			
6月		2章　平面上の曲線	1節　2次曲線	Training	p96	1	放物線、楕円、双曲線の定義とそれぞれの方程式の表し方について確認する。	教科書、映像授業	◎			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
6月		2章　平面上の曲線	2節　媒介変数表示と極座標	1　曲線の媒介変数表示	p97~101	2	曲線の媒介変数表示について理解する。また，媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり，サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎		第4回 8月31日	
6月		2章　平面上の曲線	2節　媒介変数表示と極座標	2　極座標と極方程式	p102~108	2	直交座標と極座標の関係及び極方程式について理解する。また，直交座標で表された図形の方程式を極方程式で表すことやその逆のことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
7月		2章　平面上の曲線	2節　媒介変数表示と極座標	Training	p109	1	曲線の媒介変数表示と直交座標，極座標の関係及び極方程式について理解を深める。	教科書、映像授業	◎			
7月		2章　平面上の曲線	2節　媒介変数表示と極座標	Level　Up	p110,111	1	曲線の媒介変数表示や極座標、極方程式の応用問題を通じて理解を深める。	教科書、映像授業	◎			
7月		2章　平面上の曲線	章末	Investigation	p112,113	1	“アトラクションの動きを調べてみよう”の問題について，本章で学んだことを活用して解決に取り組み，問題解決力を高める。	教科書、映像授業	○			
7月		3章　複素数平面	章導入	Intoroduction	p114,115	1	複素数の和や差を図示しようの考察を通して，複素数平面について興味・関心を高める。	教科書、映像授業	○			
7月		3章　複素数平面	1節　複素数平面	1　複素数平面	p116~120	2	複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また，複素数の実数倍や，和と差が複素数平面上でどのように表されるかを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		第5回 9月30日	
7月		3章　複素数平面	1節　複素数平面	2　複素数の極形式	p121~127	2	複素数の極形式を理解し，a+bi の形の複素数を極形式で表すことができる。また，複素数の積・商と複素数平面上の回転移動との関係を理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		3章　複素数平面	1節　複素数平面	3　ド・モアブルの定理	p128~130	2	ド・モアブルの定理について理解する。また，ド・モアブルの定理を用いて z^n=α の解を求めることができる。さらに，その解を複素数平面上に図示することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		3章　複素数平面	1節　複素数平面	Training	p131	1	複素数平面上の点が複素数を表していることを確認する。また、複素数の和や差、積、商の表し方を確認する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		3章　複素数平面	2節　図形への応用	1　2直線のなす角	p132~135	2	偏角を用いることにより，複素数平面上の2直線がなす角の大きさが求められることを理解する。また，複素数平面上の三角形の形状を調べることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		3章　複素数平面	2節　図形への応用	2　複素数平面上の図形	p136~140	2	内分点や外分点，円，軌跡を，複素数を用いて表現することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
9月		3章　複素数平面	2節　図形への応用	Training	p141	1	偏角と2直線のなす角の表し方を確認する。また、複素数を用いての内分点や外分点の表し方を確認する。	教科書、映像授業	○			
9月		3章　複素数平面	2節　図形への応用	Level　Up	p142	1	複素数平面上での応用問題を解くことで理解を深める。	教科書、映像授業	○			
9月		3章　複素数平面	章末	Investigation	p144,145	1	“相似条件と複素数”の問題について，本章で学んだことを活用して解決に取り組み，問題解決力を高める。	教科書、映像授業	○			
10月		4章　数学的な表現の工夫	1節　統計グラフに表す	1　適切なグラフの選択	p146~152	2	データの種類に応じて適切な図，表，統計グラフなどの表現方法を選択することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第6回　映像視聴報告 10月31日	
10月		4章　数学的な表現の工夫	1節　統計グラフに表す	2　様々な表やグラフ	p153~156	2	既知の図，表，統計グラフでは読み取りにくい情報がないかを考察し，複数の図表を組み合わせたり，新たな表現方法を検討したりして，表現の改善点や改善方法を見いだすことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　数学的な表現の工夫	2節　行列に表す	1　行列とその加法・減法	p157~161	3	アンケート調査の結果を簡単に表現する方法に関する考察を通して行列を定義し，行列の加法・減法を用いることで能率的に調査結果を処理することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　数学的な表現の工夫	2節　行列に表す	2　行列の乗法とその性質	p162~167	3	行列の積を定義し，それを用いて事象を考察するとともに，行列の乗法の性質について理解を深める。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　数学的な表現の工夫	2節　行列に表す	3　行列の乗法の活用	p168~169	1	行列の積を用いてベクトルの変化を観察し，原点を中心とする回転を表す行列について考察することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　数学的な表現の工夫	3節　離散グラフに表す	1　離散グラフとその活用	p170~173	2	具体的な事象を離散グラフで表して考察することを通して，その意義や良さを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
10月		4章　数学的な表現の工夫	3節　離散グラフに表す	2　離散グラフと行列	p174~178	3	離散グラフについて隣接行列とその演算を用いて考察する活動を通して，このような表現の工夫によって能率的に処理したり，事象の様子を的確に伝えたりすることができることを認識できるようにする。	教科書、映像授業	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞日常生活や社会の事象に目を向け，数学的に解決する方法を考えましょう。
☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り，理解を深めましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学的な表現の工夫について認識を深めている。事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。図形や図形の構造に着目し，それらの性質を総合的・発展的に考察する力を身に付けている。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：６回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
数学	実践数学Ⅰ	2	実用数学技能検定要点整理３級	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
　数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】
日常的生活や義務で生じる課題や問題を合理的に処理するために必要な数学技能を習得することを目指す。また数学的な見方や考え方の良さを認識し、活用できるようにする。計算技能（基礎的な計算や各公式の性質の理解など）や数理技能（公式を的確に問題に活用できるか、各図形の特徴や公式を理解し活用することができる）の修得を目指す。

【学習方法】
①　メディア授業
「数学のよさ」を認識し、理解を深める。
②　本校スクーリング
対面授業で他の生徒と意見を共有することで、数学と日常生活の繋がりを理解する。
③　報告課題（レポート）
公式を理解し、基本的な計算を定着させる。

【学習評価】
*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・数学の基本的な計算を身につけ、活用することができる。
思考・判断・表現	・多面的かつ論理的に考察することができる。 ・目的に応じて適切に判断することができる。
主体的に取り組む態度	・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
		メディア(映像視聴学習)	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
４月	正の数・負の数 文字を用いた式	○	○	第1回　5月31日	「正の数・負の数の計算」「文字式の計算」「文字式
５月	1次方程式 連立方程式	○		第3回　7月31日	「1次方程式の解き方」「連立方程式の解き方」について理解する。
５月	式の展開と因数分解 平方根	◎		第2回　6月30日	「式の展開」「因数分解」「平方根」「√を含む式の乗法・除法・加法・減法」について理解する。
６月	2次方程式 比例・反比例	○		第3回　7月31日 第4回　8月31日	「2次方程式の解き方と解の公式」「因数分解を使った解き方」「比例」「反比例」について理解する。
６月	1次関数 関数$y=ax^2$	○		第4回　8月31日	「1次関数の式とグラフ」「1次関数の式の求め方」「関数$y=ax^2$」「関数$y=ax^2$のグラフと値の変化」について理解する。
７月	平面図形 空間図形	○		第2回　6月30日	「図形の移動」「基本の作図」「おうぎ形の弧の長さと面積」「空間内の直線の位置関係」「立体の表面積と体積」について理解する。
７月	平行線と角・多角形の角 三角形の合同	○		第5回　9月30日 第６回　10月31日	「平行線と角」「多角形と角」「三角形の合同条件」について理解する。
８月	三角形・四角形 図形の相似	◎		第６回　10月31日	「三角形」「平行四辺形」「図形の相似」「三角形の相似条件」「平行線と比」について理解する。
9月	円周角と中心角 三平方の定理	○		第5回　9月30日	「円周角の定理」「円周角と作図」「三平方の定理」「三平方の定理の利用」について理解する。
９月	簡単な資料の統計 確率の基礎	○		第1回　5月31日 第5回　9月30日	「統計表」「度数分布表」「代表値」「確率の求め方」について理解する。
10月	標本調査	○		第1回　5月31日	「全数調査と標本調査」「標本調査の利用」について理解する。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
数学	実践数学Ⅱ	2	実用数学技能検定要点 整理準2級	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】
日常的生活や義務で生じる課題や問題を合理的に処理するために必要な数学技能を習得することを目指す。また数学的な見方や考え方の良さを認識し、活用できるようにする。計算技能（基礎的な計算や各公式の性質の理解など）や数理技能（公式を的確に問題に活用できるか、各図形の特徴や公式を理解し活用することができる）の修得を目指す。

【学習方法】
①　メディア授業
「数学のよさ」を認識し、理解を深める。
②　本校スクーリング
対面授業で他の生徒と意見を共有することで、数学と日常生活の繋がりを理解する。
③　報告課題（レポート）
公式を理解し、基本的な計算を定着させる。

【学習評価】
*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・数学の基本的な計算を身につけ、活用することができる。
思考・判断・表現	・多面的かつ論理的に考察することができる。 ・目的に応じて適切に判断することができる。
主体的に取り組む態度	・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング	締切期限	
4月	平方根 整数の性質	○		第1回 5月31日	根号を含む式の計算、根号の中の数の求め方、1次不定方程式、循環小数、2進法について理解することができる。
4 月	式の展開と因数分解 2次方程式	◎			展開、因数分解、2次方程式について理解し、活用することができる。
5 月	1次不等式 集合と命題	○			1次不等式の解き方、集合、命題について基本を理解することができる。
5 月	関数 2次関数のグラフ	◎	○	第2回 6月30日	関数の考え方を理解し、2次関数に活用できるようになる。
6 月	2次関数の最大・最小 2次不等式	◎			2次関数の最大・最小の求め方、2次不等式の解き方を理解することができる。
6 月	場合の数 順列・組合せ	○		第3回 7月31日	様々な事象の総数を求めることができるようになる。
7 月	確率とその基本性質 独立な試行の確率	○			様々な事象の確率を求めることができるようになる。
9 月	相似 三平方の定理	○		第4回 8月31日	相似、三平方の定理の考え方を理解し、活用できるようになる。
１０月	鋭角の三角比 鈍角の三角比	◎		第5回 9月30日	様々な角度の三角比の求め方を理解する。
１０月	正弦定理と余弦定理 図形の面積・立体の体積	○			正弦定理と余弦定理、図形の面積・立体の体積の考え方、求め方を理解する。
１０月	三角形の性質 円の性質	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	様々な図形の性質を理解することができる。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
数学	実践数学Ⅲ	2	実用数学技能検定要点整理2級	授業者に準ずる	成田 伸男

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】
日常的生活や義務で生じる課題や問題を合理的に処理するために必要な数学技能を習得することを目指す。また数学的な見方や考え方の良さを認識し、活用できるようにする。計算技能（基礎的な計算や各公式の性質の理解など）や数理技能（公式を的確に問題に活用できるか、各図形の特徴や公式を理解し活用することができる）の修得を目指す。

【学習方法】
①　メディア授業
「数学のよさ」を認識し、理解を深める。
②　本校スクーリング
対面授業で他の生徒と意見を共有することで、数学と日常生活の繋がりを理解する。
③　報告課題（レポート）
公式を理解し、基本的な計算を定着させる。

【学習評価】
*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・数学の基本的な計算を身につけ、活用することができる。
思考・判断・表現	・多面的かつ論理的に考察することができる。 ・目的に応じて適切に判断することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	数と式	◎		第1回 5月31日	「実数」「3次式の乗法公式と因数分解」「2重根号」について理解する。
5月	等式・不等式の証明 集合と命題	○	○	第1回 5月31日	「恒等式の利用」「等式の証明」「不等式の証明」「集合とその表し方」「命題」「対偶・背理法を利用した命題の証明」について理解する。
5月	複素数 高次方程式	○		第1回 5月31日	「複素数とその四則計算」「2次方程式の複素数の解」「剰余の定理・因数定理」「高次方程式」について理解する。
6月	点と直線 2次関数	◎		第2回 6月30日	「内分点・外分点と三角形の重心」「点と直線の距離」「2次関数のグラフ（放物線）」「2次関数の最大・最小」について理解する。
7月	2次関数 円と直線	○		第2回 6月30日	「2次不等式」「円の方程式」「円と直線の共有点」「円の接線」について理解する。
8月	三角比 正弦定理と余弦定理	○		第2回 6月30日 第3回 7月31日	「三角比の定義と相互関係」「三角比の拡張」「正弦定理と余弦定理の利用」「三角形の面積」について理解する。
8月	三角関数の加法定理	◎		第3回 7月31日	「一般角と三角関数」「加法定理と2倍角の公式」「三角関数の合成」について理解する。
9月	指数と指数関数 対数と対数関数	○		第4回 8月31日	「累乗根と指数法則」「指数関数」「指数と対数」「対数関数」について理解する。
9月	導関数 導関数の応用	○		第5回 9月30日	「導関数」「接線の方程式」「関数の増減　　極大・極小」について理解する。
10月	不定積分と定積分 積分法の応用	○		第5回 9月30日	「不定積分」「定積分」「定積分と面積」について理解する。
10月	ベクトル 場合の数と確率	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	「ベクトルの加法、減法、実数倍」「ベクトルの成分と大きさ」「内積」「順列」「組合せ」「確率の性質」について理解する。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	科学と人間生活	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	東京書籍「科学と人間生活」（科人701） 2 東書　701	授業者に準ずる	田中 愛子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付いた生徒
・観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究する力のついた生徒
・自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養われた生徒

【学習目標】
〈知識・技能〉　・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。
〈思考・判断・表現〉　・観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
〈主体的に取り組む態度〉　・自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。

【学習方法】
①メディア授業　・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。
② 本校スクーリング　・対面授業を通して，メディア授業で学んだ知識や技能をさらに深める。
③ 報告課題（レポート）　・メディア授業で学んだ自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解の度合を確認する。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月	序章　科学技術の発展	科学技術の発展		・科学技術の歴史と発展 ・エネルギーや情報技術の発展 ・持続可能な未来のために	6ー13	1	・科学技術の進歩が人間生活にどのような影響をもたらしたかを考え，科学技術が人間生活を豊かで便利にしてきたことや，人間生活に不可欠であることを理解する。 ・エネルギーや情報技術の発展について調べ，それらと科学技術との関わりについて理解する。 ・科学技術の発展が今日の人間生活に貢献してきた反面，それによってもたらされた課題があることを知り，持続可能な社会をつくるための取り組みや自分たちにできる活動について調べ，レポートを作成したり発表したりする。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第１回 ５月３１日	
5月	1編　生命の科学	1章　微生物とその利用	1　さまざまな微生物	A　身のまわりの微生物	14-19	1	・カビは微生物であることを知り，微生物とはどのような生物かに問題を見いだす。 ・身のまわりにさまざまな微生物が存在することを知る。 ・食品中，水中，空気中の微生物を観察し，それぞれの細胞の大きさや形について考察する。 ・細菌，アーキア，原生生物，菌類に属するさまざまな微生物について理解する。 ・学んだことを生かして，食品を保存する際の注意点を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月				B　生態系における微生物のはた	20-21	1	・生態系における微生物の役割について考え，微生物は有機物を分解する分解者としての役割を果たしていることを理解する。 ・土壌微生物の分解者としてのはたらきを調べ，確かめる。 ・生態系における微生物のはたらきと炭素の循環について理解する。 ・学んだことを生かして，微生物の有機物を分解するはたらきについて考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月				C 窒素と微生物のはたらき	22-23	1	・根粒菌が大気中の窒素から窒素化合物を合成していることを理解する。 ・根粒を観察し，根粒菌の存在を確認する。 ・生態系における微生物のはたらきと窒素の循環について理解する。 ・学んだことを生かして，田畑における肥料の重要性について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月				D　水中の微生物のはたらき	24-25	1	・微生物が，分解者として水の浄化に関係していることを理解する。 ・微生物を利用して環境の浄化が行われていることを理解し，その利点を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月			2　私たちのくらしへの微生物の利用	A 微生物の発見の歴史	26-27	1	・レーウェンフックの顕微鏡の写真を見て，どのようにして微生物が発見されたのかについて問題を見いだす。 ・自然発生説を否定した方法について考え，理解する。 ・微生物やウイルスの発見の歴史を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月				B 食品と微生物	28-29	1	・発酵や腐敗が微生物のはたらきによって起こることを理解する。 ・発酵食品にはどのような物があるかを考え，微生物のはたらきによって，さまざまな発酵食品がつくられることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月				C　発酵のしくみ	30-33	1	・酵母による発酵はどのような反応で，どのような温度条件のときに盛んに行われるかを調べ，酵母によって糖がエタノールと二酸化炭素に分解されることを捉える。 ・アルコール発酵の仕組みとそれによって酒類やパンができることを理解する。 ・乳酸発酵の仕組みと乳製品や漬け物の製造に利用されていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月				D　医薬品と微生物	34-35	1	・微生物によってつくられる抗生物質の発見の歴史について理解する。 ・抗生物質以外にも，微生物を利用して有用な医薬品がつくられていることを理解する。 ・バイオテクノロジーを用いた，新たな医薬品の開発などが期待されていることについて考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月				章末	36-37	1	・1編1章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・微生物とその利用について学習した内容を，「章末確認テスト」で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		2章　ヒトの生命現象	1　ヒトの視覚と光による影響	A　視覚とは何か	38-41	1	・生まれたばかりの赤ちゃんはまぶしいと感じるのかを考え，どのようにして視覚が生じるかについて問題を見いだす。 ・眼の網膜で受容した光の刺激を脳で処理することにより視覚が生じることを理解する。 ・錯覚，錯視について知る	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月				B　眼の構造とはたらき	42-45	1	・ヒトの眼の構造を理解する。 ・ブタの眼球を解剖し，眼の構造を調べる。 ・近くを見るときと遠くを見るときの調節の仕組みを理解する。 ・２種類の視細胞のはたらきを理解する。 ・周囲の明るさと瞳孔の大きさの変化との関係について理解する。 ・１日を周期とした生活リズムについて考え，体内時計と眼との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月			2　血糖濃度を調節するしくみ	A　血糖とは何か	46-47	1	・ふだんの食事のメニューを想起し，エネルギー源である炭水化物は体内でどのように利用されているかについて問題を見いだす。 ・デンプンの消化と吸収のしくみについて理解する。 ・血糖濃度とそれを維持するための体内でのグルコースの流れについて理解する。 ・学んだことを生かして，血糖濃度が低下したときの体への影響を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第２回 ６月３０日	
6月				B　血糖濃度の調節	48-51	1	・血糖濃度を調節するためにインスリンやグルカゴンがはたらいていることを知る。 ・食事の前後の血糖濃度，インスリン濃度，グルカゴン濃度のデータから，それらのはたらきについて考察する。 ・血糖濃度を調節するための仕組みについて理解する。 ・糖尿病について理解する。 ・学んだことを生かして，糖尿病と人間生活との関わりについて考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3　体を守る免疫のしくみ	A　感染症から体を守るしくみ	52-55	1	・うがいや手洗いの重要性について考え，病原体から体を守るための仕組みについて問題を見いだす。 ・免疫とリンパ球のはたらきについて理解する。 ・抗原抗体反応の仕組みと特徴について理解する。 ・免疫記憶について理解する。 ・一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のデータを基に，免疫記憶の利点について考察する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月				B 免疫のしくみと日常生活	56-57	1	・予防接種の意味を考え，予防接種で感染症を予防する仕組みについて理解する。 ・免疫反応によってアレルギーが引き起こされることがあることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月			4　生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき	A 遺伝子とDNA	58-59	1	・親の形や性質などの特徴が子や孫に現れることがあることを想起し，遺伝について問題を見いだす。 ・DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解する。 ・動物，植物，菌類などからDNAを抽出する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月				B　DNAの遺伝情報からタンパク	60-61	1	・タンパク質はアミノ酸がつながってできていること，タンパク質によってアミノ酸の並び方は決まっていることを理解する。 ・DNAの塩基配列からタンパク質がつくられる過程について考え，理解する。 ・転写と翻訳について自分なりの表現で説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月				C　体内ではたらくタンパク質	62-63	1	・ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり，それぞれ，さまざまなはたらきをもっていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月				章末	64-65	1	・１編２章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・ヒトの生命現象について学習した内容を，「章末確認テスト」で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	2編　物質の科学	1章　材料とその再利用	1　リサイクルとは何か	A　資源の再利用と3R	66-69	1	・ガラス瓶とペットボトルの比較を基に，資源を再利用するための方法について問題を見いだす。 ・循環型社会を目指す必要性と3Rについて理解する。 ・ガラス瓶における3Rについて理解し，それぞれの利点について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			2　金属の性質とその再利用	A　金属の性質	70-71	1	・金属と非金属の性質の違いを比較して，金属の構造について問題を見いだす。 ・金属に特有の性質について理解する。 ・金属の構造について理解し，それを基に金属特有の性質について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月				B　異なる金属の区別	72-75	1	・金属の分類について理解する。 ・金属を区別するための方法を考えて実験を計画し，アルミニウム，鉄，銅の性質をさまざまな方法で調べる。 ・実験結果を基に考察し，金属の種類による物理的な性質および化学的な性質の違いについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月				C　金属の製錬と人間生活	76-79	1	・銅の精錬方法と用途について理解する。 ・銅の酸化物から銅を取り出すことができることを確かめる。 ・鉄やアルミニウムの精錬方法と用途について理解する。 ・さびについて理解するとともに，さびを防ぐ方法と利用について考え，理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月				D　金属の再生利用	80-81	1	・金属の再生利用の基本と，リサイクルマークについて理解する。 ・スチール缶の再生利用の方法について理解する。 ・アルミニウム缶の再生利用の方法を理解し，その重要性について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			3　プラスチックの性質とその再利用	A　プラスチックの性質と分類	82-85	1	・プラスチックと金属を比較して，プラスチックの性質や種類について問題を見いだす。 ・プラスチックの種類や特徴，用途について理解する。 ・プラスチックを区別する方法を考え，いろいろなプラスチックの性質を調べる。 ・実験結果を基に，ポリエチレン，ポリ塩化ビニル，フェノール樹脂の性質を比べ，それぞれの特徴を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月				B　プラスチックはどのようにつくるのか	86-89	1	・プラスチックの原料について理解する。 ・モノマーとポリマー，重合（付加重合，縮合重合）など，プラスチックの構造について理解する。 ・尿素樹脂を合成する。 ・さまざまな機能をもつプラスチックが開発，利用されていることを知り，それらと人間生活との関わりについて考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月				C　プラスチックの再生利用	90-91	1	・プラスチックの再生利用の重要性について考えるとともに，プラスチックのマテリアルリサイクル，ケミカルリサイクル，サーマルリサイクルについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月				章末	92-93	1	・２編１章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・材料とその再利用について学習した内容を，「章末確認テスト」で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第３回 ７月３１日	
7月		2章 衣料と食品	１衣料の科学	A 繊維の種類と性質	94-99	1	・身のまわりで繊維を利用している物を探し，繊維にはどのような種類があるかに問題を見いだす。 ・繊維の種類とそれぞれの用途について理解する。 ・多繊交織布を用いた繊維の燃焼試験，染色試験，酸やアルカリとの反応実験などから，それぞれの繊維の特徴を理解する。 ・染色の仕組みを理解する。 ・多繊交織布の実験結果を基に，繊維を見分ける。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月				B　生物からつくられる天然繊維	100-101	1	・植物繊維がセルロースから，動物繊維がタンパク質からできていることを理解する。 ・さまざまな天然繊維の特徴と用途について理解し，それぞれがなぜその用途で利用されているのかを考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月				C　石油からつくられる合成繊維	102-103	1	・合成繊維は石油を原料とすることや，モノマーとポリマー，重合（付加重合，縮合重合）について理解する。また，さまざまな合成繊維のモノマーとポリマー，性質と用途について知る。 ・再生繊維や半合成繊維の原料と用途について理解する。 ・ナイロン66を合成する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			２食品の科学	A 体に必要な栄養素	104-107	1	・ふだんの食事にはどのような栄養が含まれているかを考え，体に必要な栄養素について問題を見いだす。 ・栄養素やカロリーについて理解する。 ・ピーナッツの熱量を測定し，脂質は熱量が大きいことを確かめる。 ・無機質とビタミンのはたらきやそれらが含まれる食品について理解する。 ・三大栄養素の体内への取り込まれ方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月				B　脂質の性質	108-109	1	・油脂の構造と性質について理解する。 ・エステルの加水分解と油脂のけん化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月				C　炭水化物の性質	110-111	1	・デンプンは多数のグルコースが連なった高分子化合物であること，ヨウ素デンプン反応で検出されることを理解する。 ・炭水化物は糖類ともよばれ，単糖類，二糖類，多糖類に分類されることを理解する。 ・マルトースやグルコースはフェーリング液の還元反応で確認されることを理解する。 ・デンプンの消化の進行を，ヨウ素デンプン反応やフェーリング液の還元反応で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月				D　タンパク質の性質	112-113	1	・タンパク質は多数のアミノ酸分子が結合してできていることや，必須アミノ酸について理解する。 ・アミノ酸はペプチド結合で縮合することを理解する。 ・タンパク質はビウレット反応やキサントプロテイン反応で検出できることを理解する。 ・タンパク質の変性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月				章末	114-115	1	・２編２章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・衣料と食品について学習した内容を，「章末確認テスト」で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	3編　光や熱の科学	１章　光の性質とその利用	１　光の進み方とその基本的な性質	A　光の進み方とその見え方	116-119	1	・プールや海で水深が実際よりも浅く見えることがあることを想起し，物質の境界面での光の進み方について問題を見いだす。 ・異なる物質の境界面で光が反射・屈折するときの法則を理解する。 ・透明な物が見える理由について理解する。 ・全反射について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第４回 ８月３１日	
8月				B　光の波としての性質①	120-123	1	・光の分散とスペクトルについて理解する。 ・光の波長とスペクトルとの関係について理解する。 ・偏光について理解する。 ・偏光板を用いて物体のひずみを観察し，それを応用してペットボトルの品質管理などが行われていることを知る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月				C　光の波としての性質②	124-125	1	・光は，回折と干渉という波特有の性質をもつことを理解する。 ・光が回折と干渉という波特有の性質をもつことを確かめたヤングの実験について知る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月			２　目に見える光と色の見え方	A　さまざまなスペクトル	126-127	1	・白熱電球と電球色蛍光灯の写真を基に，光源によって光のスペクトルはどのように違うかについて問題を見いだす。 ・簡易分光器を通して，さまざまな光源のスペクトルを観察し，光源によってスペクトルに違いがあることを捉える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月				B　光の３原色と色	128-129	1	・物体の色がどのようにして生じているかについて，光の３原色や人の視覚と関連付けて理解する。 ・物体の色は何によって決まるのかを考え，物体から目に届く光には透過光と反射光があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			３　目に見えない光とその利用	A　電磁波の利用①	130-133	1	・太陽光をプリズムで分散させてスクリーンに当てたときの現象を基に，見えない光のなかまについて問題を見いだす。 ・電磁波という広い概念で，可視光線や赤外線，紫外線，電波，X線などの関係を理解する。 ・テレビなどのリモコンを使って，赤外線を調べる。 ・赤外線の性質とその利用について理解を深める。 ・ブラックライトを当てて，紫外線に反応する物質を調べる。 ・紫外線の性質とその利用について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月				B　電磁波の利用②	134-135	1	・電波やX線，ガンマ線の性質とその利用について理解を深める。 ・放射線の一種としてのX線やガンマ線の生物への影響について理解するとともに，科学技術のあり方について判断するために必要な態度を身につける。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月				章末	136-137	1	・３編１章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・光の性質とその利用について学習した内容を，「章末確認テスト」で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		２章　熱の性質とその利用	１　熱とは何か	A　原子や分子の熱運動	138-141	1	・温度による水の状態変化を基に，温度による物質の状態変化と原子や分子の動きとの関係について問題を見いだす。 ・ブラウン運動を観察する。 ・原子や分子の熱運動と温度との関係について理解する。 ・温度の表し方であるセ氏温度や絶対温度について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月				B　熱容量と比熱	142-145	1	・熱平衡，熱量，熱容量について理解する。 ・水と鉄を用いて物質の温まりやすさを調べる。 ・実験結果を基に，物質の種類や質量によって温まりやすさに違いがあることを捉え，比熱について理解する。 ・水の比熱が大きいことと人間生活との関わりについての理解を深める。 ・熱量の保存について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月				C　熱の伝わり方	146-147	1	・熱の伝わり方には，熱伝導，対流，放射があることを理解する。 ・魔法瓶の仕組みなど，熱伝導，対流，放射と人間生活との関わりについて考え，理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			２　エネルギーの利用と私たちのくらし	A　力学的エネルギーと熱エネルギー	148-149	1	・自動車の車体から火花が出ている様子の写真を基に，力学的エネルギーから熱エネルギーへの変化について問題を見いだす。 ・力学的エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解し，熱現象とエネルギーとの関係について考える。 ・力学的エネルギーが熱エネルギーに変わることを実験を通して確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第５回 ９月３０日	
9月				B　ほかのエネルギーから熱エネルギーへ	150-151	1	・化学エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解する。 ・発熱反応と吸熱反応の実験を行い，化学変化による発熱と吸熱を確かめる。 ・電気エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月				C　熱エネルギーから仕事への変換	152-153	1	・熱機関と熱効率について理解するとともに，熱機関の熱効率とエネルギーの有効利用について考える。 ・熱現象の可逆変化と不可逆変化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月				D　エネルギーの有効利用	154-155	1	・エネルギーの有効利用に興味をもち，さまざまな事例を基に理解を深める。 ・太陽エネルギーの特徴について考え，太陽光発電などへの理解を深める。 ・地球環境を保全するためのエネルギーの有効利用について調べ，科学技術のあり方について判断するために必要な態度を身につける。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月				章末	156-157	1	・３編２章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・熱の性質とその利用について学習した内容を，「章末確認テスト」で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	4編　宇宙や地球の科学	１章　太陽と地球	１　太陽と月がもたらすリズム	A　太陽と月がつくる暦	158-161	1	・同じ時刻に太陽や月が見える方位は日によって変化するのかを考え，太陽や月の日周運動について問題を見いだす。 ・地球の自転と公転によって，１日や１年が定義されていることを理解する。 ・月の見え方とひと月，暦の関係を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第６回・映像視聴報告 １０月３１日	
10月				B　海水面の変動と潮の満ち干をもたらす力	162-165	1	・潮位の変化による現象を知り，どのようにして起きるのかに興味をもつ。 ・潮位のデータを基に，潮位の変化の規則性について考察する。 ・潮の満ち干と月の引力との関係について考え，理解する。 ・太陽，地球，月の位置関係と潮位の変動との関係について考え，潮位の変動の周期性について理解する。 ・大潮と高潮が重なると，災害をもたらすことがあることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			２　太陽が動かす大気と水	A　太陽の放射エネルギー	166-169	1	・太陽のエネルギー源，太陽活動の変動，太陽の放射エネルギーについて知る。 ・太陽の光エネルギーを利用した太陽光発電の利点と課題について考え，理解する。 ・太陽放射の熱収支について理解する。 ・温室効果ガスと温室効果の仕組みを理解し，地球温暖化について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月				B　太陽がつくる大気と海洋の循	170-173	1	・大気の構造や対流について理解する。 ・緯度による太陽の熱の入射量の違いと地球の自転によって大気の流れができることを理解し，大気の大循環を理解する。 ・海流は風によって生じることを理解する。 ・大気と海水の移動によって低緯度の熱を高緯度に運び，その結果として気候が形成されることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月				C　１年を通じた大気の運動と気象災害	174-177	1	・地球の公転と自転軸の傾きによって季節が生じることを理解する。 ・気圧分布や大気の流れと各季節の気象との関係を理解する。 ・熱帯低気圧の経路図を基に，台風の発生場所と移動経路の特徴について考察する。 ・台風や集中豪雨などによって災害が起こることがあることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月				章末	178-179	1	・４編１章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・太陽と地球について学習した内容を，「章末確認テスト」で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	4編　宇宙や地球の科学	２章　自然景観と自然災害	１　身近な自然景観の成り立ち	A　移り変わる地球の景観	180-183	1	・ヒマラヤ山脈でとれたアンモナイトの写真を基に，地球規模の地形のでき方について問題を見いだす。 ・プレート運動により，プレート境界に海嶺や海溝，山脈などができることを理解する。 ・地表の景観は常に変化し続けており，長い時間をかけて少しずつ移り変わることについての理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月				B　山地や低地のでき方	184-185	1	・断層運動によって山地と低地ができることを理解する。 ・断層運動によってできた地形が見られる場所は，過去に地震が繰り返し発生した場所であることを理解し，防災のための取り組みの必要性に気づく。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月				C　火山がつくる景観	186-187	1	・マグマの性質とそれによる火山の姿や噴火の形態について理解する。 ・山脈や火山をもたらす原動力は地球内部の熱であり，その熱が地表に放出される過程でプレートが動いていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月				D　太陽のエネルギーがつくる景観	188-189	1	・地表は徐々に風化してもろくなり，地すべりや土砂崩れ，土石流などが起こることがあることを理解する。 ・斜面崩壊や土石流のモデル実験を行う。 ・流水の三作用について理解する。 ・太陽のエネルギーがもたらすさまざまな地形や景観について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			2　自然災害と防災	A　自然災害とは	190-191	1	・自然災害と人間生活について考え，自然災害やそれらに対する対策について問題を見いだす。 ・自然災害と自然現象との違いについて理解する。 ・自然災害と人間生活との関わりについての理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月				B　地震による災害	192-195	1	・プレート境界で起こる地震と内陸で起こる地震のメカニズムと特徴について理解する。 ・液状化のモデル実験を行う。 ・地震災害への対策の必要性を理解し，防災・減災のための具体的な取り組みについて知り，自分たちにできることはあるか考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
10月				C　火山による災害	196-197	1	・火山の噴火によるさまざまな災害について理解する。 ・火山の噴火に対する防災・減災のための取り組みについて知り，自分たちにできることはあるか考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
10月				D　気象災害・土砂災害と防災	198-201	1	・台風や低気圧などの大雨によるさまざまな災害について理解する。 ・暴風や雷，大雪などによっても気象災害が起こることを知る。 ・ハザードマップと地形図を比較して水害や土砂災害が起こりやすい地形を調べ，それらが起こりやすい地形の特徴を捉える。 ・気象災害に対する防災・減災のための取り組みや課題について知り，自分たちにできることはあるか考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
10月				E　自然災害との付き合い方	202-205	1	・自然災害を軽減するために自分たちにできることについて問題を見いだす。 ・天気予報の仕組みや気象観測の発達について理解する。 ・気象に関する注意報と警報について理解し，それらが発令された際の行動について考える。 ・火山の噴火を予測したり，地震波や津波の到達に先回りしたりするためのシステムについて知る。 ・自然災害に対する防災・減災のための取り組みへの科学技術の重要性と限界について理解し，自分たちにできることを考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
10月				章末	206-207	1	・4編2章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・光の性質とその利用について学習した内容を，「章末確認テスト」で確かめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	5編　課題研究			課題や仮説の設定，検証計画の立案 観察・実験などの実施，結果の整理と考察	210-221	1	・これまでの学習を振り返り，興味や関心をもったことやもっと調べてみたいことがあるか考える。 ・自然や科学技術と人間生活との関わりについて，調べる課題を設定する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞その事象がどうしてそうなるのか、考えながら取り組みましょう。

【映像視聴について】
NHK高校講座「科学と人間生活」
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4rkn

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。
思考・判断・表現	・観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	・自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	物理基礎	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	東京書籍 『新編　物理基礎』 東京書籍　物基702	授業者に準ずる	田中 愛子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】

〈知識・技能〉　日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。

〈思考・判断・表現〉　観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付けている。

〈主体的に取り組む態度〉　物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業　物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。
② 本校スクーリング　観察，実験などを通して、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。
③ 報告課題（レポート）　物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア①（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	物体の運動とエネルギー	直線運動の世界	運動の表し方		10〜11	2	・運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち，時刻や位置を理解する。 ・運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち，速さについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇		第1回 5月31日	
4月			変異と速度		12〜13	1	・物体の運動を表すには，時刻や位置，速さだけでなく，向きが必要であることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
4月			等速直線運動		14〜15	1	・等速直線運動のx-tグラフやv-tグラフの特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
4月			合成速度と相対速度		16〜17	1	・合成速度とその求め方について理解する。 ・相対速度とその求め方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			速度が変わる運動		18〜23	2	・加速度が一定である直線運動を等加速度直線運動ということを理解し，等加速度直線運動のv-tグラフやx-tグラフの特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			等加速度直線運動		24〜25	1	演習を通して，等加速度直線運動の式やグラフの扱い方を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			自由落下		26〜27	1	・自由落下運動の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			鉛直投射		28〜29	1	物体の運動のようすを式やグラフで表す方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			水平投射		30〜31	1	物体の運動のようすを式やグラフで表す方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			まとめ		32〜33	2	・1編1章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・1編1章について，「章末確認テスト」を使い，問題を通して理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
5月		力と運動の法則	力のつり合い		34〜35	1	・力の3要素について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
5月			力の合成と分解		36〜37	2	・力の分解のしかたと成分について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
5月			垂直抗力と弾性力		40〜41	1	・斜面上に置かれている物体を例に，抗力について理解する。 ・ばねの伸びや縮みとばねにはたらく力の大きさの関係（フックの法則）を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
5月			慣性の法則		42〜23	1	・身近な例をもとに，慣性の法則について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
6月			「運動の変化」と「力」		44〜49	1	・物体にはたらく力と物体に生じる加速度の関係を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月			作用・反作用の法則		50〜53	2	・作用・反作用の法則について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇		第2回 6月30日	
6月			動摩擦力とその性質		60〜61	1	・動摩擦力の性質について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
6月			静止摩擦力とその性質		62〜63	1	・静止摩擦力について知る。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア①（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
6月			空気の抵抗力		64～65	1	・空気中の物体が運動しているとき，物体は空気の抵抗力を受けることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月			水圧と浮力		66～69	2	・水深と水圧の関係，大気圧について理解する。 ・水中の物体にはたらく浮力の大きさと向きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月			まとめ		70～73	2	・1編2章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・1編2章について，「章末確認テスト」を使い，問題を通して理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		力学的エネルギー	仕事		74～75	1	・仕事と仕事の原理について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			仕事率		76～77	1	・力の向きと仕事の関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			運動エネルギー		78～79	1	・運動エネルギーを定量的に表す方法を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			位置エネルギー		80～81	1	・重力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解する。 ・弾性力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第3回 7月31日	
7月			力学的エネルギーの保存		82～85	1	・運動エネルギー，位置エネルギー，力学的エネルギーの関係について理解する。 ・力学的エネルギー保存の法則と，力学的エネルギーが保存される条件について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			いろいろな運動でみる力学的エネルギー		86～89	1	・力学的エネルギーの変化と仕事の関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			まとめ		90～91	1	・1編3章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・1編3章について，「章末確認テスト」を使い，問題を通して理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	さまざまな物理現象とエネルギー	熱	温度と熱		94～95	1	・温度が熱運動の激しさを表すことを理解する。 ・絶対温度とセルシウス温度の関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			熱と物質		96～97	1	・熱がエネルギーであることについて理解する。 ・物質の三態と物質の分子の状態を関連付けて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			熱の移動と保存		98～101	2	・熱量の保存について理解する。 ・熱量の保存を用いて比熱容量を求める方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			熱と仕事		102～103	1	・内部エネルギーと仕事の関係（熱力学第1法則）について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第4回 8月31日	
8月			熱機関と不可逆変化		104～105	1	・熱効率について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月			まとめ		106～107	1	・2編1章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・2編1章について，「章末確認テスト」を使い，問題を通して理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		波	いろいろな波		108～109	1	・振動が伝わっていく現象を波ということを理解し，波源や媒質について理解する。 ・波が波源の振動のエネルギーを伝えていく現象であることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			波の表し方		110～111	1	・波形がy－xグラフで表せることを理解する。 ・波の速さ，波長，周期，振動数の関係を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			横波と縦波		112～113	1	・縦波と横波について理解し，その違いについて理解する。 ・縦波が横波と同じようにｙ－ｘグラフとして表すことができることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			波の重ね合わせ		114～115	1	・波の独立性、波の重ね合わせの原理について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			定在波		116~117	1	・定在波ともとの進行波の関係を理解し，定在波の腹と節について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			波の反射		118～121	2	・波の反射について理解し，固定端反射と自由端反射の違いについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第5回 9月30日	

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア①（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
9月			音波		122～123	1	・音の３要素について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			弦の固有振動		124～127	2	・固有振動，共振（共鳴）について理解する。 ・弦に振動を与えて固有振動を観察し，固有振動の腹の数と固有振動の振動数の関係について見いだして理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			気柱の固有振動		128～131	2	・気柱の共鳴を利用して，気中内に定在波が生じていることを理解する。 ・閉管，開管の気柱にできる定在波の振動数，気柱の長さ，波長，音速の関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			まとめ		132～133	1	・2編2章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・2編2章について，「章末確認テスト」を使い，問題を通して理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		電気	動いていない電気、動いている電気		134～135	1	・静電気や静電気力について理解する。また，原子の構成について理解する。 ・電流の大きさの表し方と，電流の向きと電子の移動の向きの関係を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
10月			電流と電気抵抗		136～139	2	・オームの法則について理解する。 ・電気抵抗を，抵抗率，導線の長さ，断面積で表す方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第6回・映像視聴 報告 10月31日	
10月			直列接続と並列接続		140～143	2	・２つの抵抗を直列接続，並列接続したときの電流や電圧がどうなるか理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			電力と電力量		144～145	1	・電気エネルギーについて理解する。 ・電力量とジュールの法則がどのように表されるか理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			電流が作る磁場		146～147	1	・磁力や磁場，磁場の向きと磁力線について理解する。 ・電流が磁場から力を受けることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			発電機の仕組み		148～149	1	・電磁誘導の法則について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			直流と交流		150～151	1	・直流と交流について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			電磁波		152～153	1	・電磁波にはさまざまな種類があり，その性質に応じて利用されていることを理解する。 ・電磁波は波長によって分類され，さまざまに利用されていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			まとめ		154～155	1	・2編3章で学習した内容を振り返り，整理する。 ・2編3章について，「章末確認テスト」を使い，問題を通して理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		エネルギーとその利用	エネルギーの変換と保存		156～157	1	・エネルギーが何をすることができるのか理解する。 ・エネルギー保存の法則について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
10月			原子核のエネルギー		158～159	1	・原子の構造，同位体，核エネルギーについて理解する。 ・核融合と核融合発電について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
10月			放射線の利用と安全性		160～161	1	・放射能と放射線の単位，放射線の人体への影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
10月			エネルギーの利用と課題		162～165	1	・生命のエネルギーの源が太陽からもたらされる光エネルギーであることを理解する。 ・持続可能な社会に向けて，どのような取り組みが行われているか理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞物理基礎は身の回りの多くの物体の動きや現象に関わる重要な科目です。自身の身近なものに置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4rbk

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	物理	通年	選択	4	140単位時間（50分×140）	7単位時間	東京書籍 『物理』 東京書籍　物理701	授業者に準ずる	田中 愛子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

「物理基礎」との関連を図りながら，更に進んだ物理学的な方法で自然の事物・現 象を取り扱い，物理学的に探究する能力と態度を身に付け，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ，科学的な自然観を育み，観測・測定された量の間の関係からより普遍的な法則を見いだし，さらに，その法則から新しい事物・現象を予測したり，説明したりすることができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉　「物理基礎」の学習を踏まえて，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。
〈思考・判断・表現〉　科学の方法を適用しながら問題を解決していくという探究の過程物理学的に探究する能力と態度を育てる。
〈主体的に取り組む態度〉　物理的な事物・現象に対する探究心を高め、科学的な自然観を育成する。

【学習方法】

①メディア授業　物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。
② 本校スクーリング　観察，実験などを通して、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。
③ 報告課題（レポート）　物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	さまざまな運動	平面内の運動	平面内の運動	変位 速度 加速度 ベクトルの成分表示 平面内の合成速度と相対速度 運動の法則	9-16	3	・ジェットコースターのような曲線上を運動する物体の運動（加速度）はどのように表現すればよいか考える。 ・平面内を運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち、位置ベクトルや変位（ベクトル）について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第1回 4月30日	
4月			放物運動	水平投射 斜方投射 空気の抵抗力	17-22	3	・水平投射された物体の運動を水平方向と鉛直方向に分解し、どのように成分表示されるか理解する。 ・斜方投射された物体の運動を水平方向と鉛直方向に分解し、どのように成分表示されるか理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月			章末問題		24	1			○			
4月		剛体のつり合い	剛体と力のモーメント	大きさのある物体 剛体のつり合い 重心	26-40	6	・「物理基礎」で学習した質点と異なり、大きさと質量をもつ物体（剛体）があること、その運動のようすについて理解する。 ・小学校での「てこ」をふまえて、剛体が傾く（回転する）ときと傾かない（回転しない）ときの条件を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月			章末問題		42	1						
4月		運動量	力積と運動量	力積 運動量	44-49	2	・物体に加える力の大きさと時間の関係について考え、力と時間の積を力積ということを理解する。 ・質量と速度の積を運動量ということを理解する。 ・物体に与えた力積と物体の運動量の関係について理解する。 ・運動量という物理量について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第2回 4月30日	
4月			運動量の保存	直線上での力学台車の衝突や分裂 直線上での運動量の保存 運動量の保存	50-56	4	・直線上で物体が衝突するときにどの物理量がどのような関係になっているか、仮説を立てて検証方法を考える。 ・実験結果をふまえて、速度や運動エネルギー、運動量の関係が衝突の前後でどのようになっているか理解する。 ・直線上で物体が衝突するときに、運動量が保存されることを文字式から導き、理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月			反発係数	床や壁との衝突 直線上の2物体の衝突 運動量と力学的エネルギー	57-68	3	・さまざまなボールを使って、弾み方の違いが何によるのか、1つのボールを弾ませるときに高さや衝突する面を変えたときの弾み方に規則性があるのか考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月			章末問題		70	1		教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		円運動	円運動	等速円運動の表し方 円運動に必要な力	72-77	2	・等速円運動を表す量として、周期や回転数、速度について、その表し方や関係を理解する。 ・円運動を表す量として、角速度について表し方や速度との関係について理解する。 ・等速円運動する物体の加速度がどのように表されるか、考え方とともに理解する。 ・円運動の角速度で用いる角度の表し方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月			慣性力	直線運動における慣性力 円運動における慣性力	78-82	1	・直線運動における地面で静止している人から見た運動する物体のようすと、物体とともに運動する人が見た物体のようすについて比較しながら考え、慣性力について理解する。 ・慣性系と非慣性系について知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月			章末問題		84	1		教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		単振動	単振動	単振動の表し方	86-89	2	・物体が行う往復運動（振動）が身のまわりでどこに見られるか、単純な形で表すことができる振動がどのような振動か考える。 ・単振動する物体の変位の時間変化が正弦曲線で表されることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第3回 5月31日	
5月			さまざまな単振動	ばね振り子 単振動を引き起こす力と単振動の周期 単振り子	90-102	4	・鉛直ばね振り子の周期がどのように表されるか論理的な導出をふまえて理解する。 ・水平ばね振り子の周期がどのように表されるか理解する。 ・物体が単振動するときにはたらく力を復元力ということ、復元力の表し方について理解する。 ・一般的な単振動の周期の表し方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			単振動のエネルギー	単振動のエネルギー	103-104	1	・波力発電のしくみについて考える。 ・単振動する物体がもつエネルギーについて、その表し方とともに理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			章末問題		106	2			○			
5月		万有引力	惑星の運動	ケプラーの法則	108-110	1	・火星の動きのシミュレーションから、どのような運動をしているのか考える。 ・惑星の軌道や惑星の諸定数から、惑星の運動にどのような規則性があるのか考え、ケプラーの法則について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月			万有引力	万有引力の法則 重力 人工衛星 万有引力による位置エネルギー	111-118	2	・地球上の物体の質量を知ることと比較して、地球そのものの質量を知る方法について考える。 ・2つの物体間にはたらく万有引力の法則について理解する。 ・万有引力の法則から重力がどのように表されるか理解する。 ・人工衛星の速さが、地表からの高さの違いによってどのように表されるか理解する。 ・万有引力による位置エネルギーについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			章末問題		120	1						
5月		気体分子の運動	気体の性質	気体の圧力 ボイル・シャルルの法則 理想気体の状態方程式	122-129	2	・へこんだピンポン球をもとに戻す方法をもとに、気体を温めたときの変化について考える。 ・中学校や物理基礎で学習した気体の圧力について、気体分子から見たときにどのように考えられるか理解する。 ・気体の温度が一定のとき、気体の体積と圧力が反比例する（ボイルの法則）ことについて理解する。 ・気体の圧力が一定のとき、気体の体積が絶対温度に比例する（シャルルの法則）ことについて理解する。 ・ボイルの法則とシャルルの法則をまとめて表すことができる（ボイル・シャルルの法則）ことについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第4回 5月31日	
5月			気体分子の運動と状態方程式	気体分子の運動と圧力 気体分子の運動と絶対温度 気体分子の運動と気体の内部エネルギー	130-136	3	・気体分子の運動によって、気体の圧力がどのように表されるか理解する。 ・気体分子の運動によって、気体分子の運動エネルギーと絶対温度の関係がどのように表されるか理解する。 ・気体の2乗平均速度について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月			熱力学第1法則と気体の状態変化	熱力学第1法則 気体のする仕事 熱力学第1法則と気体の状態変化 気体のモル熱容量 気体の状態変化のまとめ	137-147	4	・熱力学第1法則について理解する。 ・気体がする仕事、される仕事と熱力学第1法則についての関係を理解する。 ・実験結果をふまえて、気体が仕事をされたときの熱力学第1法則との関係を理解する。 ・等温変化、断熱変化、定積変化、定圧変化での熱力学第1法則との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月			熱力学第2法則と熱機関	熱力学第2法則と熱効率 熱力学第2法則と可逆変化、不可逆変化 熱力学第2法則の別の表し方	148-153	2	・物理基礎で学習した熱機関の熱効率をふまえて、熱力学第2法則について理解する。 ・可逆変化と不可逆変化についてエントロピーと関連付けて理解する。 ・熱力学第2法則がさまざまな表し方をできることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月			章末問題		155-157	1			○			
6月	波	波の伝わり方	波の表し方	波の表し方	161-164	1	・波のようすを伝えるためにはどのように表せばよいか考える。 ・正弦波の表し方について理解する。 ・正弦波の式における位相について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第5回 6月30日	
6月			波の伝わり方	波面と射線 回折 反射 屈折 ホイヘンスの原理 干渉	165-172	3	・平面波や球面波について理解する。 ・波の性質である回折について理解する。 ・波の性質である反射について理解する。 ・波の性質である屈折について理解する。 ・波の進み方を説明したホイヘンスの原理について理解する。 ・ホイヘンスの原理を用いた反射の法則や屈折の法則の説明について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月			章末問題		174	1		教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		音	音の性質	音の性質	176-178	1	・物理基礎で学習した音の反射に加え、音の屈折・回折・干渉について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月			ドップラー効果	音源または観測者のどちらかが動く場合 音源と観測者がともに動く場合 音の反射とドップラー効果	179-186	3	・ドップラー効果とはどのような現象か理解する。 ・音源のみが動く場合のドップラー効果がどのように表されるか理解する。 ・観測者が動く場合のドップラー効果がどのように表されるか理解する。 ・音源と観測者が動く場合のドップラー効果がどのように表されるか理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月			章末問題		188	1			○			
6月		光	光の伝わり方	ものが見えるということ 光の速さ 反射と屈折 全反射 分散偏光散乱	190-200	3	・可視光線の波長の違いを色の違いとして認識していることについて理解する。 ・単色光と白色光の違いについて理解する。 ・光の速さについて、歴史的な背景とともに理解する。 ・光の反射と屈折について、反射の法則や屈折の法則が成り立つことを理解する。 ・絶対屈折率がより小さい媒質へ進むときに、全反射が起こることについて理解する。 ・白色光が屈折率の違いによって波長ごとに分かれることを分散ということ、分かれた色の模様をスペクトルということを理解する。 ・スペクトルには連続スペクトルと線スペクトルがあることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月			光の回折と干渉	光の回折と干渉 回折格子 薄膜による干渉 空気層による干渉	201-213	5	・身のまわりで虹色に見える現象が光の性質（回折・干渉）によるものであることを知る。 ・光も波の性質である回折が見られることを理解する。 ・ヤングの実験とはどのような実験か知り、光が干渉するときの強め合う条件や弱め合う条件について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第6回 6月30日	
6月			レンズと鏡	レンズを通る光の進み方 凸レンズによる像 凹レンズによる像 組み合わせレンズ レンズの式/平面鏡と球面鏡/球面鏡による像/球面鏡の式	214-226	4	・望遠鏡で遠くの物体を拡大できる理由について考える。 ・レンズには凸レンズや凹レンズがあることを知り、光（光線）が入射したときの光の進み方について理解する。 ・凸レンズによる実像のでき方について理解し、写像公式や倍率について理解する。 ・凸レンズによる虚像のでき方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月			章末問題		155-157	1			○			
7月	電気と磁気	電場と電位	静電気	静電気 電気量保存の法則 クーロンの法則	233-237	1	・身のまわりで体験したことのある静電気の現象について考える。 ・物理基礎で学習した静電気や原子の構造について復習する。 ・物体が帯電するときのしくみやきまりについて理解する。 ・2つの点電荷が及ぼし合う静電気力について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			電場（電界）	電場（電界） 点電荷がつくる電場 電気力線 電気力線と電場の強さ	238-245	3	・すでに学習した万有引力とクーロン力（静電気力）との類似点や相違点について考える。 ・電場とは何かについて理解し、電場の表し方や電場中の点電荷が受ける力について理解する。 ・点電荷がつくる電場について理解し、複数の点電荷がある場合の電場の表し方について理解する。 ・電場を表すときに電気力線を用いることができること、電気力線の性質について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月			電位	静電気力による位置エネルギー 電位と電位差 点電荷のまわりの電位	246-255	2	・電子顕微鏡で電子を加速している原理について考える。 ・重力による位置エネルギーと比較しながら、静電気力による位置エネルギーについて理解する。 ・電位とは何かについて理解し、電位差の表し方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第7回 7月31日	
7月			電場の中の物体	電場の中の導体 電場の中の不導体	256-259	2	・工場の排煙装置で静電気を利用しているものについて、どのようなしくみであるか考える。 ・導体に帯電体を近づけたときのようす（静電誘導）と電場内に導体を入れたときのようすについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			コンデンサー	電気を蓄える コンデンサーの電気容量 コンデンサーに蓄えられるエネルギー コンデンサーの接続	260-271	4	・AEDのしくみについて調べ、高電圧を蓄えるしくみについて考える。 ・コンデンサーの種類や充電・放電のしくみについて理解する。 ・コンデンサーに蓄えられる電気量について理解し、平行板コンデンサーの電気容量について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			章末問題		273-274	1			○			
7月		電流	電流	電気抵抗の温度変化	276-280	2	・身のまわりの導線や送電線に使われている素材について考える。 ・物質の抵抗率が温度によって変化することについて理解する。 ・電圧と電流が比例しない抵抗（非線形抵抗）について理解する。 ・物理基礎で学習した電流の大きさやオームの法則、ジュール熱について、自由電子の運動の視点から理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第8回 7月31日	
7月			直流回路	起電力と電位降下 キルヒホッフの法則 電池の内部抵抗と端子電圧 電流計・電圧計の内部抵抗 抵抗・起電力の測定	281-300	5	・電気回路で用いられる素子について、どのような素子がどのような目的で使用されているか考える。 ・電気回路における電位と電流の関係について理解する。 ・複数の電源や抵抗などからなる回路における法則（キルヒホッフの法則）について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			章末問題		302	1			○			
8月		電流と磁場	磁場（磁界）	磁力（磁気力）と磁気量 磁場（磁界）の向きと強さ 磁力線 磁性の起源	304-308	1	・これまでに学習した万有引力や静電気力と磁力との類似点や相違点について考える。 ・磁石にはたらく磁力について理解する。 ・磁場とは何かについて理解し、磁場の表し方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第9回 8月31日	
8月			電流がつくる磁場	エルステッドの発見 直線状の電流がつくる磁場 曲線状の電流がつくる磁場	309-313	2	・地磁気の成因が電流によるものであるダイナモ理論について知り、電流と磁場についての関係を考える。 ・エルステッドの実験について知る。 ・直線状の電流がつくる磁場について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月			電流が磁場から受ける力（電磁力）	電流が磁場から受ける力 電磁力を基準として磁場を表す 磁束 平行電流が及ぼし合う力	314-317	2	・スピーカーやイヤホンを例に、磁石とコイルで電気振動を音に変えるしくみについて考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月			ローレンツ力	ローレンツ力 磁場中の荷電粒子の運動 ホール効果	318-324	1	・オーロラの発生原理を調べ、なぜ北極圏や南極圏でよく見られるのか考える。 ・磁場中を運動する荷電粒子にはたらく力（ローレンツ力）について理解する。 ・ローレンツ力を受ける荷電粒子の運動について理解する。 ・磁場中の導体に電流を流したときのホール効果について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月			章末問題		326	1			○			
8月		電磁誘導と電磁波	電磁誘導	電磁誘導 電磁誘導はどのように説明されるか 電磁誘導とエネルギー保存の法則 渦電流	328-337	4	・スピーカーと同じように磁石とコイルで構成されているマイクが音を電気信号に変えているしくみについて考える。 ・これまでに学習した電磁誘導について、誘導起電力の大きさや向きはコイルの巻数やコイルを貫く磁束の時間変化とどのような関係にあるか調べる方法を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第10回 8月31日	
8月			自己誘導と相互誘導	自己誘導 コイルを含む回路 コイルに蓄えられるエネルギー 相互誘導	338-343	4	・コイル自身を流れる電流の変化による磁場の変化によって電磁誘導が起こることを理解し、その際の誘導起電力の表し方について理解する。 ・直流回路におけるコイルの振る舞いについて理解する。 ・コイルに蓄えられるエネルギーについて理解する。 ・2つのコイルによる相互誘導について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月			交流	交流 抵抗と交流 コイルと交流 コンデンサーと交流 RLC直列回路 電気振動	344-361	5	・交流電圧の発生のさせ方と表し方について理解する。 ・交流回路における抵抗の振る舞いについて理解する。 ・交流回路におけるコイルの振る舞いについて理解する。 ・RLC直列共振回路について理解する。 ・RLC並列回路に交流電圧を加えたときのようすを知り、理解を深める。 ・充電されたコンデンサーとコイルを接続したときの電気振動について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月			電磁波	誘導電場と誘導磁場 電磁波の発生 電磁波の性質 電磁波の種類	362-367	3	・誘導電場、誘導磁場について理解する。 ・電磁波が発生するしくみについて理解する。 ・電磁波の性質について理解する。 ・電波発生器と電波検出器を用いて、電波（電磁波）の性質について確かめる。 ・電磁波の種類や波長の違いによる用途について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月			章末問題		369-371	1		教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	原子	電子と光	電子	陰極線 電子の比電荷 電気素量	375-379	1	・陰極線について理解する。 ・例題を通して、電子の比電荷の求め方について理解する。 ・ミリカンの実験を通して、電気素量がどのように求められたか理解する。 ・SIの定義定数である電気素量と電子の比電荷（電子の質量）について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第11回 9月30日	
9月			光の粒子性	光電効果 光子（光量子）と光電効果 電子ボルト	380-383	2	・光を電気信号に変えるしくみについて考える。 ・光電効果の実験のしくみについて理解し、実験結果と波動性による説明について理解する。 ・光子とは何かについて理解し、光子による光電効果の説明について理解する。 ・光子や電子のエネルギーを表す単位について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
9月			X線	X線の発生 X線の波動性 X線の粒子性	384-388	2	・X線がどのように発生するか、Xの種類と特徴について理解する。 ・X線が結晶で散乱され干渉することを理解し、その強め合う条件（ブラッグの条件）について理解する。 ・X線が粒子性をもつことをコンプトン効果と関連付けて理解する。 ・例題を通してコンプトン効果による波長の変化について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
9月			波動性と粒子性	物質波と電子線の回折・干渉 量子力学とハイゼンベルクの不確定性原理	389-392	1	・これまでに学習した光が波動性と粒子性をもつことから、この二重性が光だけのものか考える。 ・物質をつくる粒子が波動性をもつことを理解する。 ・粒子性と波動性の二重性を扱う理論形式（量子力学）について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
9月			章末問題		394	1		教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		原子と原子核	原子の構造	原子核の発見 水素原子のスペクトル 水素原子のボーア模型	396-406	3	・原子の構造がどのようなものであるかを歴史的な背景をふまえて理解する。 ・水素原子のスペクトルについて理解する。 ・ボーアの仮説について理解する。 ・水素原子の軌道半径やエネルギー準位について理解する。 ・ボーアの仮説より導出した水素原子のスペクトルが実験結果と一致することを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第12回 9月30日	
9月			原子核	原子核の構成 同位体 統一原子質量単位 原子量	407-409	3	・原子核の構成について理解し、その表し方を理解する。 ・同じ元素でも質量の異なる原子が存在することを理解する。 ・原子の質量の表し方について理解する。 ・原子量について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
9月			原子核の崩壊	原子核の崩壊と放射線 半減期と崩壊系列 放射線の性質とその利用	410-415	2	・放射線の種類や特徴について理解する。 ・放射性原子核の半減期について理解する。 ・放射性原子核は安定した原子核になるまで放射性崩壊が連続的に続くこと、また、それらをまとめた系列について理解する。 ・放射線の性質と利用について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
9月			核反応と核エネルギー	核反応 等価性と結合エネルギー 核分裂 核融合	416-422	2	・太陽で起こっている反応やこれと同等のエネルギーを取り出す方法について調べ、安全に利用し続けていくことについて考える。 ・核反応について理解する。 ・エネルギーと質量の等価性について理解する。 ・核反応におけるエネルギーについて理解する。 ・核分裂について理解する。 ・核融合について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
9月			素粒子	物質の階層構造 素粒子の分類 4つの基本的な力 素粒子の反応 標準模型 素粒子と宇宙	423-430	1	・物質の構成要素について理解する。 ・素粒子の種類や性質について理解する。 ・自然界に存在する基本的な４つの力について、その力を媒介する粒子とともに理解する。 ・素粒子の反応について理解する。 ・標準模型という素粒子理論について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
10月			章末問題		432-433	1		教科書・映像視聴・報告課題	◎		映像視聴報告 10月31日	

計140単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞物理基礎は身の回りの多くの物体の動きや現象に関わる重要な科目です。自身の身近なものに置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4rbk

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	化学基礎	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	4 単位時間	東京書籍 『新編　化学基礎』 東京書籍　化基702	授業者に準ずる	田中 愛子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

化学現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】

〈知識・技能〉　・日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

〈思考・判断・表現〉　・観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付けている。

〈主体的に取り組む態度〉　・物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業　・日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

② 本校スクーリング　・観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付けている。

③ 報告課題（レポート）　・物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

〇メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	化学と人間生活	化学とは何か			6~11	2	・身のまわりの物や製品が物質でできていることに気づく。 ・身のまわりの製品には，その物質の性質がうまく利用されていることに気づく。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		物質の成分と構成元素	物質の成分		12~17	2	・純物質と混合物の性質を理解する。 ・混合物から成分となる物質を分離する方法があり，それは物質の性質によるものであることを理解する。 ・物質の溶解度は温度によって変化することについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第１回 5月31日	
4月			物質の構成元素		18~23	2	・物質は元素からつくられていることに気づく。 ・元素を確認する方法に，炎色反応や沈殿の生成があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			物質の三態		24~27	1	・物理変化と化学変化，状態変化の違いを理解する。 ・状態変化には粒子の熱運動が関係していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	物質の構成	原子の構造と元素の周期表	原子の構造		36~39	2	・原子の構造から陽子，中性子，電子の性質を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第２回 6月30日	
5月			電子配置と周期表		40~45	3	・電子配置で電子殻への電子の収まり方を知る。 ・電子配置は原子番号の順に規則正しく変化することを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月		化学結合	イオンとイオン結合		48~55	4	・電子配置からイオンの生成を理解する。 ・イオン結合の形成について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月			分子と共有結合		56~67	6	・共有結合の形成，分子式や構造式について理解する。 結合の極性を知り，極性分子と無極性分子について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第３回 7月31日	
6月			金属と金属元素		68~71	2	・自由電子のふるまいがわかり，金属結合の仕組みを理解する。 ・金属の性質について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月			化学結合と物質の分類		72~73	2	・結合の種類から物質の大まかな性質について分類し理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	物質の変化	物資量と化学反応式	原子量・分子量・式量		82~85	2	・天然に存在する多くの元素には一定の割合で同位体が存在するため，原子量はその加重平均の値であることを理解する。 ・原子量，分子量，式量のそれぞれが表す値を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			物質量		86~91	2	・物質量とその単位のmolの関係，さらに原子量・分子量・式量との関係やモル質量との関係がわかり，それらの単位変換を理解する。 ・物質量と気体の体積との関係がわかり，それらの単位変換を理解する。気体の密度と分子量，空気の平均分子量について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			溶液の濃度		92~93	2	・モル濃度による溶液の濃度の表し方を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第４回 8月31日	
7月			化学反応の表し方		94~95	2	・化学反応式やイオン反応式の書き方やそれが表している内容を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月			化学反応式の表す量的関係		96~101	2	反応に関わる物質量の比が化学反応式の係数の比を表していることを見いだして理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月		酸と塩基	酸と塩基		106~111	4	・酸と塩基の性質について理解する。 ・アレーニウスの酸・塩基の定義を理解する。 ・ブレンステッド・ローリーの酸・塩基の定義を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8 月			水素イオン濃度とpH		112~119	4	・水溶液の水素イオン濃度は広い範囲で変化するため， ｐＨでも表せることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第５回	

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
8月			中和反応と塩の生成		120~123	4	・酸と塩基が完全に中和するときの変化を化学反応式で理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	9月30日	
8月			中和滴定		124~131	4	・中和滴定に用いる器具の使い方がわかり，中和滴定の実験操作を理解する。 ・標準溶液に用いられる試薬のもつ特徴を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		酸化還元反応	酸化と還元		136~139	3	・酸化と還元は常に同時に起こることを知る。 ・酸素原子や水素原子が関係していない反応についても、酸化と還元が電子の授受によって統一的に説明できることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第６回・映像視聴報告 10月31日	
9月			酸化剤と還元剤		140~147	4	・代表的な酸化剤，還元剤を知り，それらの水溶液中での反応式を理解する。 ・酸化還元反応の化学反応式の作ることができ，この反応の量的関係を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
9月			金属の酸化還元		148~151	3	・金属と空気，水，酸などの反応性の違いは，金属のイオン化傾向と深い関係があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
10月			酸化還元反応の応用		152~161	3	・実験観察を通して，金属のイオン化傾向と電流の流れる向きを比較し関係性を考える。 ・ダニエル電池のしくみを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		化学が拓く世界			168~173	5	・観察実験や調査を通して，化学基礎で学んできたことが日常生活や社会生活を支えている科学技術と結びついていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞化学基礎は身の回りの多くの現象関わる重要な科目です。自身の視点に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4rkk

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
思考・判断・表現	・観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導４単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701・702

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	化学	通年	選択	4	140単位時間（50分×140）	7単位時間	東京書籍 『化学　Vol.1　理論編』『化学　Vol.2　物質編』 東京書籍　化学701・化学702	授業者に準ずる	田中 愛子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

・化学現象を科学的に探究する能力を身に着け、身の回りや未来に関わる課題に対して科学的に探求しようとしている。

【学習目標】

〈知識・技能〉　・化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

〈思考・判断・表現〉　・化学的な事物・現象を観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

〈主体的に取り組む態度〉　・日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業　・映像資料を用いて化学的な事物・現象を観察し、理解を深めるとともに、観察や実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

② 本校スクーリング　・化学と生活の結びつきを学び、対話を通して科学的な探究を深める。

③ 報告課題（レポート）　・化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。

〇メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	0編 人間生活の中の化学				6~8	1	中学校や化学基礎での学習を参考に，日常生活の中の物質について考える。 中学校や化学基礎の知識を元に，性質や特徴を理解する。 社会の中で化学が果たす役割について，自分なりの意見を踏まえて表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇		第1回・第2回 4月30日	
4月	1編 物質の状態	1章 物質の状態	1節 物質の三態		9~15	2	固体，液体，気体の3つの状態を確認し，粒子のふるまいを説明する。 融解，凝固，蒸発，凝縮を粒子の熱運動と拡散から説明できることを理解する。 物質の融点，沸点を粒子間に働く引力と関連付けて考える。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
4月			2節 気体・液体間の状態変化		16~25	2	気液間の平衡や，沸騰について状態変化を用いて説明する。 蒸気圧曲線の見方を理解する。 仮説を立てて，実験の過程を注意深く観察し，それに伴う変化を科学的に考察する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
4月		2章 気体の性質	1節 気体		26-29	2	熱気球が浮かぶ理由を，気体の性質から考える。 ボイルの法則とシャルルの法則を理解する。 ボイル・シャルルの法則が，ボイルの法則とシャルルの法則から導かれることを考え，表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
4月			2節 気体の状態変化		30~43	4	アボガドロの法則とボイル・シャルルの法則を結びつけられないか考える。 気体の状態方程式を理解する。 気体の状態方程式を，気体の質量とモル質量を用いて変形する。 理想気体と実在気体の違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
4月		3章 溶液の性質	1節 溶解		44~53	4	溶解のしくみを極性の有無から見いだす。 気液間の平衡と同様に，溶解平衡の仕組みについて見いだす。 質量パーセント濃度，モル濃度，質量モル濃度について，その計算方法を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇	〇		
4月			2節 希薄溶液の性質		54~61	4	蒸気圧について理解し，溶液の場合，蒸気圧降下が起こることを説明する。 蒸気圧降下から沸点上昇を説明し，凝固点降下についても仮説を立てて考える。 寒剤の仕組みと逆浸透について理解しまとめる。 ファントホッフの法則から分子量を求める方法を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇	〇		
4月			3節 コロイド		62~71	2	コロイド粒子について，その性質を理解する。 コロイド溶液の実験を元に，その性質と現象について考察する。 疎水コロイドと親水コロイド，保護コロイドについてそれぞれの性質をまとめ，科学的に理解しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
4月		4章 固体の構造	1節 結晶		72~73	1	結晶の種類についてその特徴とともに説明する。 単位格子と配位数について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			2節 金属結晶の構造		74~77	1	金属結晶の構造について，それぞれの配列，配位数，充填率について理解する。 面心立方格子と六方最密構造モデルから，その特徴について理解しようとする。 単位格子の一辺の長さと原子半径の関係について，数学的に考える。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
4月			3節 イオン結晶の構造		78~81	1	金属結晶とイオン結晶の違いについて構成粒子から考える。 イオン結晶の単位格子に含まれるイオンの数と配位数について理解する。 イオン半径と結晶の安定性について科学的に考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			4節 分子結晶と共有結合の結晶		82~88	1	分子結晶や共有結合の結晶について，金属結晶やイオン結晶との違いを考える。 共有結合の結晶の例としてダイヤモンドの単位格子と密度，充填率について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
5月	2編 化学反応とエネルギー	1章 化学反応と熱・光	1節 反応とエンタルピー変化		89~97	3	反応エンタルピーとその符号について表し方を説明する。 反応エンタルピーの表し方をもとに，状態変化について表す。 反応エンタルピーの種類を説明する。 生成エンタルピーの値から反応エンタルピーの求め方を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			2節 ヘスの法則		98~105	2	ヘスの法則を説明する。 ヘスの法則を利用して実測の難しい反応エンタルピーを求める方法を考える。 結合エンタルピーについて説明する。 ヘスの法則を利用して，結合エンタルピーから反応エンタルピーを求める方法について考えることができる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			3節 光とエネルギー		106~111	1	光が波であることを理解している。 化学発光について例を挙げて説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題	〇		第3回・第4回 5月31日	
5月		2章 電池と電気分解	1節 電池		112~119	2	電池の基本的な仕組みを理解し，ダニエル電池の仕組みについて説明できる。 主な実用電池の構造について，電極の反応式をもとに説明することができる。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
5月			2節 電気分解		120~132	3	電池と電気分解の違いについて説明し，電気分解の酸化還元反応について説明する。 各電極の反応式を表し，電極の質量変化について考える。 ファラデー定数を使って電気量と物質量の関係について説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
6月	3編 化学反応の速さと平衡	1章 化学反応の速さ	1節 反応の速さ		133~139	2	反応物，生成物それぞれの反応の速さの表し方を理解する。 反応物の分解速度と生成物の生成速度の正しい表し方を見いだす。 反応速度に関する実験を行うことで，分解速度を計算し，反応速度と濃度の関係を科学的に探究する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
6月			2節 反応速度を変える条件		140~145	2	反応速度を変える様々な条件を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第5回・第6回 6月30日	
6月			3節 反応のしくみ		146~155	1	反応速度式が実験によって求められることを理解する。 活性化エネルギーと化学反応の経路について説明する。 触媒が化学工業の発展に関わった歴史について学習したことを元に考えようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月		2章 化学平衡	1節 可逆反応と化学平衡		156~161	2	可逆反応，不可逆反応などの用語を正しく使って説明する。 平衡定数Kの表し方と使い方を説明する。 気体物質の平衡状態にある場合，気体の状態方程式を変形して，圧平衡定数と濃度平衡定数の関係式をつくる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月			2節 平衡の移動		162~173	2	ルシャトリエの原理を理解する。 温度一定で，化学反応が平衡状態にあるとき，ある成分濃度を変化させたときの平衡移動を理解し，その平衡定数は前後で等しくなることを説明できるようになる。 圧力変化による平衡移動や，濃度変化における平衡の移動を説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月		3章 水溶液中の化学平衡	1節 電離平衡		174~179	3	酸の電離定数について，酢酸を例に電離平衡の式を使って説明する。 弱酸の電離度αが1よりかなり小さい場合の近似を理解することができる。 近似した式を使って，電離度α，水素イオン濃度を表し，弱塩基についての式変形も同様に説明することができる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2節 塩の水への溶解		180~194	5	正塩の水溶液の性質を，科学的に説明する。 緩衝液についてその特徴を説明する。 酢酸水溶液と水酸化ナトリウム水溶液の中和反応からpH変化を緩衝作用という言葉を利用して説明する。 溶解度積が沈殿生成に影響していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	4編 無機物質	1章 周期表と元素	1節 周期表と元素		7~9	1	周期表中の元素を正しく分類する。 IUPACの分類方法を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		2章 非金属元素の単体と化合物	1節 水素とその化合物		10~11	1	水素の製法・性質・用途を正しく理解する。 周期表の族を元に水素化合物の分子の形を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			2節 貴ガス		12	1	18族の特徴を理解し，その性質を正しく説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3節 酸素とその化合物		13~15	1	酸素の製法・性質・用途を正しく理解する。 ヨウ化カリウムデンプン紙が酸化作用の確認に使われることを説明する。 オキソ酸の特徴を理解し，その性質を正しく説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			4節 ハロゲンとその化合物		16~23	3	ハロゲンの単体について正しく理解する。 ハロゲンの酸化力の違いについて理解する。 フッ化水素が他のハロゲン化水素と性質が異なる理由を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			5節 硫黄とその化合物		24~27	2	硫黄の単体，および化合物の製法・性質を正しく理解する。 二酸化硫黄に関する実験を通して，酸化還元反応について説明する。 接触法の特徴を理解する。 希硫酸の調製方法を理由とともに説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			6節 窒素・リンとその化合物		28~33	2	アンモニアの製法と性質を正しく理解する。 ハーバー・ボッシュ法について説明する。 オストワルト法を理解し，1つの式でまとめ問6を解く。 リンの同素体の特徴を正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			7節 炭素・ケイ素とその化合物		34~43	1	炭素の同素体の特徴を正しく理解する。 炭素の酸化物について，正しく理解する。 身近に利用されているシリカゲルの製法・性質について正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第7回・第8回 7月31日	
7月		3章 典型金属元素の単体と化合物	1節 アルカリ金属とその化合物		44~49	3	アルカリ金属について，製法と性質をこれまでの学習を元に正しく説明する。 水酸化ナトリウムの製法・性質を正しく理解する。 アンモニアソーダ法についてその特徴を正しく理解し，原料と生成物を確認して問1を解く。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			2節 アルカリ土類金属とその化合物		50~53	3	アルカリ土類金属の特徴を正しく理解する。 アルカリ土類金属の化合物の特徴・用途を正しく理解する。 アルカリ土類金属に関する実験を行い，その性質を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3節 1，2族以外の典型金属元素とその化合物		54~65	3	アルミニウムの単体の製法・性質・用途を正しく理解し，アルミニウムイオンの反応について正しく説明する。 アルミニウムの単体と化合物に関する実験を行い。その性質をまとめる。 鉛（Ⅱ）イオンを含む水溶液の反応を正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		4章 遷移元素の単体と化合物	1節 遷移元素の特徴		66~67	1	遷移元素と典型元素の違いを説明する。 錯イオンの基本的な表記法について正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月			2節 遷移元素とその化合物		68~87	7	鉄とその化合物，鉄イオンの反応について，正しく理解する。 Cu2+の反応について，正しく理解する。 Ag+の反応について，正しく理解する。 アルミニウムと亜鉛の特徴について，比較しながら理解する。 Zn2+の反応について，正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月		5章 金属イオンの分離と確認	1節 金属イオンが検出できる反応		88~91	1	金属イオンの沈殿反応について，これまでの学習を元に，まとめ理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			2節 金属イオンの系統分離と確認		92~100	2	複数の金属イオンの混合溶液から金属イオンを効率よく分離する方法について，その手順を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	5編 有機化合物	1章 有機化合物の特徴と構造	1節 有機化合物の特徴		101~107	2	有機化合物の特徴を無機物質との違いを比較する。 有機化合物の特徴を正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			2節 有機化合物の構造式の決定		108~117	1	有機化合物の構造式決定の手順を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
8月		2章 炭化水素	1節 飽和炭化水素		118~123	2	有機化合物の基礎となる直鎖状アルカンの名称を正しく理解する。 アルカンの構造異性体について理解する。 アルカンの性質を正しく説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第９回・第１０回 ８月３１日	
8月			2節 不飽和炭化水素		124~139	3	アルカンを元にアルケンの名称や構造について理解する。 シス－トランス異性体の特徴を正しく理解する。 アルケンの反応を理解する。 アルキンの名称や構造を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月		3章 アルコールと関連化合物	1節 アルコールとエーテル		140~147	3	アルコールの構造と分類方法を正しく説明する。 アルコールの構造の特徴を元に反応を正しく説明する。 アルコールの酸化反応について，正しく理解し，生成物を答えられるようになる。 脱水反応とは何か説明でき，反応温度による，生成物の違いを理解する。 アルコールとエーテルの違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			2節 アルデヒドとケトン		148~153	3	アルデヒドのさまざまな反応について，その特徴を理解し，説明する。 ホルムアルデヒドに関する実験から，アルデヒドの性質をまとめ，理解する。 アルデヒドとケトンの生成についてアルコールの学習から正しく考える。また，ヨードホルム反応を生じる化合物の構造の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月			3節 カルボン酸		154~159	3	これまでの学習を元に，カルボン酸について理解する。 カルボン酸の生成について，アルコールの学習から正しく考える。 カルボン酸の酸の強さについて，理解する。 不斉炭素原子とは何かを知り，分子模型を作るなどして鏡像異性体の関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月			4節 エステル・油脂・セッケン		160~171	2	エステルの構造と特徴について，正しく理解する。 油脂とは何か，構造とともに正しく説明する。 けん化価とヨウ素価の利用方法について理解する。 セッケンの特徴をこれまでの学習を元に，理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月		4章 芳香族化合物	1節 芳香族炭化水素		172~177	2	ベンゼンの構造について，炭素間結合距離の学習を元に理解する。 ベンゼンの構造式について，その歴史を知る。 芳香族化合物とは何か理解し，代表的な芳香族炭化水素を答える。また，その反応について，正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			2節 フェノール類と芳香族カルボン酸		178~187	4	フェノール類の性質について，同じ OH 基を持つアルコールと比較したり，酸の強弱を考えたりするなどして，正しく理解する。 フェノールのさまざまな製法を，使用する試薬とともに答える。 芳香族カルボン酸の性質を正しく理解し、サリチル酸の反応の特徴を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			3節 芳香族アミンとアゾ化合物		188~191	3	アミンが塩基性である理由を考える。 アニリンの合成方法を正しく理解する。 ジアゾ化とその特徴について理解する。 ジアゾカップリングについてその構造と用途について正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			4節 芳香族化合物の分離		192~208	2	これまでの学習を元に，複数の芳香族化合物の混合を分離する方法を，化合物の特徴から考える。 芳香族化合物の分離の例を加える試薬とそれぞれの反応について考える。 実験手順を考え，意見交換し，操作について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	6編 高分子化合物	1章 高分子化合物とは何か	1節 高分子化合物の分類と特徴		209~215	2	高分子化合物とは何か，正しく説明する。 単量体と重合体について理解し，その重合について考える。 天然高分子化合物の構成について，正しく理解する。 平均分子量の概念を理解し，結晶構造や融点などについて考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		2章 天然高分子化合物	1節 単糖類と二糖類		216~221	3	糖に関する実験を行い，構造の特徴について考える。 糖の基本的な表し方，構造，特徴について正しく理解する。 単糖類との関係を考えながら分子式を答える。 それぞれの構造を理解し，還元性を示さない糖の特徴を説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第１１回・第１２回 ９月３０日	
9月			2節 多糖類		222~229	3	デンプンの構造について正しく理解する。 デンプンに関する実験を行い，糖の加水分解について正しく理解する。 セルロースとデンプンの相違について考える， ニトロセルロースについて正しく理解する。 再生繊維について正しく理解する。 天然繊維についてそれぞれの例を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			3節 アミノ酸		230~235	3	α-アミノ酸について，正しく理解する。 アミノ酸とタンパク質についてその関係を理解する。 アミノ酸の電気泳動について，理解する。 アミノ酸の電離平衡と等電点について，考える。 アミノ酸の反応について，その構造から説明する。 ペプチドについて正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			4節 タンパク質		236~249	3	タンパク質の分類と分類について正しく説明する。 タンパク質の性質について，その特徴から考える。 タンパク質の変性の身近な利用について理解する。 タンパク質の呈色反応について正しく理解する。 酵素の性質について，無機触媒との違いを考える。 すべての生物の細胞に含まれている核酸について，その構造とはたらきを知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		3章 合成高分子化合物	1節 合成繊維		250~255	3	ナイロンの構造について，正しく理解する。 ポリエチレンテレフタラートについて，正しく理解する。 ビニロンの製法について，これまでの学習から正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
9月			2節 合成樹脂		256~261	2	熱可塑性樹脂について，正しく理解する。 熱硬化性樹脂について，熱可塑性樹脂との違いを元に考える。 フェノール樹脂の製法について正しく理解する。 イオン交換樹脂について正しく説明する。 イオン交換樹脂の利用と再生について，構造から説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
9月			3節 ゴム		262~273	2	天然ゴムについて，その特徴を正しく理解する。 合成ゴムについて，その構造も含めて正しく理解する	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	7編 化学が果たす役割	1章 化学的性質の利用と工業的製法	1節 ハロゲンの性質と酸化還元反応の応用		274~278	1	身近にある化学物質についてその方法を考える。 酸化還元反応から，考え方を表現する。 これまでの学習と，生活の中の化学を結びつけて考える。 ヨージメトリーという方法を理解する。 この節を通して，様々な物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され，日常生活や社会を豊かにし	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			2節 物質の工業的製法		279~283	1	これまでの学習を元に，化学と社会との関わりを幾つか例を挙げて考え，克服してきた課題や科学技術の発展について，科学的な根拠に基づいて考察する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		映像視聴報告 １０月３１日	
10月		2章 未来を創る化学	1節 物質通して未来を創る		284~288	1	物質の機能について，学習したものを基礎として，様々なものがあることを知り，これまでに克服してきた課題や，未来への課題について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			2節 物質を通して未来を考える		289~288	1	ハーバー・ボッシュ法の改善点について考える。 ハーバー・ボッシュ法だけでなく，様々な課題について自分なりに考え，まとめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計140単位時間

【学習上の注意】

☞「化学基礎」で学んだことも考慮しながら取り組んでください。

☞教科書のQRコードで実験等の動画を見ることができるので、積極的に活用してください。

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5rka

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・化学的な事物・現象を観察，実験などを行い，科学的に探究する力が身についている。
主体的に学習に取り組む態度	・日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	生物基礎	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	東京書籍 『新編　生物基礎』 東京書籍　生基702	授業者に準ずる	田中 愛子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】

〈知識・技能〉　生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。

〈思考・判断・表現〉　観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付ける。

〈主体的に取り組む態度〉　生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業　生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

② 本校スクーリング　生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

③ 報告課題（レポート）　基本的な生物基礎の知識を得て、生物や生物現象について理解する。

〇メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	生物の特徴	生物の多様性と共通性	生物の多様性		10~13	2	・地球上にすむ生物の種数が膨大であることに気づき，地球上に多様な 種がみられるのはなぜか考える。 ・地球上で生活する生物の多様性は，進化の結果生じたものであることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第1回 5月31日	
4月	生物の特徴	生物の多様性と共通性	生物の共通性		14~17	2	・生物と非生物の違いが何かを考えることを通して，生物と非生物を分ける基準が存在することに気づかせる	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	生物の特徴	生物の多様性と共通性	細胞の特徴		18~21	3	・すべての生物のもつDNAが細胞のどこにあるかを考える。 ・真核細胞の構造について理解する。 ・原核細胞の構造について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月	生物の特徴	生物の多様性と共通性	まとめ		22~23	1	・1編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・1編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月	生物の特徴	生物とエネルギー	生体とATP		24~27	2	・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・ATPが呼吸や光合成など生体内で,エネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解する。 ・ATPの構造やリン酸どうしの結合にエネルギーが蓄えられていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月	生物の特徴	生物とエネルギー	酵素のはたらき		28~31	2	・酵素の基本的な特徴を理解する。 ・酵素の基質特異性が何によってもたらされているのかについて理解する。 ・酵素の主成分がタンパク質であることから，最適温度と最適pHとい う性質が生じることを知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	生物の特徴	生物とエネルギー	呼吸と光合成		32~35	3	・呼吸におけるグルコースの分解反応について理解する。 ・光合成におけるグルコースの合成反応について理解する。 ・細胞内共生説について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月	生物の特徴	生物とエネルギー	まとめ		36~37	1	・1編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・1編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA	生物とDNA		42~45	2	・親の形質が子に引き継がれることを遺伝といい，遺伝は遺伝情報であるDNAによって担われていることを理解する。 ・真核生物では，DNAが染色体の成分として存在することを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第2回 6月30日	
5月	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA	DNAの構造		46~51	2	・DNAの二重らせん構造の特徴を理解する。 ・塩基配列の違いによって，生物ごとに遺伝情報が異なることを理解する。 ・DNAの構造の解明に尽力した科学者について知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA	DNAの複製と分配		52~55	2	・塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。 ・DNAの複製は正確に行われることを理解する。 ・細胞周期の概要を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA	まとめ		56~57	1	・2編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・2編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質		58~59	2	・タンパク質はアミノ酸がつながった分子であることを理解する。 ・アミノ酸の種類と並び方によって，多様なタンパク質が生じることを理解する。 ・生命活動には多種多様なタンパク質が関与していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質と遺伝子		60~67	3	・DNAの遺伝情報は，まずmRNAに転写された後，アミノ酸に翻訳されることで発現するという流れ（セントラルドグマ）を理解する。 ・アミノ酸の構造と種類について理解を深める。 ・RNAの特徴とDNAとの違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とタンパク質の合成	細胞の分化と遺伝子		68~69	2	・1個の細胞がさまざまに分化して個体をつくっていることを理解する。 ・細胞ごとに異なる遺伝子が発現することで，多種の細胞に分化することを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とタンパク質の合成	まとめ		70~71	1	・2編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・2編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	体内環境		76~79	2	・体内環境と体液の関係について理解する。 ・消化管や気管は体内にありながら，その内腔が外界との境界であることから体外環境として分類されることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	神経系による情報伝達		80~85	2	・体内環境の維持と自律神経系による調節を関連づけて理解する。 ・交感神経と副交感神経の違いについて神経伝達物質の違いに着目して理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	内分泌系による情報伝達		86~89	4	・内分泌腺と分泌されるホルモン，その作用について知り，ホルモンが受容されるしくみを理解する。 ・間脳の視床下部がホルモン分泌の中枢として機能することを理解する。 ・ホルモンの分泌量がフィードバックによって調節されていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第3回 7月31日	
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	血統濃度の調節		90~97	2	・血糖濃度の調節機構による体内環境の維持とホルモンの関係について見いだして理解する。 ・血糖濃度の調節にかかわるホルモンの種類と，それぞれのはたらきについて理解する。 ・インスリンの作用と糖尿病の関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	まとめ		98~99	1	・3編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	免疫の仕組み		100~105	4	・ヒトは免疫のしくみによって，病原体などの異物から体を防御していることを理解する。 ・自然免疫について分類や特性を理解する。 ・適応免疫を支えるリンパ球の種類と役割を理解する。 ・体内環境の維持の観点から血液凝固について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第4回 8月31日	
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	免疫の応用		106~111	2	・免疫記憶と二次応答について理解する。 ・免疫グロブリンのはたらきや特徴を理解する。 ・予防接種のしくみを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	免疫とさまざまな疾患		112~115	2	・アレルギーの定義や症状について理解する。 ・花粉症発症のしくみを例にアレルギーの発症について理解を深める。 ・1型糖尿病などの自己免疫疾患について理解する。 ・AIDSを例に免疫機能の低下による疾患について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	まとめ		116~117	1	・3編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生物の多様性と生態系	植生と遷移	身のまわりの植生		122~125	3	・環境要因と環境形成作用の関係について理解する。 ・森林の階層構造と光環境の関係について理解する。 ・環境要因としての土壌の構造や成り立ちについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第5回 9月30日	
9月	生物の多様性と生態系	植生と遷移	植生の遷移		126~131	3	・植生の遷移に関する資料に基づいて，遷移の要因として土壌や光環境について見いだして理解する。 ・植生の遷移についてモデル的な過程に基づいて理解する。 ・極相林でも起きる植生の変化について，ギャップに着目して理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生物の多様性と生態系	植生と遷移	遷移とバイオーム		132~141	2	・世界のさまざまな地域の気候と植生の関係を調べ，バイオームが遷移を経て成立していることを見いだして理解する。 ・環境に適応した植生が成立し，植生を構成する植物と生態系によってバイオームが形成されることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生物の多様性と生態系	植生と遷移	まとめ		142~143	1	・4編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・4編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	生態系における生物の多様性		144~149	2	・ピットフォールトラップから生態系における種の多様性を見いだして理解する。 ・食物網について理解する。 ・バイオームと種多様性の関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	生態系における生物間の関係		150~153	3	・生態系から特定の生物を除去したときの影響から，被食と捕食による生物どうしのつながりに気づき，生物の関係性が種多様性に関わることを見いだして理解する。 ・食物網について理解する。 ・キーストーン種について理解する。 ・種多様性の高さが生態系全体のバランスを保つことを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	生態系と人為的攪乱		154~157	2	・生活排水の河川への流入の例から，人為的攪乱による生態系への影響を見いだして理解する。 ・人為的攪乱について，生物の多様性との関係を理解する。 ・熱帯多雨林の例から，日々の生活が大きな環境問題とつながっていることを知る。 ・台風や大雨などの自然攪乱について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	生態系の保全		158~163	2	・環境アセスメントの具体的な事例を基に，生態系の保全の重要性を見いだして理解する。 ・生物多様性の保全にはそれぞれの立場からの努力や協力が必要であることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	まとめ		164~165	1	・4編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・4編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r37rsk

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	生物	通年	選択科目	4	140単位時間（50分×140）	7単位時間	東京書籍 『生物』 東京書籍生物701	授業者に準ずる	田中 愛子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】
〈知識・技能〉　生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
〈思考・判断・表現〉　観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付ける。
〈主体的に取り組む態度〉　生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【学習方法】
①メディア授業　生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
② 本校スクーリング　生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。
③ 報告課題（レポート）　基本的な生物基礎の知識を得て、生物や生物現象について理解する。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	生物の進化	生命の起源と細胞の進化	共通性と多様性をつなぐ進化		8～11	2	・地球上で生活する生物の多様性は，進化の結果生じたものであることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第1回 4月30日	
4月	生物の進化	生命の起源と細胞の進化	生命の誕生		12～15	3	・無機物から有機物であるアミノ酸が合成できることを理解する。 ・実験から無機物から有機物が合成できることを理解する。 ・細胞の起源について理解し，生命の誕生について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	生物の進化	生命の起源と細胞の進化	生物の多様性と地球環境の変化		16～23	2	・初期の生物の特徴について理解する。 ・シアノバクテリアの誕生と酸素濃度上昇についての関係を理解する。 ・大気中の酸素濃度の上昇はどのような生物のはたらきによるものであるか理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	生物の進化	生命の起源と細胞の進化	まとめ		24～25	1	・1編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・1編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	遺伝的変異		26～29	2	・DNAの塩基配列に変化が生じたときに，形質に変異が起こるしくみを理解する。 ・DNAの塩基配列とアミノ酸の対応関係について理解する。 ・遺伝的変異が生じるしくみを理解する。 ・遺伝子レベルと染色体レベルで起こる突然変異の違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖		30～39	3	・有性生殖の特徴について理解する。 ・遺伝の法則について理解する。 ・減数分裂について理解を深める。 ・減数分裂では多様な配偶子とその組み合わせが生じるため，生殖の結果として遺伝的に多様な個体が生じることを理解する。 ・遺伝子の連鎖と独立について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第2回 4月30日	
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	進化の定義と自然選択による進化		40～43	2	・自然選択による進化が起こる条件について理解する。 ・自然選択についてガラパゴスフィンチの例で理解を深める。 ・適応進化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	遺伝子レベルでみる進化		44～51	2	・遺伝子プールについて理解する。 ・遺伝子プールと遺伝子頻度についての理解を深める。 ・遺伝的浮動について理解する。 ・分子進化と中立進化の違いを理解する。 ・ハーディ・ワインベルグの法則を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	種分化		52~55	1	・種分化のしくみについて理解する。 ・ここまでに学習した用語を使って，遺伝子の変化と進化のしくみについて整理する。 ・種多様化のしくみ，共進化および適応放散について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	まとめ		56~57	1	・1編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・1編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	生物の進化	生物の系統と進化	生物の系統		58～63	2	・生物の系統関係の解明方法について理解を深める。 ・塩基配列に基づく系統樹について理解する。 ・分子時計についての理解を深める。 ・形態の比較，化石の研究から系統の探究について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	生物の進化	生物の系統と進化	生物の系統分類		64～71	2	・種と種名，階層的分類について理解する。 ・ドメインについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	生物の進化	生物の系統と進化	霊長類のなかのヒト		72～75	2	・霊長類の特徴について理解する。 ・ヒトと類人猿の違いを理解する。 ・ゴリラとヒトの骨格の違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第3回 5月31日	
5月	生物の進化	生物の系統と進化	人類の出現と変遷		76~79	2	・初期の人類の特徴について理解する。 ・原人，旧人について理解する。 ・人種という概念について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	生物の進化	生物の系統と進化	まとめ		80～81	1	・1編３章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・1編３章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	生命現象と物質	細胞と物質	細胞を構成する成分		88～91	2	・細胞を構成する成分について理解する。 ・細胞が，水，タンパク質，核酸，炭水化物，脂質，無機物などの成分によって構成されていることを理解する。 ・化学の基礎知識について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	生命現象と物質	細胞と物質	生体膜のはたらき		92～95	2	・生体膜のはたらきと構造について理解する。 ・界面活性剤の構造と作用について理解を深める。 ・生体膜の透過について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月	生命現象と物質	細胞と物質	細胞の構造		96～102	2	・真核細胞の構造とはたらきについて理解する。 ・遺伝情報にかかわる構造について理解する。 ・エネルギーの変換にかかわる構造について理解する。 ・タンパク質の合成にかかわる構造について理解する。 ・細胞分画法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第4回 5月31日	
5月	生命現象と物質	細胞と物質	タンパク質の構造		103～109	1	・アミノ酸の構造，タンパク質の構造について理解する。 ・タンパク質の構造の表示方法について理解する。 ・タンパク質のフォールディングと変性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	生命現象と物質	細胞と物質	酵素としてはたらくタンパク質		110～119	2	・活性化エネルギーと酵素について理解する。 ・活性部位と基質特異性について理解する。 ・基質濃度と反応速度の関係について理解する。 ・酵素の反応速度の特徴について理解する。 ・酵素反応の阻害について理解する。 ・補酵素と金属についてそのはたらきを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	生命現象と物質	細胞と物質	生命現象とタンパク質		120～123	2	・生体膜での物質の輸送について理解する。 ・チャネル，担体，ポンプのはたらきについて理解する。 ・細胞間で情報伝達がどのようにおこなわれるかを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	生命現象と物質	細胞と物質	まとめ		124～125	1	・2編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・2編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	代謝とエネルギー		128～131	1	・化学反応とエネルギーについて理解する。 ・代謝とATPについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	呼吸		132～140	3	・呼吸の反応経路と反応の場について理解する。 ・解糖系，クエン酸回路，電子伝達系について理解する。 ・解糖系でどのようにATPが合成されるか理解する。 ・解糖系の流れを理解し，またどのような生成物があるかを理解する。 ・解糖系におけるエネルギーの変化を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	発酵		141～144	1	・発酵と呼吸の違いについて理解する。 ・発酵の種類について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第5回 6月30日	
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	光合成		145～153	2	・光合成反応の過程と反応の場について理解する。 ・チラコイドでの反応について理解する。 ・光化学系の構造についての理解を深める。 ・光合成色素の光吸収とエネルギーについて理解する。 ・呼吸における電子伝達系との相違点と共通点を考え，まとめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	まとめ		154～155	1	・2編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・2編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報とその発現	DNAの構造		162～163	1	・DNAの二重らせん構造について理解する。 ・DNAの方向性について理解する。 ・DNAの2本鎖は互いに逆向きに並び，塩基対を形成し，二重らせん構造をとっていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報とその発現	DNAの複製		164～167	2	・メセルソンとスタールの実験からDNAの半保存的複製についての理解を深める ・DNAの複製の過程について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報とその発現	遺伝情報の流れ		168～169	1	・セントラルドグマについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報とその発現	RNAと転写		170～175	2	・RNAの構造と種類，おもなはたらきについて理解する。 ・転写のしくみについて理解する。 ・セントラルドグマと異なる遺伝情報の流れについての理解を深める。 ・真核生物の遺伝子の構造とRNAのスプライシングについて理解する。 ・選択的スプライシングについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回 6月30日	
6月	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報とその発現	翻訳のしくみ		176～181	2	・コドンと遺伝暗号表について理解する。 ・tRNAのはたらきについて理解する。 ・翻訳の過程について理解する。 ・原核生物のタンパク質合成について理解する。 ・これまでに学習した用語を使って，セントラルドグマについて図で整理する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報とその発現	遺伝情報の変化		182～185	1	・突然変異とアミノ酸配列について理解する。 ・DNA多型について理解する。 ・DNAを傷付けるものについて理解する。 ・DNAの修復と突然変異について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報とその発現	まとめ		186～187	1	・3編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	原核生物の遺伝子発現の調節		190～195	2	・大腸菌と培地について理解する。 ・大腸菌の環境に対する応答を理解する。 ・原核生物の基本的な転写調節について理解する。 ・オペロン説の提唱につながった大腸菌変異株の発見について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	真核生物の遺伝子発現の調節		196～198	2	・真核生物の遺伝子発現の調節について理解する。 ・細胞外の環境に応じた遺伝子発現の調節について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	選択的遺伝子発現と細胞分化		199～201	1	・分化した細胞の遺伝子発現について理解する。 ・遺伝子発現の調節の変化と細胞の分化について理解する。 ・遺伝子発現の考え方について理解を深める。 ・iPS細胞の誕生について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	動物の発生		202～211	2	・動物の配偶子形成について理解する。 ・卵と精子について理解する。 ・受精について理解する。 ・受精後から胞胚期について理解する。 ・原腸形成から幼生について理解する。 ・幼生から成体について理解する。 ・受精から胞胚期について理解する。 ・原腸胚期について理解する。 ・神経胚期から尾芽胚期について理解する。 ・尾芽胚期から成体について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第7回 7月31日	

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	胚の細胞の発生運命と遺伝子発現		212～215	1	・原腸形成での細胞の動きと発生運命について理解する。 ・原基分布図と細胞分化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	発生現象と遺伝子発現の調節		216～225	2	・細胞質決定因子について理解する。 ・カエルの受精でみられる卵の細胞質の配置換えと背腹の決定について理解する。 ・背側または腹側だけで発現する遺伝子について理解する。 ・ショウジョウバエの前方部の決定について理解する。 ・誘導について理解する。 ・中胚葉誘導と遺伝子発現について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	動物の形と調節遺伝子の発現		226～231	2	・動物の体の形を決める遺伝子について理解する。 ・ホメオティック遺伝子とホックス遺伝子について理解する。 ・動物の形づくりとホックス遺伝子について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	まとめ		232～233	1	・3編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	遺伝子を増幅する技術		236～239	1	・制限酵素によるDNAの切断について理解する。 ・DNAクローニングについて理解する。 ・ポリメラーゼ連鎖反応について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	塩基配列を解読する技術		240～243	1	・電気泳動のしくみについて理解する。 ・サンガー法について理解する。 ・ゲノムプロジェクトについて理解する。 ・一塩基多型（SNP）を利用した投薬について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	遺伝子組換え技術の利用		244～251	2	・大腸菌への遺伝子導入について理解する。 ・哺乳類の培養細胞を用いた医薬品の生産について理解を深める。 ・生物個体への遺伝子導入について理解する。 ・ノックアウトマウスについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第8回 7月31日	
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	遺伝子や細胞を扱う技術の課題		252～255	2	・遺伝子や細胞を扱う技術の課題について理解する。 ・遺伝子を扱う技術の光と影について理解を深める。 ・遺伝子や細胞を扱う技術の課題について，自分の考えをまとめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	まとめ		256～257	1	・3編3章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編３章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への流れ		264～266	1	・情報の伝達と反応について理解する。 ・ニューロンについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	ニューロンの興奮		267～270	2	・静止電位と活動電位について理解する。 ・全か無かの法則について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	興奮の伝導		271～273	1	・興奮の伝導について理解する。 ・跳躍伝導について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	興奮の伝達		274～277	2	・シナプスと情報の伝達のしくみを理解する。 ・電気シナプスと化学シナプスについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	刺激の受容と感覚		278～285	2	・動物が，さまざまな刺激を受容器によって受容していることを理解する。 ・光刺激の受容と感覚について理解する。 ・視細胞について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	中枢神経系での情報処理		286～289	2	・中枢神経系について理解する。 ・反射について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第9回 8月31日	
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	効果器		290～293	1	・筋肉の構造について理解する。 ・筋収縮のコントロールについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	まとめ		294～295	1	・４編１章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・４編１章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の行動	動物の行動とは		298～301	2	・動物の行動をめぐる4つのなぜについて理解する。 ・行動発現のしくみについて理解する。 ・行動の生得的な要素と習得的な要素について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の行動	刺激の受容と行動		302～308	2	・行動の神経メカニズムについて理解する。 ・カがヒトを探しあてるメカニズムについて理解する。 ・遺伝子工学による神経系の操作技術について理解する。 ・神経科学における移動ロボットの利用について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の行動	学習のしくみ		309～315	2	・慣れの神経メカニズムについて理解する。 ・脱慣れと鋭敏化について理解する。 ・古典的条件付けについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の行動	まとめ		316～317	1	・４編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・４編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	被子植物の生殖と発生		318～321	2	・被子植物の配偶子形成と受精について理解する。 ・被子植物の胚の発生について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	植物の一生の出来事と環境の影響		322～323	1	・植物を取り巻く環境要因について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	植物ホルモンと光受容体		324～327	2	・植物ホルモンについて理解する。 ・光受容体について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	環境要因による発芽の調節		328～333	2	・種子の休眠と発芽について理解する。 ・光による発芽の調節について理解する。 ・温度による発芽の調節について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	茎や根の成長と環境要因の影響		334～341	2	・茎の伸長成長と肥大成長の調節について理解する。 ・根の成長の調節について理解する。 ・屈性と傾性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第10回 8月31日	
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	気孔の開閉の調節と環境要因の影響		342～345	1	・気孔の開閉のしくみと環境の変化について理解する。 ・青色光による孔辺細胞の浸透圧の上昇について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	花芽形成と環境要因の影響		346～353	2	・花芽形成と日長の関係について理解する。 ・花成ホルモンとそのはたらきについて理解する。 ・花成ホルモンの実体の解明について理解する。 ・花芽形成に影響を及ぼすその他の要因について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	果実の形成と成熟のしくみ		354～356	1	・果実の形成・成長と植物ホルモンについて理解する。 ・果実の成熟と植物ホルモンについて理解する。 ・植物ホルモンの農業への応用について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	器官の老化と脱落のしくみ		357～359	1	・葉の老化と脱落について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	まとめ		360～361	1	・4編３章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・4編３章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群集	生態系からみた生物		370～371	1	・日本及び世界で個体数が減少している生物について理解する。 ・個体数の把握が種の多様性の維持にとって重要であることを理解する。 ・人間活動の影響により，個体数が減少している生物ばかりではなく，増え過ぎている生物が存在することを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第11回 9月30日	
9月	生態と環境	個体群と生物群集	個体群と環境		372～375	2	・個体群のなかの個体どうしの関係や，異なる個体群どうしの関係があることについて理解する。 ・個体群密度の考え方とその測定方法について理解する。 ・個体群のなかでの個体の分布様式には，集中分布，一様分布，ランダム分布があることを理解する。 ・個体の分布様式によって，個体群の大きさの測定方法に違いがあることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群集	個体群の構造と成長		376～383	2	・個体群の成長は成長曲線の形をとることを理解する。 ・個体群密度によって個体の性質が異なるのは，密度効果による影響であることを理解する。 ・集中分布する生物について，個体の移動が個体群の維持に役立っていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群集	個体間の相互作用		384～389	2	・動物のなかには縄張りをもつ生物がいることを理解する。 ・縄張りをもつことによる利点を理解する。 ・群れをつくることによる利益と不利益を理解する。 ・社会性昆虫の特徴について理解する。 ・アリー効果について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群集	種間の相互作用		390～395	2	・競争的排除について理解する。 ・春植物が光をめぐる競争を回避する生態的特徴をもっていることを理解する。 ・種間関係のうち，双方に利益をもたらす関係を相利共生ということを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群集	生物群集の成り立ちと多種の共存		396～401	2	・時間的・空間的なすみわけについて理解する。 ・多種の生物の共存とすみわけの関係を理解する。 ・捕食者の存在によって，多種の生物が共存できるしくみを理解する。 ・キーストーン種について理解する。 ・中規模撹乱説について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群集	まとめ		402～403	1	・5編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・5編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	生態系の物質生産と物質循環	食物網と物質生産		406～411	3	・物質生産について理解する。 ・生態系全体のエネルギーの流れについて理解する。 ・炭素は生態系を循環していることを理解する。 ・生態系全体の炭素の流れについて理解する。 ・窒素は生態系を循環していることを理解する。 ・生態系全体の窒素の流れについて理解する。 ・窒素固定について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第12回 9月30日	
9月	生態と環境	生態系の物質生産と物質循環	生態系の物質収支と生態ピラミッド		412～417	3	・生産者の物質収支について，用語の意味と関係を理解する。 ・森林の物質収支の特徴を理解する。 ・生産構造図について理解する。 ・植物体の形状と生産構造図との関連について理解を深める。 ・バイオームごとの純生産量と現存量の関係や特徴を理解す	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月	生態と環境	生態系の物質生産と物質循環	まとめ		418～419	1	・5編２章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・5編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	生態系と人間生活	生物多様性		420～423	2	・種の多様性の定義について理解する。 ・絶滅速度について理解する。 ・遺伝的多様性の定義について理解する。 ・生態系の多様性の定義について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
9月	生態と環境	生態系と人間生活	人間社会の変化と生態系		424～429	2	・環境中のリンや窒素の濃度が高くなった場合の影響を理解する。 ・地球温暖化とその原因および影響について理解する。 ・人間が環境中に放出した化学物質による，生態系への影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生態と環境	生態系と人間生活	生態系の復元		430～435	2	・外来生物と在来生物について理解する。 ・外来生物がもたらす影響について理解する。 ・外来生物の駆除がもたらす影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	生態と環境	生態系と人間生活	人間は自然とどう付き合っていったらよいか		436～439	2	・社会の発展が生態系や環境にもたらした影響について理解する。 ・生物多様性条約について理解する。 ・生物の持続的な利用について理解する。 ・自然と共生する社会の実現に向けて，私たちが取り組むべきことを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		映像視聴報告 10月31日	
10月	生態と環境	生態系と人間生活	まとめ		440～441	1	・5編3章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・5編3章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計140単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5rse

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・観察，実験などを通して，科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	地学基礎	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	東京書籍 『新編　地学基礎』 東京書籍　地基702	授業者に準ずる	田中 愛子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】

〈知識・技能〉　日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験に関する基本的な技能を身に付ける。

〈思考・判断・表現〉　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

〈主体的に取り組む態度〉　地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業　日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験に関する基本的な技能を身に付ける。

② 本校スクーリング　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

③ 報告課題（レポート）　地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

〇メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	該当回・問題	
5月	私たちの大地	大地とその動き	地球の形と大きさ		14〜17	3	・地球の形について，地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体であることを理解する。・地球の形について，地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体であることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			地球の構造		18〜19	1	・地球の内部は構成物質や状態の違いから，地殻，マントル，外核，内核に分かれた層構造をしていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			地球内部の動きとプレート		20〜23	2	・地震や地殻変動などの原因をプレートの動きで説明できることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇	〇		
5月			大地形の形成と地質構造		24〜27	2	・発散境界がある場所を知るとともにその特徴を理解する。 ・すれ違う境界の特徴を理解する。 ・地殻変動によって生じる地質構造（しゅう曲，断層，不整合）について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			変成岩と変成作用		28〜31	1	・広域変成作用と片岩の特徴，接触変成作用とホルンフェルス，結晶質石灰岩の特徴を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇	第1回 ５月３１日	
5月		火山活動と地震	火山噴火の多様性		32〜37	2	・マグマの粘り気はマグマの温度とSiO2の含有量によって異なり，粘り気の違いによって噴火現象やその結果に違いが表れることを理解する	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			火成岩		38〜41	2	・火成岩は，岩石の組織と化学的組成によって分類されることを理解する。 ・火成岩について，火成岩や鉱物の観察を通じて，その特徴を整理する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			地震の発生		42〜43	1	・震源と震源域の違いについて理解する。また，大地震ほど震源域が大きいことを理解する。 ・地震とプレート運動の関係性を理解し，プレート運動の違いによって地震によって生じる断層が異なることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
5月			地震が起こる場所		44〜47	2	・地震の発生について，地震現象の特徴を理解する。 ・震源と震源域の違いについて理解する。また，大地震ほど震源域が大きいことを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
6月	私たちの空と海	地球の熱収支	地球大気の構造		52〜55	2	・大気の組成を知るとともに，大気圧は大気の重さによる圧力であることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
6月			地球の大気で起こる現象		56〜57	1	・対流圏での大気の対流によってさまざまな現象が起こっていることを理解する。 ・成層圏では上層ほど温度が高くなっていることを理解する。 ・中間圏・熱圏で起こる現象，特徴を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇	〇		
6月			地球の熱収支		58〜59	1	・地球の大気現象を引き起こすエネルギーの源は太陽放射であり，その量は太陽定数から求められることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇	〇		
6月		大気と海水の運動	大気や海水の運動の原因		60〜63	2	・熱の運ばれ方には，顕熱輸送と潜熱輸送があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇	〇	第２回 ６月３０日	
6月			大気の大循環		64〜67	2	・低緯度ではハドレー循環によって，中緯度では偏西風によって，高緯度では極循環による大気の循環があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
6月			海水とその運動		68〜69	1	・海は深さとともに温度によって，3つの層に分けることができることを理解する。 ・大気の大循環における貿易風と偏西風によって環流が起こっていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		
6月			大気と海洋の相互作用		70〜71	1	大気と海洋は，低緯度と高緯度の熱収支のバランスをとるように循環していることを理解する。 ・深層循環が地球規模の気候の安定や変動に影響を与えていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	〇	〇		
7月	私たちの宇宙の誕生	宇宙の構造と進化	宇宙の誕生と宇宙の姿		76〜83	3	・宇宙が誕生してからどのような過程をへて現在の状態になったのか整理し理解する。 ・天の川銀河の構造を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	〇		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	該当回・問題	
7月			太陽系の誕生		84～85	2	・太陽と太陽系を構成する惑星は天の川銀河に漂っていた星間物質が集まって誕生したことを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第３回 ７月３１日	
7月			太陽系の構成		86～89	2	地球型惑星と木星型惑星の特徴を整理することができる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			太陽の特徴		90～91	1	・太陽のエネルギーは水素核融合反応によって生じていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			地球の特徴		92～93	1	・地球の特徴を整理し，なぜ，地球で生命が生まれ，繁栄できたのかを話し合い発表する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月	私たちの地球の歴史	地層と化石の観察	地層の形成		98～101	2	・地層の形成について，地層のでき方や堆積物の形成のしくみを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第４回 ８月３１日	
8月			地層からわかる情報		102～105	2	・地層や岩体の層序関係を理解する。 ・地層に見られるかぎ層について理解する。 ・地層に見られる化石からわかることを整理し理解する。 ・地質年代の区分について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		古生物の変遷と地球環境	地球史の最初期		106～107	1	・地球の形成について理解する。 ・初期の地球のようすについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			先カンブリア時代		108～109	1	・先カンブリア時代について，地球環境とその環境下における生物の特徴を整理する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			古生代		110～113	2	・古生代の生物の変遷について，自然環境の変化と結びつけて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			中生代		114～115	2	・ジュラ紀，白亜紀の海中では，多様な動物が生息したことを理解する。 ・恐竜が大型化したこと，恐竜の1グループから鳥類が進化したことを理解する。白亜紀中期以降に被子植物が繁栄したことが，昆虫類などの爆発的進化に繋がったと考えられることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			新生代		116～119	2	・第四期には少なくとも7回の氷期があったこと，縄文海進があったことを知る。 ・化石などに含まれる酸素同位体比を分析することで，その当時の気候の様子がわかることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月			人類の進化		120～121	1	・人類と類人猿の違いについて理解する。 ・人類の進化の道筋について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			地球環境の変化による生物の変遷		122～125	2	・これまで地球上で起こった生物の大量絶滅について整理する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	地球に生きる私たち	日本の自然の恵みと防災	日本の自然環境の特徴		130～131	2	・日本列島は多様な気候区分があり，垂直方向の温度変化が大きいことを理解する。 ・日本列島はいくつもの時代の付加体が集積してできていること，河川の平均勾配が急であるという特徴があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第５回 ９月３０日	
9月			日本の自然の恵み		132～135	2	・日本の自然の恵みについて，自然景観として私たちを楽しませてくれたり，火山がさまざまな恵みをもたらしてくれたりしていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			気象災害と防災		136～139	2	・日本の四季の特徴と季節ごとの気象災害を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			地震による災害と防災		140～143	2	地震が起こったときに，どのようにすれば被害を減らすことができるようになるか理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			火山による災害と防災		144～147	2	・ハザードマップに示されている内容について理解し、ハザードマップが読めるようになる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		地球環境の考え方	地球環境の考え方		148～151	2	・地球は1つのシステム「地球システム」として見ることができ，大気圏，水圏，雪氷圏，固体圏，生物圏などのサブシステムによって構成され，自然現象には複数のサブシステムが関与していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第６回・映像視聴報告	
10月		自然環境の変動	自然環境の変化		152～155	2	・自然環境の変化は，外的要因と内的要因，人間活動によるものがあり，それらは時間スケールが異なることを理解する	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			人間活動がもたらす自然環境の変化		156～161	2	・人間活動が自然環境に変化を与えた例として，オゾン層の破壊について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	該当回・問題	
10月		これからの地球環境	世界の取り組み		162～163	1	・気候変動に関する様々な世界の取り組みついて整理し理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		報告 １０月３１日	
10月			代替エネルギー		164～165	2	・化石燃料に代わるエネルギーとして，再生可能エネルギーや代替エネルギーとして水素エネルギーなどがあることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月			持続可能な発展へ		166～167	1	・地球環境を考えるときに「持続可能性」という視点があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞地学基礎は私たちが暮らしている地球や身の回りの多くの現象に関わる重要な科目です。自身の身近なものと捉えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4rck

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験に関する基本的な技能を身に付ける。
思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
保健体育	体育1	通年	必修	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	現代保健体育 大修館書店　保体701	授業者に準ずる	図司 敦

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

【学習目標】
〈知識・技能〉　運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，概念と自己の状況を関連付けたりして，自己や社会についての課題を発見すること。

〈思考・判断・表現〉　環境の異なる場所や変化を想定して，危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。

〈主体的に取り組む態度〉　運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとしている。

【学習方法】
①メディア授業　映像授業、放送授業を視聴してレポートを作成して提出してもらいます。
② 本校スクーリング　対面授業において、運動に対し苦手意識をもっていたり運動は嫌いと思っている生徒が多い。できる、できないではなく、一生懸命やろうと取り組む姿勢を重視する。
③ 報告課題（レポート）　運動・スポーツの文化的特徴についての知識の理解を深める。レポートを2枚、教科書を参考にレポートを作成して提出してもらいます。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	体育編	運動・スポーツの学び方	スポーツにおける技能と体力		p.158~159	2	・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげることができる。	教科書	◎			
4月				体力テスト	実技	2			○	○		
4月		運動・スポーツの学び方	スポーツにおける技術と戦術		p.160~163	2	・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明できる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術，ルールの変化を説明できる。	教科書	◎			
4月				体つくり運動	実技（インディアカ）	5	・インディアカを通じてコミュニケーションの楽しさと重要性について学ぶ ・ニュースポーツについて理解し、日常生活でスポーツに触れるよう考えることができる			○		
5月		運動・スポーツの学び方	技能の上達過程と練習		p.164~167	2	・技能がどのようなステップを経て上達するか説明できる。 ・練習によって技能が上達すると，どのような特徴がみられるかをあげることができる。	教科書	◎		第１回 6月30日	
5月				体つくり運動	実技（インディアカ）	5	実技			○		
6月		運動・スポーツの学び方	効果的な動きのメカニズム		p.168~171	2	・体の動きはどのようなしくみで開始され，持続していくのか説明できる。 ・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる。	教科書	◎			
6月				卓球	実技	5			○			
7月		運動・スポーツの学び方	体力トレーニング		p.172~175	2	・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明できる。 ・筋力，持久力，調整力，柔軟性を高める具体的な方法をあげることができる。	教科書	◎			
7月				卓球	実技	5			○		第2回 8月31日	
8月		運動・スポーツの学び方	運動やスポーツでの安全の確保		p.176~180	2	・スポーツ外傷とスポーツ障害の違いを説明できる。 ・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ，その発生原因と予防方法を説明できる。	教科書	◎			
8月		運動・スポーツの学び方	スポーツと環境			2	・スポーツと環境の関係性について理解できる。 ・自分ができること環境への影響を含めて説明できる。	教科書	◎			
9月				バドミントン	実技	6			○			
9月				バドミントン	実技	6			○			
10月				バスケットボール	実技	10			○		視聴報告 映像視聴報告 10月31日	
10月				バスケットボール	実技	10			○			
10月				実技テスト	実技	2			○	○		

計70単位時間

報告課題提出締切日（4月学習開始例）

第1回	第2回	映像視聴報告
2025年6月30日	2025年8月31日	2025年10月31日

【学習上の注意】
☞身体を動かすことの楽しさを学べるよう、積極的に参加しましょう。
☞教科書を参考に、しっかりと報告課題に取り組みましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4tsh

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	決められたルールを正しく理解し、取り組んでいる。
思考・判断・表現	指示されたことに対し、そのまま実行するのではなく、自らの考えで動きを理解し行動している。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に参加している様子が見れ、何事ことにもチャレンジしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：2回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
保健体育	体育2	通年	必履修	3	105単位時間（50分×105）	6単位時間	現代保健体育 大修館書店　保体701	授業者に準ずる	図司 敦

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
運動の楽しさや達成感を味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを過ごせるようになる。

【学習目標】
〈知識・技能〉　運動の楽しさを学び、各種目の動きについて理解する。

〈思考・判断・表現〉　正しいルールの中で、どのようにしたら勝てるのかなどの戦略が考えられる。

〈主体的に取り組む態度〉　各種目において、積極的に運動に参加し、様々なことに挑戦できる。

【学習方法】
①メディア授業　映像授業、放送授業を視聴してレポートを作成して提出してもらいます。
② 本校スクーリング　対面授業において、運動に対し苦手意識をもっていたり運動は嫌いと思っている生徒が多い。できる、できないではなく、一生懸命やろうと取り組む姿勢を重視する。
③ 報告課題（レポート）　運動・スポーツの文化的特徴についての知識の理解を深める。レポートを3枚、教科書を参考にレポートを作成して提出してもらいます。

〇メディア箇所全て
◎　メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	体育編	スポーツの発祥と発展	スポーツの始まりと変遷		p.136～137	3	・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。	教科書	◎		第1回 4月30日	
4月				バドミントン		10	スポーツ実技		○			
4月	体育編	スポーツの発祥と発展	文化としてのスポーツ		p.140～141	5	・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。	教科書	◎			
4月				バドミントン		12	スポーツ実技		○			
5月	体育編	スポーツの発祥と発展	オリンピックとパラリンピックの意義		p.144～145	5	・オリンピズムとオリンピックの価値について説明できる。 ・パラリンピックの価値について具体例をあげながら，パラリンピックの意義について説	教科書	◎		第2回 6月30日	
5月				剣道	実技	12	卓球の楽しさを知り、自分の狙ったところに打てるようになる。		○			
6月	体育編	スポーツの発祥と発展	スポーツが経済に及ぼす効果		p.148～149	6	・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明できる。	教科書	◎			
6月				ハンドボール		12	スポーツ実技		○			
7月	体育編	スポーツの発祥と発展	スポーツの高潔さとドーピング		p.150～151	5	・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。	教科書	◎		第3回 8月31日	
8月				バスケットボール		13	スポーツ実技		○			
9月	体育編	スポーツの発祥と発展	スポーツと環境		p.154～155	5	・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明できる。	教科書	◎			
9月				卓球		14	スポーツ実技		○	○		
10月				実技テスト		3	スポーツ実技		○	○	視聴報告 映像視聴報告 10月31日	

計105単位時間

報告課題提出締切日（4月学習開始例）

第1回	第2回	第3回	映像視聴報告
2025年4月30日	2025年6月30日	2025年8月31日	2025年10月31日

【学習上の注意】
☞身体を動かすことの楽しさを学べるよう、積極的に参加しましょう。
☞教科書を参考に、しっかりと報告課題に取り組みましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4tsh

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	決められたルールを正しく理解し、取り組んでいる。
思考・判断・表現	指示されたことに対し、そのまま実行するのではなく、自らの考えで動きを理解し行動している。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に参加している様子が見れ、何事ことにもチャレンジしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：3回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に6単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
保健体育	体育3	通年	必履修	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	現代保健体育 大修館書店　保体701	授業者に準ずる	図司 敦

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を意識して、合理的・計画的な活力ある生活を目指すことができる。

【学習目標】
〈知識・技能〉　スポーツが生涯にどのような影響があるのかを具体的に説明でき、日常生活にて実践することができる。

〈思考・判断・表現〉　健康の保持増進のために、自ら適した運動を発見して、自他共に課題解決に向けて具体的な道筋を立てることができる。

〈主体的に取り組む態度〉　他者と協力をして、健康保持増進のために互いに助け合い、学習に主体的に取り組もうとしている。

【学習方法】
①メディア授業　映像授業、放送授業を視聴してレポートを作成して提出してもらいます。
② 本校スクーリング　対面授業において、運動に対し苦手意識をもっていたり運動は嫌いと思っている生徒が多い。できる、できないではなく、一生懸命やろうと取り組む姿勢を重視する。
③ 報告課題（レポート）　豊かなスポーツライフの設計についての知識の理解を深める。レポートを2枚、教科書を参考にレポートを作成して提出してもらいます。

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題(R)	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月				体力テスト	実技	3			〇	〇	第1回 2025年6月31日	
4月				体つくり運動	実技	5	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、共に運動をする仲間と工夫して運動ができる。 ・運動を継続する意義を理解し、自身に適した運動計画を立てることができる。		〇	〇		
5月	体育編	豊かなスポーツライフの設計	生涯スポーツの見方・考え方		p.182~184	4	・社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを説明ができる。 ・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できる。	教科書	◎			
5月				ダンス	実技	6	・自由に踊ったりする楽しさや喜びを他者と共に味わい、交流することができる。 ・自己の動きや仲間の動きを観察して、課題を発見し他者と共有して技術・体力を高めることができる。		〇			
5月				ダンス	実技	6			〇			
6月	体育編	豊かなスポーツライフの設計	ライフスタイルに応じたスポーツ		p.186~189	4	・「する」スポーツライフスタイルについて例をあげ説明できる。 ・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられる。	教科書	◎			
6月				ソフトボール	実技	6	・チーム内での役割に応じてボール操作や用具、身体の操作を判断できる。 ・仲間と協力して攻守を行うことができ、積極的に意見を出し合い、試合を楽しむことができる。		◎			
6月				ソフトボール	実技	6			◎			
7月	体育編	豊かなスポーツライフの設計	スポーツを推進する取り組み		p.190~193	4	・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できる。 ・自分が住んでいる身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる。	教科書	◎		第2回 2025年8月31日	
7月				サッカー	実技	5	・状況に応じたボール操作と、攻守において空間を仲間と助け合い埋めることができる。 ・チームや自己の課題を発見して「みる」「支える」「知る」の視点からも意見を出し合うことができる。		◎			
9月				サッカー	実技	5			◎			
9月	体育編	豊かなスポーツライフの設計	豊かなスポーツライフの創造		p.194~195	4	・これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できる。 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。	教科書	◎			
9月				バレーボール	実技	5	・ゲーム中の味方の動きやボールの動きを予測して、身体を操作できる。 ・体力や技術等問わず、仲間とともに球技を楽しむため意見を出し合い調整をして、試合ができる。		〇	〇	2025年10月31日 視聴報告	
10月				バレーボール	実技	5			〇	〇		
10月				実技テスト	実技	2			〇			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞身体を動かすことの楽しさを学べるよう、積極的に参加しましょう。
☞教科書を参考に、しっかりと報告課題に取り組みましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4tsh

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	決められたルールを正しく理解し、取り組んでいる。
思考・判断・表現	指示されたことに対し、そのまま実行するのではなく、自らの考えで動きを理解し行動している。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に参加している様子が見れ、何事ことにもチャレンジしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：２回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

社会に参画する際に選択・判断するための手がかりとなる概念や理論および公共的空間における基本的原理を習得する。
「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせ，考察，構想する学習する。
社会とのかかわりを意識した「主題」や「問い」を主体的に設け，追究し探究を重視した学びを行う。

科目コード　0634

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当
保健体育	保健1	通年	必修	1	35単位時間（50分×35）	1単位時間	現代保健体育 大修館書店　保体701	授業者に準ずる	図司 敦

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

生涯において、健康について正しく理解し、自分の健康的な姿を考えることができる。また、日常生活に活かすことができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉　自他や社会の健康・安全について理解を深めることができる。

〈思考・判断・表現〉　心身の健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断することができ、目的や状況に応じて他者に伝えると共に自ら行動することができる。

〈主体的に取り組む態度〉　健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

【学習方法】

① 本校スクーリング　運動と健康との関わりについて理解し、実生活で活かせるようにする。

②報告課題（レポート）　心身の健康や安全についての知識の理解を深め、自ら行動する力につなげる土台を作る。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	**学習目安単位時間**	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S） 本校スクーリング（面接指導）	報告課題 締切期限	備考
	編	章	節	項							
4月	保健編	現代社会と健康		健康の考え方と成り立ち	p.6,7	2	健康についての理解を深め、自身の健康について考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		私たちの健康の姿	p.8,9	1	自他や社会的な健康問題について理解し、課題解決に向けて自分の考えを見つけることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		生活習慣病の予防と回復	p.12,13	2	生活習慣について理解し、自分のできる予防策を考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		がんの原因と予防	p.14,15	1	がんの種類や原因について理解し、がんの予防について説明できるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		がんの治療と回復	p.16,17	2	がんの主な治療法について説明できるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		運動と健康	p20,21	2	運動と健康の関係性について理解し、日常生活で活かす方法を考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	第1回 4月30日	
5月	保健編	現代社会と健康		食事と健康	p,22,23	1	食事と健康の関係性について理解し、健康的な食生活が過ごせるようになる。	教科書、映像授業			
5月	保健編	現代社会と健康		休養・睡眠と健康	p24,25	1	休養・睡眠と健康の関係性について理解し、健康に良い睡眠について説明できるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
5月	保健編	現代社会と健康		喫煙と健康	p.28,29	1	喫煙が自他の健康に及ぼす影響について理解し、自身の対策を考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
5月	保健編	現代社会と健康		飲酒と健康	p.30,31	2	飲酒が及ぼす影響について理解し、その対策法について説明することができる。	教科書、映像授業、報告課題			
5月	保健編	現代社会と健康		薬物乱用と健康	p.32,33	1	薬物乱用が健康に及ぼす影響について理解し、対策法を学び、自分自身の身を守ることができるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
6月	保健編	現代社会と健康		精神疾患の特徴	p.36,37	1	精神疾患の例をあげ，発病の要因とおもな症状について説明できる。	教科書、映像授業、報告課題			
6月	保健編	現代社会と健康		精神疾患の予防	p.38,39	2	精神疾患の予防について理解し、日常生活で活かすことができるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
6月	保健編	現代社会と健康		精神疾患からの回復	p.40,41	1	精神疾患から回復するために必要な環境について自分の考えをまとめることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
6月	保健編	現代社会と健康		現代の感染症	p.44,45	2	現代の感染症の種類について理解し、感染力や潜伏期間について説明できるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
7月	保健編	現代社会と健康		感染症の予防	p.46,47	1	感染予防について理解を深め、日常生活の中でどのように活かすのかを考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
7月	保健編	現代社会と健康		性感染症・エイズとその予防	p48,49	1	性感染症と感染症の違いについて理解し、日常生活での対策を考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
7月	保健編	現代社会と健康		健康に関する意思決定・行動選択	p.52,53	2	意思決定・行動選択について理解し、自分ならどのようにしていくのかを具体的な場面を例に考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
7月	保健編	現代社会と健康		健康に関する環境づくり	p.54,55	1	健康の保持増進していくための環境にはどのようなものがあるのかを説明できるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
8月	保健編	安全な社会生活		事故の現状と発生要因	p.60,61	1	事故の実態について理解し、人的要因と環境要因の違いを具体例を挙げて説明できるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
9月	保健編	安全な社会生活		安全な社会の形成	p.62,63	1	安全な生活が過ごせるように個人の行動として必要なことを具体例を挙げて説明できる。	教科書、映像授業			
9月	保健編	安全な社会生活		交通における安全	p.64,65	2	交通安全について理解を深め、危険予測・危険回避能力を身につける。	教科書、映像授業、報告課題			
10月	保健編	安全な社会生活		応急手当の意義とその基本	p.68,69	1	応急手当の重要性について理解し、その必要性について説明することができる。	教科書、映像授業、報告課題		第3回 10月31日	
10月	保健編	安全な社会生活		日常的な応急手当	p.70,71	1	日常的な応急手当の手順について学び、実際にできるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
10月	保健編	安全な社会生活		心肺蘇生法	p.72,73	2	心肺蘇生法の順序を学び、日常生活で自分のできることは何かを考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			

計35単位時間

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解することができ、その技能も獲得することができる。
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持増進について理解し、明るく豊かで活力ある生活を目指す姿が見られる。 積極的に話し合いに参加し、自他の課題解決に取り組む姿勢がある。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：3回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校　高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
保健体育	保健2	通年	必履修	1	35単位時間（50分×35）	1単位時間	現代保健体育 大修館書店　保体701	授業者に準ずる	図司 敦

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
ライフステージについて正しく理解し、自分自身で生涯について考えることができる。
また健康と環境等、外部的な影響や地域などで行われている政策等を理解することができる。

【学習目標】
〈知識・技能〉　自他や社会の健康・安全について理解を深めることができる。
〈思考・判断・表現〉　心身の健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断することができ、目的や状況に応じて他者に伝えると共に自ら行動することができる。
〈主体的に取り組む態度〉　健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

【学習方法】
①本校スクーリング　食品の安全性に関する課題について考え、安全な食生活を送られるよう学習する。
②報告課題（レポート）　生涯における健康や政策についての知識の理解を深める。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S） 本校スクーリング （面接指導）	報告課題 提出期限	備考
	編	章	節	項							
4月	保健編	生涯を通じる健康		ライフステージと健康	P76,77	1	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	教科書・映像視聴・報告課題		第1回 2025/4/30	
4月	保健編	生涯を通じる健康		思春期と健康	P78,79	2	・思春期における体の変化を，女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	教科書・映像視聴・報告課題			
5月	保健編	生涯を通じる健康		性意識と性行動の選択	P.80,81	2	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	教科書・映像視聴・報告課題			
5月	保健編	生涯を通じる健康		妊娠・出産と健康	P82,83	1	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	教科書・映像視聴・報告課題			
5月	保健編	生涯を通じる健康		避妊法と人工妊娠中絶	P84,85	2	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
6月	保健編	生涯を通じる健康		結婚生活と健康	P88,89	1	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	教科書・映像視聴・報告課題			
6月	保健編	生涯を通じる健康		中高年期と健康	P90,91	2	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
6月	保健編	生涯を通じる健康		働くことと健康	P92,93	2	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題		第2回 2025/6/30	
6月	保健編	生涯を通じる健康		労働災害と健康	P94,95	1	・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	教科書・映像視聴・報告課題			
7月	保健編	生涯を通じる健康		健康的な職業生活	P.96,97	2	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
7月	保健編	健康を支える環境づくり		大気汚染と健康	P100,101	2	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
7月	保健編	健康を支える環境づくり		水質汚濁，土壌汚染と健康	P102,103	1	・水質汚濁，土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気，水，土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
7月	保健編	健康を支える環境づくり		環境と健康にかかわる対策	P104,105	1	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
9月	保健編	健康を支える環境づくり		ごみの処理と上下水道の整備	P106,107	2	・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
9月	保健編	健康を支える環境づくり		食品の安全性	P110,111	2	・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	保健編	健康を支える環境づくり		食品衛生にかかわる活動	P112,113	2	・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S） 本校スクーリング （面接指導）	報告課題 提出期限	備考
	編	章	節	項							
9月	保健編	健康を支える環境づくり		保健サービスとその活用	P116,117	2	・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。	教科書・映像視聴・報告課題		第3回 2025/10/31	
10月	保健編	健康を支える環境づくり		医療サービスとその活用	P118,119	1	・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
10月	保健編	健康を支える環境づくり		医療品の制度とその活用	P120,121	2	・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
10月	保健編	健康を支える環境づくり		さまざまな保健活動や社会的対策	P124,125	1	・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			
10月	保健編	健康を支える環境づくり		健康に関する環境づくりと社会参加	P126,127	3	・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題			

計35単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解することができ、その技能も獲得することができる。
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持増進について理解し、明るく豊かで活力ある生活を目指す姿が見られる。 積極的に話し合いに参加し、自他の課題解決に取り組む姿勢がある。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
芸術	書道Ⅰ	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	東京書籍『書道Ⅰ』 2 東書　書701	授業者に準ずる	小野 小百合

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力が育成されている。

【学習目標】
〈知識・技能〉　書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。
〈思考・判断・表現〉　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
〈主体的に取り組む態度〉　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【学習方法】
①メディア授業　映像を通して書風や表現を感じ取り、書に対する感性を高めながら学ぶ。
② 本校スクーリング　理論を通して書の知識を習得し、鑑賞や実技を通して書の表現方法や多様性について感じ取る。
③ 報告課題（レポート）　書の変遷・用具用材の使い方・古典作品・書家など、書に関する基礎知識を学ぶ。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書 該当頁	学習目安 単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア （映像視聴学習）	本校スクーリング （面接指導）	締切期限	
5月	書写から書道へ	書写で学んできたこと	用具・用材・姿勢・執筆法		2〜9	3	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。	教科書・映像視聴	◎		第１回 ５月３１日	
6月	漢字の書	漢字の成立と変遷 古典に基づく学習			12〜15	3	漢字の成立と変遷について理解している。 臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習している。	教科書・映像視聴	○	○		
6月	漢字の書	楷書の特徴 表現を比べよう			16〜19	3	楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、それを実践できる。	教科書・映像視聴	○	○		
6月	漢字の書	楷書	「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」		18〜25	3	楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書できる。	教科書・映像視聴	○	○	第２回 ６月３０日	
6月	漢字の書	楷書	「雁塔聖教序」 「自書告身」		26〜31	3	楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書できる。	教科書・映像視聴	○	○		
6月	漢字の書	楷書	唐の四大家 「牛橛造像記」 「隅寺心経」		32〜37	3	楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書できる。楷書小字作品としての写経について理解している。	教科書・映像視聴	○			
7月	漢字の書	行書	行書の特徴 コラム：王羲之		38〜39	3	行書の用筆、運筆、字形の取り方、特徴を理解する。	教科書・映像視聴	○	○	第３回 ７月３１日	
7月	漢字の書	行書	「蘭亭序」		40〜48	3	行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書している。	教科書・映像視聴	○	○		
7月	漢字の書	行書	「風信帖」 三筆から三跡へ		52〜58	3	行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書している。	教科書・映像視聴	◎	○		
8月	漢字の書	草書	草書の特徴 「真草千字文」		59〜61	3	草書が成立する過程や草書の特徴、「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解している。	教科書・映像視聴	○		第４回 ８月３１日	
8月	漢字の書	隷書	隷書の特徴 「曹全碑」		62〜65	2	隷書が成立する過程や篆書の特徴、「曹全碑」の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解している。	教科書・映像視聴	○			
8月	漢字の書	篆書	篆書の特徴 始皇帝と文字 「泰山刻石」		66〜69	2	篆書が成立する過程や篆書の特徴、「泰山刻石」の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解している。	教科書・映像視聴	○			
8月	漢字の書	鑑賞	書の美や風趣を味わおう		72〜73	3	近現代の作品を鑑賞し、自分の書に活かすことができる。	教科書・映像視聴	○	○		
8月	漢字の書	創作	古典を生かそう		70〜71	3	創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価できる。	教科書・映像視聴	○			
9月	仮名の書	仮名の成立			76〜77	3	仮名の成立と変遷について理解している。	教科書・映像視聴	○	○	第５回 ９月３０日	
9月	仮名の書	仮名を書く準備 平仮名の単体			78〜81	3	仮名の用具・用材の特徴について理解している。仮名の基本的な線、平仮名の単体の特徴について理解し、練習できる。	教科書・映像視聴	○	○		
9月	仮名の書	変体仮名 連綿			81〜85	3	助言をもとに推敲して，よりよい文章に仕上げる。	教科書・映像視聴	○	○		
9月	仮名の書	「高野切第三種」			88〜91	3	平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解している。	教科書・映像視聴	◎	○		
9月	仮名の書	全体構成	三色紙の散らし書き		94〜97	3	行書きの構成、散らし書きの構成について理解し、練習する。三色紙について鑑賞し、それぞれの特徴について理解している。	教科書・映像視聴	○	△		
9月	仮名の書	鑑賞	書の美や風趣を味わおう		100〜103	3	近現代の作品を鑑賞し、古筆の形態の違いついて理解している。	教科書・映像視聴	○	○		
9月	仮名の書	創作	古典を生かそう		98〜99	3	創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、行を構成し、創作、相互評価できる。	教科書・映像視聴	○	○		
10月	漢字かな交じりの書	漢字仮名交じりの書の変遷			106〜107	3	書き方の工夫によってさまざまな表現ができることを理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうか考えることができる。	教科書・映像視聴	○	○	第６回・ 映像視聴報告 １０月３１日	
10月	漢字かな交じりの書	鑑賞	書の美や風趣を味わおう		122〜123	3	近現代の作品を鑑賞し、自分の書に活かすことができる。	教科書・映像視聴	◎	○		
10月	漢字かな交じりの書	創作	古典を生かそう		120〜121	3	創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価している。	教科書・映像視聴	○	△		

計70単位時間

【学習上の注意】
☞自分の考え方を広めるために、筆者の気持ちの変化や考え方を意識して学習に取り組みましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4gsx

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
芸術	美術Ⅰ	通年	選択必修	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	光村図書『美術1』 38　光村　美Ⅰ 701	授業者に準ずる	佐藤 淳子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
美術の幅広い創造活動を通して，造形的な見方･考え方を働かせ，美的体験を重ね，生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質･能力が育成されている。

【学習目標】
〈知識・技能〉　造形的な視点を豊かにするために必要な知識と，表現における創造性に表す技能に関する力を身に付ける。
〈思考・判断・表現〉　表現における発想や構想と，鑑賞における見方や感じ方を身に付ける。
〈主体的に取り組む態度〉　学習に主体的に取り組む態度や生涯にわたって美術を愛好する心情，豊かな感性などを身に付ける。

【学習方法】
①メディア授業　発想をメディアの特性を生かして主題として生成したり，視覚的に働きを考えて創造的な表現の構想を練ったり，それらを創造的に表す技能も学ぶ事ができる。
② 本校スクーリング　対面授業を実施し，題材に対して造形的な視点の理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し,創造的に表すことができる。
③ 報告課題（レポート）　教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで，生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質･能力を育成することができる。

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書 該当頁	学習目安 単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア （映像視聴学習）	本校スクーリング （面接指導）	締切期限	
4月	鑑賞 絵画・彫刻	作家の生涯と作品 葛飾北斎	音声ガイド： 「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」		20～21	2	葛飾北斎の生涯や作品を知り,表現の豊かさやおもしろさを感じ取る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	◎	第1回 5月31日	
4月	表現 絵画・彫刻	身近なものを描く さまざまな絵の具	全国の生徒作品 技法動画：色鉛筆のタッチの違い／水彩の技法／身近なものを描く（水彩絵の具）／身近なものを描く（色鉛筆）／身近なものを描く（パステル）		6～9 78～79	2	身近にあるものを見つめ直し,描く方法や材料を工夫してあらわすことができる。 顔料や展色剤の時代の変遷と,それぞれの特徴を知り,表現や鑑賞に生かす。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	◎		
5月	表現 絵画・彫刻	鉛筆で描く	技法動画： 鉛筆で静物を描く／カッターナイフで鉛筆を削る／鉛筆で石膏像を描く		80～83	4	なじみのある画材の鉛筆で,芯の硬さやタッチの違いによって,幅広い表現ができることを知り,基本的な用具の使い方や描き方を知る。	教科書・報告課題	〇			
5月	鑑賞 絵画・彫刻	作家の生涯と作品 パブロ･ピカソ 美術史年表(世界)	美術史ワード：「キュビスム」 美術史の用語について,解説を読んでみよう。		44～47 108～110	2	パブロ･ピカソの生涯や作品を知り,新たな表現を追究する姿勢を感じ取る。 世界の美術の流れを知り,作品を鑑賞し,その時代の特徴を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月	表現 デザイン	色の性質 色の効果 配色のヒント	—		114～115 116～117 118～119	2	色の性質,効果,配色のヒントを知り,見る人により効果的に伝わるように工夫できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月	鑑賞 映像メディア表現	写真家 土門 拳 写真家 植田 正治 写真史年表	—		68 69 111～113	1	撮り方が異なる二人の写真家の作品を鑑賞し、それぞれのよさを感じ取る。 撮影機材の進歩の歴史とともに,各時代の写真作品を鑑賞する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第2回 6月30日	
6月	表現 映像メディア表現	写真を撮影する テーマを決めて撮影する	全国の生徒作品		100～101 70～71	4	カメラの種類や機能、撮影のしかたを知ることで表現の幅を広げる。 一つのテーマを決め、光や構図などを意識して,シリーズの作品を作る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月	表現 絵画・彫刻	場所との対話	—		42～43	6	設置する場所や周囲の環境との調和を意識して,縮尺を考えて,設定した場所飾る半立体の作品をつくる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月	表現 デザイン	メッセージを広く伝える 文字をデザインする	全国の生徒作品 学習に役立つリンク： TSDO（佐藤卓デザイン事務所）		48～51 98～99	6	伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え，多くの人に伝わるようにデザインする。 ビジュアルデザインの重要な要素である文字について知り,各種書体を自分の作品にも活用する。	教科書・報告課題	〇	〇	第3回 7月31日	
7月	表現 デザイン	パッケージのデザイン デザイン史年表	—		58～59 111～113	6	包むものや使用方法を考え,形や材料を工夫してパッケージをデザインする。	教科書・報告課題	〇			
8月	鑑賞 絵画・彫刻	絵巻物を楽しむ 鳥獣人物戯画 美術史年表(日本)	音声ガイド：「鳥獣人物戯画 甲巻」 美術史の用語について,解説を読んでみよう。		15～18 108～110	2	「鳥獣人物戯画 甲巻」を鑑賞し,絵巻物の表現のおもしろさや工夫を感じ取る。 世界の美術の流れを知り,作品を鑑賞し,その時代の特徴を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	◎	第4回 8月31日	
8月	表現 デザイン	マークやサインで伝える 作家の手法 廣村 正彰	—		52 53	5	伝えたい情報を整理し,印象に残るシンボルマークや,しようする場所や目的にあったサインにデザインする。 グラフィックデザイナー廣村正彰のデザインのよさを感じ取る。	教科書・報告課題	〇			
9月	表現 絵画・彫刻	墨で描く	音声ガイド：「雲竜図」」 水墨画の技法を動画で見てみよう。		12～14，19	4	墨による表現の豊かさを感じ取り,墨の特性を生かして作品を描く。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第5回 9月30日	
9月	表現 絵画・彫刻	想像した世界を描く	全国の生徒作品		26～27	6	心に浮かんだイメージをもとに発想を広げ,夢や想像の世界をあらわす。	教科書・映像視聴・報告課題	〇			
10月	表現 絵画・彫刻	自己をあらわす	全国の生徒作品		32～33	6	様々な作品を鑑賞し,自分自身を工夫してあらわす。	教科書・報告課題	〇		第6回・ 映像視聴報告 10月31日	
10月	表現 デザイン	作家の生涯と作品 ル･コルビュジェ	音声ガイド： 「ノートル･ダム･デュ･オー礼拝堂」		64～65	2	ル･コルビュジュエの生涯や作品を知り,建築への考え方や設計の工夫を感じ取る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
10月	表現 絵画・彫刻	風景を描く	全国の生徒作品 美術史ワード：「印象派」「ジャポニスム」 技法動画：水彩絵の具で風景を描く		22～25 84～85	6	心ひかれる風景を，光を意識したり,構図を考えたりしながら工夫してあらわす。 水の効果や筆の使い方による多彩な表現に挑戦し,前の授業までに描いた下書きに水彩絵の具で彩色をする。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
10月	表現 デザイン	文様で飾る ※オリジナルの文様を考えてスタンプをつくり,手ぬぐいなどを制作	—		54～57	4	日本や諸外国の文様を鑑賞し,表現の工夫や生活との関わりを感じ取り,形や色を考えてデザインし,作品を制作する。	教科書・映像視聴	◎	〇		

計70単位時間

【学習上の注意】
☞「絵画･彫刻」は感じ取ったことや考えたことから主題を生成し，表現形式の特性を生かす等して構想を練り、材料や用具の特性を生かしたり表現方法を創意工夫したりして主題を追究し創造的に表すなど表現に関する資質･能力を育成することをねらいとする。
☞「デザイン」は目的や条件,美しさ等を考えて主題を生成し,デザインの機能や効果等を考える等して構想を練り,材料や用具の特性を生かしたり表現方法を創意工夫したりして目的や計画を基に，創造的に表す等表見に関する資質･能力を育成することをねらいとする。
☞「映像メディア表現」は感じ取った事や考えた事,目的や機能等を基に,映像メディアの特性を生かして主題を生成し,映像表現の視覚的な要素の働きについて考える等して構想を練り,映像メディア機器等の用具の特性を生かしたり,表現方法を創意工夫したりして表現の意図を効果的に表す等表現に関する資質･能力を育成する事をねらいとする。
☞「鑑賞」は作品等からよさや美しさを主体的に感じ取り,批評し合う等して,作者の心情や意図と創造的な表現の工夫や美術の働き,美術文化について考え,見方や感じ方を深める事を重視し,鑑賞に関する資質･能力を育成することをねらいとしている。
☞感性や造形感覚等を高めていくことを一層重視し,表現や鑑賞の学習に共通に必要となる資質･能力を育成する観点から,多様な視点から造形を豊かに捉えることができるよう,造形的な視点を豊かににするために必要な知識も習得できるようにした。また,アイデアスケッチ等で構想を練ったり,言葉等を考えを整理したりすることや,作品について批評し合う活動等を取り入れるようにする等の言語活動の充実を図る。

【映像視聴について】
指示された所定の時間、所定の回数を視聴・学習すること。
☞複数の作品を比較鑑賞する題材もある。共通点や違いを感じ取ったり,感じたことを話し合ったりすることができ,作品への理解を深めることができるような題材を提示している。
☞表現・鑑賞すべての題材に関わる,色に関する資料も提示している。高校の美術で使われるほぼすべての技法を視聴可能。手順もQRコードから,技法動画を視聴することができ,技法のポイントがひと目で捉えられる事
☞教科書では題材の随所に,QRコードを掲載しているので,補助教材として活用する。鑑賞に使える音声ガイドや技法動画,作家へのインタビュー等,学びが広がるウェブコンテンツにリンクしている。

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるともに,意図に応じて表現方法を創意工夫し,創造的に表す事ができる。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ,表現の意図と創意工夫,美術の働きなどについて考え,主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり,価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
学びに向かう力,人間性等	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み,生涯にわたり美術を愛好する心情を育むともに,感性を高め,美術文化に親しみ,心豊かな生活や社会を創造していく態度を養われている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅠ	通年	必修	3	105単位時間（50分×105）	5単位時間	東京書籍『All Abroad! English Communication Ⅰ』2 東書　701	授業者に準ずる	長谷川 達也

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
日常的・社会的な話題について，多くの支援を活用しながら，
・言語活動を通じて，話し手や書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
・基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉
▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。
▶ 学習した表現を活用し，相手とコミュニケーションできる技能を身につけることができる。

〈思考・判断・表現〉
▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使うことができる。
▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合うことができる。

〈主体的に取り組む態度〉
▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使おうとする態度を身に付ける。
▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとすることができる。

【学習方法】
①メディア授業　・文や語句の強勢に着目し、母語話者の英語を聞く習慣をつける。〈聞くこと・話すこと［発表］〉
② 本校スクーリング　・情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて伝える。〈話すこと［やり取り］［発表］・書くこと〉
③ 報告課題（レポート）　・読んだり書いたりするための基礎知識を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【年間学習計画】

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容 編	章	節	項	教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S） メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	報告課題（R） 締切期限	備考
4月		Warm-Up 1 アルファベット			008, 009	1	［知識］アルファベットについて，その決まり事などを理解している。 ［技能］アルファベットを正しく認識し，書くことができる技能を身につけている。	教科書	◎		第1回・第2回 4月30日	
4月		Warm-Up 2 教室で使う表現			010, 011	1	［知識］教室で使う表現について，その使い方や使う場面などを理解している。 ［技能］教室で使う表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使うことができる技能を身につけている。	教科書	◎			
4月		Warm-Up 3 辞書の使い方／疑問詞			012, 013	1	［知識］辞書の使い方/疑問詞について，その使い方や使う場面などを理解している。 ［技能］ 辞書の使い方/疑問詞について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使うことができる技能を身につけている。	教科書	◎			
4月		Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ			014, 015	1	［知識］be動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］自分の名前・性格・特徴などを，be動詞を用いて，相手に伝える技能を身につけている。	教科書	◎			
4月		Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! オレはジャンクフードが好きだ！			016, 017	1	［知識］一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］自分の日常の行動や食べ物の好みなどを，一般動詞を用いて，相手に伝える技能を身につけている。	教科書	◎			
4月		Communication 1 自己紹介			018	1	［知識］ここまで学習したことをもとに，自己紹介の仕方を理解している。 ［技能］ここまで学習したことをもとに，自己紹介というテーマでメモを作成し，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書	◎			
4月		英文のしくみ1			019	2	-	教科書	◎			
4月		Lesson 1 Breakfast around the World 私の朝ごはん			020-027	2	［知識］動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また，世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について，自分の考えや好み，その理由などを整理・理解している。 ［技能］世界の朝食について学んだ事柄を用いて，好きな食べ物について，考えや好み，その理由を話して伝える技能を身につけている。また，過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身につけている。	教科書	◎			
5月		Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物			028-035	2	［知識］進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また，オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について，自分の考えや好み，その理由などを整理・理解している。 ［技能］進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉の理解をもとに，オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて，好きな動物について，考えや好み，その理由などを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書	◎	○		
5月		文法のまとめ 1			036, 037	2	［知識］「be動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］「be動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書	◎		第3回	

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月		Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車			038-045	2	［知識］助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること，自分ができること・できないことについて，助動詞can, willを用いて，情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書	◎		5月31日	
5月		Communication 2 道案内			046	2	［知識］道案内をするにあたり，地図を見ながら説明する仕方を理解している。 ［技能］道案内をするにあたり，地図を見ながら説明できる技能を身につけている。	教科書	◎			
6月		Let’s Listen 1 デートの約束			047	4	［知識］相手を何かに誘う文の形・意味を理解している。 ［技能］相手を何かに誘う文を聞いて，その日時や場所などの要点を整理してメモを取る技能を身につけている。	教科書	◎			
6月		Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景			048-057	2	［知識］to不定詞〈to＋動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］ウユニ塩原でやりたいこと，行ってみたい場所ややりたいことについて，to不定詞〈to＋動詞の原形〉を用いて，情報や考え，気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書	◎	○	第4回・第5回 6月30日	
6月		英文Eメールの書き方			058	2	-	教科書	◎			
6月		Extra Target 1 人物当てクイズ			059	1	［知識］「接続詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］クイズにしたい人物の情報を整理し，「接続詞」を用いて，人物のプロフィールを的確に伝えることができる技能を身につけている。	教科書	◎			
7月		Lesson 5 Learning from the Sea 長浜高校水族館部			060-069	2	［知識］動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］将来の夢や先週末に楽しんだことについて，動名詞〈動詞の-ing形〉を用いて，考えや気持ち，情報などを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書	◎	○		
7月		Let’s Listen 2 フリーマーケットで買い物			070	2	［知識］商品の値段や形状を説明する文の形・意味を理解している。 ［技能］商品の値段や形状を説明する文を聞いて，それらの要素を正しく判断できる技能を身につけている。	教科書	◎		第6回 7月31日	
7月		英文のしくみ 2			071	2	-	教科書	◎			
8月		文法のまとめ 2			072, 073	2	［知識］「助動詞」「to不定詞」「動名詞」「接続詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］「助動詞」「to不定詞」「動名詞」「接続詞」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書	◎			
8月		Reading 1 Short Stories in English			074-076	2	［知識］英語で書かれたShort Storiesの内容を理解している。 ［技能］英語で書かれたShort Storiesの内容を読み取る技能を身につけている。	教科書	◎		第7回 8月31日	
8月		Extra Target 2 ○○が･･･するのを見た			077	4	［知識］「知覚動詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］最近見たり聞いたりしたことについて，「知覚動詞」を用いて適切に表現することができる技能を身につけている。	教科書	◎			
9月		Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師			078-087	4	［知識］受け身〈be動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］好きな絵の紹介とその理由について，受け身〈be動詞＋過去分詞〉を用いて，情報や考え，気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書	◎	○		
9月		Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク			088-097	12	［知識］比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また，アンネ・フランクについて学んだり，関心のある人物について調べた事柄を整理・理解している。 ［技能］比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉の理解をもとに，アンネ・フランクについて学んだり，関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて，考えなどを伝え合う技能を身につけている。	教科書	◎	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
9月		Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ			098-107	10	［知識］現在完了形〈have［has］＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また，ロボットカフェについて学んだり，ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解している。 ［技能］現在完了形〈have［has］＋過去分詞〉の理解をもとに，ロボットカフェについて学んだり，ロボットについて自分で調べた事柄を用いて，人の生活を豊かにするロボットのアイディアを提案する技能を身につけている。	教科書	◎		第8回 9月30日	
9月		Communication 3 乗り換え案内			108	4	［知識］電車の乗り換え案内をするにあたり，路線図を見ながら説明する仕方を理解している。 ［技能］電車の乗り換え案内をするにあたり，路線図を見ながら説明できる技能を身につけている。	教科書	◎			
9月		英文のしくみ3			109	4	-	教科書	◎			
9月		文法のまとめ3			100, 111	4	［知識］「受け身」「比較表現」「完了形」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］「受け身」「比較表現」「完了形」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書	◎			
10月		Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る			112-121	4	［知識］「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また，プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり，プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理・理解している。 ［技能］「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに，プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり，プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて，自分たちにできることを伝え合う技能を身につけている。	教科書	◎		第9回・映像視聴 報告 10月31日	
10月		Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物			122-131	4	［知識］関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。また，第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や，両地域の現在の交流について学んだり，海外の文化や社会を理解する手段について，自分で調べた事柄を整理・理解している。 ［技能］関係代名詞who, whichの理解をもとに，第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や，両地域の現在の交流について学んだり，海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて，考えや情報などを話して伝え合う	教科書	◎			
10月		Reading 2 The Wizard of Oz			132-138	4	［知識］英語で書かれたThe Wizard of Ozの内容を理解している。 ［技能］英語で書かれたThe Wizard of Ozの内容を読み取る技能を身につけている。	教科書	◎			
10月		Extra Target 3 もし私が〇〇なら……			139	10	［知識］仮定法過去〈If＋過去形の文，I would …〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］「もし私が〇〇なら…」と想像して，しようと思うこと・できることについて，「仮定法過去」を用いて相手と対話をすることができる技能を身につけている。	教科書	◎			
10月		文法のまとめ4			140, 141	4	［知識］「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書	◎			

計105単位時間

【学習上の注意】
☞ 教科書の各レッスンの最初のページにあるQRコードより、本文と進出語句の音声を聞くことができます。積極的に活用しましょう。

【映像視聴について】
英語コミュニケーションⅠ 教科書解説動画
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4ecx

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ▶ 学習した表現を活用し，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。
思考・判断・表現	▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使っている。 ▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使おうとしている。 ▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：9回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に5単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅡ	通年	選択	4	140単位時間（50分×140）	7単位時間	東京書籍『All Abroad! English Communication Ⅱ』2 東書　CⅡ701	授業者に準ずる	長谷川 達也

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
日常的・社会的な話題について，一定の支援を活用しながら，
・言語活動を通じて，話し手や書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
・基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉
▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。
▶ 学習した表現を活用し，相手とコミュニケーションできる技能を身につけることができる。

〈思考・判断・表現〉
▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使うことができる。
▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合うことができる。

〈主体的に取り組む態度〉
▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使おうとする態度を身に付ける。
▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとすることができる。

【学習方法】
①メディア授業　・文や語句の強勢に着目し、母語話者の英語を聞く習慣をつける。〈聞くこと・話すこと［発表］〉
② 本校スクーリング　・情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて伝える。〈話すこと［やり取り］［発表］・書くこと〉
③ 報告課題（レポート）　・読んだり書いたりするための基礎知識を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【年間学習計画】

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容 編	章	節	項	教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S） メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	報告課題（R） 締切期限	備考
4月	Pre-Lesson	My Plans for This Year 今年やってみたいこと			008, 009	3	[知識]to不定詞や助動詞willなどを用いられた文の形・意味を理解している。 [技能]今年やってみたいことなどを，to不定詞や助動詞willなどを用いて，相手に伝える技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	◎		第1回・第2回 4月30日	
4月	Lesson 1	A Colorful Island ブラーノ島	関係代名詞：what		010-017	8	[知識]関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解している。また，海外の観光地について学んだり，海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて調べた事柄を整理・理解している。 [技能]関係代名詞whatの理解をもとに，海外の観光地について学んだり，海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて，自分で調べた事柄を用いて，情報や考え，気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	〇		
4月	Let’s Listen 1	ホテルにチェックイン			018	3	[知識]ホテルにチェックインするときに使われる文の形・意味を理解している。 [技能]ホテルにチェックインするときに使われる文を聞いて，宿泊人数や滞在日数などの要点を整理して伝えることができる技能を身につけている。	教科書／映像視聴	〇			
4月	Communication 1	病院で診察			019	3	[知識]病院で診察を受けるにあたり，症状や気分を説明する仕方を理解している。 [技能]病院で診察を受けるにあたり，症状や気分を説明できる技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	〇			
4月	Lesson 2	With the Beatles サムのリクエスト	比較表現：more, the most		020-027	8	[知識]比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解している。また，世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり，好きな人物について調べた事柄を整理・理解している。 [技能]比較表現〈more〉〈the most〉の理解をもとに，世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり，好きな人物について自分で調べた事柄を用いて，理由などを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／放送視聴／報告課題	◎	〇		
5月	Word Box 1	Feelings and Emotions			028-029	2	[知識]感覚や感情を表す単語や表現を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]感覚や感情を表す単語や表現を用いて，自分がどんなときにどんな感情になるのかということについて，書いて伝える技能を身につけている。	教科書／映像視聴	◎			
5月	Lesson 3	Wild Men ワイルドマンの世界	itの用法		030-039	8	[知識]itを用いた文〈It is … (for ―) to ～〉〈It is … that ～〉の形・意味を理解している。また，ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり，身近な行事について調べた事柄を整理・理解している。 [技能] itを用いた文〈It is … (for ―) to ～〉〈It is … that ～〉の理解をもとに，ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり，身近な行事について自分で調べた事柄を用いて，情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	◎			
5月	文法のまとめ 1	関係代名詞／比較表現／itの用法			040-041	2	[知識]「関係代名詞」「比較表現」「itの用法」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]「関係代名詞」「比較表現」「itの用法」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書／映像視聴	〇		第3回・第4回 5月31日	
5月	Lesson 4	Little Hero ハチドリのしずく	間接疑問文		042-051	8	[知識]間接疑問文の形・意味を理解している。また，ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり，好きな物語について調べた事柄を整理・理解している。 [技能]間接疑問文の理解をもとに，ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり，自分で調べた事柄を用いて，考えや理由などを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／放送視聴／報告課題	◎	〇		
5月	Let’s Listen 2	世界自然遺産			052	2	[知識]ある地域の特徴や位置を説明する文の形・意味を理解している。 [技能]ある地域の特徴や位置を説明する文を聞いて，それらの要素を正しく判断できる技能を身につけている。	教科書／映像視聴	〇			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月	Extra Target 1	ずっと…し続けています	現在完了進行形：〈have＋been＋動詞の-ing形〉		053	2	[知識]現在完了進行形〈have＋been＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]「ずっと…し続けています」という文を，「現在完了進行形」を用いて，的確に伝える技能を身につけている。	教科書／映像視聴	◎			
6月	Word Box 2	A Day in English : Part 1			054-055	2	[知識]平日の生活でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]自分が何時ころに何をするかについて，平日の生活でよく使われる語句や表現を用いて書き，それを発表する技能を身につけている。	教科書／映像視聴／放送視聴／報告課題	◎		第5回・第6回 6月30日	
6月	Lesson 5	Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語	to不定詞を含む表現		056-067	8	[知識] to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また，歌舞伎と隈取について学んだり，日本の伝統文化について調べた事柄を整理・理解している。 [技能] to不定詞を含む表現の理解をもとに，歌舞伎と隈取について学んだり，日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて，情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○		
6月	Word Box 3	The Body and Clothes			068-069	2	[知識]服装についての対話でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]平日や週末の自分の好きな服装について，衣服やアクセサリーなどを表す語句を用いて，対話する技能を身につけている。	教科書／映像視聴／放送視聴／報告課題	◎			
6月	Reading 1	Mujina			070-075	8	[知識]英語で書かれたMujinaの内容を理解している。 [技能]英語で書かれたMujinaの内容を読み取る技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	○			
7月	文法のまとめ2	間接疑問文／to不定詞を含む表現／動詞の形と「時」の関係			076-077	2	[知識]「間接疑問文」「to不定詞を含む表現」「動詞の形と『時』の関係」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]「間接疑問文」「to不定詞を含む表現」「動詞の形と『時』の関係」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	○			
7月	Lesson 6	Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ	動詞の目的語になるif節		078-089	8	[知識]動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解している。また，京野菜について学んだり，京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名な場所やものについて調べた事柄を整理・理解している。 [技能]動詞の目的語になるif節の理解をもとに，京野菜について学んだり，地元の有名な場所やものについて自分で調べた事柄を用いて，地元の有名な場所やものについて紹介するポスターを作成して，考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／放送視聴／報告課題	◎	○	第7回・第8回 7月31日	
7月	Word Box 4	Various Jobs			090-091	2	[知識]仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて，将来つきたい職業とその理由について書いて伝える技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	○			
7月	Lesson 7	Over the Wall アートで世界をつなぐ	関係副詞：where, when		092-103	8	[知識]関係副詞where，whenを用いた文の形・意味を理解している。また，世界中で壁画を描く活動について学んだり，外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解している。 [技能]関係副詞where，whenの理解をもとに，世界中で壁画を描く活動について学んだり，外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて，情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	◎			
8月	Communication 2	入国審査			104	2	[知識]海外旅行先の空港で入国審査の手続きをするにあたり，旅行の目的や滞在日数などを申告する仕方を理解している。 [技能]海外旅行先の空港で入国審査の手続きをするにあたり，旅行の目的や滞在日数などを申告することができる技能を身につけている。	教科書／映像視聴	◎		第9回・第10回 8月31日	
8月	Getting the Necessary Information	ロンドンの地下鉄			105	2	[知識]目的地までの行き方を案内するにあたり，地下鉄の路線図を見ながら説明する仕方を理解している。 [技能]目的地までの行き方を案内するにあたり，地下鉄の路線図を見ながら説明できる技能を身につけている。	教科書／映像視聴	○			
9月	Lesson 8	Inspiration from Nature 自然のデザインに学ぶ	知覚動詞		106-117	8	[知識]知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。また，生物模倣について学んだり，自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べた事柄を整理・理解している。 [技能]知覚動詞の理解をもとに，生物模倣について学んだり，自然界のデザインをヒントに開発された製品について自分で調べた事柄を用いて紹介記事を作成し，情報などを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○		
9月	文法のまとめ3	動詞の目的語になるif節／関係副詞／知覚動詞			118-119	2	[知識]「動詞の目的語になるif節」「関係副詞」「知覚動詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]「動詞の目的語になるif節」「関係副詞」「知覚動詞」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書／映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
9月	Lesson 9	The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実	使役動詞		120-131	8	[知識]使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また，チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり，その問題について調べた事柄を整理・理解している。 [技能]使役動詞の理解をもとに，チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり，その問題について自分で調べた事柄を用いて，情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	○	○	第11回・第12回 9月30日	
9月	エッセイライティング				132	3	[知識]英語でエッセイを書くために必要な情報や感想・意見などをまとめて，それらをエッセイの構成要素として使うことを理解している。 [技能]英語でエッセイを書くために必要な情報や感想・意見などをまとめて，それらをエッセイの構成要素として使う技能を身につけている。	教科書／映像視聴	○			
9月	Extra Target 2	仮定法過去：〈I wish＋過去形の文〉			133	3	[知識]仮定法過去〈I wish＋過去形の文〉を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]実現できそうにない願望について，「○○ならいいのに…」と，「仮定法過去」を用いて的確に伝える技能を身につけている。	教科書／映像視聴／放送視聴／報告課題	○			
10月	Lesson 10	Fighting Angel ナイチンゲール	分詞構文		134-145	8	[知識]分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。また，ナイチンゲールの生涯について学んだり，人を助ける職業について調べた事柄を整理・理解している。 [技能]分詞構文の理解をもとに，ナイチンゲールの生涯について学んだり，人を助ける職業について自分で調べた事柄を用いて，情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。	教科書／映像視聴／報告課題	○		映像視聴報告 10月31日	
10月	文法のまとめ4	使役動詞／分詞構文			146-147	3	[知識]「使役動詞」「分詞構文」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]「使役動詞」「分詞構文」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	教科書／映像視聴	○			
10月	Reading 2	Bear's Pie			148-153	8	[知識]自分たちで結末を考えた，英語で書かれたBear's Pieの内容を理解している。また，登場人物の気持ちが聞いている者に伝わるように，朗読する知識を身につけている。 [技能]英語で書かれたBear's Pieの内容を読み取り，物語の結末を考え，配役を決めて，朗読劇を演じる技能を身につけている。	教科書／映像視聴／放送視聴／報告課題	○			
10月	Word Box 5	A Day in English :Part 2			154-155	4	[知識]平日の生活でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]自分が何時ころに何をするかについて，平日の生活でよく使われる語句や表現を用いて書いて，それを発表する技能を身につけている。	教科書／映像視聴／放送視聴／報告課題	○			

計140単位時間

【学習上の注意】
☞ 教科書の各レッスンの最初のページにあるQRコードより、本文と進出語句の音声を聞くことができます。積極的に活用しましょう。

【映像視聴について】
英語コミュニケーションⅡ 教科書解説動画
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5ecy

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ▶ 学習した表現を活用し，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。
思考・判断・表現	▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使っている。 ▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使おうとしている。 ▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅢ	通年	選択	4	140単位時間（50分×140）	7単位時間	東京書籍『All Abroad! English CommunicationⅢ』 2 東書　CⅢ701	授業者に準ずる	長谷川 達也

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

日常的・社会的な話題について，ほとんど支援がなくても，

・言語活動を通じて，話し手や書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。

・基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉
▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。
▶ 学習した表現を活用し，相手とコミュニケーションできる技能を身につけることができる。

〈思考・判断・表現〉
▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使うことができる。
▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合うことができる。

〈主体的に取り組む態度〉
▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使おうとする態度を身に付ける。
▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとすることができる。

【学習方法】

①メディア授業　・文や語句の強勢に着目し、母語話者の英語を聞く習慣をつける。〈聞くこと・話すこと［発表］〉
② 本校スクーリング　・情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて伝える。〈話すこと［やり取り］［発表］・書くこと〉
③ 報告課題（レポート）　・読んだり書いたりするための基礎知識を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【年間学習計画】

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容 編	章	節	項	教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S） メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	報告課題（R） 締切期限	備考
4 月	Lesson 1	Gifts to Barcelona	不定詞/動名詞		004-011	10	［題材内容］ ガウディが設計した建築物の概念や特徴と，バルセロナにおける，その意味について学習する。 ［言語材料］ to不定詞／動名詞 ［言語活動］ 建築物について，英語で紹介することができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○	第1回・第2回 4月30日	
4 月	Lesson 2	*Akkamui*	現在完了形		012-019	10	［題材内容］ 北海道の野生動物観察ツアーガイドの説明を通して，エゾモモンガやアイヌの人々について学習する。 ［言語材料］ 現在完了形 ［言語活動］ 生き物の特徴について，英語で説明することができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○		
5月	Lesson 3	Your True Colors	使役動詞		020-027	10	［題材内容］ 衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学習する。 ［言語材料］ 使役動詞 ［言語活動］ ファッションについて，英語でインタビューをすることができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○	第3回・第4回 5月31日	
5 月	Lesson 4	Our Future Food?	受け身		028-037	10	［題材内容］ コオロギを使用する昆虫食についての対話を通して，食糧問題について学習する。 ［言語材料］ 受け身 ［言語活動］ 食糧問題について，英語でミニディベートをすることができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎			
6 月	Lesson 5	Madagascar	関係代名詞		038-047	10	［題材内容］ マダガスカルの自然と人々の生活を通して，地球環境や生態系について考える。 ［言語材料］ 関係代名詞 ［言語活動］ 地域の自然について，英語でプレゼンテーションをすることができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○	第5回・第6回 6月30日	
6 月	Reading 1	The Fun They Had			048-053	8	［題材内容］ 未来の機械化された学校と生徒の日常生活についての物語を読み，各場面の状況と登場人物の心情を読み取る。 ［言語活動］ 各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら，やや複雑な構造の物語を音読する。	教科書／映像視聴／報告課題	○			
7 月	Lesson 6	The Mystery of the Terracotta Warriors	関係代名詞：,who ,which		054-063	12	［題材内容］ 古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学習する。 ［言語材料］ 関係代名詞（who, which）の非制限用法 ［言語活動］ 訪れてみたい史跡について，英語でまとまりのある文章を書くことができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○	第7回・第8回 7月31日	
8月	Lesson 7	Green Challenges	比較表現		064-073	12	［題材内容］ 地球温暖化と再生可能エネルギーについての発表を通して，エネルギー問題とその解決策について学習する。 ［言語材料］ 比較表現 ［言語活動］ 再生可能エネルギーについて，国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎		第9回・第10回 8月31日	
9 月	Lesson 8	Witnesses of War	名詞を後ろから説明する分詞		074-083	12	［題材内容］ 原爆投下により被爆した広島の路面電車とその運転士だった女子生徒の経験を通して，平和の大切さについて考える。 ［言語材料］ 名詞を後ろから説明する分詞 ［言語活動］ 経験したことや考えたことについて，英語でまとまりのある文章を書くことができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○		
9 月	Lesson 9	The Wonders of Lightning	仮定法過去		084-093	15	［題材内容］ 海外の高校生に向けたオンラインでの発表を通して，雷の発生のしくみや避難方法，地球温暖化との関係などについて学習する。 ［言語材料］ 仮定法過去 ［言語活動］ 電気の有効活用について，英語でミニディベートをすることができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎	○	第11回・第12回 9月30日	
9 月	Extra Target 1	過去完了形・過去完了進行形			094	3	［言語材料］ 過去完了形／過去完了進行形 ［言語活動］ 部屋で起こったと思われることを過去完了形を用いて説明する。 ある動作がずっと継続していたことを過去完了進行形を用いて説明する。	教科書	○			
10月	Extra Target 2	無生物主語			095	3	［言語材料］ 無生物主語 ［言語活動］ 無生物主語を用いて英語らしい表現に書き換えたり，英文を完成させたりする。	教科書	○			
10月	Lesson 10	Katherine’s Long Journey	関係代名詞 whose		096-105	15	［題材内容］ 人種差別の壁を越えて，米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者，キャサリン・ジョンソンと差別の問題について学習する。 ［言語材料］ 関係代名詞whose ［言語活動］ 社会に影響を与えた人物について，英語でエッセイを書くことができる。	教科書／映像視聴／報告課題	◎		映像視聴報告 10月31日	

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月	Reading 2	Table for Two			106-111	10	［題材内容］ ディケンズの本に導かれたような，若い男女の2度の巡り会いの物語を読んで，各場面の状況や登場人物の心情を読み取る。 ［言語活動］ 各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら音読する。	教科書／映像視聴／報告課題	○			

計140単位時間

【学習上の注意】

☞ 教科書の各レッスンの最初のページにあるQRコードより、本文と進出語句の音声を聞くことができます。積極的に活用しましょう。

【映像視聴について】

英語コミュニケーションIII 教科書解説動画
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r6ecz

【学習評価】

＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ▶ 学習した表現を活用し，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。
思考・判断・表現	▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使っている。 ▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使おうとしている。 ▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し，考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

【単位修得認定基準】

①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
外国語	論理・表現Ⅰ	通年	選択	2	70単位時間（50分×70）	4単位時間	東京書籍『NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ』 2 東書 論Ⅰ701	授業者に準ずる	長谷川 達也

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
日常的・社会的な話題について，多くの支援を活用しながら，
・ 文脈にあった質問や答えを続けることで，情報や考え，気持ちなどを，やり取りを通して伝え合うことができる。
・論理の構成や展開を工夫することで，情報や考え，気持ちなどを，話したり書いたりして伝えることができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉
▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。
▶ 学習した表現を活用し，話す、書くなどのやり取りを通して、必要な情報を得ることができる。

〈思考・判断・表現〉
▶ 日常的な話題や社会的な話題について聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現することができる。
▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し、要点や意図などを明確にしながら、自分自身の考えなどを伝え合うことができる。

〈主体的に取り組む態度〉
▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使おうとする態度を身に付けることができる。
▶ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【学習方法】
①メディア授業　・母語話者の英語を聞き、論理的に伝える表現について知る。〈〈聞くこと・話すこと［発表］〉
② 本校スクーリング　・情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて論理的に伝える。〈話すこと［やり取り］［発表］・書くこと〉
③ 報告課題（レポート）　・論理的に話したり書いたりするための表現や展開を身につける。〈読むこと・書くこと〉

〇メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容 編	章	節	項	教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S） メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	報告課題（R） 締切期限	備考
5月	英語で表現するには				006-011	2	［知識］主語，動詞，文構造，疑問文と否定文，品詞，句と節について理解している。 ［技能］英語で表現するときに，まずはやさしい日本語に言い換えたり，発想自体を変えたりするなどの技能を身につけている。	教科書／映像視聴	〇		第1回 5月31日	
5月	Unit 1 Lesson 1	初めての食事	未来表現，可算名詞・不可算名詞，受動態		014-019	3	［知識］褒める，勧める，断るときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，褒める，勧める，断るときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	◎			
5月	Unit 1 Lesson 2	道に迷う	（Could you …?や命令文など）		020-025	3	［知識］提案する，依頼する，道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，提案する，依頼する，道順を説明するときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	〇	〇		
5月	Unit 1 Lesson 3	人物紹介	現在完了形と過去形，to 不定詞と動名詞		026-031	3	［知識］身近な人を紹介する，聞き手や読み手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，身近な人を紹介する，聞き手や読み手の注意を引くときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	◎			
6月	Unit 1 Lesson 4	体調が悪い	冠詞・人称代名詞，should had better		032-037	3	［知識］体調を伝える，体調を尋ねる，指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，体調を伝える，体調を尋ねる，指示・アドバイスをするときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	〇	〇	第2回 6月30日	
6月	Unit 1 Lesson 5	買い物	現在形と現在進行形，現在完了形と過去形		038-043	3	［知識］描写する，相づちを打つときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，描写する，相づちを打つときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	◎	〇		
6月	Unit 1 Lesson 6	行ってみたい場所	後置修飾，to 不定詞と動名詞		044-049	3	［知識］希望を述べる，理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，希望を述べる，理由を述べるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	〇			
6月	Unit 1 Lesson 7	イベントに誘われる	未来表現		050-055	3	［知識］誘う，誘いを受ける，誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，誘う，誘いを受ける，誘いを断るときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	◎			
6月	Unit 1 Lesson 8	スクールカウンセラーに相談	（how や why を用いた文）		056-061	3	［知識］状況を説明する，手助けを申し出る，助言・提案をする，お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，状況を説明する，手助けを申し出る，助言・提案をする，お礼や感謝を伝えるなどの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	〇			
7月	Unit 1 Lesson 9	お気に入りを紹介	前置修飾，後置修飾		062-067	3	［知識］映画や本のあらすじを要約する，登場人物などを紹介する，感想や批評を述べるときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，映画や本のあらすじを要約する，登場人物などを紹介する，感想や批評を述べるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	〇		第３回 7月31日	
7月	Unit 1 Lesson 10	待ち合わせに遅刻	使役動詞，to 不定詞と動名詞		068-073	3	［知識］謝る，許す，励ますときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，謝る，許す，励ますときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	◎	〇		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月	Unit 1 Lesson 11	家庭でのディスカッション	仮定法		074-079	3	［知識］共感を述べる，残念な気持ちを述べる，解決策を提案するときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，共感を述べる，残念な気持ちを述べる，解決策を提案するときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	○			
8月	Unit 1 Lesson 12	英字新聞に投稿	仮定法		080-085	3	［知識］要望や主張を述べる，理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，要望や主張を述べる，理由を述べるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	○		第4回 8月31日	
8月	Unit 2 Lesson 1	クラスでディベート①	to 不定詞と動名詞		088-093	4	［知識］理由を述べる，例を挙げるときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，理由を述べる，例を挙げるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	○			
9月	Unit 2 Lesson 2	クラスでディベート②	否定語の使い方		094-099	4	［知識］相手の意見に反駁する，相手の意見を引用するときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，相手の意見に反駁する，相手の意見を引用するときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	○		第5回 9月30日	
9月	Unit 2 Lesson 3	経験談のスピーチ	後置修飾，受動態		100-105	4	［知識］できごとを生き生きと描写する，経験からアドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，できごとを生き生きと描写する，経験からアドバイスをするときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	○			
9月	Unit 2 Lesson 4	遊びやスポーツを紹介	現在完了形と過去形		106-111	4	［知識］ルールや手順を順序立てて説明する，聞き手や読み手の知識に合わせて説明するときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，ルールや手順を順序立てて説明する，聞き手や読み手の知識に合わせて説明するときの表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/放送視聴/報告課題	○			
10月	Unit 2 Lesson 5	日本をPR	and, but, so		112-117	4	［知識］事実と意見を区別して述べる，文化や習慣を説明するときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，事実と意見を区別して述べる，文化や習慣を説明するときの表現を適切に運用し,自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/放送視聴/報告課題	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月	Unit 2 Lesson 6	物語の両面を伝える	名詞と無生物主語		118-123	4	［知識］利点と欠点を述べる，話題を発展させる，話題を変えるときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，利点と欠点を述べる，話題を発展させる，話題を変えるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	○			
10月	Unit 2 Lesson 7	読み手を納得させる	（分詞構文）		124-129	4	［知識］自分の主張の理由・根拠を説明する，理由を要約して述べるときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，自分の主張の理由・根拠を説明する，理由を要約して述べるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/放送視聴/報告課題	○			
10月	Unit 2 Lesson 8	読み手を説得する	名詞と無生物主語		130-135	4	［知識］人の発言を直接引用する，条件を出して意見を述べる，説得するときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて，人の発言を直接引用する，条件を出して意見を述べる，説得するときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	教科書／映像視聴/報告課題	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞ 教科書の各レッスンの最初のページにあるQRコードより、本文と進出語句の音声を聞くことができます。積極的に活用しましょう。

【映像視聴について】
論理・表現Ⅰ 教科書解説動画
指示された所定時間，所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4efx

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。 ▶ 学習した表現を活用し，話す、書くなどのやり取りを通して、必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	▶ 日常的な話題や社会的な話題について聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現することができる。 ▶ 自分の考えをまとめるために，相手が理解しやすいように情報を整理し、要点や意図などを明確にしながら、自分自身の考えなどを伝え合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	▶ 学習した表現について，その使い方や使う場面などを正しく認識し，適切に使おうとする態度を身に付けることができる。 ▶ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し，合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード 701

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
家庭	家庭基礎	通年	必履修	2	70単位時間（50分×70）	2単位時間	東京書籍 『家庭基礎　自立・共生・創造』 2 東書　家基 701	授業者に準ずる	佐藤 淳子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

人間の生涯にわたる発達と生活の営み、自身の生活に関心を持ち、より豊かに日常生活を送れる実践的な知識、技術を身に着け、それを実践できている。

【学習目標】

〈知識・技能〉　人の一生と家族、および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身に付け、実践することができる。

〈思考・判断・表現〉　生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践し、考察したことを根拠に基づいて表現できる。

〈主体的に取り組む態度〉　様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付ける。

【学習方法】

①メディア授業　生活を主体的に営むために必要な知識、技能に興味関心を持つ。

② 本校スクーリング　自身の生活に関心を持ち、日常生活をより豊かに送れる知識、技能を身に付ける。

③ 報告課題（レポート）　基本的な家庭基礎の知識を包括的に得て、自己や家族を起点に地域や社会への視野を広げる。

○メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
5月		家庭科の学び方（・言語活動の充実） ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		家庭科の学び方	見返し1-2	1	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し，解決方法を考え，計画を立てて実践しようとする。	教科書・映像視聴	○		第１回 ５月３１日	
5月		家庭科の学び方（・言語活動の充実） ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		生活に生かそう・自分の意見を文章にまとめよう	4～11	1	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し，解決方法を考え，計画を立てて実践しようとする。	教科書・映像視聴	○			
5月	家族・社会との共生	第1章 生涯を見通す	1人生を展望する	人は生涯を通して発達する	12～17	1	・自立した生活を営むために，生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	家族・社会との共生	第1章 生涯を見通す	2目標を持って生きる	人生は意思決定の連続	18～21	1	・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し，歩みたい人生の目標を描く。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月	家族・社会との共生	第2章 人生をつくる	1 人生をつくる	「人生100年」時代を生きる	22～25	2	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように，さまざまな生き方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	家族・社会との共生	第2章 人生をつくる	2 家族・家庭を見つめる	家族・家庭をどう捉えるか	26～31	2	・よりよい家庭生活を実現するために，家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月	家族・社会との共生	第2章 人生をつくる	3 これからの家庭生活と社会	家庭生活を担う	32～35	1	・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう，仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるにはどのような社会を実現すればよいか，考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ	1 命を育む	次世代の育成	38～40	1	・命に対する責任や，社会の一員として次世代を育む責任を持つために，性と生殖に関する健康について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第２回 ６月３０日	
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ	2 子どもの育つ力を知る	子どもの育つ力	41～47	2	・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために，子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ	3 子どもと関わる	子どもの発達と保育	48～51	2	・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために，子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	教科書・映像視聴	○			
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ	4 子どもとの触れ合いから学ぶ	子どもと触れ合おう	52～55	2	・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために，子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	教科書・映像視聴	○			
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ	5 これからの保育環境	現代の子育て環境	56～61	2	・社会全体で子育てを支援していくために，現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	家族・社会との共生	第4章 超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会の到来	少子化・高齢化の進行	64～66	1	・超高齢社会の背景を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するためには，家族や地域によるどのような支援が必要か，考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	家族・社会との共生	第4章 超高齢社会を共に生きる	2 高齢者の心身の特徴	老化と成熟	67～71	2	・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	家族・社会との共生	第4章 超高齢社会を共に生きる	3 これからの超高齢社会	高齢者の自立を支える	72～75	2	・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。 ・超高齢社会の課題を踏まえて，自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに，地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え，行動しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	家族・社会との共生	巻頭・各章末 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・生活に生かそう ・各章末「ホームプロジェクト」		4～9	1	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し，解決方法を考え，計画を立てて実践しようとする。	教科書・映像視聴	○			
7月	家族・社会との共生	第5章 共に生き，共に支える	1 私たちの生活と福祉	リスクに備える	78～79	1	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし，必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて，家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月	家族・社会との共生	第5章 共に生き，共に支える	2 社会保障の考え方	社会保障とは	80～81	1	・共に支え合う社会の実現に向けて，国・地方公共団体の制度などの支援体制，支え合いの構造について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第３回 ７月３１日	
7月	家族・社会との共生	第5章 共に生き，共に支える	3 共に生きる	共生社会を目指して	82～85	1	・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて，個人や地域はどのような役割を果たし，つながっていけばよいか，考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	生活の自立	第６章 食生活をつくる	1食生活の課題について考える	青年期の食生活の課題	86～89	1	・よりよい食習慣を身につけ，生涯を健康に過ごすために，食生活の課題や食事の意義，食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月	生活の自立	第６章 食生活をつくる	2 食事と栄養・食品	栄養と栄養素	90～101	4	・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために，栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について，科学的な理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月	生活の自立	第６章 食生活をつくる	3 食生活の選択と安全	食品の選択	102～105	2	・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方，保存や加工の方法，食中毒や食物アレルギー，安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月	生活の自立	第６章 食生活をつくる	4 生涯の健康を見通した食事計画	栄養バランスのよい食事	106～111	2	・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために，各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し，「健康によい，栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。	教科書・映像視聴	○			
7月	生活の自立	第６章 食生活をつくる	5 調理の基礎	調理法や味付けのバランス	112～125	5	・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために，調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生活の自立	第６章 食生活をつくる	6食生活の文化と知恵	日本の食文化	126～127	1	・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために，日本の食文化の特徴を確認する。 ・世界の食文化に関心を持ち，私たちの食生活への影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生活の自立	第６章 食生活をつくる	7これからの食生活	食料生産と食料問題	128～131	2	・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために，安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し，広い視野で食生活について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生活の自立	第７章 衣生活をつくる	1被服の役割を考える	高校生と衣生活	134～139	2	・私たちが被服を着用するに至った，社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために，社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生活の自立	第７章 衣生活をつくる	2被服を入手する	被服の入手	140～147	3	・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために，被服の材料や性能，加工について科学的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第４回 ８月３１日	
8月	生活の自立	第７章 衣生活をつくる	3被服を管理する	被服の手入れ	148～153	2	・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう，管理や手入れの工夫について理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え，実践できる力を身につけるために，被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生活の自立	第７章 衣生活をつくる	4衣生活の文化と知恵	被服の構成	154～157	1	・現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために，日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り，日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生活の自立	第７章 衣生活をつくる	5これからの衣生活	被服の生産と消費	158～161	2	・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために，資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。 ・全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生活の自立	第８章 住生活をつくる	1住生活の変遷と住居の機能	住居の機能と変化	164～169	2	・生涯を見通した住生活について考え，将来に向けて自立するために，私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第５回 ９月３０日	
9月	生活の自立	第８章 住生活をつくる	2安全で快適な住生活の計画	住居の防災	170～173	1.5	・自らの住生活に生かすことができるよう，防災，日照，換気などに関する環境性能について理解を深め，快適かつ健康，安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生活の自立	第８章 住生活をつくる	3住生活の文化と知恵	伝統的な日本の住居	174～175	0.5	・日本の住文化の継承・創造に寄与するために，気候や風土の違い，時代の変化によって，大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	生活の自立	第８章 住生活をつくる	4これからの住生活	日本の住宅政策	176～181	1	・持続可能な住居や，自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり，まちづくりの担い手になるために，環境に配慮した住生活について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	生活の自立	第９章 経済生活を営む	1情報の収集・比較と意思決定	消費生活と意思決定	184～186	1	・自立した責任ある消費者として，よりよい意思決定ができるよう，現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	生活の自立	第９章 経済生活を営む	2購入・支払いのルールと方法	購入と契約	187～189	2	・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう，契約の重要性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	生活の自立	第９章 経済生活を営む	3消費者の権利と責任	消費者の権利と責任	190～191	1	・消費者には権利と責任があることを理解する。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるよう，消費者保護制度について理解する。 ・消費者の権利と責任の変遷を踏まえて，どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
10月	生活の自立	第９章 経済生活を営む	4生涯の経済生活を見通す	安定した経済生活を営む	192～197	3	・生涯安定した経済生活を営めるように，経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第６回・映像視聴報告 １０月３１日	
10月	生活の自立	第９章 経済生活を営む	5これからの経済生活	これからの経済生活	198～199	1	・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため，家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	生活の自立	第10章 持続可能な生活を営む	1持続可能な社会を目指して	大量消費社会の限界	200～205	2	・持続可能な社会を構築するために，持続可能な消費や生活について理解し，ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として，社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	生活の創造	第11章 これからの生活を創造する	1生活をデザインする	生活設計をする	208～213	1	・人生の目標を達成し，自分らしい生活が実現できるよう，各ライフステージの課題や生活資源，リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために，何ができるか考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

計70単位時間

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
☞家庭基礎は身の回りの生活全てに関わる重要な科目です。自身の生活に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4kkk

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	人の一生と家族、および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身に付け、実践することができる。
思考・判断・表現	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践し、考察したことを根拠に基づいて表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付け、行動することができる。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
情報	情報Ⅰ	通年	必履修	2	70単位時間（50分×70）	2単位時間	東京書籍 『-新編-情報Ⅰ』 2 東書　情報Ⅰ 701	授業者に準ずる	諸星 晴彦

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

人間の生涯にわたる発達と生活の営み、自身の生活に関心を持ち、より豊かに日常生活を送れる実践的な知識、技術を身に付け、それを実践できている。

【学習目標】

〈知識・技能〉　情報社会と人との関わりについて、コンピュータの仕組みや法規、マナー等の幅広い視点で理解を深め、情報と情報技術を効果的かつ適切に活用できる知識・技能を身に付ける

〈思考・判断・表現〉　学習活動や日常生活において、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報や情報技術を用いて身近な問題を発見・解決する問題解決能力を身に付ける。

〈主体的に取り組む態度〉　情報と情報技術を用いて問題を発見・解決することを通じて、情報社会における法規やマナー、情報セキュリティを守ろうとする態度などの情報モラルを身に付け、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。

【学習方法】

①メディア授業　視覚、聴覚を活用した教材を使用し、情報や情報技術に関する知識、技能に興味関心を持つ。

② 本校スクーリング　対面授業で他の生徒と意見を共有することで、情報と社会の関りを深く理解し、情報や情報技術を目的に応じて適切かつ主体的に活用しようとする態度を身に付ける。

③ 報告課題（レポート）　情報と情報技術、情報社会に関する知識を包括的に得て、情報や情報技術を目的に応じて適切に活用する方法を考察し、判断する力を身に付ける。

○メディア箇所全て
◎　メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	理論編	1章 情報で問題を解決する	1　情報とメディアの特性		P６～P7	1	・情報の特性から，情報とは何か理解できる。 ・さまざまなメディアの特性を理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第1回 5月31日	
4月	理論編 実習編	1章 情報で問題を解決する ５章 活動して提案する	2　問題解決の流れ 42　検索のコツ 43　職業人インタビュー		P8～P9 P119 P120	2	・問題を発見・解決するための一連の流れを理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴・報告課題	◎	○		
4月	理論編 資料編	1章 情報で問題を解決する	3　発想法 問題解決のツール		P10～P11 P156 P158	2	・問題解決の各場面で活用できる発想法を理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	理論編	1章 情報で問題を解決する	4　情報モラル		P12～P13	2	・情報社会で生活していくための情報モラルを理解できる。 ・情報社会の安全を守るための，法規や制度および個人の責任について理解できる。	教科書・映像視聴	◎	○		
4月	理論編	1章 情報で問題を解決する	5　個人情報の流出		P14～P15	2	・個人情報とはどのようなものか理解できる。 ・SNSを通して個人情報が流出・特定される仕組みを理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴・報告課題	◎			
5月	理論編	1章 情報で問題を解決する	6　傷つかない傷つけないために		P16～P17	2	・ソーシャルエンジニアリングにより不正に情報が盗まれることを理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月	理論編 資料編	1章 情報で問題を解決する	7　著作権 いろいろな法律		P18～P19 P164	2	・著作権について理解できる。 ・引用の仕方を理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴・報告課題	◎			
5月	理論編	1章 情報で問題を解決する	8　情報技術の発展		P20～P21	2	・画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴	○			
5月	理論編	1章 情報で問題を解決する	9　情報化と私たちの生活の変化		P22～P23	2	・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化を理解できる。 ・情報化による健康への影響などの問題について理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴・報告課題	○	○		
5月	理論編	1章 情報で問題を解決する	10　よりよい情報社会へ		P24～P25	2	・サイバー犯罪などの問題について理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月	理論編	２章 情報を伝える	11　コミュニケーション手段の変化		P34～P35	2	・メディアとコミュニケーションの変遷について理解できる。 メディアの特性について理解できる。	教科書・映像視聴	○		第2回 6月30日	
6月	理論編	２章 情報を伝える	12　ネットコミュニケーションの特徴		P36～P37	2	・近年のソーシャルメディアによる人のつながりを理解できる。 ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について理解できる。	教科書・映像視聴	○			
6月	理論編	２章 情報を伝える	13　デジタルの世界へ		P38～P39	1	・デジタルデータのメリットとデメリットを理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	理論編 実習編 資料編	２章 情報を伝える ５章 活動して提案する	14　数値と文字のデジタル表現 47　データ量の見積もり 2進法の計算		P40～P41 P124 P174	2	・2進法と情報の単位について理解できる。 ・2進法，10進法，16進法の仕組みが理解できる。 ・文字のデジタル表現について理解できる。	教科書・報告課題	○			
6月	理論編 資料編	２章 情報を伝える ５章 活動して提案する	15　音と画像のデジタル表現 ファイル形式の種類と特徴		P42～P43 P166	2	・音，画像，動画のデジタル化について理解できる。 ・デジタル化の標本化，量子化，符号化が理解できる。 ・画像や音声の圧縮形式を理解できる。	教科書・報告課題	○			
7月	理論編 資料編	２章 情報を伝える ５章 活動して提案する	16　色と動画のデジタル表現 色彩の基礎知識		P44～P45 P160	2	・光と色の三原色を理解できる。 ・動画の仕組みが理解できる。	教科書・報告課題	○		第3回 7月31日	
7月	理論編	２章 情報を伝える	17　目的に応じたデジタル化		P46～P47	1	・デジタルデータとアナログデータを区別できる。 ・デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを考えることができる	教科書・映像視聴	○			
7月	理論編 実習編	２章 情報を伝える ５章 活動して提案する	18　情報デザイン 50　Webニュースページ		P48～P49 P128～P129 P167	2	・情報デザインの目的を理解できる。 ・抽象化，可視化，構造化の方法を理解できる。	教科書・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
7月	理論編	2章 情報を伝える	19　ユニバーサルデザイン		P50～P51	2	・ユニバーサルデザインについて理解できる。 ・ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解できる。 ・ユーザインタフェースの問題点を考えることができる。	教科書・報告課題	○			
7月	理論編 実習編	2章 情報を伝える 5章 活動して提案する	20　情報デザインの流れ 51　映像制作		P52～P53 P130	2	・情報デザインのプロセスを理解できる。 ・デザイン思考に基づいた分析を理解できる。 ・想定したユーザの考えや行動を分析できる。	教科書・報告課題	○			
8月	理論編	3章 コンピュータを活用する	21　コンピュータとは何か		P62～P63	2	・コンピュータの基本構成を理解できる。 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割を理解できる。 ・CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。	教科書・報告課題	◎		第4回 8月31日	
8月	理論編	3章 コンピュータを活用する	22　ソフトウェアの仕組み		P64～P65	1	・プログラミング言語の種類を理解できる。	教科書・報告課題	◎			
8月	理論編	3章 コンピュータを活用する	23　演算の仕組みとコンピュータの限界		P66～P67	1	・コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。 ・AND, OR, NOT回路の仕組みを理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
8月	理論編 実習編	3章 コンピュータを活用する 5章 活動して提案する	24　アルゴリズムの表現 54　プログラムで動きを再現		P68～P69 P136	2	・プログラムとアルゴリズムの関係を理解できる。 ・フローチャートでアルゴリズムを表現することができる。	教科書・映像視聴	◎			
8月	理論編	3章 コンピュータを活用する	25　プログラムの基本構造1		P70～P71	1	・プログラムを作ることができる。 ・プログラムを構成する変数を理解できる。	教科書・映像視聴	○			
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	26　プログラムの基本構造2		P72～P73	2	・分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作ることができる。	教科書・映像視聴	◎			
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	27　発展的なプログラム1		P74～P75 P132	2	・制御構造を組み合わせてプログラムを作成できる。 ・配列とリストの意味と使い方を理解できる。	教科書・報告課題	○			
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	28　発展的なプログラム2		P76～P77	2	・関数の意味と利用方法を理解できる。	教科書・報告課題	○			
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	29　モデル化とシミュレーション		P78～P79	2	・物理モデル，図的モデル，数理モデルを理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第5回 9月30日	
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	30　シミュレーションの活用		P80～P81	2	・モデル化とシミュレーションにおける注意点を理解できる。	教科書・報告課題	◎			
9月	理論編	4章 データを活用する	31　ネットワークとインターネット		P90～P91	1	・インターネットとはどのようなものか，理解できる。 ・LANとWANの違いを理解できる。	教科書・報告課題	○			
9月	理論編 実習編	4章 データを活用する 5章 活動して提案する	32　インターネットの仕組み 57　パケット通信の体験		P92～P93 P140	1	・プロトコルと，その1つであるTCP/IPを理解できる。 ・ルータとハブの役割を理解できる。 ・IPアドレスの調べ方が身についている。	教科書・報告課題	○			
10月	理論編	4章 データを活用する	33　サーバとクライアント		P94～P95	2	・サーバとクライアントの役割を理解できる。 ・DNSの役割と動作の仕組みを理解できる。	教科書・映像視聴	○			
10月	理論編 資料編	4章 データを活用する	34　インターネット上のサービス 電子メールの基本		P95～P97 P159	2	・Webページを閲覧する仕組みを理解できる。 ・電子メールを送受信する仕組みを理解できる。	教科書・報告課題	○			
10月	理論編	4章 データを活用する	35　情報セキュリティ		P98～P99	2	・個人認証と暗号化について理解できる。 ・ファイアウォールについて理解できる。	教科書・報告課題	○			
10月	理論編	4章 データを活用する	36　データの形式		P100～P101	2	・質的データと量的データの違いを理解できる ・名義尺度，順序尺度，間隔尺度，比例尺度の違いを理解できる。 ・あるデータがどの尺度に当たるか判断できる。	教科書・報告課題	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月	理論編	4章 データを活用する	37　データベースの活用		P102～P103	1	・データベースの利点を理解できる。 ・銀行システム,POSシステムでのデータベースの利用方法を理解できる。	教科書・映像視聴	○			
10月	理論編	4章 データを活用する	38　さまざまなデータモデル		P104～P105	1	・データベース管理システムの必要性を理解できる。	教科書・報告課題	○			
10月	理論編 実習編	4章 データを活用する 5章 活動して提案する	39　データの分析の流れ 60　クラスの実態調査		P106～P107 P144～P145	2	・問題解決におけるデータ分析の位置づけを理解できる。	教科書・報告課題	○			
10月	理論編	4章 データを活用する	40　目的に合わせたデータ活用		P108～P109	2	・データの代表値とグラフ化による分析方法を理解できる。	教科書・報告課題	○			

計70単位時間

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導（S）		報告課題（R）	備考
	編	章	節	項					メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	

【学習上の注意】
☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

【映像視聴について】
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4jhx

【学習評価】
＊主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

【単位修得認定基準】
①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
総合的な探究の時間	探究１，２、３	通年	必履修	各1	各35単位時間	各1単位時間	FUTURE	授業者に準ずる	深澤 智彦

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
（１）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。
（２）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
（３）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。

【学習目標】
探究の見方・考え方を働かせ、養父市の魅力を発見し、課題を解決していこうとする探究的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、他者と協働し、主体的に課題を発見し、解決することができる。
（１）地域や社会の魅力を発見していく探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を地域や社会と関わり合いから身に付け、キャリアを形成していく上で、探究し発表する力が重要であることを自覚できるようになる。
（２）地域や社会と自己との関わりから問いを見出し、その解決に向けて率先して行動できる力を身に付けるとともに、情報を集め、整理・分析して、論理的にまとめ、説得力のある提言を周囲に発表する力を身に付けている。
（３）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、自らの進路実現に生かすことができている。

【探求課題の解決を通して育みたい具体的な資質・能力】

〈知識・技能〉	①生徒自身が生活をしている地域には、見過ごされている魅力が多い。その魅力を様々な手段を使って自分の力で見つけることができる。 ②他者と協力し、情報を共有することで、他者の考えを理解するとともに、幅広い知識を得ることができる。 ③自分の生活している地域と面接指導を行う「養父市」の地域の魅力を比較し、共通点や違いを見つけ出す。 ④地域を「養父市」に絞り、地域の抱えた課題をフィールドワークなどを通じて見つけ出す。 ⑤自分で収集したものと、既存の資料を分析し、課題解決策を探り、提案する。 ⑥将来目指す自分の進路（職業）と地域との関連を探り「地域貢献」できるテーマについて、論理的に文章化する。	
〈思考・判断・表現〉	Ⅰ　課題の設定 ①複雑な問題状況の中から適切に課題を設定できる。 ②仮説を立て,検証方法を考え,計画を立案できる。 Ⅱ　情報の収集 ①目的に応じて手段を選択し,情報を収集できる。 ②必要な情報を収集し,類別して蓄積できる。 Ⅲ　整理・分析 ①収集した情報を,考えるための技法を用いて,比較したり、因果関係を推測したりして,整理,分析できる。 ②分析結果に基づき,自分の考えをもつことができる。	Ⅳ　まとめ・表現 ①相手や目的,意図に応じて論理的に表現できる。 ②国語科や外国語科,情報科等で身に付けた技能を活用して表現できる。 Ⅴ　振り返り ①学習の仕方や進め方を振り返り,日々の生活や次の学習に生かすことができる。
〈主体的に取り組む態度〉	Ⅰ　自己理解 探究的な活動を通して自己を見つめ,将来を考え,自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 Ⅱ　他者理解 探究的な活動を通して,異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ,尊重しようとしている。 Ⅲ　主体性 自分の意思で真摯に課題に向き合い,解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。	Ⅳ　協働性 自他のよさを認め,お互いの特徴を生かし,協働して解決に向けた探究的な活動に取り組もうとしている。 Ⅴ　将来の展望及び社会参画 探究的な活動を通して,自己の在り方生き方を考えながら,社会の形成者としての自覚をもって社会に参画し,理想の社会を実現しようとしている。

【学びの蓄積・発展】
年次に応じた自己実現のための探究活動の流れ

居住する地域と高萩市の魅力や課題を見つける
↓
高萩市の抱える課題を解決策を探る
↓
高萩市の未来を考えることを通じて，将来活躍したい地域で今後どのような貢献ができるかも併せて考える

【年間学習計画】

月	探究１課題	探究２課題	探究３課題	学習目安単位時間	報告課題締切期限
4月	大人気のピザを作ろう	おにぎりをバラバラにしよう	レジの前のチャンスは逃すな！	2	第１回 4月30日
4月	もし電気が使えなくなったら	動物園の宣伝ポスターを作ろう	新設するなら「〇〇レーン」	2	
4月	「探究」を体感してみよう	やりたい仕事の本質に迫ろう！	ファシリテーター・トレーニング	2	
5月	居住地の地域社会について調べる	居住地の地域社会について調べる	居住地の地域社会について調べる	3	
5月	居住地の地域社会の特徴といいところを考え，まとめる	居住地の地域社会の特徴といいところを考え，まとめる	居住地の地域社会の特徴といいところを考え，まとめる	4	
6月	居住地の地域社会の課題を考え，まとめる	居住地の地域社会の課題を考え，まとめる	居住地の地域社会の課題を考え，まとめる	3	第2回 6月30日
6月	居住地の地域社会のをより良いまちにするためのアイディアを考え，まとめる	居住地の地域社会のをより良いまちにするためのアイディアを考え，まとめる	居住地の地域社会のをより良いまちにするためのアイディアを考え，まとめる	4	
7月	高萩市の地域社会について調べる	高萩市の地域社会について調べる	高萩市の地域社会について調べる	3	
9月	高萩市の特徴といいところを考え，まとめる	高萩市の特徴といいところを考え，まとめる	高萩市の特徴といいところを考え，まとめる	4	
10月	高萩市の地域社会の課題を考え，まとめる	高萩市の地域社会の課題を考え，まとめる	高萩市の地域社会の課題を考え，まとめる	3	第3回 10月31日
10月	高萩市をより良いまちにするためのアイディアを考え，まとめる	高萩市をより良いまちにするためのアイディアを考え，まとめる	高萩市をより良いまちにするためのアイディアを考え，まとめる	4	
10月	振り返り	振り返り	振り返り	1	

【学習方法】
① 面接指導（本校スクーリング）
② 報告課題（レポート）

【学習評価】
①振り返りシートを利用し自己評価をするとともに、グループ内での相互評価なども行い多面的に評価する。
②ライフログを作成・活用しながら、ポートフォリオを作成し評価の充実を図る。
③報告課題などの学習成果物の状況と，学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

科目コード　7031, 7032, 7033　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
学校設定	体験学習1・2・3	通年	学校設定必履修	各2	各70単位時間	各2単位時間	指定教科書なし	授業者に準ずる	佐藤 淳子

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
・農業の発達に伴い、生まれた様々な農作物、工芸品、商品作物等生産活動やものづくりの体験活動を通して、それらが現在の私たちの生活や社会の変容に果たしてきた役割や意義について考察することができる。生産活動やものづくりなどの体験を通して、豊かな生活、社会の創造のため、人々が初いてきた工夫や知恵に気づき、今後の自分の生き方、住り方を考える指針を具体的な体験活動を仮説に表現することができる
・主体的に他者と関わり、よりよい人生を歩むための学びにプラス思考で向かうことができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉	学習の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、創作の意義や価値を理解するようにする。
〈思考・判断・表現〉	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立てて情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
〈主体的に取り組む態度〉	体験学習に主体的・協働的に取り組 むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

【学びの蓄積・発展】
農林業にかかる地域の活動を以下の3分類とし、年次を積み重ねることにより、生産・消費から新たな商品価値創造までの流れを知る。

【体験学習3】
3年次：生活を豊かにするものづくり・活動（新たな商品価値）
【体験学習2】　↑
2年次：生活を支えるものづくり（実用品・工芸品）
【体験学習1】　↑
1年次：食料としてのものづくり（農業生産・消費）

【年間学習計画】　○印＝開講時期

科目	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3
学習分野	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値
講座内容	そば打ち	うどん打ち	味噌・蒟蒻づくり	大豆菓子	干芋づくり	和の心	パンづくり	農業体験	木工	切り絵	わら細工	皮細工	手芸	羊毛フェルトブローチ	スウェーデン刺繍	8の字風車作り	繭クラフト			植物染色・折り染め	織り編みミサンガ	紙漉き	組み紐	箸作り	バターナイフ・ジャムスプーン作り	エコたわし作り	エコクラフト	笑いと健康	文芸入門	
4月																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5月																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		○	○	○	○				
10月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		○	○	○	○				

【学習方法】
① 本校スクーリング
② 報告課題（レポート）
③ 事前学習
④ 事後学習

【学習評価】

評価観点	評価方法
知識・技能	できるようになったことを明確につかみ、自己の変容や成長を実感し、学習意欲の向上に結 び付けることができているか自己評価と他者評価により客観的に相互評価を行う。
思考・判断・表現	生徒一人一人のよさや可能性、努力の様子などを踏まえて、製作物に寄せた生徒の興味・関心、目の付けどころ、発想や気付きなど、こだわりや学びの過程を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	報告課題などの学習成果物の状況と，学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

科目コード　　第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	開講期間	履修	単位数	必要活動単位時間	必要実施校活動時数	使用教科用	副教材	担当者
特別活動	特別活動１，２，３，4, 5，6，7，8，9，10	通年	-	-	30単位時間	6単位時間	-	-	深澤 智彦

【特別活動を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】
（１）活動の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、意義や価値を理解できる。
（２）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
（３）主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。

【学習目標】

見方・考え方を働かせ、高萩市の魅力を発見し、課題を解決していこうとする探究的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、他者と協働し、主体的に課題を発見し、解決することができる。
（１）地域や社会の魅力を発見していく探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を地域や社会と関わり合いから身に付け、キャリアを形成していく上で、探究し発表する力が重要であることを自覚できるようになる。
（２）地域や社会と自己との関わりから問いを見出し、その解決に向けて率先して行動できる力を身に付けるとともに、情報を集め、整理・分析して、論理的にまとめ、説得力のある提言を周囲に発表する力を身に付けている。
（３）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、自らの進路実現に生かすことができている。

【特別活動を通して育みたい具体的な資質・能力】

〈知識・技能〉	①生徒自身が生活をしている地域には、見過ごされている魅力が多い。その魅力を様々な手段を使って自分の力で見つけることができる。 ②他者と協力し、情報を共有することで、他者の考えを理解するとともに、幅広い知識を得ることができる。 ③自分の生活している地域と面接指導を行う「高萩市」の地域の魅力を比較し、共通点や違いを見つけ出す。 ④地域を「高萩市」に絞り、地域の抱えた課題をフィールドワークなどを通じて見つけ出す。 ⑤自分で収集したものと、既存の資料を分析し、課題解決策を探り、提案する。 ⑥将来目指す自分の進路（職業）と地域との関連を探り「地域貢献」できるテーマについて、論理的に文章化する。
〈思考・判断・表現〉	Ⅰ　課題の設定 ①複雑な問題状況の中から適切に課題を設定できる。 ②仮説を立て,検証方法を考え,計画を立案できる。 Ⅱ　情報の収集 ①目的に応じて手段を選択し,情報を収集できる。 ②必要な情報を収集し,類別して蓄積できる。 Ⅲ　整理・分析 ①収集した情報を,考えるための技法を用いて,比較したり、因果関係を推測したりして,整理,分析できる。 ②分析結果に基づき,自分の考えをもつことができる。 Ⅳ　まとめ・表現 ①相手や目的,意図に応じて論理的に表現できる。 ②国語科や外国語科,情報科等で身に付けた技能を活用して表現できる。 Ⅴ　振り返り ①学習の仕方や進め方を振り返り,日々の生活や次の学習に生かすことができる。
〈主体的に取り組む態度〉	Ⅰ　自己理解 活動を通して自己を見つめ,将来を考え,自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 Ⅱ　他者理解 活動を通して,異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ,尊重しようとしている。 Ⅲ　主体性 自分の意思で真摯に課題に向き合い,解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。 Ⅳ　協働性 自他のよさを認め,お互いの特徴を生かし,協働して解決に向けた探究的な活動に取り組もうとしている。 Ⅴ　将来の展望及び社会参画 活動を通して,自己の在り方生き方を考えながら,社会の形成者としての自覚をもって社会に参画し,理想の社会を実現しようとしている。

【学びの蓄積・発展】

年次に応じた自己実現のための活動の流れ

居住する地域と高萩市の魅力や課題を見つける
↓
高萩市の抱える課題を解決策を探る
↓
高萩市の未来を考えることを通じて，将来活躍したい地域で今後どのような貢献ができるかも併せて考える

【年間学習計画】

月	1学年	2学年	3学年	学習目安 単位時間	報告課題 締切期限
4月	マイプラ	マイプラ	マイプラ	1	視聴報告 １０月 ３１日
4月	PBL×SEL	PBL×SEL	PBL×SEL	1	
5月	デジタルシティズンシップ	プラスサイクル思考	デジタルシティズンシップ	1	
5月	スクーリング学習	デジタルシティズンシップ	成長実感型教育	1	
6月	成長実感型教育	建学の想い	進路実現【就職】	1	
6月	進路実現	進路実現	進路実現【進学】	1	
9月	開校式	開校式	開校式	1	
9月	グループワーク	グループワーク	グループワーク	1	
１０月	進路実現	進路実現	進路実現	1	
１０月	閉校式	閉校式	閉校式	1	

【活動方法】
① 実施校活動（本校スクーリング）
② 多様なメディアを利用した活動と報告（レポート）

【学習評価】

①振り返りシートを利用し自己評価をするとともに、グループ内での相互評価なども行い多面的に評価する。
②ライフログを作成・活用しながら、ポートフォリオを作成し評価の充実を図る。
③報告課題などの学習成果物の状況と，学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
国語	読解国語研究Ⅰ	2	日本語検定公式練習問題集3訂版　4級（日本語検定委員会編）		細野 眞平

【学習目標】
日本語を学び、語彙を増やしながら正しい使い方を身につけ、日本語検定 4 級の取得を目指すとともに、自分で考え判断する力を養う。

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を有する生徒。

【学習方法】
① メディア授業
敬語・文法の特徴や使い方を理解する力を身につける。
② 本校スクーリング
・敬語について学び、正しく敬語を使うことができる。
・言葉の意味について学び、文脈に即した言葉を正確に選ぶことができる。
③ 報告課題（レポート）
言葉の特徴や使い方を理解する力を身につける。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4 月	敬語(1)	◎		第 1 回 5 月 31 日	場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けることができる。
4 月	敬語(2)	◎			場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けることができる。
5 月	文法（言葉のきまり）	◎	○	第 2 回 6 月 30 日	規範的な文法に従って語と語を連接させることができる。
6 月	語彙(1)	○	○	第 3 回 7 月 31 日	さまざまな言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。
6 月	語彙(2)	○			さまざまな言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。
7 月	言葉の意味(1)	○		第 4 回 8 月 31 日	慣用句なども含め、意味と用法を的確に把握することができる。
7 月	言葉の意味(2)	○			慣用句なども含め、意味と用法を的確に把握することができる。

8 月	表記(1)	○		第 5 回 9 月 30 日	漢字、仮名遣い、送り仮名について、文脈に合った適切な使い方ができる。
8 月	表記(2)	○			漢字、仮名遣い、送り仮名について、文脈に合った適切な使い方ができる。
9 月	漢字(1)	○		第 6 回・映像視聴報告 10 月 31 日	漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けることができる。
10 月	漢字(2)	○			文漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けることができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・正しい日本語の使い方を知り、会話や本にある言葉の「読み解く力」がある。
思考・判断・表現	・考えたことを、より多くの言葉で言語化することで、深く考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

第一学院高等学校 高萩校

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
国語	読解国語研究 II	2	日本語検定公式練習問題集 3 訂版 3 級（日本語検定委員会編）		細野 眞平

【学習目標】

日本語を学び、語彙を増やしながら正しい使い方を身につけ、日本語検定 3 級の取得を目指すとともに、自分で考え判断する力を養う。

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を有する生徒。

【学習方法】

① メディア授業

敬語・文法の特徴や使い方を理解する力を身につける。

② 本校スクーリング

・敬語について学び、正しく敬語を使うことができる。

・言葉の意味について学び、文脈に即した言葉を正確に選ぶことができる。

③ 報告課題（レポート）

言葉の特徴や使い方を理解する力を身につける。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4 月	敬語(1)	◎		第 1 回 5 月 31 日	場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けることができる。
4 月	敬語(2)	◎			場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けることができる。
5 月	文法（言葉のきまり）(1)	◎	○	第 2 回 6 月 30 日	規範的な文法に従って語と語を連接させることができる。
6 月	文法（言葉のきまり）(1)	○	○		さまざまな言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。
7 月	語彙(1)	○		第 3 回 7 月 31 日	さまざまな言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。
7 月	語彙(2)	○			慣用句なども含め、意味と用法を的確に把握することができる。

8 月	言葉の意味	○		第 4 回 8 月 31 日	慣用句なども含め、意味と用法を的確に把握することができる。
8 月	表記(1)	○		第 5 回 9 月 30 日	漢字、仮名遣い、送り仮名について、文脈に合った適切な使い方ができる。
8 月	表記(2)	○			漢字、仮名遣い、送り仮名について、文脈に合った適切な使い方ができる。
9 月	漢字(1)	○		第 6 回・映像視聴報告 10 月 31 日	漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けることができる。
10 月	漢字(2)	○			文漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けることができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・正しい日本語の使い方を知り、会話や本にある言葉の「読み解く力」がある。
思考・判断・表現	・考えたことを、より多くの言葉で言語化することで、深く考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
国語	漢字基礎(学校設定科目)	2	でる順分野別漢検問題集 3 級［五訂版］【旺文社】	授業者に準じる	細野 眞平

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】
※教科共通
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を有する生徒。

【学習目標】
読む力・書く力の基盤となる大切な知識を認識しながら、漢字を活用する力、文や文章の中で漢字を適切に使う力を養うことを目標とする。

【学習方法】
① メディア授業
視覚的な資料を用い、話し合い活動を通して、漢字の基礎を定着させる。
② 本校スクーリング
話し合い活動を通して、楽しく学びながら漢字の基礎を定着させる。
③ 報告課題（レポート）
中学校卒業程度の漢字を書きとり、読み取りができ、漢字検定 3 級の内容を理解する。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4 月	「読み」「書き取り」「送り仮名」	◎		第 1 回 5 月 31 日	「読み」「書き取り」「送り仮名」の解説と練習
4 月	「同音・同訓異字」	◎	○		「同音・同訓異義語」の解説と練習
5 月	日本漢字能力検定 3 級受験対策（1）	◎		第 2 回 6 月 30 日	2022 年度第 1 回日本漢字能力検定 3 級の模擬試験
5 月	「熟語の構成」	◎			「熟語の構成」の解説と練習

6 月	「部首」	◎		第 3 回 7 月 31 日	「部首」の解説と練習
7 月	日本漢字能力検定 3 級受験対策（2）	◎		第 4 回 8 月 31 日	2022 年度第 2 回日本漢字能力検定 3 級の模擬試験
7 月	「対義語・類義語」	◎			「対義語・類義語」の解説と練習
8 月	「四字熟語」	◎		第 5 回 9 月 30 日	「四字熟語」の解説と練習
8 月	「誤字訂正」	◎			「誤字訂正」の解説と練習
9 月	日本漢字能力検定 3 級受験対策（3）	◎		第 6 回・映像視聴報告 10 月 30 日	2022 年度第 3 回日本漢字能力検定 3 級の模擬試験
10 月	全単元のまとめ	◎			全単元の復習と練習

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	中学校卒業程度の漢字を書きとり、読み取りができ、漢字検定 3 級の内容を理解している。
思考・判断・表現	話し合い活動や、与えられたワークに対して自ら考え、発表することができる。
主体的に学習に取り組む態度	話し合い活動を通して自分の考えを発表し、問題に対して真剣に取り組むことができる。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
国語	漢字標準(学校設定科目)	2	でる順分野別漢検問題集準２級［五訂版］(旺文社)	授業者に準ずる	細野 眞平

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】
※教科共通
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を有する生徒。

【学習目標】
読む力・書く力の基盤となる大切な知識を認識しながら、漢字を活用する力、文や文章の中で漢字を適切に使う力を養うことを目標とする。

【学習方法】
① メディア授業
　視覚的な資料を用い、話し合い活動を通して、漢字の基礎を定着させる。
② 本校スクーリング
　話し合い活動を通して、楽しく学びながら漢字の基礎を定着させる。
③ 報告課題（レポート）
　中学校卒業程度の漢字を書きとり、読み取りができ、漢字検定準２級の内容を理解する。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
４月	「読み」「書き取り」「送り仮名」	◎		第１回 ５月 31 日	「読み」「書き取り」「送り仮名」の解説と練習
４月	「同音・同訓異義語」	◎			「同音・同訓異義語」の解説と練習
５月	日本漢字能力検定準２級受験対策（1）	◎		第２回 ６月 30 日	2022 年度第１回日本漢字能力検定準２級の模擬試験
５月	「熟語の構成」	◎			「熟語の構成」の解説と練習

6 月	「部首」	◎		第 3 回 7 月 31 日	「部首」の解説と練習
7 月	日本漢字能力検定準 2 級受験対策（2）	◎		第 4 回 8 月 31 日	2022 年度第 2 回日本漢字能力検定準 2 級の模擬試験
7 月	「対義語・類義語」	◎			「対義語・類義語」の解説と練習
8 月	「四字熟語」	◎	○	第 5 回 9 月 30 日	「四字熟語」の解説と練習
8 月	「誤字訂正」	◎			「誤字訂正」の解説と練習
9 月	日本漢字能力検定準 2 級受験対策（3）	◎		第 6 回・映像視聴報告 10 月 31 日	2022 年度第 3 回日本漢字能力検定準 2 級の模擬試験
9 月	全単元のまとめ	◎			全単元の復習と練習

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	中学校卒業程度の漢字を書きとり、読み取りができ、漢字検定準 2 級の内容を理解している。
思考・判断・表現	話し合い活動や、与えられたワークに対して自ら考え、発表することができる。
主体的に学習に取り組む態度	話し合い活動を通して自分の考えを発表し、問題に対して真剣に取り組むことができる。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
地理歴史	世界遺産探求	通年	選択	1	35 時間 （50 分×35）	1 単位時間	世界遺産検定事務局　『はじめて学ぶ世界遺産50』	授業者に準ずる	大川 飛鳥

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】

諸資料から我が国と世界形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について理解を深め、社会的な見方・考え方を養い、課題を発見・追究・解決していくことで、広い視野やグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【学習目標】

〈知識・技能〉日本を含む世界の地域的特色と歴史の編纂に関して知識を養い、諸資料から情報を調べまとめる技能を身につける。

〈思考・判断・表現〉地理や歴史に関わる意味や意義、特色や相互の関連を諸資料から考察し、現代の諸課題に対して深く考え自己表現できる力を身につける。

〈主体的に取り組む態度〉地理・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指し現代の諸課題を解決しようとする態度を養い、日本国民として自国を愛すること、世界を生きる 1 人として他国の文化や歴史に興味を持ち尊重することの大切さについて意識させる。

【学習方法】

① メディア授業

視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。

② 本校スクーリング

対面授業を実施し、諸資料を用いて、資料の活用方法を学び、また主体的に課題を追究することができる。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用することで、世界中の世界遺産を学び、地図や地形から情報を読み取る技術を身につけることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア（映像視聴学習）	スクーリング	締切期限	
4 月	世界遺産の基礎知識①：P6～15		○	第 1 回 6 月 30 日	世界遺産の基礎的な知識を身につけることができる。

5 月	世界遺産の基礎知識②：P6～15		○	第 2 回 8 月 31 日	世界遺産の基礎的な知識を身につけたうえで、なぜ登録されない遺跡や文化財があり、登録されるために各国がどのような努力をしているのかを調べ、まとめることができる。
6 月	世界の世界遺産：P126～137				モン・サン・ミシェルやヴィクトリアの滝などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。
7 月	日本の世界遺産：P16～41		○	第 3 回 10 月 31 日	知床や日光の社寺などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。
8 月	日本の世界遺産：P42～73		○		小笠原諸島や法隆寺地域の仏教建造物などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。
9 月	日本の世界遺産：P74～105		○		原爆ドームや厳島神社などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。
10 月	日本の世界遺産、日本の暫定リスト、無形文化遺産：P106～125		○		屋久島や首里城などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。日本で暫定リストに載っている遺産が登録されるために、各都道府県が取り組んでいることなどを調べまとめることができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・地図や地形を地図などから考察し、活用に必要な技能を身につけることができる。 ・世界遺産に関わる諸課題の解決を目指した各国や国連の取り組みや国際協力の必要性を理解することができる。
思考・判断・表現	・世界の人々の生活文化の多様性を知ることで、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 ・地球規模の自然環境に関わる諸課題の現状や要因、解決に向けた取り組みを理解できる。 ・それぞれの世界遺産が抱える課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・地理的・歴史的な知識を理解し、世界遺産１つ１つを自分自身の課題認識として意識し、主体的に探究し続けることができる。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
地歴	歴史問題研究Ⅰ	通年	選択	2	70時間（50分×70）	1単位時間	山川出版社「詳説日本史」「詳説世界史」	授業者に準ずる	大川 飛鳥

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】

諸資料から我が国と世界形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解を深め、社会的な見方・考え方を養い、課題を発見・追究・解決していくことで、広い視野やグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【学習目標】

＜知能・技能＞現代の地域的特色と日本・世界の歴史の展開に関して幅広い知識を養い、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に着ける。

＜思考・判断・表現＞日本と世界の歴史を関連付けながら諸資料を考察し、現代の諸課題に対して深く考え自己表現できる力を身に着ける。

＜主体的に取り組む態度＞日本と世界の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指し現代の諸課題を解決しようとする態度を養う。日本国民として自国を愛すること、世界を生きる一人として他国の文化や歴史に興味を持ち尊重することの大切さについて意識させる。

【学習方法】

① メディア授業

視覚・聴覚に訴える教材を利用することで、日本及び世界の地理的・歴史的な現代の諸課題を発見する観点を学びながら、情報処理能力を身に着ける。

② 本校スクーリング

対面授業を実施し、他者との協働、諸資料の利用、現代的諸課題の発見を通して日本・世界に生きる人間としての在り方・生き方を主体的に深く追究し、

よりよい自己形成を目指す。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用することで、日本及び世界の地理的・歴史的知識を深く理解し、自己表現できる力を身に着ける。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導(S)		報告課題(R)	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4月	古代オリエント時代 中国の古代文明 朝鮮と日本	○ ○ ○	○	第1回 5月31日	オリエント文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を理解することができる。 東アジアの地理的特質、中華文明の起源に触れ、日本を含む東アジア世界の形成過程を理解することができる。

5月	隋の統一 イスラーム教の誕生	○ ○		第2回 6月30日	イスラーム教の成立とそれを基盤とした国家の形成を基に、西アジアの歴史的特質を理解するとともに、国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
5月	ヤマト政権 平城京の時代 鎌倉幕府	○ ○ ○			律令体制や鎌倉幕府の成立過程と諸文化の形成などを基に、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠にして表現することができる。
6月	十字軍とその影響 清朝の動揺とヨーロッパの進出 ヨーロッパ世界の拡大	○ ○ ○		第3回 7月31日	ヨーロッパ封建社会、文化の特色を多面的、多角的に考察し、表現することができる。 清と日本・朝鮮の動向を基に、アジア諸国の特質を構造的に理解することができ、相互関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、構造的に理解することができる。
6月	応仁の乱と国一揆 江戸幕府の成立	○ ○			応仁の乱、国一揆、江戸幕府の成立を基に、様々な観点から考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠に示し表現することができる。
7月	重商主義と啓蒙思想 アメリカ独立革命	○ ○		第4回 8月31日	アメリカ独立革命、重商主義政策、イギリス革命、啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解することができる。
7月	交通の整備と発達 幕府の改革	○ ○			交通の整備による社会・経済と文化の変容や幕藩体制下の諸改革について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠に表現することができる。
9月	ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	○		第5回 9月30日	各革命に影響された国々による統一国家の誕生について多角的・多面的に考察し、理解することができる。
9月	立憲国家の成立	○			大日本帝国憲法の制定から、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解することができる。
10月	石油危機と世界経済の再編	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し考察の上、根拠を示し表現することができる。
10月	第二次世界大戦 高度経済成長期	○ ○			第二次世界大戦の展開や高度経済成長期の日本を基に、過程や大戦中の政治、社会、国民生活の変容を理解し、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組みなどの事象の意味と関係性を多面的・多角的に考察し根拠を示し表現することができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・遺物、文書、図像などの諸資料を活用して情報を読み取りまとめることができる。 ・近現代の地域、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。 ・諸資料を活用し、課題を追究・解決しながら、日本を含む世界の歴史が身近な生活や地域に繋がっていることを理解することができる。 ・各文明や時代に関わる諸事象の歴史的特質を理解することができる。
思考・判断・表現	・諸資料を活用し、課題を追究・解決しながら、歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる。 ・各文明や時代に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりしながら読み解き、主体的に考察し、表現することができる。 ・各時代の社会の展開について事象の意義を理解し、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・地理的・歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結び付けながら自分自身の課題認識として意識し、主体的に探究し続けることができる。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
地歴	歴史問題研究Ⅱ	通年	選択	2	70 時間（50 分×70）	1 単位時間	山川出版社「詳説日本史」「詳説世界史」	授業者に準ずる	大川 飛鳥

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】

諸資料から我が国と世界形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解を深め、社会的な見方・考え方を養い、課題を発見・追究・解決していくことで、広い視野やグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【学習目標】

＜知能・技能＞現代の地域的特色と日本・世界の歴史の展開に関して幅広い知識を養い、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に着ける。

＜思考・判断・表現＞日本と世界の歴史を関連付けながら諸資料から考察し、現代の諸課題に対して深く考え自己表現できる力を身に着ける。

＜主体的に取り組む態度＞日本と世界の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指し現代の諸課題を解決しようとする態度を養う。日本国民として自国を愛すること、世界を生きる一人として他国の文化や歴史に興味を持ち尊重することの大切さについて意識させる。

【学習方法】

① メディア授業

視覚・聴覚に訴える教材を利用することで、日本及び世界の地理的・歴史的な現代の諸課題を発見する観点を深く学びながら、情報処理能力を身に着ける。

② 本校スクーリング

対面授業を実施し、他者との協働、諸資料の利用、現代的諸課題の発見を通して日本・世界に生きる人間としての在り方・生き方を主体的に深く追究し、

よりよい自己形成を目指す。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用することで、日本及び世界の地理的・歴史的知識を理解し、自己表現できる力を身に着ける。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4 月	文化の始まり 律令国家への道	○ ○	○	第 1 回 5 月 31 日	集団での居住生活が始まり、近隣諸国と関わる国にまで発展する過程を理解することができる。

					律令体制の成立過程と諸文化の形成を基に、政治・社会や文化の特色を理解することができる。
4月	摂関政治 蒙古襲来と幕府の衰退	○ ○			摂関政治、蒙古襲来とそれによる幕府の衰退について、当時の諸事象の関連性を考察し、根拠に示し表現することができる。
5月	室町幕府の成立 織豊政権	○ ○		第2回 6月30日	室町幕府の成立について、諸事象の関連性を考察し、根拠に示し表現することができる。 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解することができる。
5月	元禄時代 鎖国の動揺	○ ○			元禄時代、鎖国体制について、諸事象の関連を考察し、根拠を示し表現することができる。
6月	明治維新と富国強兵 日清戦争と日露戦争	○ ○		第3回 7月31日	明治維新、日清・日露戦争を基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解することができる。
6月	第一次世界大戦と日本 講和と安保条約	○ ○			第一次世界大戦と各講和条約を基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解することができる。
7月	ギリシア世界 アーリヤ人の進入とガンジス川流域への移動	○ ○		第4回 8月31日	ギリシア文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を理解することができる。アーリヤ人の移動による影響についても理解を深め、根拠を示し表現することができる。
7月	唐の動揺 ゲルマン人の大移動	○ ○			唐と近隣諸国の動向を基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解することができ、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
9月	ムガル帝国の成立とインド＝イスラーム文化の開花	○		第5回	西アジア社会の動向とアフ

	ヨーロッパ世界の拡大・ルネサンス ウィーン体制の成立	○ ○		9月30日	リカ・アジアへのイスラームの伝播、大航海時代、イギリス革命、ルネサンスを基に、海域と内陸に渡る諸地域の交流の広がりを構造的に理解することができる。 自由主義とナショナリズムを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解することができる。
10月	第一次世界大戦 世界恐慌とファシズム諸国の戦略 第二次世界大戦・第三世界の台頭	○ ○ ○		第6回・映像視聴報告 10月31日	第一次世界大戦の展開とそれにかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 世界恐慌とファシズムの動向、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序について理解し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・遺物、文書、図像などの諸資料を活用して情報を読み取りまとめることができる。 ・近現代の地域、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。 ・諸資料を活用し、課題を追究・解決しながら、日本を含む世界の歴史が身近な生活や地域に繋がっていることを理解することができる。 ・各文明や時代に関わる諸事象の歴史的特質を理解することができる。
思考・判断・表現	・諸資料を活用し、課題を追究・解決しながら、歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる。 ・各文明や時代に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりしながら読み解き、主体的に考察し、表現することができる。 ・各時代の社会の展開について事象の意義を理解し、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・地理的・歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結び付けながら自分自身の課題認識として意識し、主体的に探究し続けることができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
公民	時事研究Ⅰ	1	1単位時間	日本ニュース時事能力検定協会　公式テキスト基礎編「時事力」(3・4級対応)	授業者に準ずる	文田 岳士

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】

※教科共通

先人の知恵や他者との協働、諸資料の情報処理能力の修得を通じて、現代社会を生きる自己の在り方を学ぶ。また、身の回りの社会変化に対して、主体的に様々な情報を発信・受信し、課題解決の力を身につける。

【学習目標】

＜知識・技能＞日本の社会だけでなく国際的な情勢の知識を身に着けることができる。

＜思考・判断・表現＞領土問題や地球環境などの諸課題について諸資料などを用いて考察し、自己表現することができる。

＜主体的に取り組む態度＞社会の日々の変化に順応し、現代社会の諸課題について解決するために行動することができる。

【学習方法】

① メディア授業

ニュースや映像を見るという力を身に着け、現代の諸課題について考える力を身につける。

② 本校スクーリング

対面授業を通して諸資料から課題を発見し、日々変化していく社会について自分の意見を発表力、他者の意見を尊重する力を身につける。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用し現代社会で必要な知識をつける。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	私たちの民主主義			第1回 4月30日	民主主義における選挙の重要性を理解し、現代社会が抱える選挙の諸課題について考えることができる。
5月	日本国憲法の行方				日本国憲法と大日本帝国憲法の違いを考察し、憲法改正案について自分の意見を発信することができる。
5月	どうなる外交と防衛				日本が抱える領土問題についての知識を身に着け、近隣の国々との関係の諸課題を調べまとめることができる。

6月	地方自治のいま				日本国内の経済活動についての政策を学び、新型コロナウイルスは GDP にどのような影響を与えたのかを考えることができる。
7月	転換期迎えたエネルギー				これからのエネルギーとして登場してくる再生可能エネルギーについて、考えることができる。また、原発再稼働について自分の意見を持つことができる。
8月	社会保障のこれから		○	第2回 6月30日	少子高齢化が進むにつれて「社会保障」はどのように変化していくかを考える。また、社会保障制度を持続していくにはどうすればいいのかを学び、まとめることができる。
9月	働くということ		○		働き方について正しい知識をつけ、働く目的を考えることができる。また消費者を守る法律を学び、消費者の権利と義務をについて考えることができる。
9月	地球環境を守るために			第3回 8月31日	地球温暖化の現状を知り、パリ協定などの世界各国が力を合わせて削減に取り組んでいることを理解することができる。
10月	核兵器と向き合う世界				核兵器を巡る二つの条約について学び、核兵器の存在価値を世界で唯一の被爆国としての目線から考えることができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・国際的な政治や外交について知識を身に着け諸課題について考えることができる。 ・グラフを読み取り経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	・現代における政治・経済などの課題について一つの観点からだけではなく広い視野を持って考えることができる。 ・現代における領土問題や環境などの諸課題を良識のある公民として判断し自己表現ができるようになる。
主体的に学習に取り組む態度	変化し続ける現代社会の課題をニュースなどから捉え、自主的に対策を考え実行に移すことができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
公民	時事研究Ⅱ	1	1単位時間	日本ニュース時事能力検定協会　公式テキスト基礎編「時事力」（3・4級対応）	授業者に準ずる	文田 岳士

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】

※教科共通

先人の知恵や他者との協働、諸資料の情報処理能力の修得を通じて、現代社会を生きる自己の在り方を学ぶ。また、身の回りの社会変化に対して、主体的に様々な情報を発信・受信し、課題解決の力を身につける身につける。

【学習目標】

＜知識・技能＞日本の社会だけでなく国際的な情勢の知識を身に着けることができる。

＜思考・判断・表現＞人口減少や地球環境などの諸課題について諸資料などを用いて考察し、自己表現することができる。

＜主体的に取り組む態度＞社会の日々の変化に順応し、現代社会の諸課題について解決するために行動することができる。

【学習方法】

① メディア授業

ニュースや映像を見るという力を身に着け、現代の諸課題について考える力を身につける。

② 本校スクーリング

対面授業を通して諸資料から課題を発見し、日々変化していく社会について自分の意見を発表力、他者の意見を尊重する力を身につける。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用し現代社会で必要な知識をつける。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導(S)		報告課題(R)	学習到達度目標
		メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	私たちの民主主義			第1回 4月30日	天皇の日本における地位を知り、その中で実際にどのような公務をしているかを理解することができる。
5月	どうなる外交と防衛				日米安全保障条約について考え、日本とアメリカの軍事面での関係性を学び、それについ

					て自分の考えをまとめることができる。
5月	先行き不透明な世界経済				保護貿易と自由貿易についての知識を学び、メリットとデメリットを考える。また、コロナウイルスの影響によって停滞していた世界の経済活動がどのように変化しているのかを考察することができる。
6月	日本産業のいま				日本を支える様々な産業について学び、そこでの諸課題について考えることができる。
7月	減り続ける日本の人口		○	第2回 6月30日	少子高齢化社会の現状について資料からまとめ、諸課題について日本が取り組んでいる対策を学んだうえで自分の意見を発表することができる。
8月	共に生きる社会へ				社会の発展により様々な人達が共生をしていく社会が必要になることを理解することができる。また、そのためにどのような配慮をしているのかをまとめることができる。
9月	司法と私たちの社会				司法の役割を知り、人権について考えることができる。また、司法への国民参加や死刑制度について自分の意見を持つことができる
9月	いのちと科学を考える			第3回 8月31日	若者を中心に問題視されている薬物乱用や依存症の影響を理解し、自分の意見を持つことができる。また新型コロナウイルスに対する世界の動きを学び、様々な医療技術についての課題や応用について考えることができる。
10月	平和な世界どうやって				難民、移民についての現状を理解し世界各国の対応について考えることができる。また、中東地域の民主化の現状について理解することができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日々変化していく社会の諸課題について知識を身につけ解決することができる。 ・グラフを読み取り経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	・現代における政治・経済などの課題について一つの観点からだけではなく広い視野を持って考えることができる。 ・現代における労働や環境などの諸課題を良識のある公民として判断し自己表現ができるようになる。
主体的に学習に取り組む態度	変化し続ける現代社会の課題をニュースなどから捉え、自主的に対策を考え実行に移すことができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
公民	時事研究Ⅲ	1	1単位時間	日本ニュース時事能力検定協会　公式テキスト「時事力」発展編（1・2・準2級対応）	授業者に準ずる	文田 岳士

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】

※教科共通

先人の知恵や他者との協働、諸資料の情報処理能力の修得を通じて、現代社会を生きる自己の在り方を学ぶ。また、身の回りの社会変化に対して、主体的に様々な情報を発信・受信し、課題解決の力を身に着ける。

【学習目標】

＜知識・技能＞情報技術の進歩により目まぐるしい速さで移り変わる現代社会を、政治や経済、暮らしなど様々な分野について知識を身につける。

＜思考・判断・表現＞現代における政治・経済など様々な分野を広い視野を持って深く考え、良識のある公民として公正な判断力を養い、自己表現できる力を身につける。

＜主体的に取り組む態度＞自分が生きている社会についていけるように、自ら様々な問題や課題について調べ、対策を考える。

【学習方法】

① メディア授業

ニュースや現代の課題を映像により実際に見るという力を養い、そこから自分の意見をまとめる力を身に着けることを目指す。

② 本校スクーリング

現代のあらゆる課題に向き合い、対面授業を通し自分の意見を発表し、他者の意見を尊重する力を身に着けさせ正しい判断ができるようにする。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用することで、政治や経済に対する専門的知識を身に着け、社会で生かし自己表現できるようにする。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導(S)		報告課題(R)	学習到達度目標
		メディア（映像視聴学習）	本校スクーリング（面接指導）	締切期限	
4月	民意はどこに			第1回	日本の民主主義を支えている選挙の在り方や歴史・現状について学び、選挙に参加する意味・意義を理解することがで

				4月30日	きる。
5月	流動する日本政治				2024 年 10 月、新たに首相に就任した石破茂氏がこだわる地方創生や防災について学び、これまでの政権との違いや背景、現在の政治状況について考えることができる。
6月	先行き不透明な日本経済				GDP の基礎知識について理解し、2024 年 4～9 月にかけて２四半期連続して GDP の成長率が上がった理由を考えることができる。また、日本銀行の様々な顔を理解し、役割を学ぶ。
7月	リスク抱える世界経済				ようやく落ち着きつつあるインフレに対する、各国の経済の動向について学び、世界の金融政策やその変動について理解することができる。
8月	より働きやすく		○	第2回6月30日	最低賃金の引き上げや様々なハラスメントへの対策、育児休暇の取得について学び、その課題を考えることが出来る。また、昨今の不当な働き方について学び働き方改革関連法について理解することができる。
9月	消費生活のルール				なりすまし広告や口コミを装うステマの実情や対策を学び、自分の意見をまとめることができる。また、保健機能食品の意味や課題について理解することができる。
10月	司法と人権保障				改正少年法の施行によって 18 歳、19 歳の立場が変化した。そのメリット・デメリットを自分事化して考え、自分の意見をまとめることが出来る。
10月	情報社会に生きる			第3回8月31日	情報技術が大きく発展したことによって現れたシステムなどを学ぶ。また、個人情報の保護についても自分で出来ることを考え、まとめることが出来る。
10月	核兵器と向き合う世界				核に関する様々な条約について学ぶ。核を保有している世界の国についても考え、平和を求めるためにはどのようなことが出来るのかを考えることが出来る。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・憲法や社会福祉に関わることなど社会における基本的な知識をつけ日々の生活に関連付けていくことができる。 ・グラフを読み取り経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	・現代における政治・経済などの課題について一つの観点からだけではなく広い視野を持って考えることができる。 ・現代における労働や環境などの諸課題を良識のある公民として判断し自己表現ができるようになる。
主体的に学習に取り組む態度	ニュースから変化し続ける現代社会の課題を発見し、主体性をもって対策を考え行動することができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
外国語科（英語）	実践英語Ⅰ	2	4単位時間	英検4級 総合対策教本	授業者に準ずる	長谷川 達也

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】
言語活動を通じて、相手の思いを理解したり、場面や状況に応じて適切に自分の思いを表現したりする力をつける。
ニュースやSNSの投稿で活用されている「生きた英語」に触れ、自分で表現できる力をつける。

【学習目標】
知識・技能：話す、書くなどのやり取りを通して、必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現：日常的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度：ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を使うことができる。

【学習方法】
① メディア授業
・母語話者の英語を聞き、論理的に伝える表現について知る。〈聞くこと・書くこと〉
② 本校スクーリング
・情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて論理的に伝える。〈話すこと・書くこと〉
③ 報告課題（レポート）
・論理的に話したり書いたりするための表現や展開を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア(映像視聴学習)	本校スクーリング(面接指導)	締切期限	
5月	Part 1　5級の復習をしよう be 動詞・一般動詞・現在進行形・命令文	◎		第1回 5月31日	英語の基本的なルールや文法を理解することができる。
5月	Part 1　5級の復習をしよう 代名詞・疑問詞①・疑問詞②・Part1の振り返り	◎			会話でよく利用する疑問詞を理解し、表現するだけでなく、質問事項に対して答えることができる。
6月	Part 2　英語の文法を知ろう 過去形・過去進行形・be going to と will・can, could, may, must, have to	◎	○	第2回 6月30日	時制の違いを理解することができる。 助動詞を使って表現することができる。

6 月	Part 2　英語の文法を知ろう to 不定詞・動名詞・as ～ as …	◎	○		to 不定詞と動名詞の使い分けをすることができる。 原級を使って、身近なものを表現することができる。
6 月	Part 2　英語の文法を知ろう 比較級・最上級・There is / are~構文・いろいろな意味や使い方がある動詞・接続詞	◎	○		比較級・最上級と学習した原級をそれぞれ使い分けることができる。 それぞれの文に応じた動詞を理解することができる。
7 月	Part 3　会話表現を覚えよう 勧誘・提案・依頼・許可・買い物・道を尋ねる・電話	○	○	第 3 回 7 月 31 日	日常で使われる会話表現を理解するだけでなく、表現し、尋ねられたことに対して、返答をすることができる。
7 月	Part 4　英語で聞いてみよう 「天気」を聞く・「したいこと」を聞く・「予定・できごと」を聞く・「話題・問題」を聞く・「数・時間・頻度など」を聞く	○			まとまった英語を聞き、大事なポイントを押さえ、質問に答えることができる。
8 月	Part 5　英語を読んでみよう 案内・お知らせを読む練習	○		第 4 回 8 月 31 日	案内や掲示から適切な情報を読み取り、理解することができる。
9 月	Part 5　英語を読んでみよう E メール・手紙・体験談を読む練習	○		第 5 回 9 月 30 日	E メールや手紙・体験談の文のきまりを理解し、適切な情報を読み取ることができる。
9 月	Part 6　スピーキングテスト対策をしよう スピーキングテストの内容を知り、必要な力を身に付ける	○			スピーキングテストにひつような力を身に付け、実践することができる。
10 月	予想問題 予想問題に挑戦し、これまでの学習の成果を確認する	○		第 6 回・映像視聴報告 10 月 31 日	これまでの学習した内容を理解し、問題に取り組むことができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・話す、書くなどのやり取りを通して、必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	・日常的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を使うことができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
外国語科（英語）	実践英語 II	2	4 単位時間	英検 3 級総合対策教本	授業者に準ずる	長谷川 達也

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】
言語活動を通じて、相手の思いを理解したり、場面や状況に応じて適切に自分の思いを表現したりする力をつける。
ニュースや SNS の投稿で活用されている「生きた英語」に触れ、自分で表現できる力をつける。

【学習目標】
知識･技能：話す、書くなどのやり取りを通して、一定の支援を活用しながら必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現：一定の支援を活用しながら日常的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度：ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【学習方法】
① メディア授業
・母語話者の英語を聞き、論理的に伝える表現について知る。〈聞くこと・書くこと〉
② 本校スクーリング
・情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて論理的に伝える。〈話すこと・書くこと〉
③ 報告課題（レポート）
・論理的に話したり書いたりするための表現や展開を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア映像視聴学習	本校スクーリング(面接指導)	締切期限	
5 月	第 1 章 文法 時制・代名詞・受動態	◎		第 1 回 5 月 31 日	基本となる文法を深く理解し、積極的に問題に取り組むことができる。
5 月	第 1 章 文法 比較・準動詞・分詞・関係代名詞 ・間接疑問文・付加疑問文	◎			基本となる文法を深く理解し、積極的に問題に取り組むことができる。

6 月	第 2 章 単語・熟語 動詞・名詞・形容詞	○	○		日常で使われる単語・熟語を理解し、表現することができる。
6 月	第 2 章 単語・熟語 副詞・前置詞・熟語	○	○	第 2 回 6 月 30 日	日常で使われる単語・熟語を理解し、表現することができる。
6 月	第 3 章 会話文 機能別会話表現・場面･話題的会話表現	◎	○		日常で使われる会話表現を理解するだけでなく、表現し、尋ねられたことに対して、返答をすることができる。
7 月	第 4 章 長文読解 掲示・手紙文	○	○	第 3 回 7 月 31 日	掲示・手紙から適切な情報を読み取り、理解することができる。
8 月	第 4 章 長文読解 E メール・説明文	○		第 4 回 8 月 31 日	E メールや説明文のきまりを理解し、適切な情報を読み取ることができる。
9 月	第 5 章 英作文 基本的なルール・基本構造 日本語と英語の表現方法の違い	○		第 5 回 9 月 30 日	英語の文構造を理解し、日本語と英語の表現方法の違いまで理解することができる。
9 月	第 6 章 リスニング 第 1 部（イラスト問題）・第 2 部（対話問題）	○			リスニングに必要な力（強弱・抑揚・音のつながり）を身につける。
10 月	第 6 章 リスニング 第 3 部（まとまりのある文）	○		第 6 回・映像視聴報告 10 月 31 日	様々な状況のリスニングを聞き、全体把握だけでなく、必要な情報を聞き取ることができる。
10 月	第 7 章 面接 試験の流れ・質問に対する応答のポイント	○			面接の全体像をつかみ、表現することができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・話す、書くなどのやり取りを通して、一定の支援を活用しながら必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	・一定の支援を活用しながら日常的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
外国語科（英語）	実践英語Ⅲ	2	4	英検２級総合対策教本	授業者に準ずる	長谷川 達也

【教科学習を通じて，育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント)】
言語活動を通じて、相手の思いを理解したり、場面や状況に応じて適切に自分の思いを表現したりする力をつける。
ニュースやSNSの投稿で活用されている「生きた英語」に触れ、自分で表現できる力をつける。

【学習目標】
知識･技能：話す、書くなどのやり取りを通して、支援がほとんどなくても、必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現：支援がほとんどなくても日常的や発展的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度：ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【学習方法】
① メディア授業
・母語話者の英語を聞き、論理的に伝える表現について知る。〈聞くこと・書くこと〉
② 本校スクーリング
・情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて論理的に伝える。〈話すこと・書くこと〉
③ 報告課題（レポート）
・論理的に話したり書いたりするための表現や展開を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導（S）		報告課題（R）	学習到達度目標
		メディア(映像視聴学習)	本校スクーリング(面接指導)	締切期限	
5月	第1章 文法 1 文型・時制・態 2 助動詞 3 仮定法 4 不定詞・分詞・動名詞 5 関係詞	◎	○	第1回 5月31日	基本的な文法を深く理解し、応用問題を解くことができる。
5月	第1章 文法 6 比較 7 名詞・代名詞・冠詞 8 形容詞・副	◎	○		基本的な文法を深く理解し、応用問題を解くことができる。

	詞　9 前置詞・接続詞 10 特殊な構文				
6 月	第 2 章 筆記 1（単語・熟語） ①同意語・反意語 ②派生語　③注意が必要な語	○	○	第 2 回 6 月 30 日	１つの単語からそれに関連する単語を覚えることができる。
6 月	第 2 章 筆記 1（単語・熟語） ①よく出る熟語　②注意が必要な熟語	○	○		１つの単語からそれに関連する単語を覚えることができる。
6 月	第 3 章 筆記 2･3（長文読解） ①長文の構成　②長文の読み方のこつ	○			長文の構成を把握し、「つなぎ言葉」や「言い換え」着目し、問題を解くことができる。
7 月	第 3 章 筆記 2･3（長文読解） ①長文の空所補充問題 ②E メール　③レポート	○		第 3 回 7 月 31 日	長文の構成を把握し、「つなぎ言葉」や「言い換え」着目し、問題を解くことができる。
8 月	第 4 章 筆記 4（英作文） ①英作文の基礎　②エッセイの構成 ④ 時間配分　④覚えるべき表現	○		第 4 回 8 月 31 日	主語や単数・複数に注意し、エッセイの構成を理解することができる。
9 月	第 5 章 リスニング第 1 部（会話文） ①音声変化　②会話表現	○		第 5 回 9 月 30 日	発話で起こる「不安定」な音声を聞き取り、特徴を捉えることができる。
9 月	第 6 章 リスニング第 2 部（一般文） ①選択肢から内容を予測する ②パターン把握	○			選択肢から内容を把握し、文章のパターンを理解することができる。
10 月	第 6 章 リスニング第 2 部（一般文） ③チャンキング　④強く発音される内容語から大意をつかむ	○		第 6 回・映像視聴報告 10 月 31 日	強く発音される内容語から大意をつかみ、情報を整理することができる。
10 月	第 7 章 面接 〈ポイントの整理〉	○			面接の全体像をつかみ、表現することができる。

	アティチュード・黙読・音読・質問を聞き取り答える力を身につける・描写力・自分の考えを説明する				

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・話す、書くなどのやり取りを通して、支援がほとんどなくても、必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	・支援がほとんどなくても日常的や発展的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。